

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書No1	A-31	部分詳細図No2	A-61	外構詳細図No6	S-01	構造特記仕様書
A-02	建築工事特記仕様書No2	A-32	部分詳細図No3	A-62	外構詳細図No7	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図No1
A-03	建築工事特記仕様書No3	A-33	屋根伏図	A-63	外構詳細図No8	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図No2
A-04	建築工事特記仕様書No4	A-34	屋根納まり図	A-64	現況図(撤去図)	S-04	鉄骨工作標準図No1
A-05	工事区分表	A-35	天井伏図	A-65	仮設計面図	S-05	鉄骨工作標準図No2
A-06	建築概要・付近見取り図・求積表	A-36	押し出し成形セメント板割付図No1			S-06	QLデッキ施工標準
A-07	敷地求積図	A-37	押し出し成形セメント板割付図No2			S-07	QLルーフ施工標準
A-08	現況敷地図	A-38	建具平面図			S-08	角形鋼管柱・H形鋼はり接合法 施工標準仕様書No1
A-09	室内面積表・平均地盤計算書	A-39	建具表No1			S-09	角形鋼管柱・H形鋼はり接合法 施工標準仕様書No2
A-10	配置図	A-40	建具表No2			S-10	角形鋼管柱・H形鋼はり接合法 施工標準仕様書No3
A-11	外部仕上表・内部仕上表	A-41	建具表No3			S-11	基礎地盤説明図
A-12	平面図	A-42	建具表No4			S-12	基礎伏図
A-13	立面図No1	A-43	建具詳細図No1 (ACW)			S-13	土間伏図
A-14	立面図No2	A-44	建具詳細図No2 (LSD)			S-14	基礎詳細図No1
A-15	断面図	A-45	建具詳細図No3 (LSD)			S-15	基礎詳細図No2
A-16	矩計図No1	A-46	建具詳細図No4 (LSD)			S-16	RG1, RG2レベル梁伏図
A-17	矩計図No2	A-47	建具詳細図No5 (LSD)			S-17	RG3レベル梁伏図
A-18	矩計図No3	A-48	建具詳細図No6 (LSD)			S-18	RG1, RG2レベル垂木伏図
A-19	矩計図No4	A-49	建具詳細図No7 (LSD)			S-19	RG3レベル垂木伏図
A-20	平面詳細図No1	A-50	家具図			S-20	軸組図No1
A-21	平面詳細図No2	A-51	サイン計画図No1			S-21	軸組図No2
A-22	平面詳細図No3	A-52	サイン計画図No2			S-22	鉄骨構造詳細図No1
A-23	展開図N01	A-53	サイン計画図No3			S-23	鉄骨構造詳細図No2、ジョイントリスト
A-24	展開図N02	A-54	カーテン・ブラインド計画図			S-24	鉄骨構造詳細図No3
A-25	展開図N03	A-55	外構平面図				
A-26	展開図N04	A-56	外構詳細図No1				
A-27	展開図N05	A-57	外構詳細図No2				
A-28	展開図N06	A-58	外構詳細図No3				
A-29	展開図N07	A-59	外構詳細図No4				
A-30	部分詳細図No1	A-60	外構詳細図No5				

令和2年11月

6	⑥ 型枠	(6.8.2)		せき板の種類		板厚(mm)	適用箇所	備考	
		※合板	※12						
		床型枠用鋼製デッキプレート							
		断熱材兼用型枠							
		MCR工法用シート ※適用しない							適用する
		ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法							※図示
		(6.8.1)							
		(6.10.1) (表6.10.1)							
		種別		適用箇所	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)				
7	軽量コンクリート	(6.11.4)							
		初期養生期間 コンクリート圧縮強度が5 N/mm ² に達するまで行うこと。							
9	無筋コンクリート	(6.14.1)							
		コンクリートの種類 適用範囲							
※普通コンクリート		※(6.14.1)(4)(ア〜カ)による							
10	流動化コンクリート	(6.15.2) (表6.15.1)							
		コンクリートのスランプ		流動化コンクリート(cm)					
種別		ベースコンクリート(cm)		流動化コンクリート(cm)					
普通コンクリート		10	12	15	18	21			
※この章、特記無き限り構造特仕仕様書を優先する。									
7	① 鉄骨の製作工場	(7.1.3)							
		指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場							
		S H M R J							
		本物件と同規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場							
		※施工監理技術者(※配置する・配置しない)							
2	鋼材の種別	(7.2.1) (表7.2.1)							
		材質		規格					
SS400 SSC400 STK400 BCR295		JIS表示認証製品							
SN400B C SN490B C SM400 SM490									
3	高力ボルト	(7.2.2)							
		トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト							
溶融亜鉛めっき高力ボルト									
4	溶接部の試験	(7.6.12)							
		溶接部の外観試験							
		平12建告第1464号第二号に関する試験方法等							
		「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による							
		抜き取り検査①(※抜き取り検査②)							
JASS 6 付則6【鉄骨精度検査基準】の付表3「溶接」に関する試験方法等									
JASS6 10.4【受入検査】e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。									
ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。									
完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。									
溶接の区分		AQOL (%)	検査水準	備考					
工場溶接		2.5	※4.0	※6					
5	錆止め塗装	(7.8.2) (7.8.4) (表18.3.1) (表18.3.2)							
		耐火被覆材の接着する面の種類		塗装範囲					
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲									
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲									
(7.9.2) (7.9.4~8)									
種別		材料及び工法製造所	備考						
ラス張モルタル		標準仕様書15章3節による							
耐火材吹付け		建築基準法に基づき定め							
耐火板張り		られたもの又は認定を受けたもの							
耐火材巻付け									
耐火塗料									
(7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)									
種別		適用箇所							
A種		BCR295、STK400柱							
B種		その他間柱							
C種									
8	柱底均しモルタル	(7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)							
		種別		適用箇所		柱底均しモルタル			
A種		全て		※無収縮モルタル					
B種				※無収縮モルタル					
(7.12.4) (14.2.3) (表14.2.2)									
種別		適用箇所							
A種		STK400柱、化粧幕板、目隠しフェンス、点検デッキ							
B種									
8	① 補強コンクリートブロック造	(8.2.2)							
		ブロックの種類							
		※空洞ブロック C(16)							
2	コンクリートブロック帳壁及び塀	(8.3.2) (表8.3.1)							
		ブロックの種類							
※空洞ブロック C(16)									
(8.4.2) (8.4.3~5) (表8.4.2~4)									
パネル構成		パネル種類	厚さ	幅	取付構成種別	施工箇所	耐火性能(時間)		
外壁					A種		1		
パネル構成					B種				
間仕切壁					C種	D種			
パネル構成					E種		1		
8	① 補強コンクリートブロック造	(8.2.2)							
		ブロックの種類							
		※空洞ブロック C(16)							
		(8.3.2) (表8.3.1)							
		ブロックの種類							
		※空洞ブロック C(16)							
		(8.4.2) (8.4.3~5) (表8.4.2~4)							
		パネル構成		パネル種類	厚さ	幅	取付構成種別	施工箇所	耐火性能(時間)
		外壁					A種		1
		パネル構成					B種		
間仕切壁					C種	D種			
パネル構成					E種		1		
11	④ 押出成形セメント板	(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9)							
		種別		施工箇所		種別			
		A種				A種			
		B種				B種			
		D種				D種			
		E-1		屋内(便所・浴室)					
		アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種							
		押さえ金物(※アルミ製L-30×15×2.0)							
		断熱材 ※A種押出法※リソフォーム断熱材3種b A(スキン層付き)							
		溶接金網(規格)							
伸縮調整目地(※成形伸縮目地)									
(表9.2.1)									
(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1~3)									
種別		施工箇所		種別		施工箇所			
AS-T		ポーチ屋根							
AS-J1									
AS-T1									
AS-J1									
改質アスファルトシートの種類 JIS A6013のJIS表示認証製品									
押さえ金物 ※アルミ製L-30×15×2.0									
断熱材 ※A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号又は2号(透湿係数を除くJIS A9521規格に適合するもの)									
脱気装置(種類・数量:改質アスファルト製造所の指定とする)									
(ルーフデッキ下地 断熱防水工法)									
種別		厚さ(mm)		施工箇所		保護塗料(露出)			
S-F1		※1.2				※カラー・シルバー			
S-F2		※2.0							
S-M1		※1.5				※カラー・シルバー			
S-M2		※1.5							
S-M3		※1.2							
ルーフフィンギングシートの種類 JIS A6008のJIS表示認証製品									
脱気装置(種類・数量:ルーフシート製造所の指定とする)									
絶縁シート(※発泡ポリエチレンシート)									
その他の材料									
(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)									
種別		施工箇所		種別		保護塗料(露出)			
ウレタン		X-1 パルコニー				※カラー・シルバー			
ゴム系		X-2 ひさし				※カラー・シルバー			
ゴムアス		Y-1 地下外壁							
ファルト系		Y-2 室内(便所・浴室)							
脱気装置(材質:ステンレス製又はアルミ製)									
(設置数量: 箇所)									
種別		施工箇所		種別		施工箇所			
C-U1						(表9.6.1)による			
C-UP									
4	④ 塗膜防水	(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)							
		種別		施工箇所		保護塗料(露出)			
ウレタン		X-1 パルコニー				※カラー・シルバー			
ゴム系		X-2 ひさし				※カラー・シルバー			
ゴムアス		Y-1 地下外壁							
ファルト系		Y-2 室内(便所・浴室)							
脱気装置(材質:ステンレス製又はアルミ製)									
(設置数量: 箇所)									
種別		施工箇所		種別		施工箇所			
C-U1						(表9.6.1)による			
C-UP									
5	⑤ ケイ酸質系塗布防水	(9.6.2) (9.6.3) (表9.6.2)							
		種別		施工箇所		種別			
C-U1						(表9.6.1)による			
C-UP									
6	⑥ シーリング	(9.7.2)							
		※被着体との組み合わせは(表9.7.1)による。							
アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフフィンギングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。									
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。									
10	1. 石材	(10.2.1) (表10.1.1) (表10.2.1) (表10.2.2)							
		石材の種類		品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類	
11	① セラミックタイルの品質	(11.2.2) (11.3.2)							
		JIS A 5209のJIS表示認証製品		形状寸法(mm)					
施工箇所		うわ薬		役物		色			
段鼻タイル		150 x 60				無軸施釉ありなし標準注文			
といるの見本焼き									
※行わない									
行う									
といるの試験張り									
※行わない									
行う									
(11.2.7) (11.3.7)									
あと張り工法の下地コンクリート素地面の処理									
行う(下記のいずれかとする)									
素地表面処理の工法		下地モルタル				適用箇所			
MCR工法		(15.3.5(4))による							
MCR工法		ポリマーセメントモルタル							
目荒し工法(高圧水洗)		(15.3.5(4))による							
目荒し工法(高圧水洗)		ポリマーセメントモルタル							
MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし(6.8.2(5))による。									
目荒し工法の高圧水洗は(15.3.4(3))による。									
ポリマーセメントモルタルの調合は(15.3.3(4))による。									
11	③ セメントモルタルによるタイル張り	(11.2.7) (表11.2.3)							
		内装タイルの工法		改良積上げ張り				施工箇所	
		※改良積上げ張り							
		外装タイルの工法		密着張り				施工箇所	
		※密着張り							
		ユニットタイルの工法		改良圧着張り				施工箇所	
		※マスク張り							
		接着剤によるタイル張り							
		内装タイルの工法							
		接着剤張り							
接着剤はJIS A 5548のJIS表示認証製品									
(11.3.7) (表11.3.2)									
位置		※(表11.1.1)による				図示			
目地寸法		※(表9.7.3)による				図示			
(11.1.3) (11.1.3)									
※(表11.1.2)による									
12	① 木材の表面仕上げ	(12.1.4) (表12.1.1)							
		表面仕上げの種類		適用箇所					
		機械加工		A種					
				B種					
				C種					
		手加工		H-A種					
				H-B種					
				H-C種					
		含水率 下地材(※A種・B種)							
		造作材(※A種・B種)							
(12.2.1) (表12.2.1)									
造作材の材面の品質		※A種・B種							
(12.2.1) (表12.2.2)									
造作用集成材		12.2.1.(3)による							
見付け材面		JASによる集成材		その他					
等級		※1等・2等		※JAS集成材1等同等					
単材の樹種		タモ							
単材の厚さ(mm)		10~15		10~15					
造作用単板積層材		12.2.1.(4)による							
		JASによる集成材				その他			
表面の化粧加工		有(天然木化粧加工・塗装加工)		有(天然木化粧加工・塗装加工)		無(天然木化粧加工・塗装加工)			
単材の樹種		無()		無()					
単材の厚さ(mm)									
造作用集成材		12.2.1.(5)による							
施工箇所		種別		樹種					
薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理									
適用部位() 保存処理性能区分・K2・K3・K4									
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理を行う。									
防虫処理									
(12.3.1) (12.3.2)									
薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理		適用部位() 保存処理性能区分・K2・K3・K4							
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理を行う。									
防虫処理									
(12.3.1) (12.3.2)									
薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理		適用部位() 保存処理性能区分・K2・K3・K4							
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理を行う。									
防虫処理									
(12.3.1) (12.3.2)									
13	① 長尺金属板葺	(13.2.2) (表13.2.1)							
		材種		規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考		
		カラー亜鉛鉄板		JIS G 3312	※0.4	※瓦葺	(心木なし)		
		※片面塗装							
		ガルバリウム鋼板		JIS G 3321	※0.4		AL55%		
		※無塗装							
		※カラーガルバリウム鋼板		JIS G 3322	※0.4	嵌合式	AL55%		
		※カラー							
		※監督員の承諾する業者とする。							
		JIS A 6514のJIS表示認証製品							
材種		規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能			
カラー亜鉛鉄板		JIS G 3312	※0.8	0920	有	有			
(屋根用規格品)						(30分耐火)			
カラーガルバリウム鋼板		JIS G 3322		1525	有	有			
(屋根用規格品)						(30分耐火)			
ポリ塩化ビニル被覆		JIS K 6744		1730	無	無			
(SGのA種規格品)									
形式(重ね形・はげ締め形)									
軒先面戸()									
(13.4.2)									
JIS A 5208の表示認証製品		凍害試験							
種類		大きさ	産地	役物瓦の種類	凍害試験				
					行う				
といるの材質									
(13.5.2) (13.5.3) (表13.5.1) (表13.5.2) (表13.5.4)									
材種		防露							
配管用鋼管(SGP)		※(表13.5.3)により行う							
硬質塩化ビニル管(VP)									
鋼管製といるの防露巻き工法									
(※(表13.5.4)による)									
※第一樹まで接続									
樋受石(材質・規格)									
(表13.5.1)									
14	① 金	(14.1.3)							
		引抜き耐力の確認試験							
行う									
行わない									
14	② ステンレス表面処理	(14.2.1) (表14.2.1)							
		種類		施工箇所		色合			
		B-1種							
		-1種							
		(14.2.3) (表14.2.2)							
		種類		施工箇所					
		A種							
		溶融亜鉛めっきの付着量試験							
		電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験							
		行わない							
行う									
野縁などの種類									
屋内 ※19型・25型(室名:)									
屋外 ※19型 ※25型									
(14.4.2) (表14.4.1)									
耐震性を考慮した補強									
※行わない									
耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外軒天井等)									
※行わない									
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。									
スタッド、ランナーなどの種類									
※(表14.5.1)による									
出入口及びこれに準ずる開口部の補強									
※(表14.5.4(5))による									
(14.5.3) (表14.5.1)									
種類		表面処理							
ステンレスSUS304		HL仕上程度							
鋼製		亜鉛めっきの場合表14.2.2のC種							
ステンレスSUS304		外部HL仕上程度、内部No.2B仕上程度							
鋼製		亜鉛めっきの場合表14.2.2のC種							
※JIS A 6519のJIS表示認証製品									
15	① モルタル塗り	(15.3.2)							
		モルタル		現場調合材料		既調合材料			
既製目地材									
設ける(施工箇所: 形状: 図示による)									
設けない									
床目地									
設ける(押し目地工法)・設けない									
(15.3.5)									
2	セルフレベリング材	(15.5.2~3) (表15.5.1)							
		種別							

16 建 具 工 事	② アルミニウム 製建具	防火戸との連動 ・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による) ・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 ※ 適用しない (16.1.3)	16 建 具 工 事	⑥ 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用箇所は図示による) ・ 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない (16.5.2~4)(表16.5.1)
		見本の作成等 製 作 ※ 行わない 仮 組 ※ 行わない ・ 行う(建具表による) (16.1.4)			戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板
		防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する(建具表による) (16.1.6)			標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 (16.5.6)
		外部に面する建具性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)			簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用箇所は図示とする) ・ 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない (16.6.2~5)
		種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓 で複層ガラスを使用する時 で性能が確保できない場合は、 100)			外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6
		種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 100			表面処理 ※ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ
		※ 適用箇所は図示による (表16.2.2)			建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 棧 鍍板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ぶすま 工法(・ 在来型 ・ チップ型)
		※ 適用箇所は図示による (表14.2.1)			金物の種類 型 式 製造所
		表面処理 外部に面する建具 ※ BB-1種 内部 建具 ※ BC-1種 ・ BC-2種			シリンダー箱錠 本締り付きモノロック レバーハンドル レバー長さ L=130程度 錠前類と同一製造所 モノロック シリンダー本締り錠 クレモン錠 ドアクローザー フロアヒンジ ピンジクローザー ビボット形 ビボットヒンジ JIS表示認証製品
		BB-2種、BC-2種の場合 ・ ブロンズカラー(※標準色 ・ 濃色) ・ ステンカラー			戸あたり あおり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、 シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。
		防音ドアセット、防音サッシ 適用する場合の遮音性能等級 ※ 適用する(適用範囲は図示による) ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3			マスターキーの製作 ・ 要 ・ 不要(既存マスターキーで施錠可能とする。) (16.8.4)
		断熱ドアセット、断熱サッシ 適用する場合の断熱性能等級 ※ 適用する(適用範囲は図示による) ・ H-2 ・ H-3			引き戸用検出装置の種類 ・ 光線(反射)センサー ・ タッチスイッチ (16.9.3)(表16.9.4) ※補助センサーを設置する(補助光電センサー)
		耐震ドアセット、耐震サッシ 適用する場合の面内変形 追従性の等級 ※ 適用する(適用範囲は図示による) ・ D-1 ・ D-2			凍結防止装置 全半開装置 ・ 要 ・ 設ける(半開幅=) ・ 不要 ・ 設けない (16.11.2)(表16.11.1)
		使用方法による区分 ・ 防虫網(線径0.25mm 網目16~18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステン(SUS 316) ※合成樹脂 (16.2.3)			スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3) ※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
		③ 網戸			10. 自動ドア 開閉装置
		4. 樹脂製建具			11. 重量 シャッター
5. 鋼製建具	12. 軽量 シャッター				
	13. オーバー ヘッドドア				

16 建 具 工 事	④ ガラス	(16.14.2)(16.14.3)	16 建 具 工 事	④ ガラス	外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収ガラス 性能 ・ 1種 ・ 2種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性 日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へし性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性 ・ A類 ・ B類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない
		ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガasket(可動アルミ製建具及び樹脂製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラス溝の大きさ ・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。 (16.14.5)			
		表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ) 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 80 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 125			
		品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金 属 枠 耐火性能 ・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス ・ 無 ・ 有 ・ グレー ・ アルミニウム製(表面処理) ・ ステンレス製(表面仕上)			
		17. ① カーテンウォールの種類 ② カーテンウォールの性能等 (17.1.2~3)(17.2.2~3)(17.3.2~3)			
		材 種 アルミ 耐風圧性 S-5 耐震性 水密性 W-4 気密性 A-3 耐火性 耐温度差性 遮音性 断熱性 材質等性能の確認方法 適切な資料により、監督員の承諾を受ける 層間変異追従性 シーリング材 構造ガasket ガラス 3+3 断熱材 摩擦低減材・取付金物 カーテンウォール製作所の仕様による 表面仕上げ B-1			
		18. ① 一般事項 ② 素地ごしらえ (18.2.2~7)			
		③ 錆止め 塗料塗り (18.3.2)			
		④ 合成調合樹脂 ペイント塗り(SOP) (18.4.2)(18.4.3~5)			
		⑤ クリアラック 塗り(CL) (18.5.2)			
		19. ① ビニル床シート ② 化粧ビニル床シート ③ ビニル床タイル ④ ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 ⑤ 視覚障害者用床タイル (19.2.2)(19.2.3)			
		⑥ ビニル幅木 ⑦ カーペット敷き (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)			
		⑧ 合成樹脂塗床 (19.4.2)			

18 塗 装 工 事	6. アクリル樹脂 非水分散形塗 料塗り(屋内) (NAD) 7. 耐候性塗料 塗り(屋外) (DP) 8. つや有合成樹脂 エマルジョン 塗り(EP-G) 9. 合成樹脂 エマルジョン 塗り(EP) 10. 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T) 11. ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) 12. オイルステイン 塗り(OS) 13. 木材保護塗料 塗り(WP)	コンクリート・モルタル面 ・ A種 ※B種 (18.6.2)	18 塗 装 工 事	6. アクリル樹脂 非水分散形塗 料塗り(屋内) (NAD) 7. 耐候性塗料 塗り(屋外) (DP) 8. つや有合成樹脂 エマルジョン 塗り(EP-G) 9. 合成樹脂 エマルジョン 塗り(EP) 10. 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T) 11. ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) 12. オイルステイン 塗り(OS) 13. 木材保護塗料 塗り(WP)	上塗りの等級 鉄鋼面 ※1級 垂鉛めっき鋼面 ※1級 コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 ※A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.2~4)(表18.7.1~3)
		コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他 のボード面 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ※B種 (18.8.2~4)			
		コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他 のボード面 ・ A種 ※B種 (18.9.2)			
		コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他 のボード面(屋内) ・ A種 ※B種 (18.10.2)			
		木部 ・ A種 ※B種 (18.11.2)			
		木部 ・ 水性 ・ 油性 (18.12.2)			
		木部(屋外) ・ A種 ※B種 (18.13.2)			
		JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)			
		種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ※FS ※無地 ※2.0 ・ 帯電防止 ※熱溶接 ・ 発泡層のあるもの ※HS ※2.5 ・ 耐動荷重 ※突付け 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法			
		JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの 種類の記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 FS ※ 木目調 ※2.0 ・ 帯電防止 ※熱溶接 ・ 石目調 ※2.5 ・ 耐動荷重 ※突付け 上記以外はすべてビニル床シートと同じ 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法			
		JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)			
		種 類 記号 寸法 量さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・ 300×300 ・ 450×450 ・ 2.0 ・ 耐動荷重			
		帯電防止 ・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下 ・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ オーム未満 ・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10 ⁷ オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。			
		材 質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 300×300			
		材 種 高 さ(mm) ※60 厚 さ(mm) ※1.5 ・ 軟質 ・ 硬質 ・ 75 ・ 100 ・ 2.0			
		・ タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)			
施工箇所 バイル 形状 長さ(mm) 工 法 品 質 帯電性 ※ 全面接着工法 ・ グリッパ工法 (19.3.2) 品質は参考商品名である ・ タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)					
施工箇所 種 類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・ 第2種 ・ カットバイル ・ 製造所の 仕様による					
材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19.4.3)					

青山複合施設建設工事(建築主体工事)				
No.	A-03	伊賀市阿保地内		NS
		建築工事特記仕様書No3		m/m
日程	設			係 員
令和2年	計			
11月12日				

19 内 装 工 事	9. フローリング張り	・単層フローリング (19. 5. 2~3) (19. 5. 5~6) (表19. 5. 3~4)	種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
		・フローリングボード1等	※なら	※15幅75 ・長さ400以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ワニス塗り ・オイルステ ン塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品	
		・フローリングブロック1等	※なら	※15 (303×303)	・接着工法		
		・複合フローリング					
		種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
		・複合フローリング	※なら	・A種 ・B種 ※C種	・行う ※行わ ない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ワニス塗り ・オイルステ ン塗りの上 ワックス塗り ・生地のまま ワックス塗り ・既塗装品
		・大型積層フローリング	・なら	・	・行う ・行わ ない	・特殊張り 工法 (体育館床)	・既塗装品
		畳の種類	・A種 ・B種 ・C種	・B種 (19. 6. 2) (表19. 6. 1)			
		種類又は記号	種別など	厚さ(mm)	規格番号		
		けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK		壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)		
		グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B	ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品	天井 ・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301 (32K)		
		ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR	※)内部用 ・軒天用	普通 ・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	JIS A 6301		
		せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R		壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901		
		天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)					

20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	1. フリーアクセスフロア	・グラスウール ※24K品 天井裏 ※100 JIS表示認証製品	保温材	※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム (t0.15)張り (重ね100)			
		施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
			・溝工法 (置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・帯電防止床 ・ タイル
			・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)				・タイル
		行政機能	・支柱分離型 パネル工法 (支柱調整式工法)	200			・タイル
		ボーダー部 ※一般部分の仕様準ずる	床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。配線取出し用切り欠きパネルは1枚/m ² 以上とする。空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※あり(※固定式 施工箇所は図示)				
		構造形式による種類	スタッド式 (内蔵)				
		構成基材	・アルミニウム合金系 ・ スチール系				
		パネル表面材	焼付塗装鋼板 (標準色) t=0.5以上				
		遮音性	3.6dB/500Hz以上				
		防火性能	不燃				
		パネルの操作方法による種類	規定しない				
		パネル表面材の材質及び仕上げ	製造所仕様の化粧鋼板 (標準色) t=0.5以上				
		パネル圧接装置の操作方法	ハンドル回転式又はプッシュ式				
遮音性	-3.6dB/500Hz以上						
防火性能	不燃						
取り付け用あと施工アンカー	材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による						
表面材	メラミン樹脂系化粧板 (標準色)						
ステンレス製	H=60						
アルミ製	厚4.0中心吊りアール形アルミ製エッジ、帽子掛け戸当たり付き						
材種	ステンレス (SUS304)						
ビニールタイヤ入り (幅約35mm)							
取り付け方法	※ 接着工法						
埋込み工法							
ステンレスF.B (SUS304) t5~6×H12	(床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)						
・黒板	区別						
種類	※焼き付け						
色	※鋼製黒板						
・ホワイトボード	※緑						
耐湿鏡 t=5	ステンレスフレーム付き						
室名札	サイン計画による						
煙突ライニング材	煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ・400℃ ・600℃						
形式	※) 横型ブラインド						
スラット	※) アルミニウム合金						
開閉方式	※) ギヤ式 ・コード式						
スラットの成形(mm)	※) 25						
操作方式	・ スプリング式 ※) チェーン式 ・電動式						
スクリーンの生地	無地で製造所仕様の標準タイプ						
その他の材料	※) 製造所の仕様による						
名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置				
	※箱ひだ、つまみひだ	シングル片引き	※手引 ・ひも引				
		・ダブル・引分け	・電動				
	※箱ひだ、つまみひだ	シングル片引き	※手引 ・ひも引				
		・ダブル・引分け	・電動				
材質	※ ステンレス製						
形状	※ アルミニウム製						
表面処理	※ BC-1種						
施工箇所	材種	寸法	形式				
天井	※) アルミニウム製	※) 450×450	※) 目地タイプ				
		・ 600×600	・ 額縁タイプ				
床	※) アルミニウム製	・ 450×450	※) 一般形貼物用				
		※) 600×600	・ 一般形充填用				

21 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	17. くつふきマット	材種	種	受わく	
		※ 塩化ビニル製又は塩化ゴム製	・ 硬質アルミニウム合金製	※) ステンレス製 (SUS 304)	・ 硬質アルミニウム合金製
		ステンレス製 (SUS 304)			
		※) B.L.認定商品 (システム ※ I型)	トラップ付		
		※) B.L.認定商品 (システム ※ I型)	バックガード (※有 ・無)		
		※) B.L.認定商品 (システム ※ I型)			
		※) 1段	・ 2段		
		形式	※ ハンドル式		
		材質	※ アルミニウム合金		
		操作方式	※ テーパー式		
		※) 既製品	アルミニウム製枠	表面発泡シート張り	
		屋外	※ コンクリート製	磁気質タイル (※ 100角 ・ 150角)	
		材種	※ アルミニウム合金製		
		高さ	※ 天井まで		
市販品	フック数 (本)	・ 30	・ 40		
		・ 60	・ 100		
鋼製	既製品				
アルミ製	既製品	ワイヤ、フック等の吊り金物(4t/㎡) 共			
図示					
11. グレーチング	※) 鋼製				
12. 鋼鉄製マンホールふた	簡易密閉式とし、表面には用途別の標準文字付きとする。				
13. 縁石及び側溝	地業の材料	※再生クラッシュラン			
14. 埋戻し土	※B種				
15. 再生材	※) 使用する				
16. 盛土材料	路床の盛土材料	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種
17. フィルター層及び凍上抑制層用材料	フィルター層	※) 砂			
18. 路床安定処理	路床安定処理添加材料	※) 普通ポルトランドセメント			
19. 砂の粒度試験	※) 行わない				
20. 路床土の支持力比(CBR)試験	※) 行わない				
21. 路床の締固め度の試験	※) 行わない				
22. 路盤材料	※) 再生クラッシュラン RC-40 (透水性舗装の場合を除く)				
23. 路盤の締固め度の試験	※) 行わない				
24. アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種類	表層	※) 再生密粒度アスファルト混合物 (13)		
			・ 密粒度アスファルト混合物 (13)		
			・ 細粒度アスファルト混合物 (13)		
			※) 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)		
			・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)		
			舗装の厚さは図示による		
			舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする		
			アスファルト混合物等の抽出試験	※) 行わない	・ 行う
			早強ポルトランドセメント	・ 使用する	※) 使用しない
			溶接金網	※) あり	・ なし
			種別	部位	厚さ(mm)
			※) アスファルト混合物	・ 車道部	・ 歩道部
			・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部	・ 歩道部
			・ ニート工法	・ 車道部	・ 歩道部
			・ 塗布工法	・ 車道部	・ 歩道部
			着色骨材・自然石 ()		

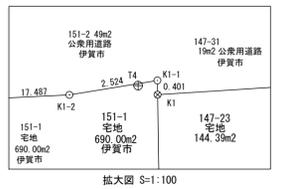
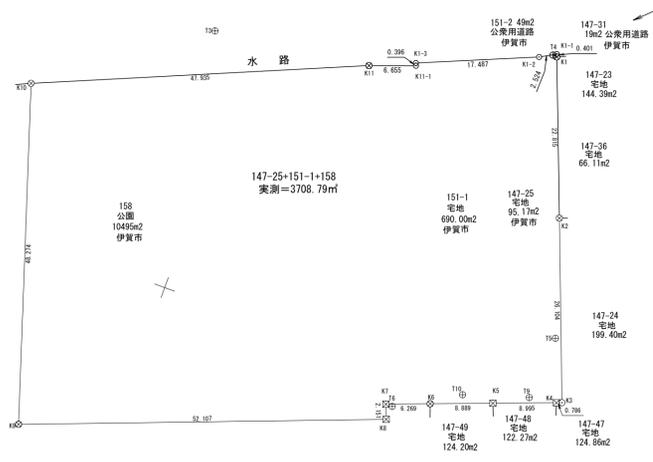
25 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	13. 透水性アスファルト舗装	構成	・ 図示	(22. 7. 2) (22. 7. 6)		
		開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	※) 行わない	・ 行う		
		舗装の平坦性は著しい不陸がないものとする				
		・ インターロッキングブロック舗装		(22. 8. 2) (22. 8. 4) (表22. 8. 1)		
		・ コンクリート平板舗装	※) 砂目地			
		・ 舗石舗装基層	※) コンクリート版			
		※) A種 (通路) ※) B種 (建物周囲その他)		(22. 9. 2)		
		※) JISK5665 3種1号				
		23. 植栽地の確認等	※) 排水性及び土壌硬度の確認	(23. 1. 3)		
		24. 植栽基盤	※) 水素イオン濃度指数 (pH) ・電気伝導度 (EC) の試験	(23. 2. 2) (表23. 2. 2)		
		種別	樹種	等	植栽基盤の適用	
		※) A種	・ 樹木		・ 適用する	※) 適用しない
		※) B種	・ 芝	・ 地被類木	※) 適用する	・ 適用しない
		※) C種				
※) D種						
※) 現場発生の良質土	・ 客土		(23. 2. 3)			
・ パーク堆肥 (50L/m ²)	・ 下水汚泥コンポスト (10L/m ²)		(23. 2. 3)			
種別	※) コウライシバ	・ ノシバ	(23. 4. 2)			
工法	土壌層厚さ	排水層				
・ 屋上緑化システム	・ 6cm	・ 適用する				
	・ 15cm	材質 (・ 軽量骨材				
	・ 30cm	・ 板状成形品)				
		・ 適用しない				
・ 屋上緑化軽量システム	※) システム製造所の仕様による					
1. 一般事項	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。))の新築住宅の準拠して行う。					
2. 測定対象化学物質	測定対象化学物質は、下記4. 1) 2) の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。					
3. 測定方法	1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。					
	2) トルエン換算で2.0μg/m ³ 未満のピークは測定の対象としない。					
	3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。					
表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値						
化学物質名	室内濃度指針値					
①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm				
②トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm				
③キシレン	200 μg/m ³	0.05 ppm				
④エチルベンゼン	3,800 μg/m ³	0.88 ppm				
⑤スチレン	220 μg/m ³	0.05 ppm				
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm				
⑦テトラデカン	330 μg/m ³	0.04 ppm				
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm				
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m ³	0.007 ppm				
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³	0.0015 ppm				
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³	0.0063 ppm				
⑫クロルピリホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm				
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm				
⑭フェノカルブ	33 μg/m ³	0.0038 ppm				
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m ³	(暫定目標値)				
1. 測定する室	1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等					
	・ 室名:					
	2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室					
	・ 室名:					
	・ 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)					
5. 測定結果等報告書の提出	次の事項を記載した報告書を2部提出する。					
	1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)					
	2) 試料採取時の状況 (気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数)					
	3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器					
	4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し					
6. その他	表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。					
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)						
№	伊賀市阿保地区	NS				
A-04	建築工事特記仕様書No4	m/m				
日付	設計					
令和2年	11月12日					

工事区分表

項目		建築	電気	機械	別途	備考	項目		建築	電気	機械	別途	備考	項目		建築	電気	機械	別途	備考							
共通																											
仕上げ関係							屋外排水設備・外構							電気配線配管													
共通	工事用電力引込工事					水道は既設利用	1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強						1. 雨水	屋外雨水排水設備						機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地線共)					2次側	
	工事用電力・上水道料金・仮設トイレ屎尿くみ取り料金 (引込負担金・基本料金を含む)					使用工事別		補強を要しないボードの切り込み							樹及び樹ふた											1次側	
	本設電力引込工事					引込負担金は別途		開口部の墨出し																			
	本設上水引込工事					水道は既設利用																					
	本設受電後引渡までの電力基本料金					試運転も含む	2. 既製開仕切り	切り込み及び補強						2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備												
	本設後引渡までの上水基本料金					試運転も含む		位置ボックス							樹及び樹ふた												
	本設受電後引渡までの電力・上水道使用料金					各工事別 試運転も含む									化粧マンホール上ふたの表面仕上げ												
	電話本設引込工事						3. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用																			
	工事上の各種申請届出費用					各工事別																					
								4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ						3. 植栽	植栽											
								ウエザーカーバー、ベントキャップ							客土												
								換気扇																			
躯体関係																											
1. 鉄筋コンクリート造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け													6. その他	家具工事 (設計図に記載のもの)												
	補強を要する型枠材及び取付け						5. 湯沸室まわり (給湯サニスを含む)	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台・電気温水器 (建築詳細図に記載のもの)							サイン工事 (設計図に記載のもの)												
	補強を要しない型枠材及び取付け					各工事別		フード (建築詳細図に記載のもの)							ブラインド・カーテン												
	貫通孔・開口部の墨出し					各工事別		同上ダクト工事																			
	貫通孔・開口部の補強							同上一次側電気配管配線、スイッチ																			
	スリーブ・型枠の穴埋め					各工事別		同上水栓・給排水管接続																			
2. 鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造のはり貫通孔	S.SRC 造貫通鋼管スリーブ・補強																										
	使用されたスリーブの穴埋め					各工事別	6. 便所まわり	洗面カウンター																			
	予備スリーブの穴埋め					各工事別		鏡 (規格寸法のみ)																			
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの							衛生器具																			
	室内の基礎 (建築設計図に記入のないもの)							身障者手すり																			
	屋外・屋上の基礎						7. フリーアクセスフロア	コンセント																			
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの							床パネルの切り込み加工																			
	機器取り付け用アンカー・架台					建築設計図にあるものは建築工事																					
4. その他	トラフ・ビット類 (ふたを含む)						8. その他	点検口 (天井・床下)																			
	湧水・汚水ビット・RO造各種水栓							排煙口等の天井仕上げ材の取付け																			
	同上用防水・マンホール・タラップ式							自動閉鎖装置を取りつけるシャッターの切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ																			
	EOP 板の壁開口・補強							消火器BOX設置工事																			
									消火器																		
									自動扉・電動シャッターへの電源供給																		
									自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管配線工事																		



伊賀市阿保字椋ヶ森



点名	X	Y
T1	500.000	500.000
T2	507.280	541.203
T3	536.571	594.287
T4	549.725	640.442
T5	512.207	654.480
T6	495.238	636.044
T7	473.353	571.763
T8	453.134	521.043
T9	503.060	653.867
T10	500.200	644.857

点名	X	Y
K1	549.676	641.049
K1-1	550.051	640.906
K1-2	548.816	638.704
K1-3	542.042	622.582
K2	528.363	649.193
K3	503.961	658.466
K4	503.688	657.728
K5	500.544	649.300
K6	497.433	640.973
K7	495.242	635.099
K8	493.235	635.874
K9	474.744	587.158
K10	520.689	572.342
K11	539.428	616.463
K11-1	541.673	622.728

座標求積表

地番	147-25-151-1-158				
測点	X _n	Y _n	X _{n+1} -X _{n-1}	Y _n	距離
K10	520.689	572.342	37021.369928		47.935
K11	539.428	616.463	12935.859592		6.555
K11-1	541.673	622.728	1627.910992		0.395
K1-3	542.042	622.582	4447.103226		17.487
K1-2	548.816	638.704	5115.380336		2.524
K1-1	550.051	640.906	551.179160		0.401
K1	549.676	641.049	-13903.070712		22.815
K2	528.363	649.193	-29677.857995		26.104
K3	503.961	658.466	-16247.648550		0.786
K4	503.688	657.728	-2247.456576		8.995
K5	500.544	649.300	-4561.371500		8.869
K6	497.433	640.973	-3398.430446		6.269
K7	495.242	635.099	-2666.145602		2.151
K8	493.235	635.874	-13034.145252		52.107
K9	474.744	587.158	16119.835732		48.274
積面積					7417.59607m ²
面積					3708.790335m ²
地積					3708.79m ²
坪数					1121.9114

- ◎ 基準点
- 計算点
- ◇ 境界点
- ◎ プラスチック杭

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

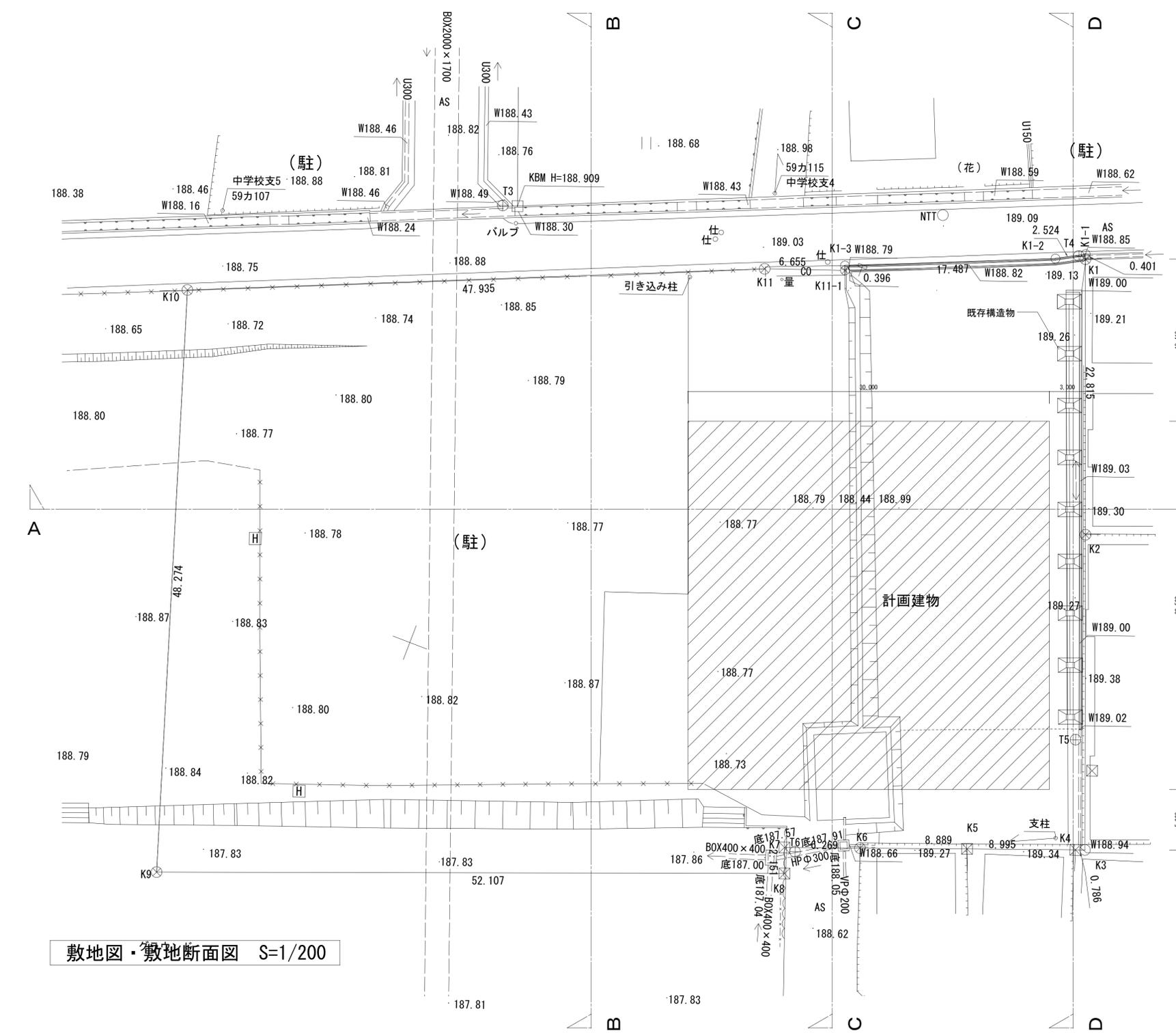
№ A-07 伊賀市阿保地内 敷地求積図

日付: 令和2年11月12日

図尺: A1版 1/500, 1/100
A3版 1/1000, 1/200

m/m

検査員



敷地図・敷地断面図 S=1/200

B-B断面図

C-C断面図

D-D断面図

道路境界線

道路境界線

道路境界線

DL=185.00

DL=185.00

DL=185.00

隣地境界線

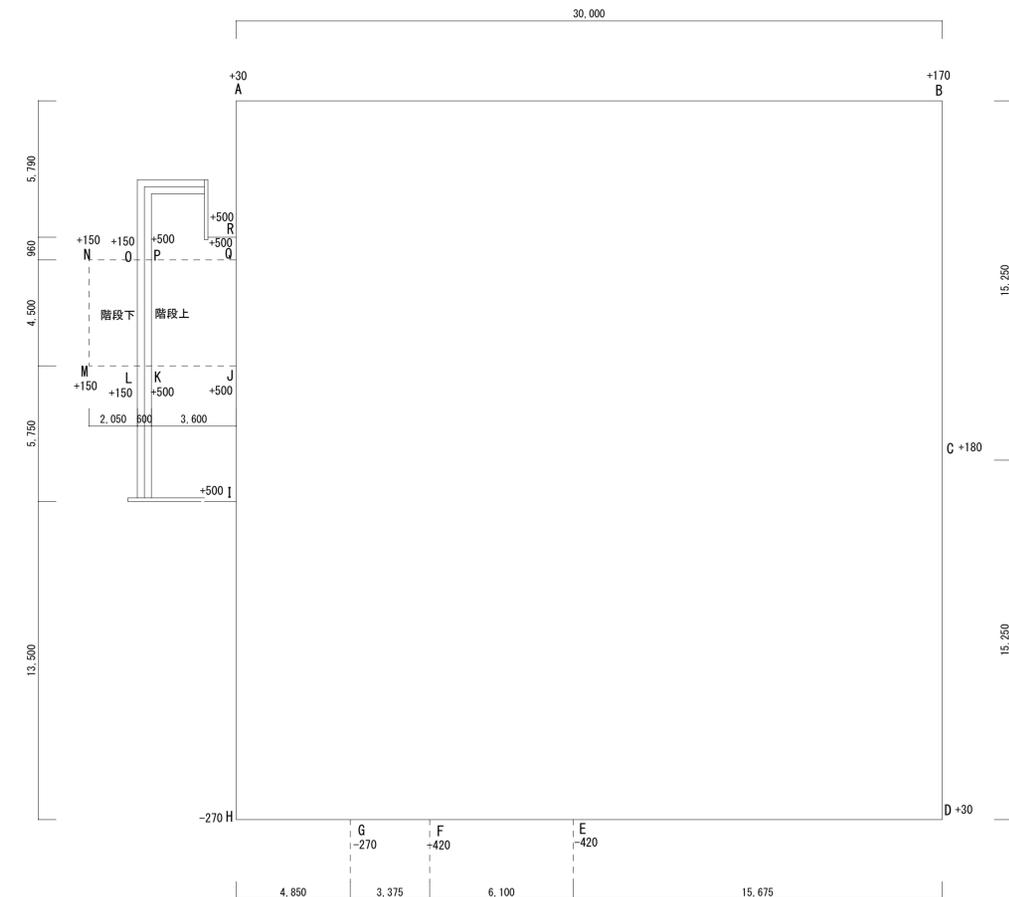
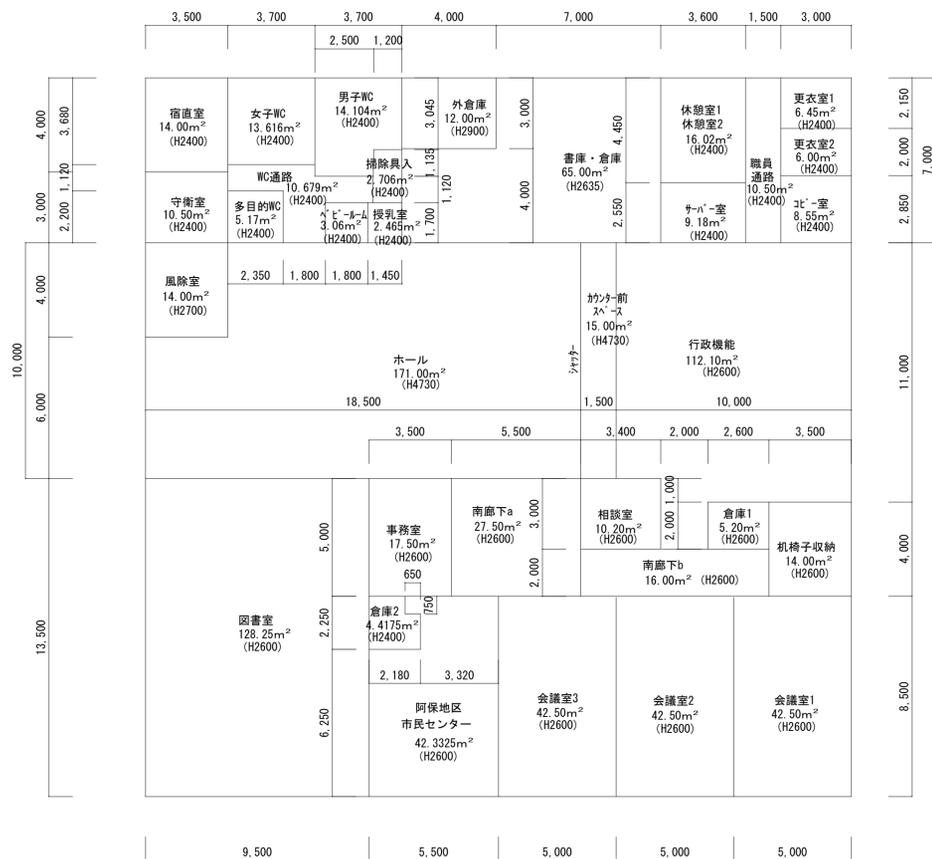
隣地境界線

隣地境界線

A-A断面図

DL=185.00

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/200	
A-08	敷地現況図	A3版1/400	
日付		m/m	係員
令和2年11月12日			



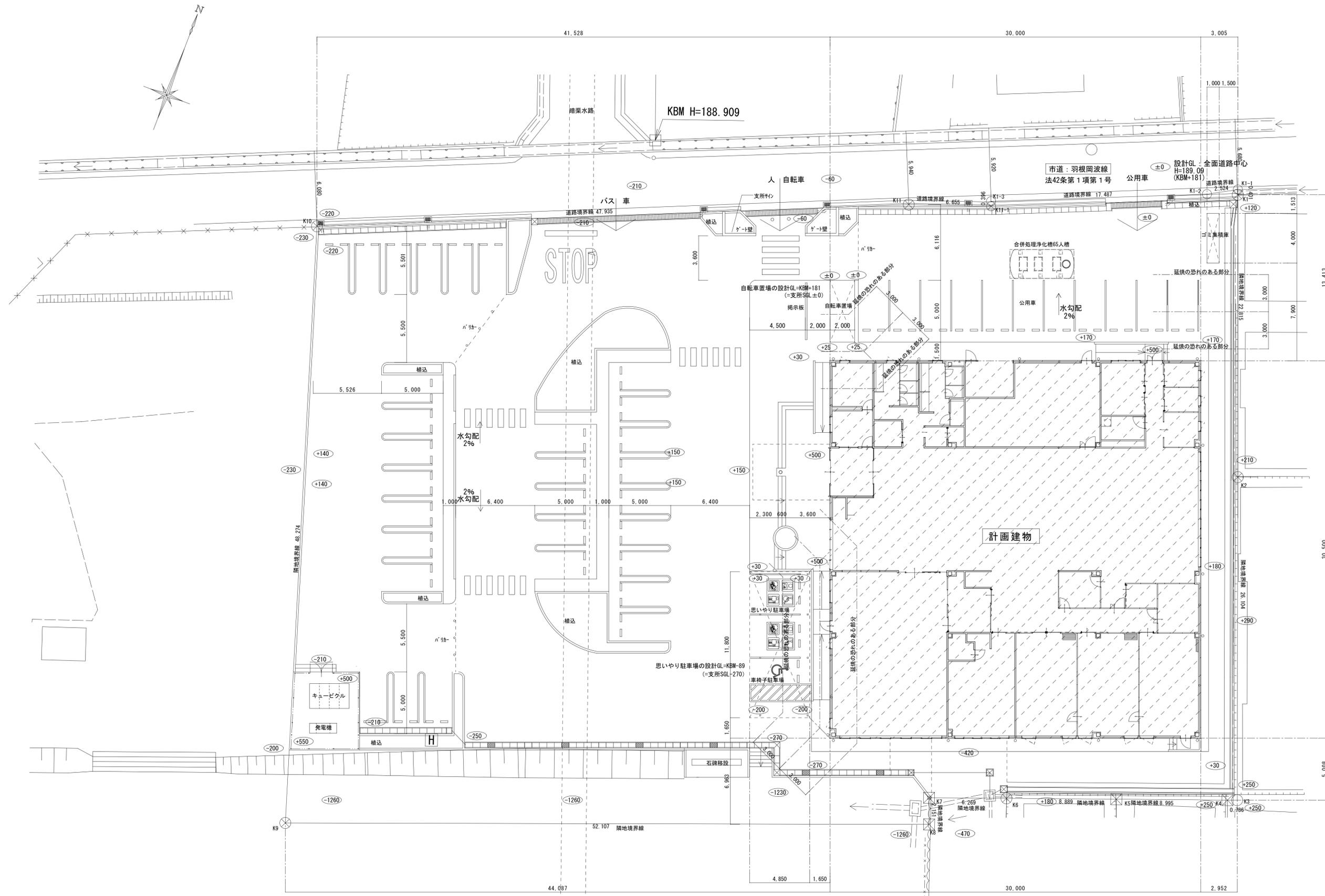
室内面積表

区分	㎡	室名	㎡	備考
行政機能	190.02	行政機能	112.10	地域包括支援センターとも
		カンナ前スペース	15.00	
		相談室	10.20	
		倉庫1	5.20	
		更衣室1	6.45	
		更衣室2	6.00	
		休憩室1,2	16.02	湯沸かしとも
		コピー室	8.55	
		職員通路	10.50	
		機械室倉庫書庫	86.18	書庫倉庫
図書室	145.75	図書室	128.25	
		事務室	17.50	
		事務室	42.3325	
阿保地区市民センター	46.75	倉庫2	4.4175	
		倉庫2	4.4175	
会議室	141.50	会議室1	42.50	
		会議室2	42.50	
		会議室3	42.50	
		机椅子収納	14.00	
トイレ	51.80	男子WC	14.104	
		女子WC	13.616	
		多目的WC	5.17	
		ペディールム	3.06	
		授乳室	2.465	
		掃除具入	2.706	
		WC通路	10.679	
		宿直守衛室	24.50	宿直室
ホールその他	228.50	守衛室	10.50	
		風除室	14.00	
		ホール	171.00	多目的スペースとも
		南廊下a	27.50	
		南廊下b	16.00	
合計	915.00		915.00	

平均地盤面計算表

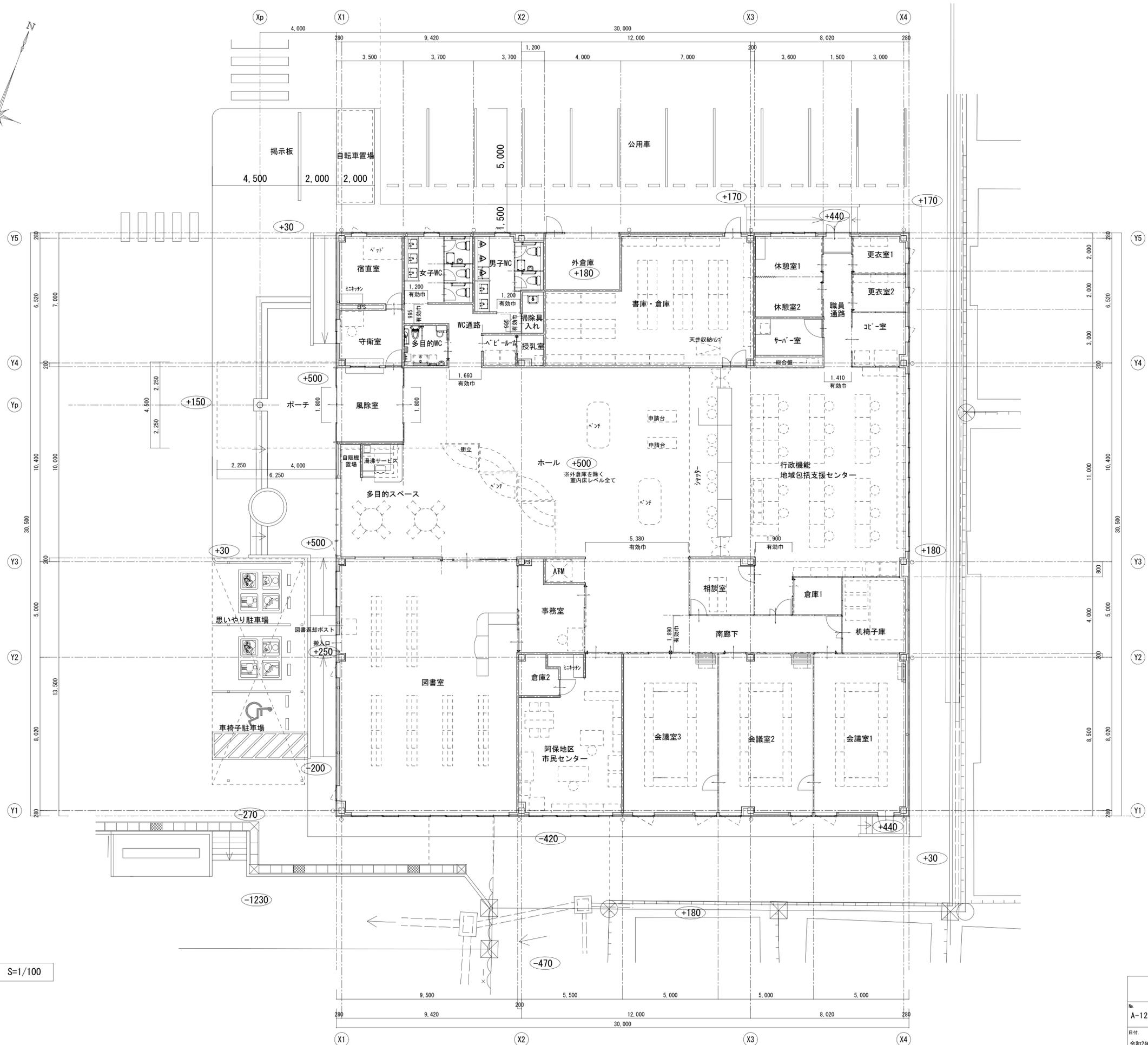
高さ(H)×距離(L) = (①n1+②n2) × ②
 平均地盤面 = ③合計/②合計/2

ポイント	①高さ(H)	②距離(L)	③高さ(H)×距離(L)	平均地盤
A	0.030	30.000	6.000000	0.082
B	0.170	15.250	5.337500	
C	0.180	15.250	3.202500	
D	0.030	15.675	-6.113250	
E	-0.420	6.100	-5.124000	
F	-0.420	3.375	-2.328750	
G	-0.270	4.850	-2.619000	
H	-0.270	13.500	3.105000	
I	0.500	5.750	5.750000	
J	0.500	3.600	3.600000	
K	0.500	0.600	0.390000	
L	0.150	2.050	0.615000	
M	0.150	4.500	1.350000	
N	0.150	2.050	0.615000	
O	0.150	0.600	0.390000	
P	0.500	3.600	3.600000	
Q	0.500	0.960	0.960000	
R	0.500	5.790	3.068700	
合計		133.500	21.7987000	



配置図 S-1/150

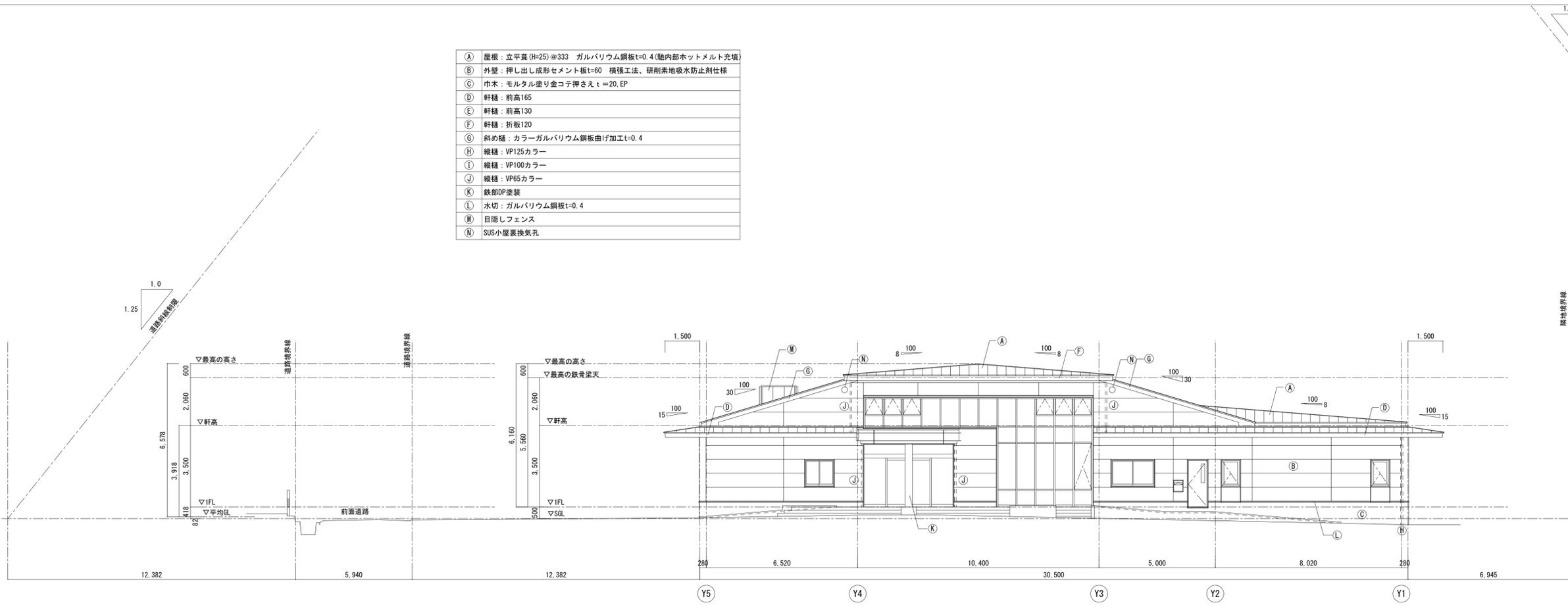
青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区	A1版1/150	
A-10	配置図	A3版1/300	
日付		係員	
令和2年 11月12日			



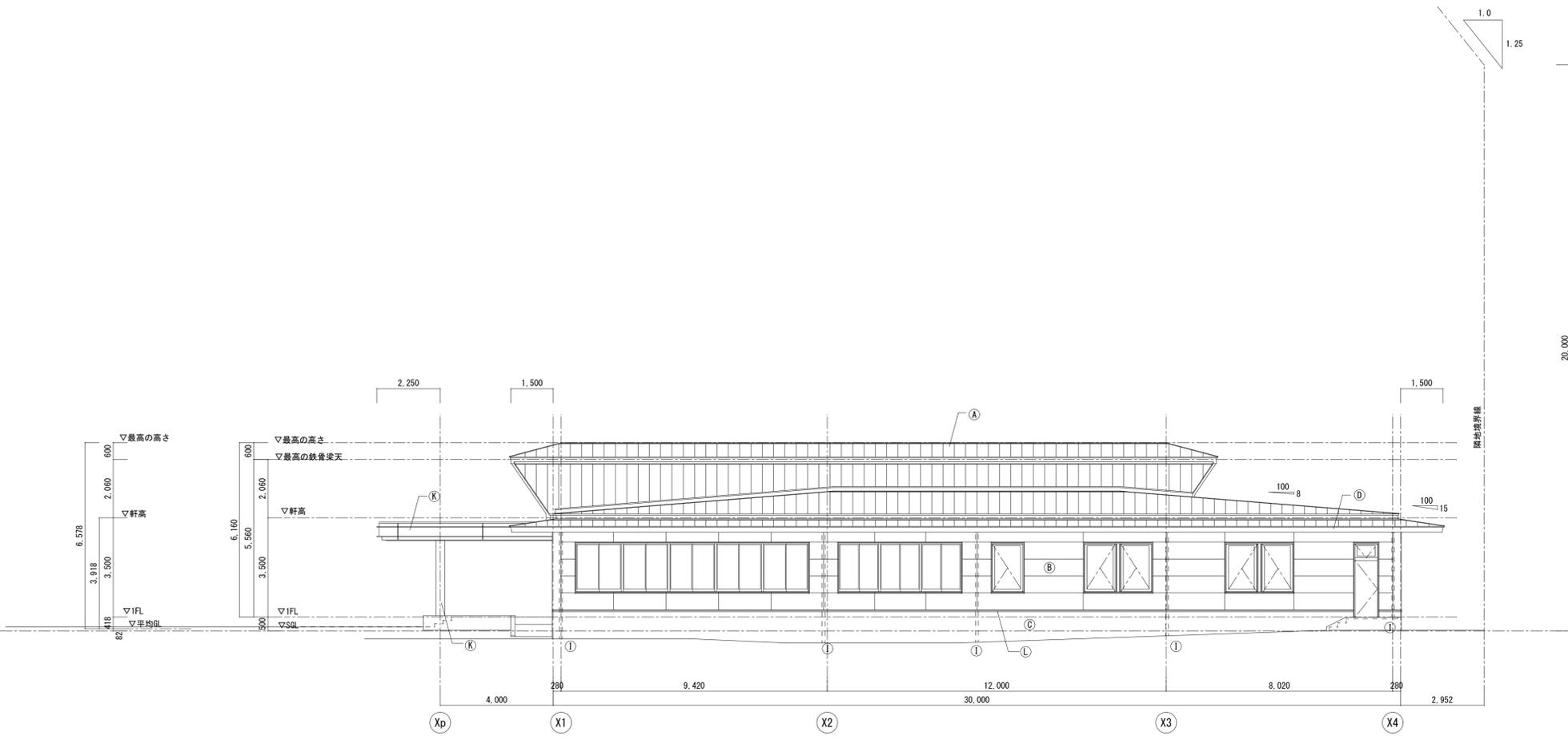
平面図 S=1/100

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100	
A-12	平面図	A3版1/200	
日付		m ² /m	係員
令和2年 11月12日			

(A)	屋根：立平葺 (H=25) @333 ガルバリウム鋼板t=0.4 (軸内部ホットメルト充填)
(B)	外壁：押し出し成形セメント板t=60 横張工法、研削素地吸水防止剤仕様
(C)	巾木：モルタル塗り金コテ押さえ t=20, EP
(D)	軒樋：前高165
(E)	軒樋：前高130
(F)	軒樋：折板120
(G)	斜め樋：カラーガルバリウム鋼板曲げ加工t=0.4
(H)	縦樋：VP125カラー
(I)	縦樋：VP100カラー
(J)	縦樋：VP65カラー
(K)	鉄部DP塗装
(L)	水切：ガルバリウム鋼板t=0.4
(M)	目隠しフェンス
(N)	SUS小屋裏換気孔



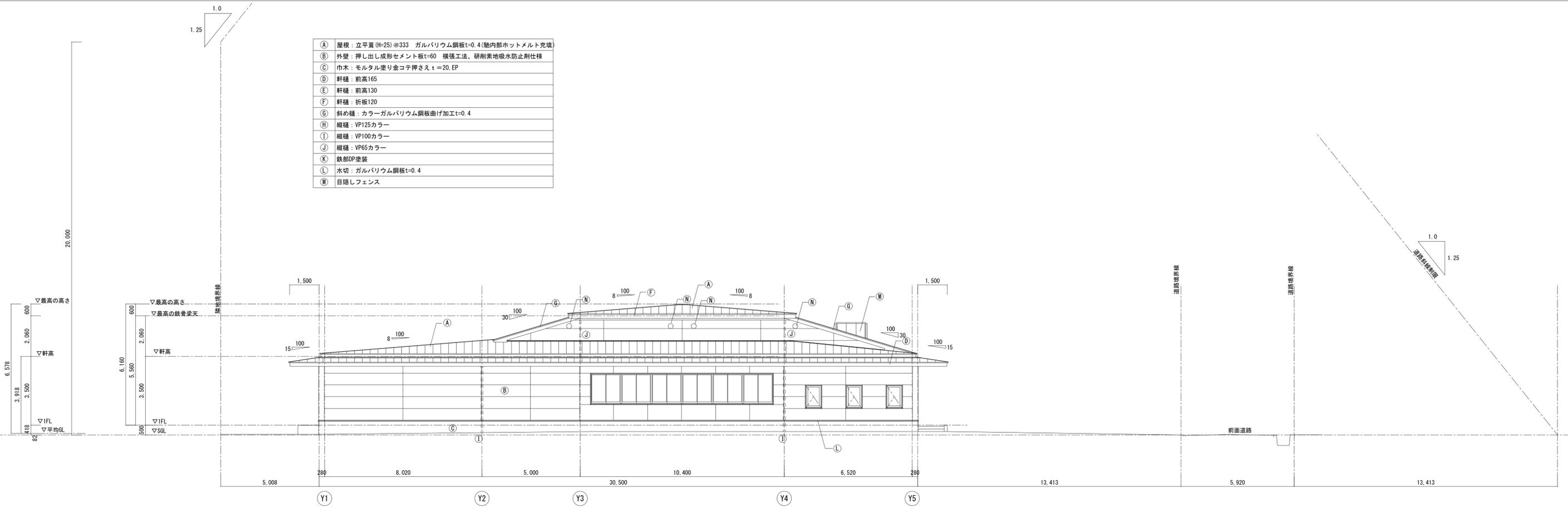
西立面図 S=1/100



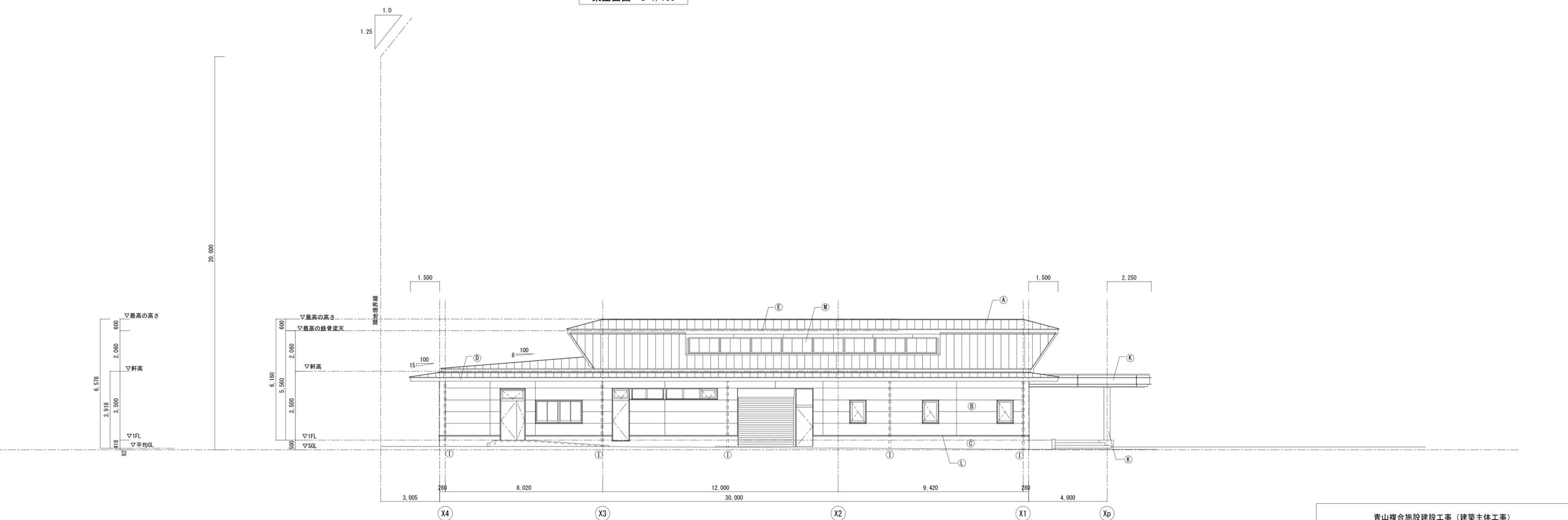
南立面図 S=1/100

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	A-13	伊賀市阿保地内 立面図 No1	A1版 1/100 A3版 1/200 m/m
日付	令和2年 11月12日	設計	係員

- (A) 屋根：立平葺 (H=25) @333 ガルバリウム鋼板t=0.4 (軸内部ホットメルト充填)
- (B) 外壁：押し出し成形セメント板t=60 横張工法、研削着地吸水性防止剤仕様
- (C) 巾木：モルタル塗り金コテ押さえ t=20, EP
- (D) 軒種：前高165
- (E) 軒種：前高130
- (F) 軒種：折板120
- (G) 斜め種：カラーガルバリウム鋼板曲げ加工t=0.4
- (H) 縦種：VP125カラー
- (I) 縦種：VP100カラー
- (J) 縦種：VP65カラー
- (K) 鉄部DP塗装
- (L) 水切：ガルバリウム鋼板t=0.4
- (M) 目隠しフェンス

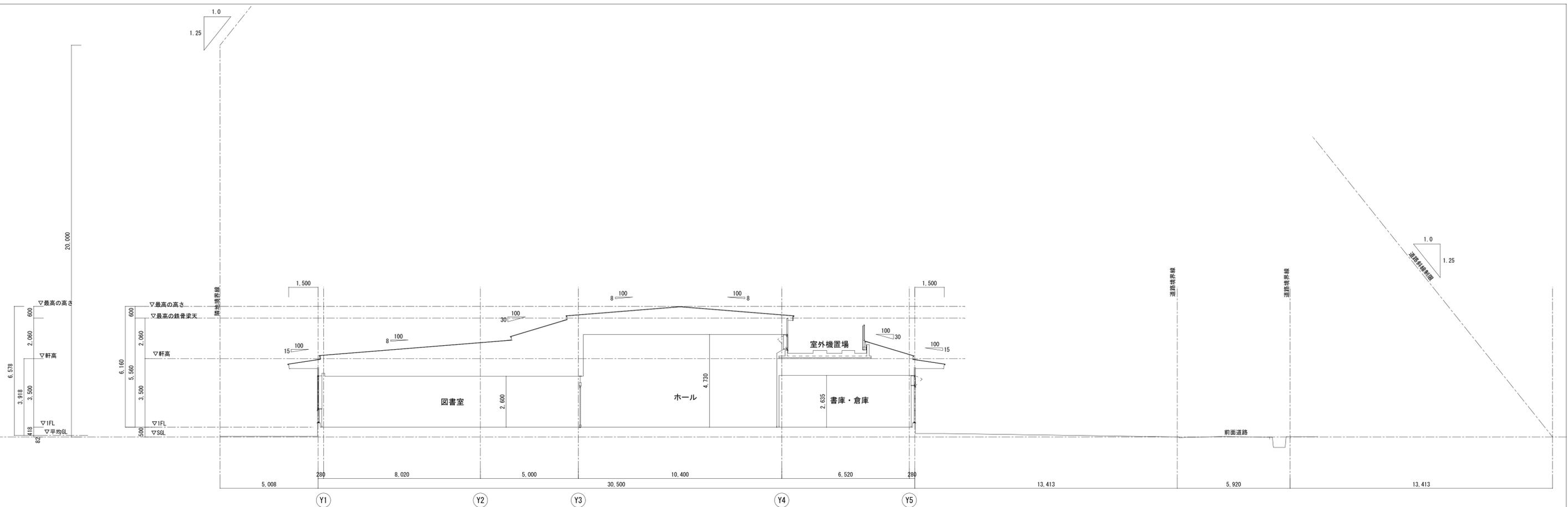


東立面図 S=1/100

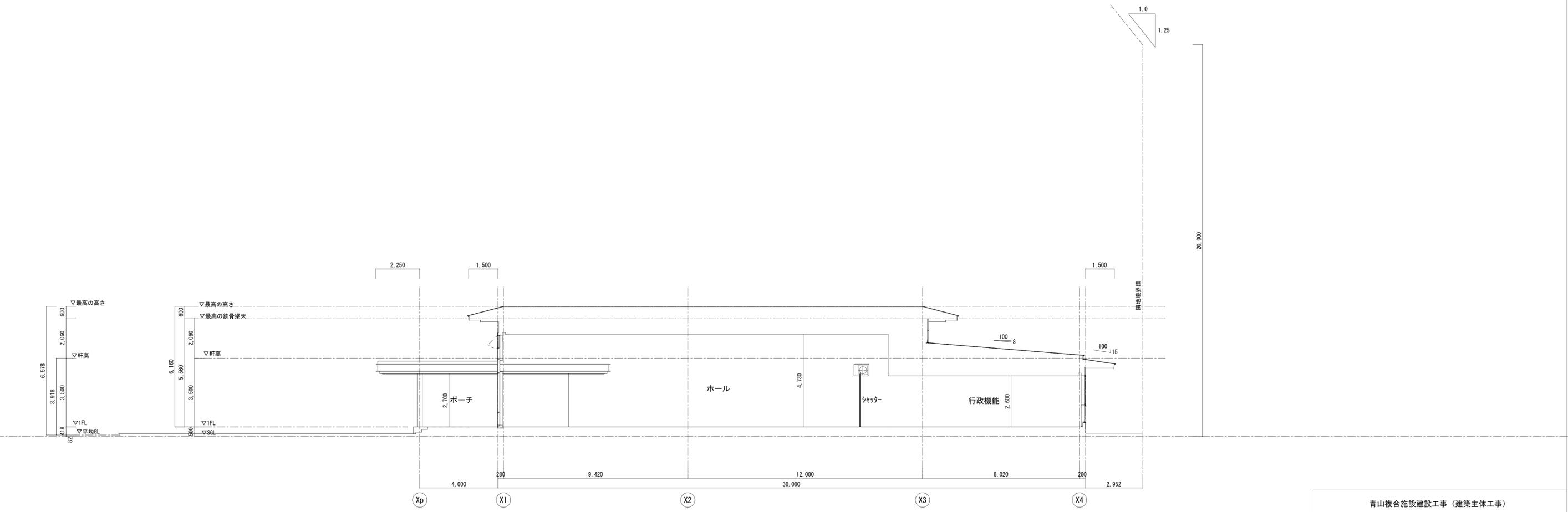


北立面図 S=1/100

青山複合施設建設工事（建築主体工事）		
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100 A3版1/200
A-14	立面図 No2	m/m
日付	令和2年 11月12日	係員

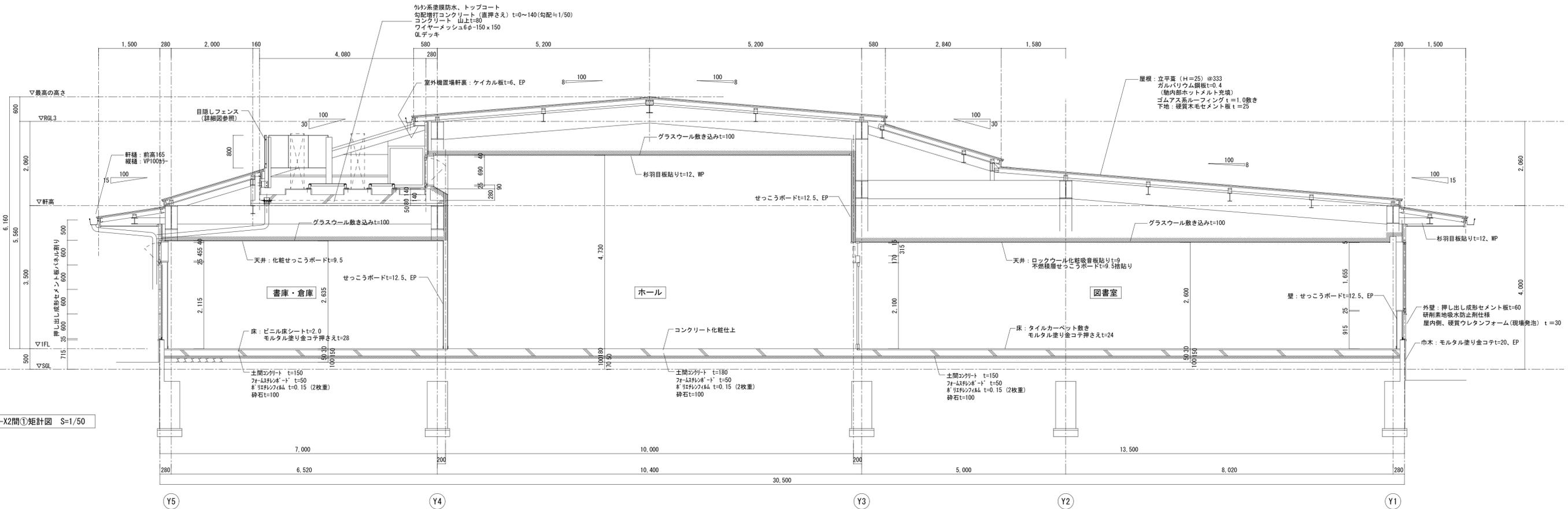


南北断面図 S=1/100

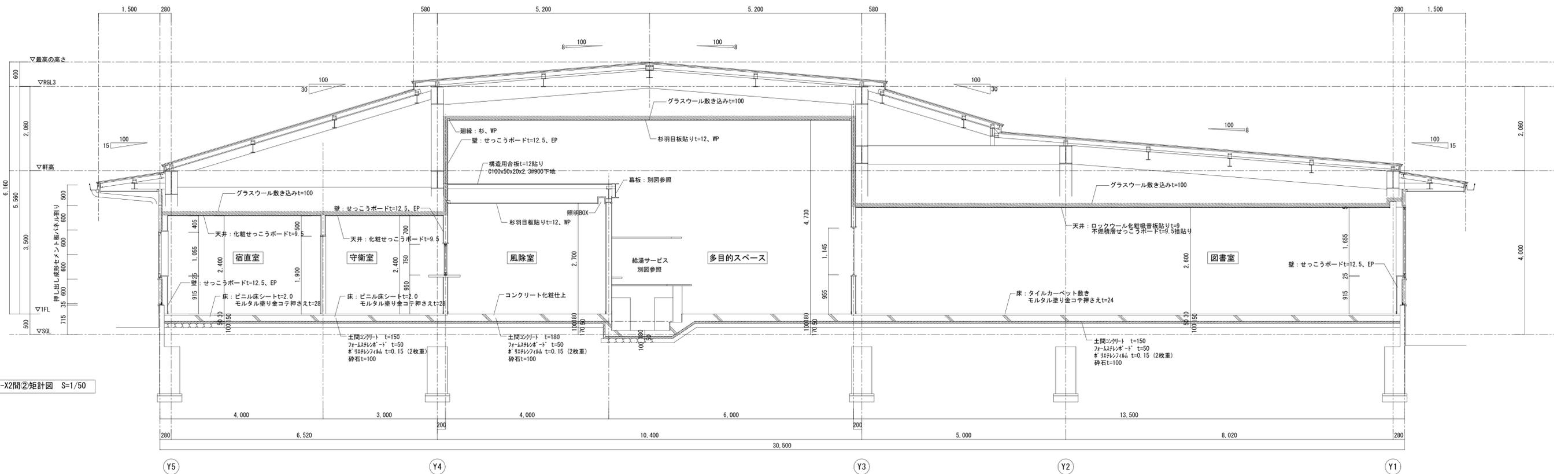


東西断面図 S=1/100

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地内		A1版 1/100
	断面図		A3版 1/200
日付	設計		係員
令和2年			
11月12日			

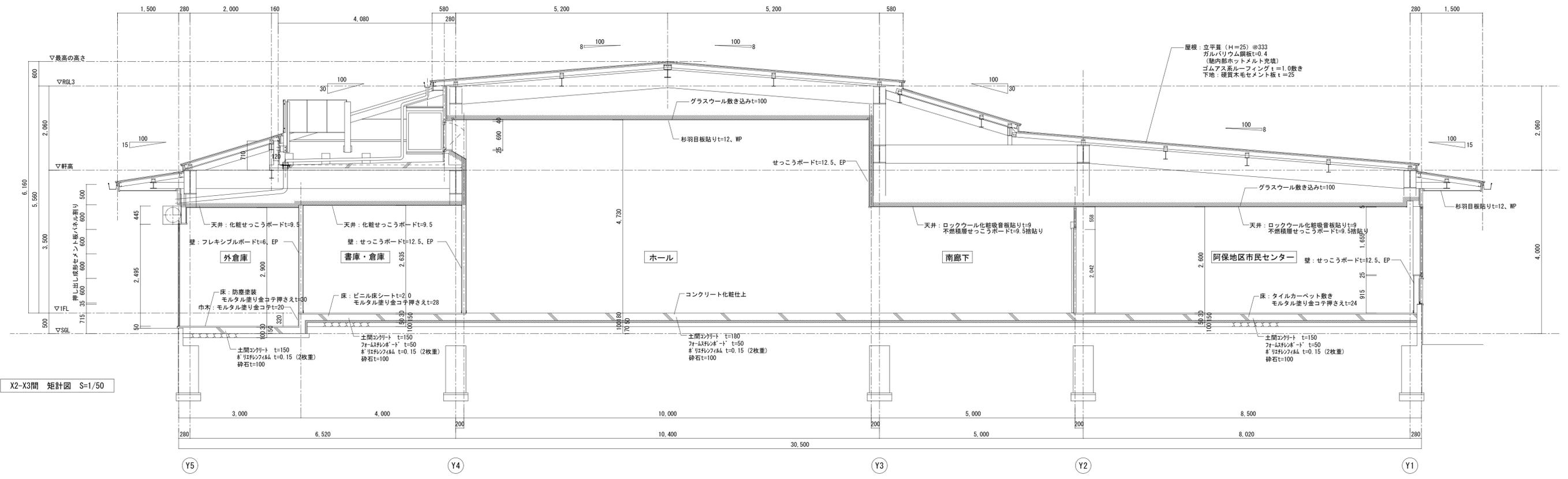


X1-X2間①矩計図 S=1/50

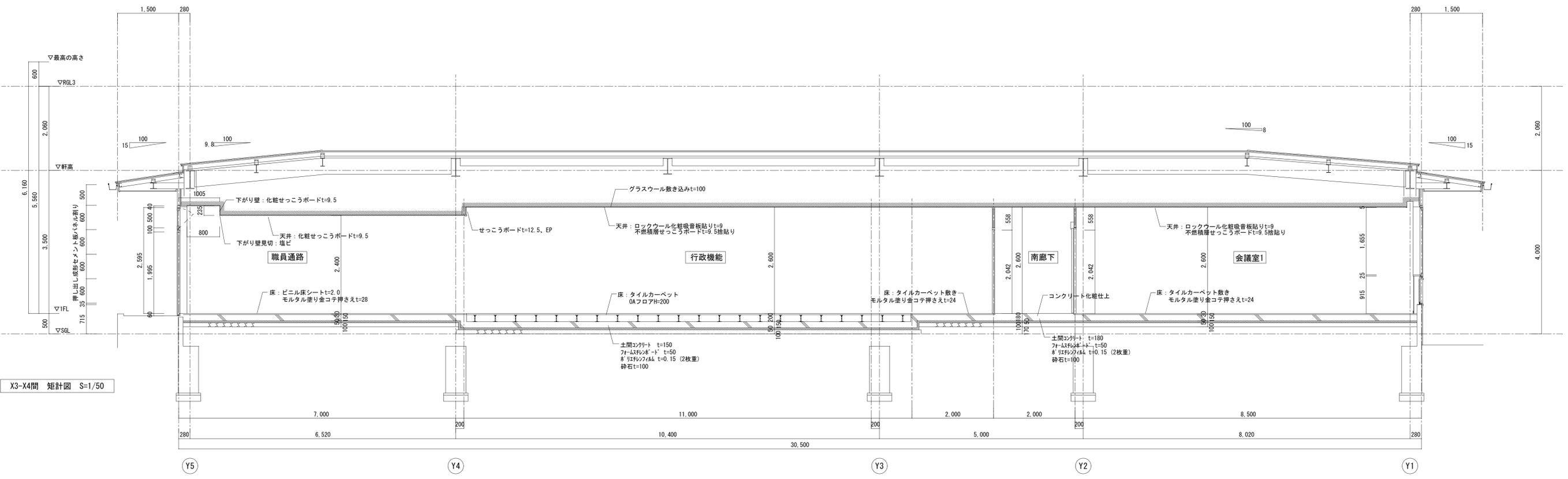


X1-X2間②矩計図 S=1/50

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
№	伊賀市阿保地内	A1版1/50	
A-16	矩計図No1	A3版1/100	
日付	令和2年11月12日	m/m	棟 員

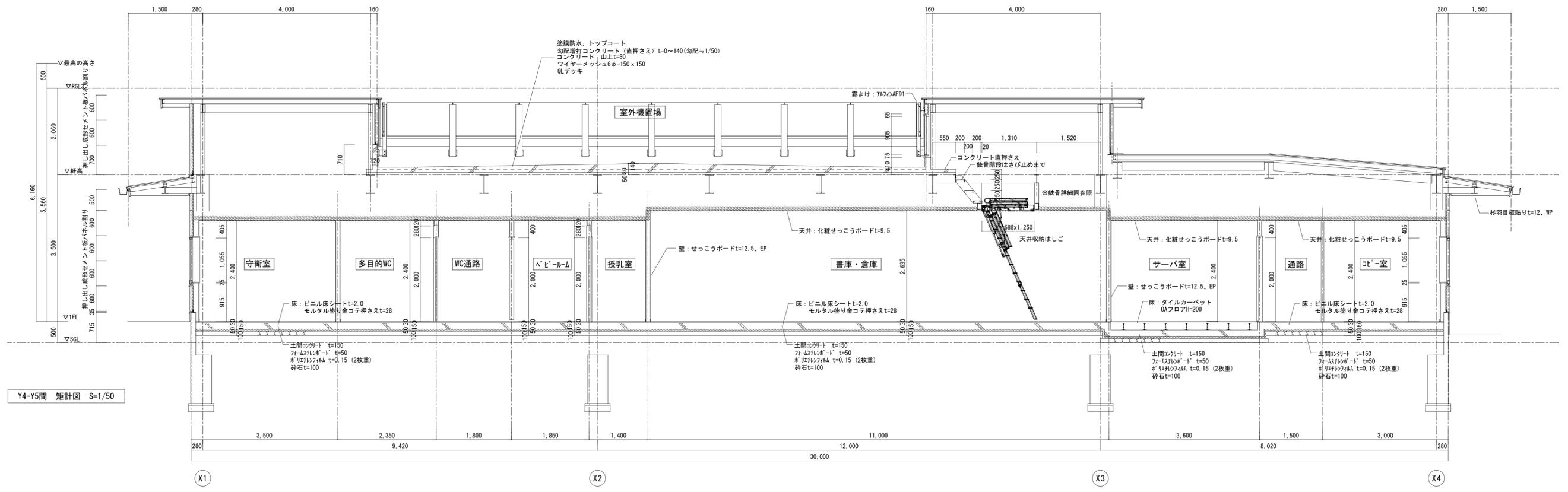


X2-X3間 短計図 S=1/50



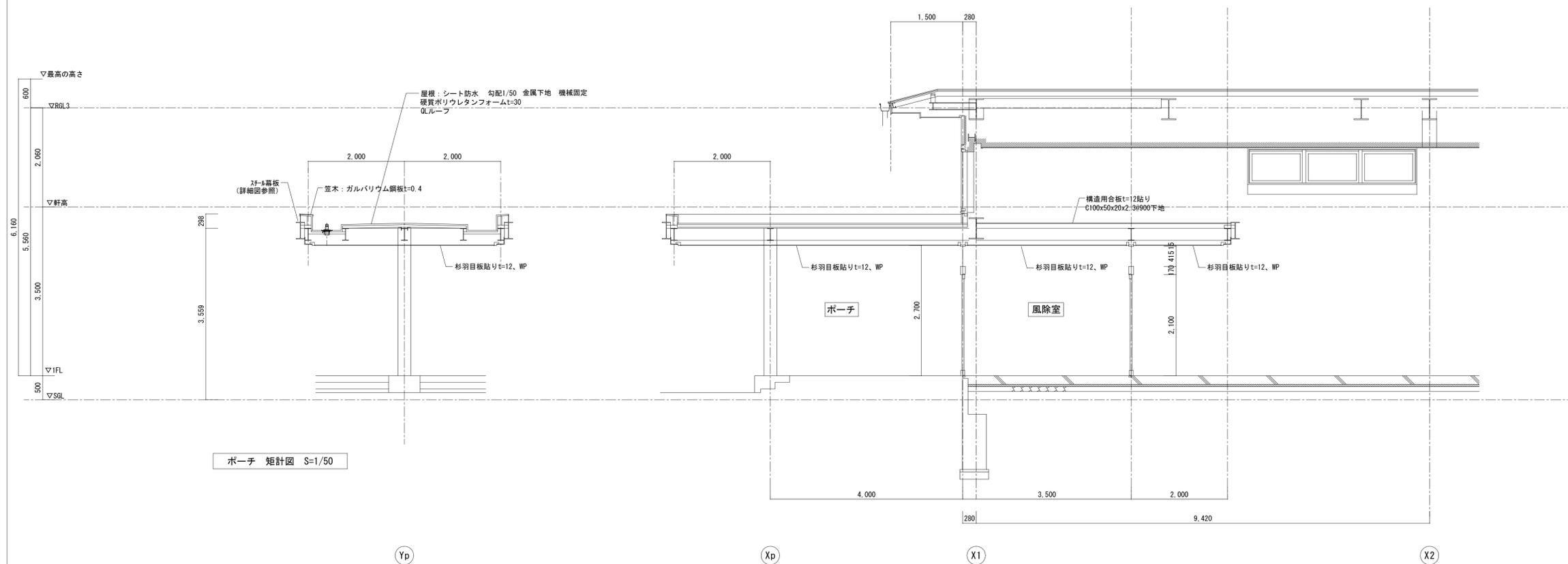
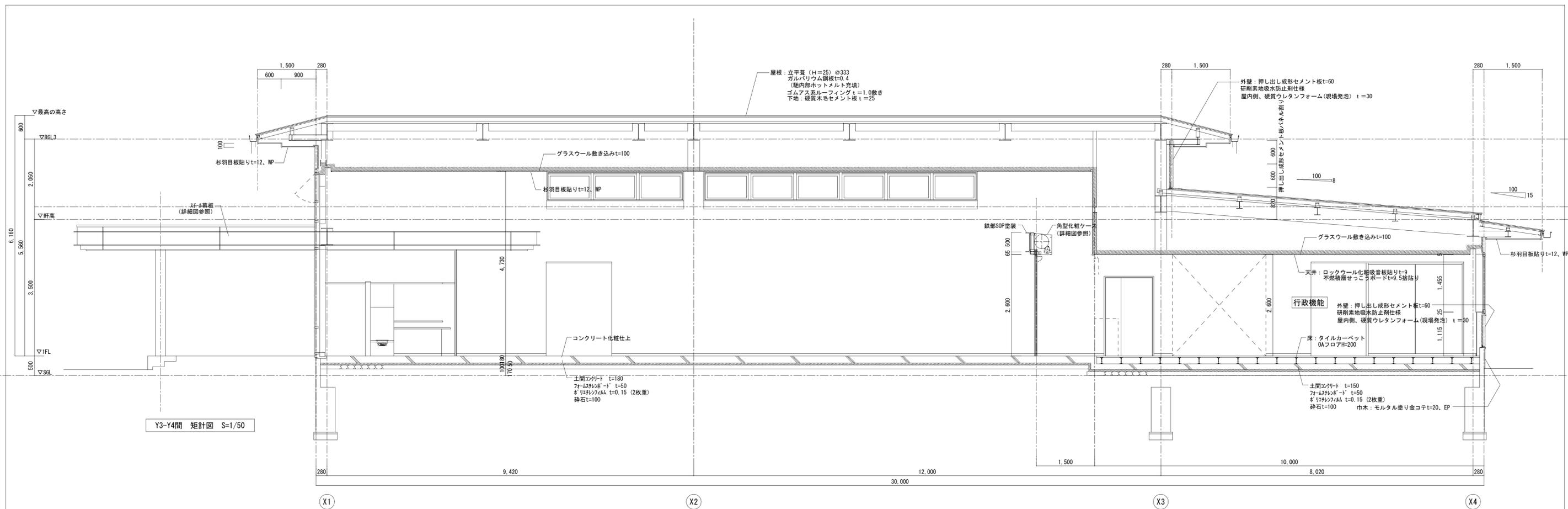
X3-X4間 短計図 S=1/50

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)	
№	伊賀市阿保地区 A1版1/50 A3版1/100
図名	短計図No2
日付	令和2年 11月12日
設計	機 員

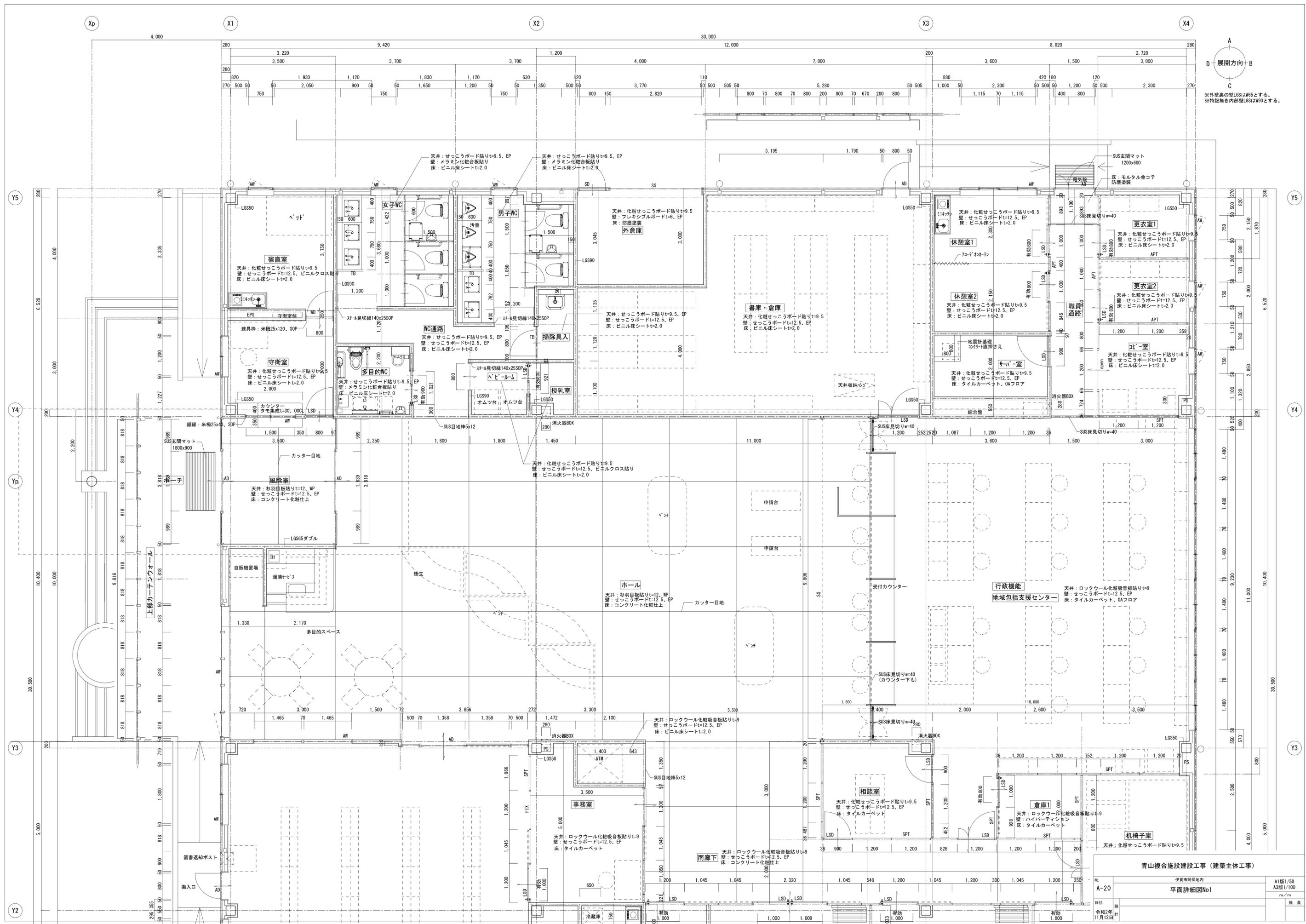


Y4-Y5間 矩計図 S=1/50

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区		A1版 1/50
	矩計図No3		A3版 1/100
日付	令和2年	11月12日	概算



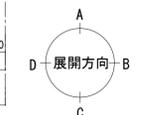
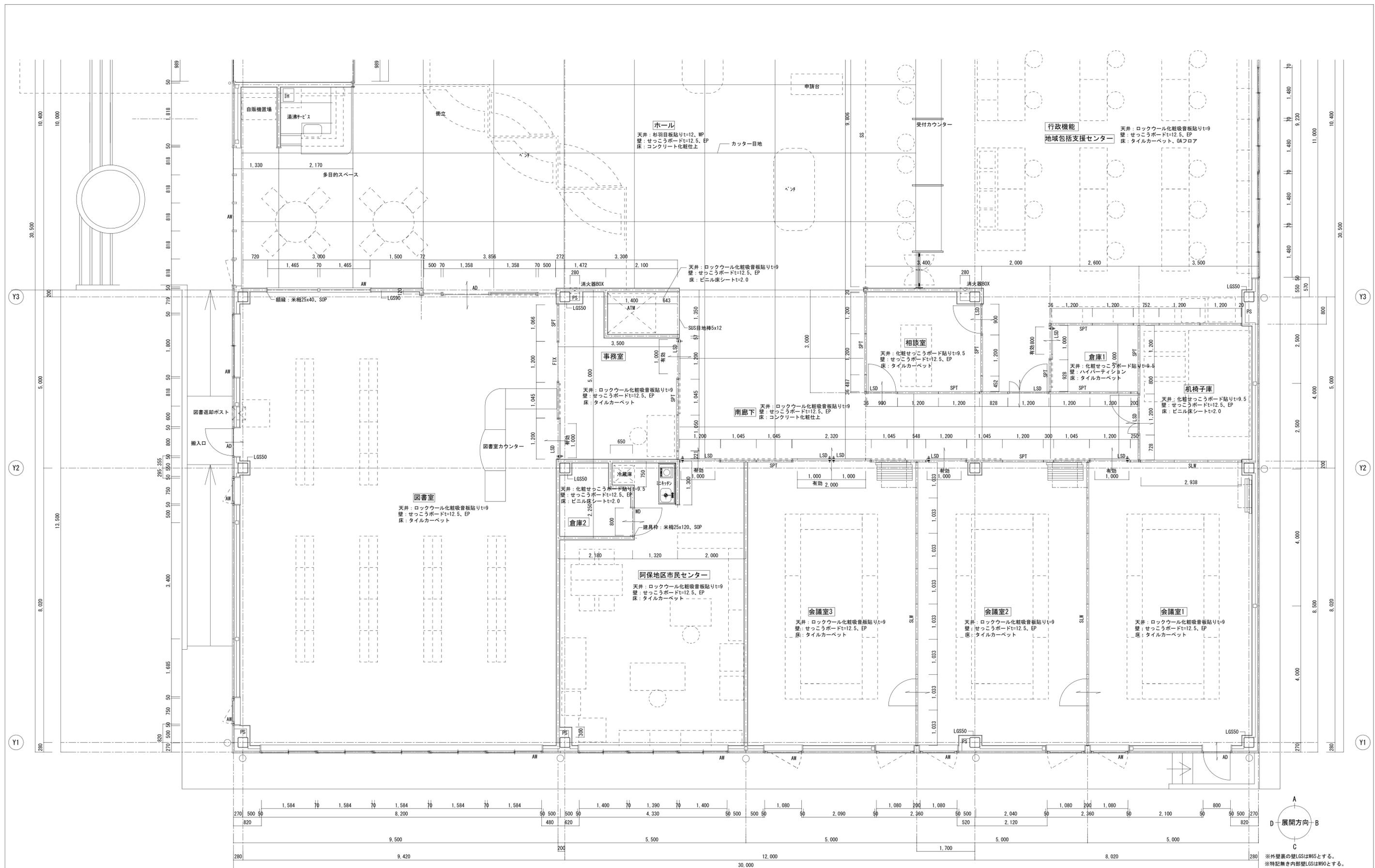
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地内	A1版 1/50	
A-19	矩計図No4	A3版 1/100	
日付	令和2年 11月12日		係員



A
D 展開方向 B
C

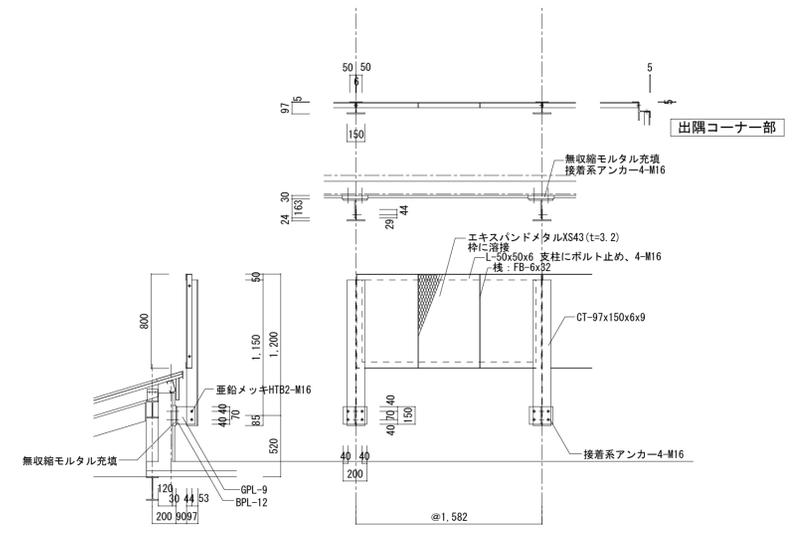
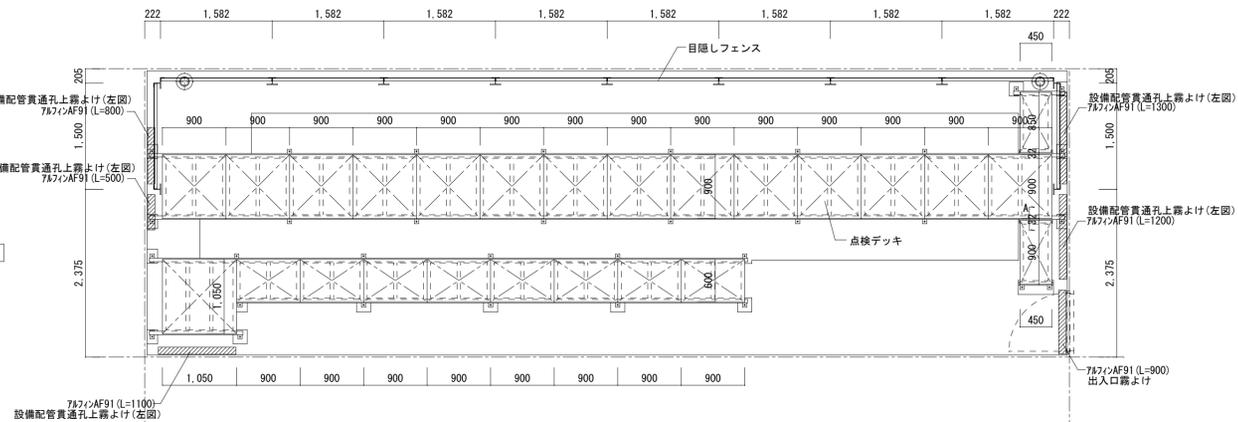
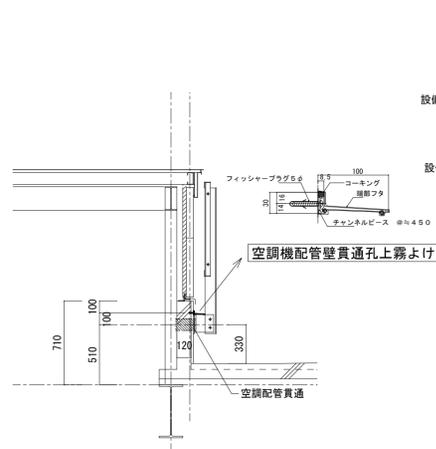
※外壁裏の壁LGSはW65とする。
※特記無き内部壁LGSはW90とする。

青山複合施設建設工事（建築主体工事）		
№	伊賀市阿保地内	A1版1/50 A3版1/100 m/m
図名	平面詳細図No1	係員
日付	令和2年 11月12日	設計

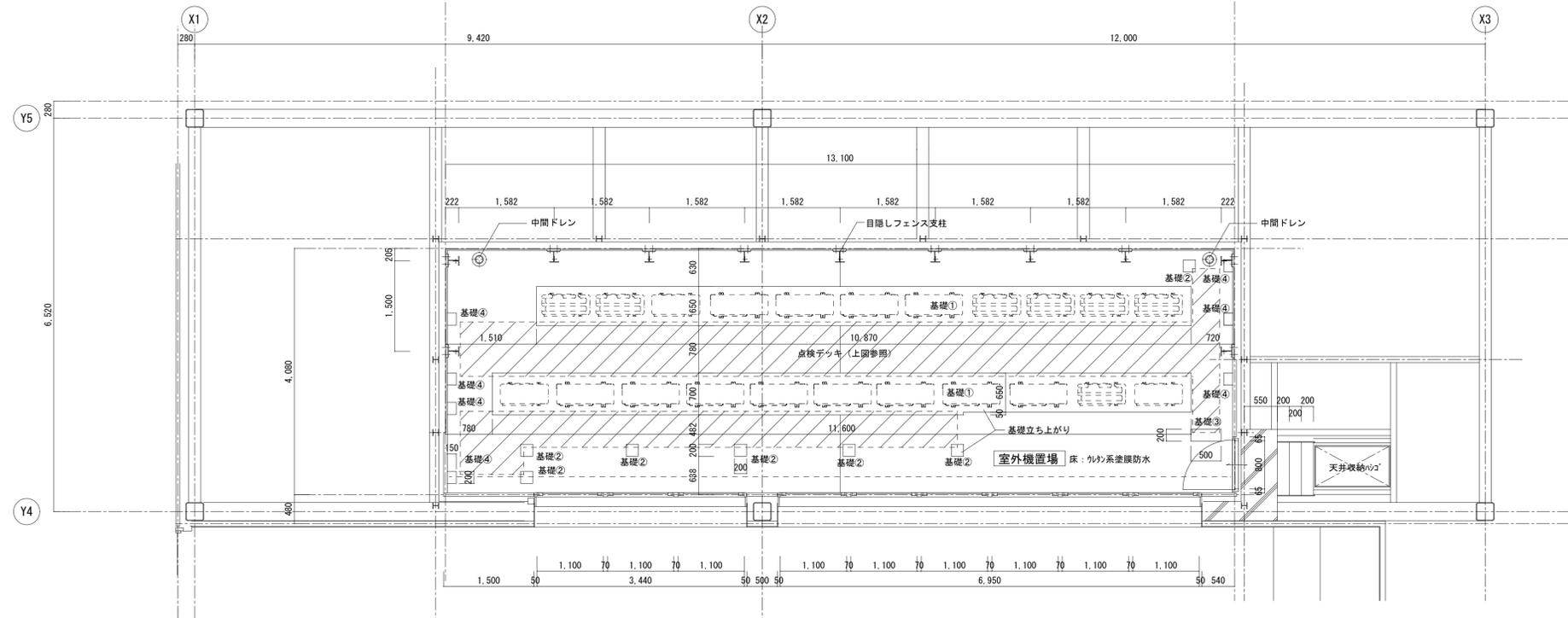


※外壁裏の壁LGS1はW65とする。
※特記無き内部壁LGSはW90とする。

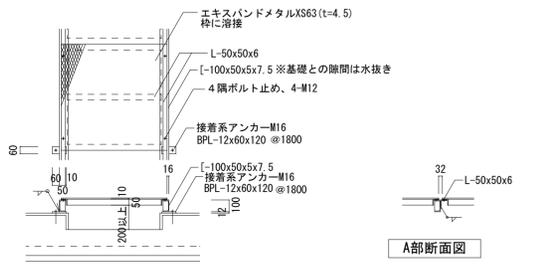
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	伊賀市阿保地区内		A1版1/50
A-21	平面詳細図No2		A3版1/100
日付	設計	図	係
令和2年			
11月12日			



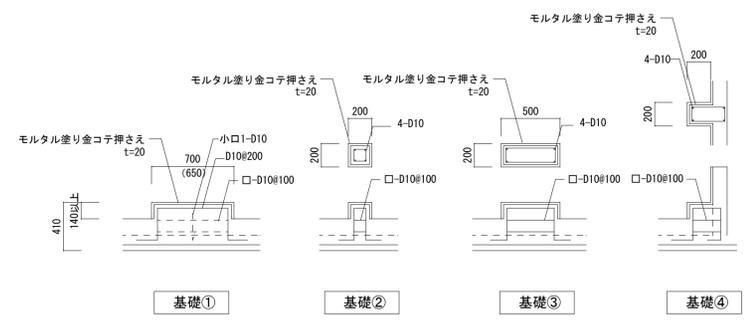
※鉄部は全て亜鉛メッキの上DP塗装とする。
 ※立ち上がり基礎塗膜防水は、BPL及びアンカーの上まで施工すること
 目隠しフェンス詳細図S=1/30



室外機置場平面詳細図 S=1/50



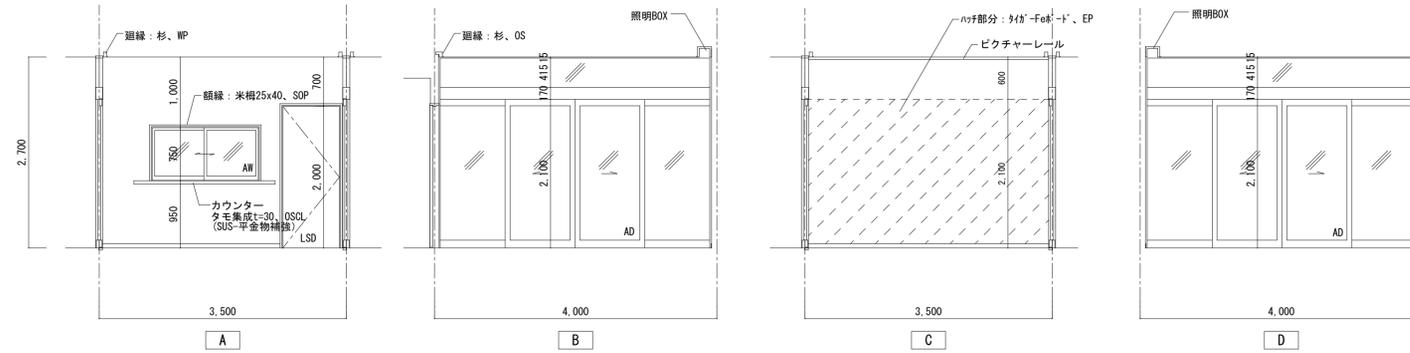
※鉄部は全て亜鉛メッキとする。
 ※基礎塗膜防水は、BPL及びアンカーの上まで施工すること
 点検デッキ詳細図S=1/30



青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	A-22	伊賀市阿保地内	A1版1/50
		平面詳細図No3	A3版1/100
日付	令和2年		様式
	11月12日		

風除室展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	杉羽目板貼りt=12、WP
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ステンレス巾木、H60
床	コンクリート化粧仕上



ホール展開図 S=1/50

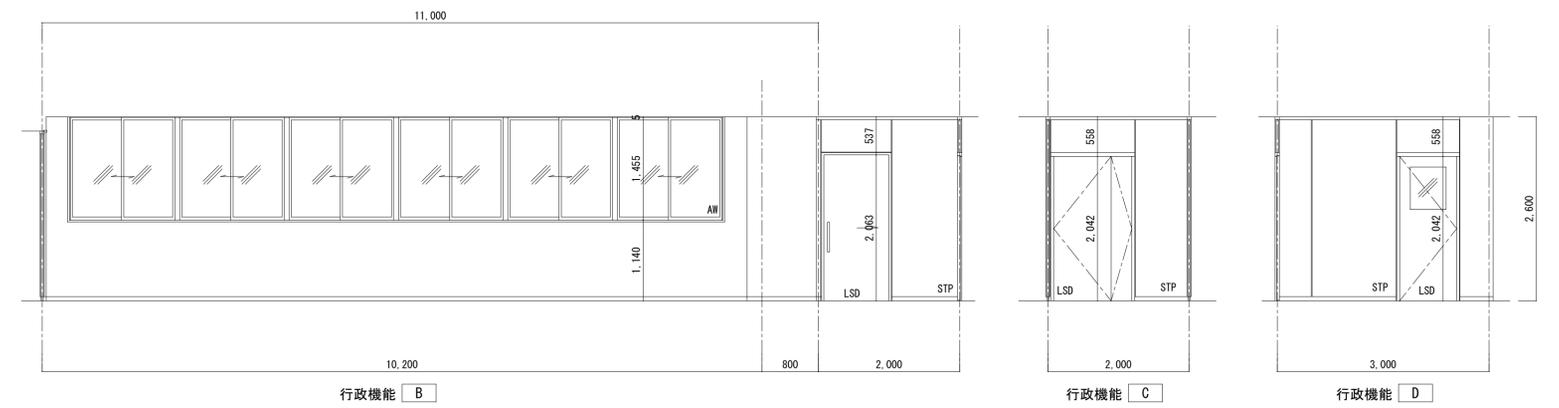
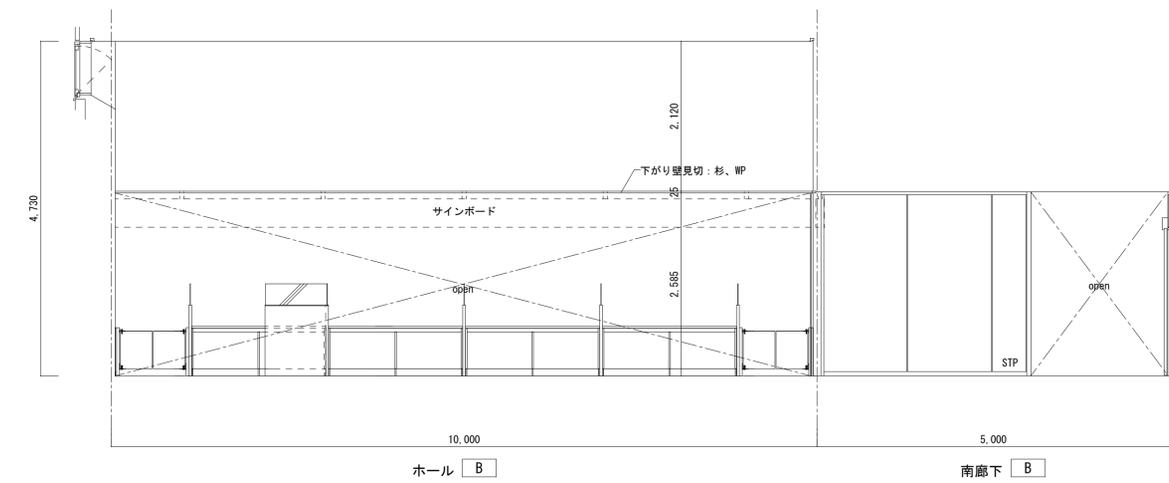
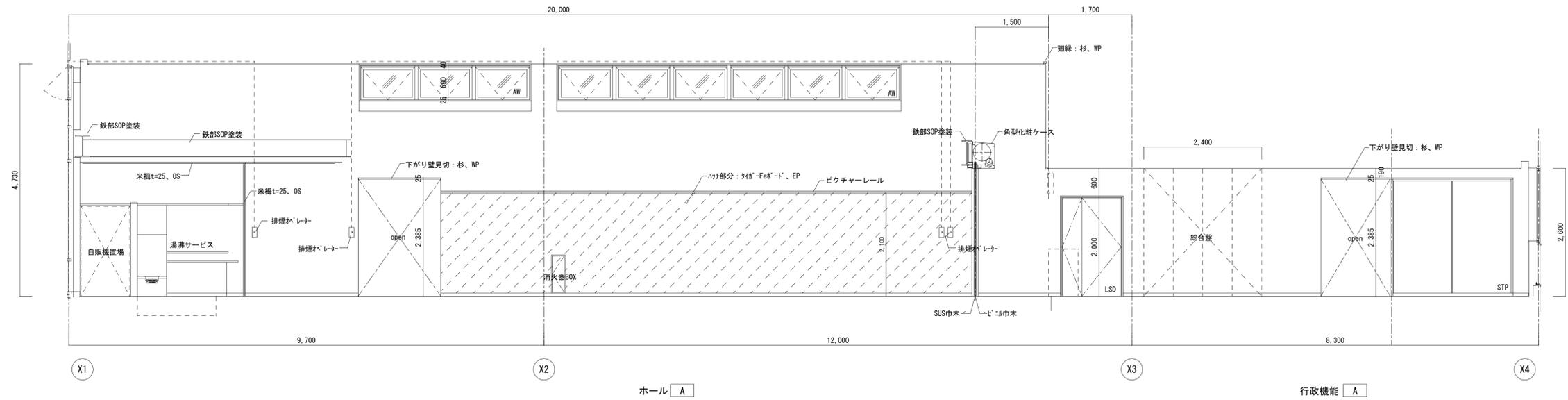
仕上	(※図中特記以外)
天井	杉羽目板貼りt=12、WP
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ステンレス巾木、H60
床	コンクリート化粧仕上

行政機能展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット、0Aフロア

南廊下展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ステンレス巾木、H60
床	コンクリート化粧仕上



青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

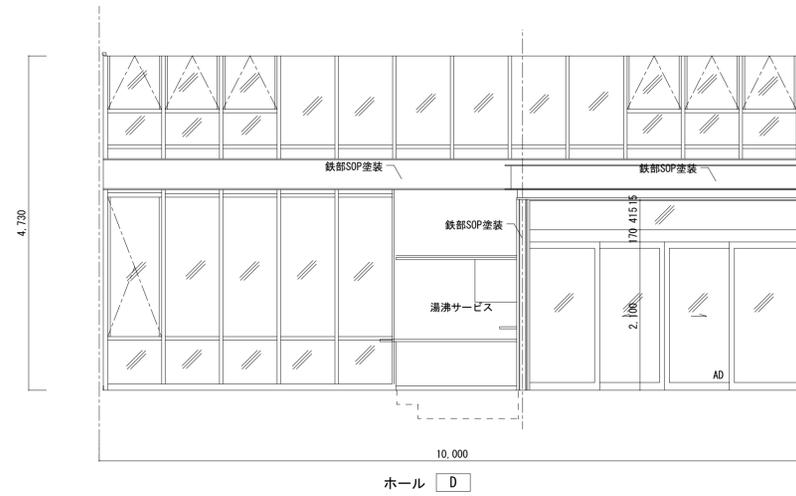
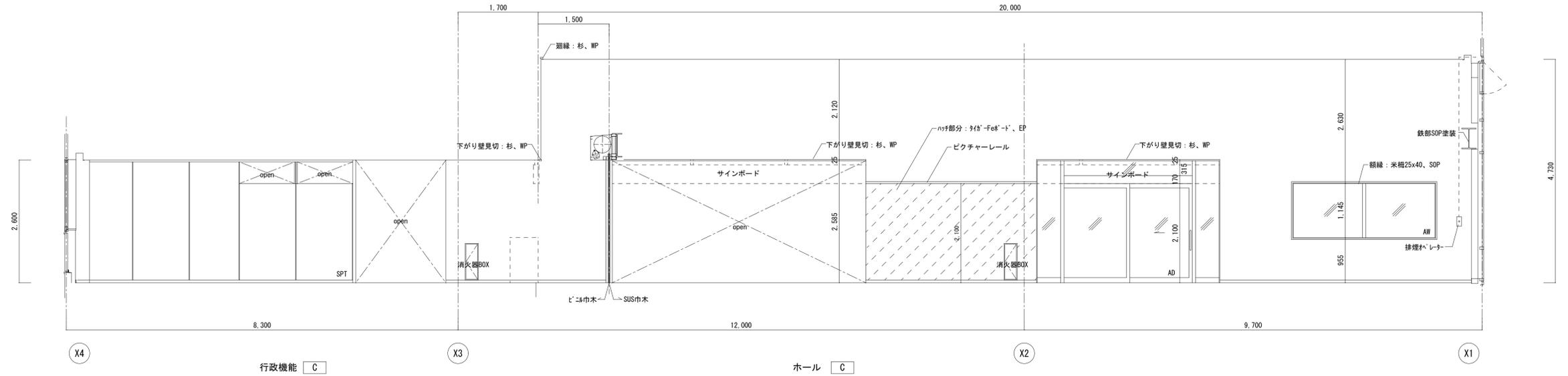
№	伊賀市阿保地区	A1版 1/50
A-23	展開図No1	A3版 1/100
日付	令和2年 11月12日	図 係 員

ホール展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	杉羽目板貼りt=12、WP
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ステンレス巾木、H60
床	コンクリート化粧仕上

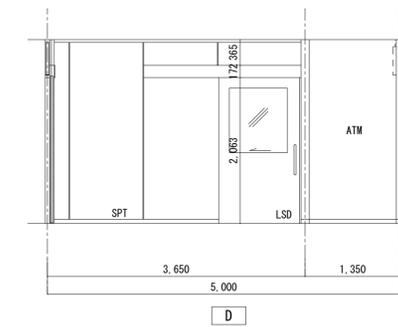
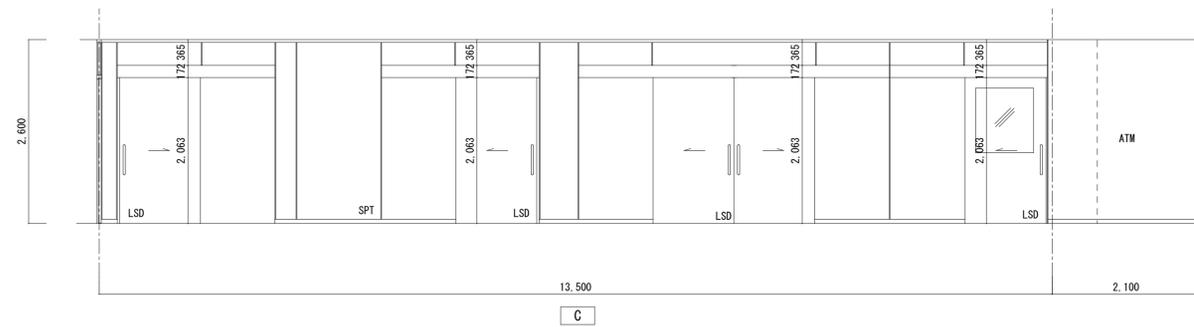
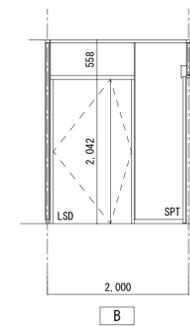
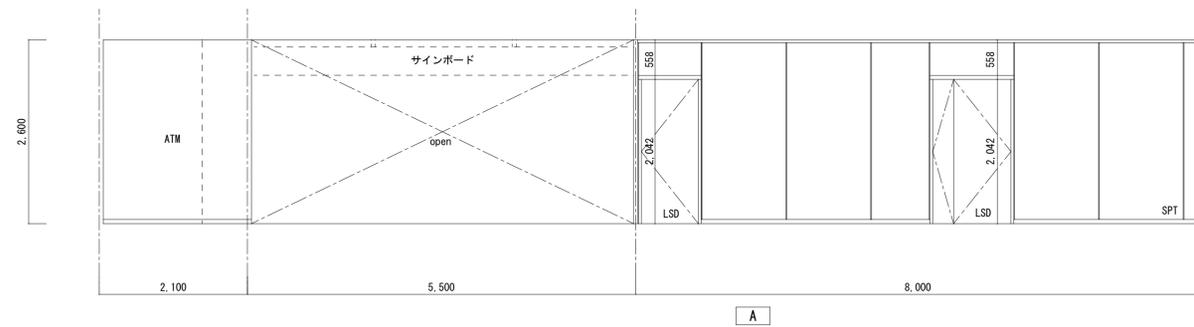
行政機能展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット、0Aフロア



南廊下展開図 S=1/50

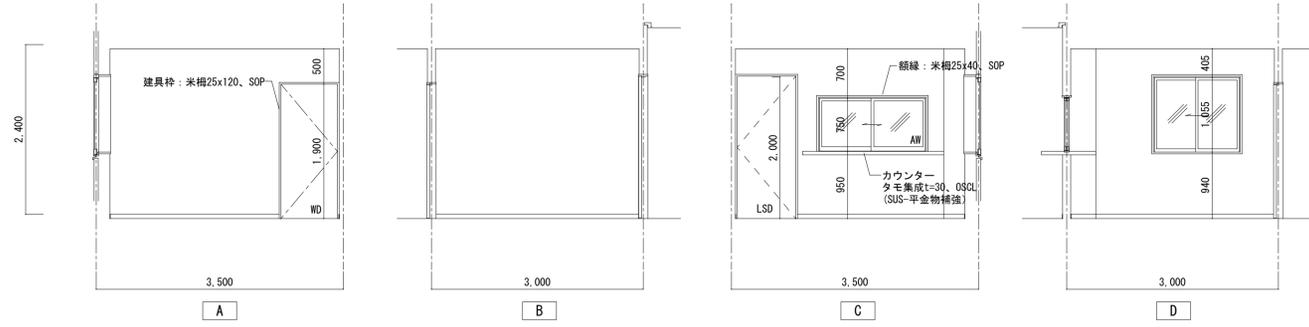
仕上	(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ステンレス巾木、H60
床	コンクリート化粧仕上



青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	伊賀市阿保地内	A1版 1/50	
A-24	展開図No2	A3版 1/100	
日付	令和2年11月12日	図	係員

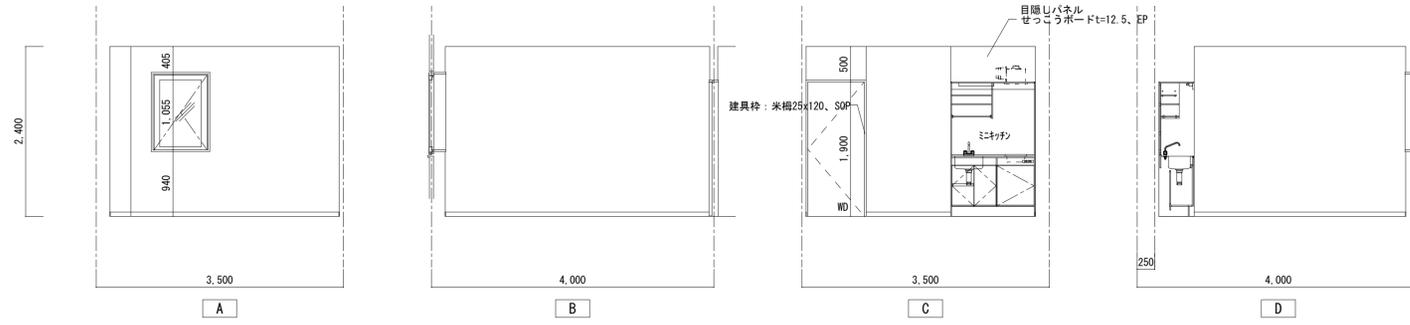
守衛室展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



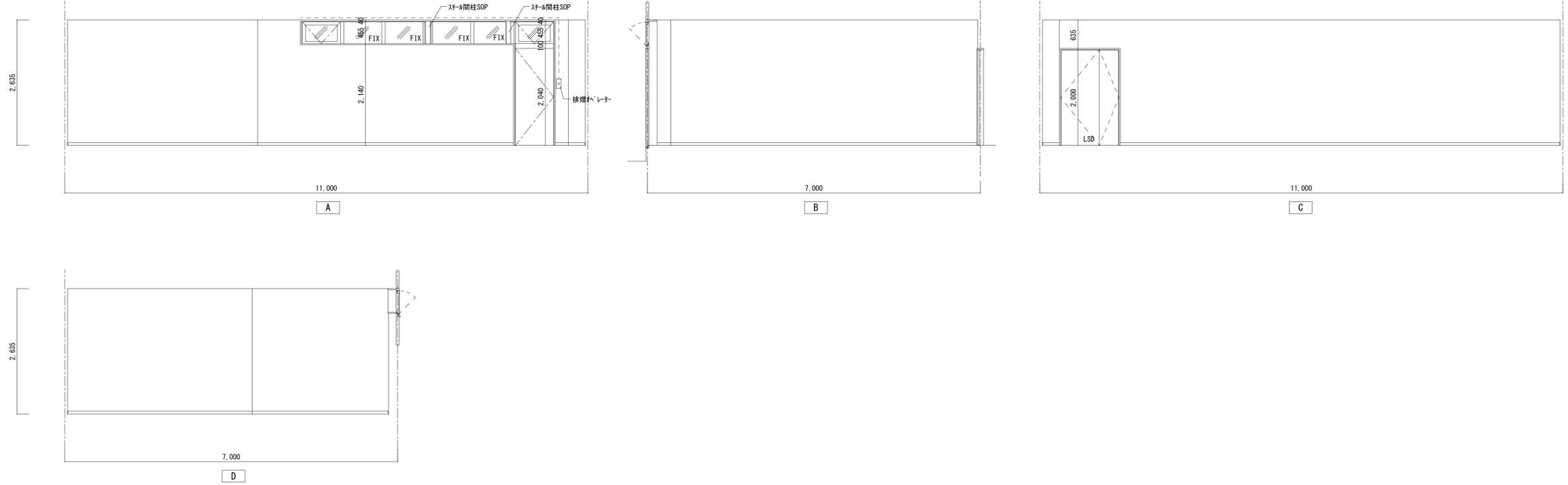
宿直室展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、ビニル貼付
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



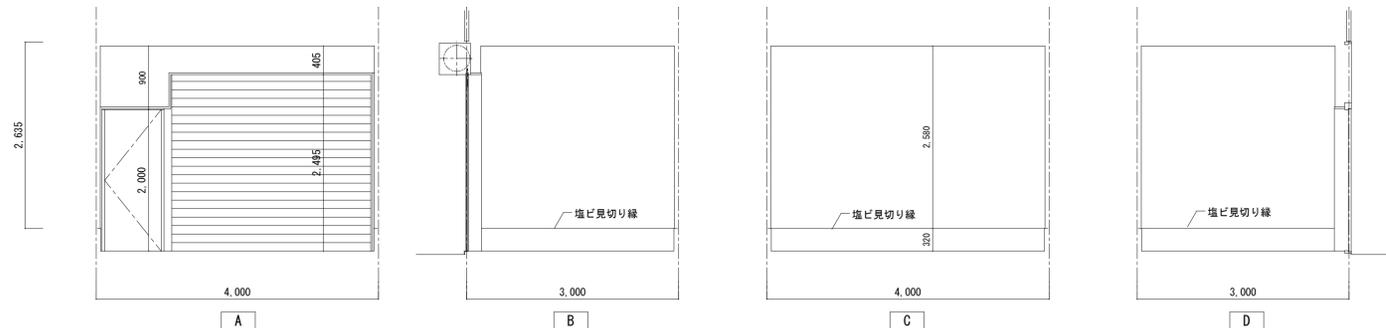
書庫倉庫展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



外倉庫展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	フレキシブルボードt=6、EP
巾木	珪藻土塗り金釘押えt=20、H320
床	防塵塗装

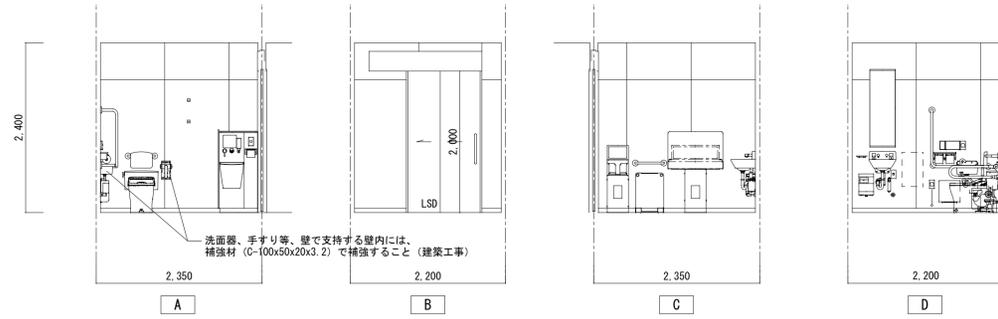


青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地内	A1版1/50
A-25	展開図No3	A3版1/100
日付		m/m
設計		係員
11月12日		

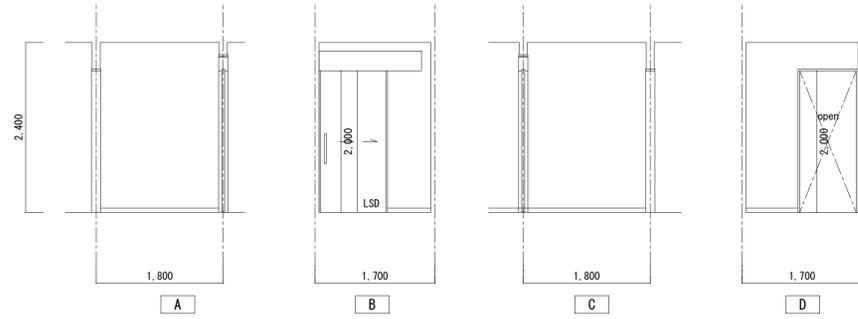
多目的WC展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	珪藻土化粧ボード貼りt=9.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



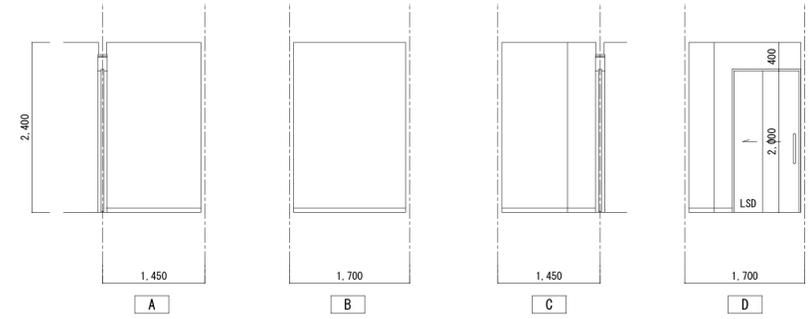
ベビー用展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	化粧珪藻土ボード貼りt=9.5
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



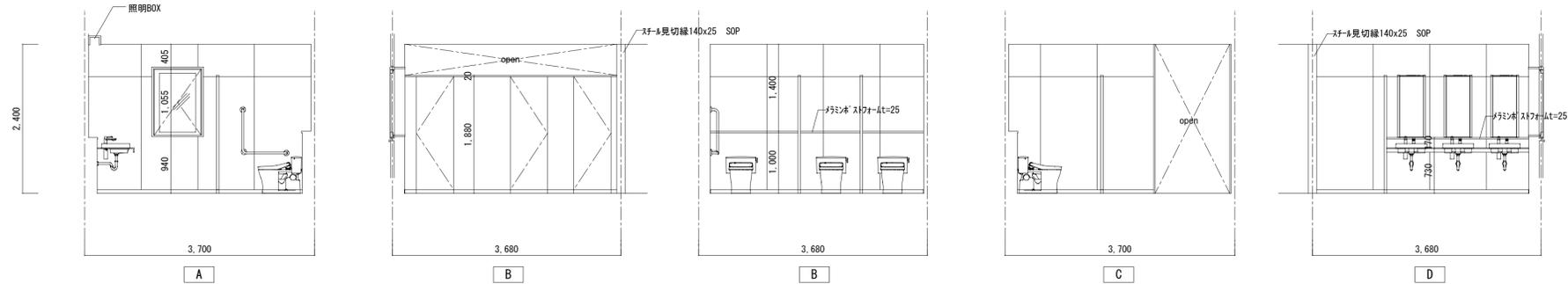
授乳室展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	化粧珪藻土ボード貼りt=9.5
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



女子WC展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	珪藻土化粧ボード貼り
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0

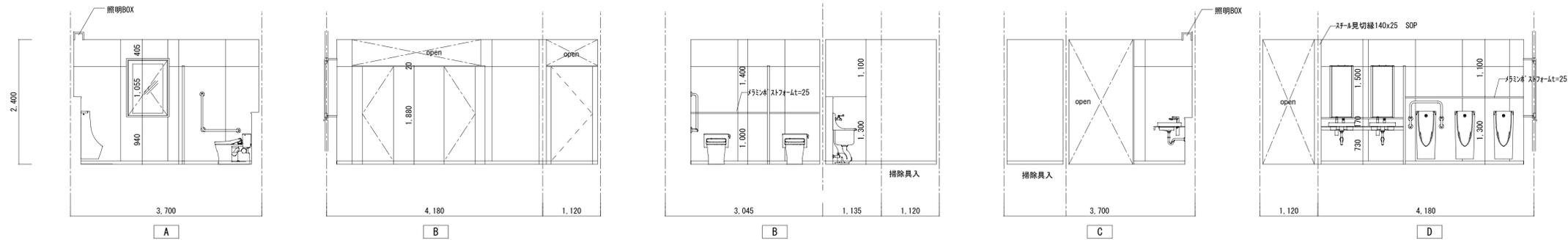


男子WC展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	珪藻土化粧ボード貼り
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0

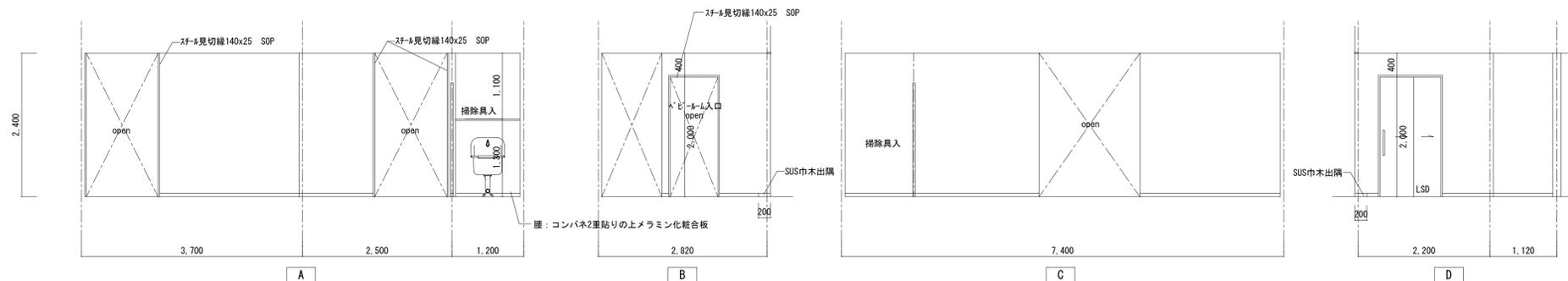
掃除具入展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	珪藻土化粧ボード貼りt=9.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



WC通路・掃除具入展開図 S=1/50

天井	仕上(※図中特記以外)
壁	珪藻土化粧ボード貼りt=9.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0

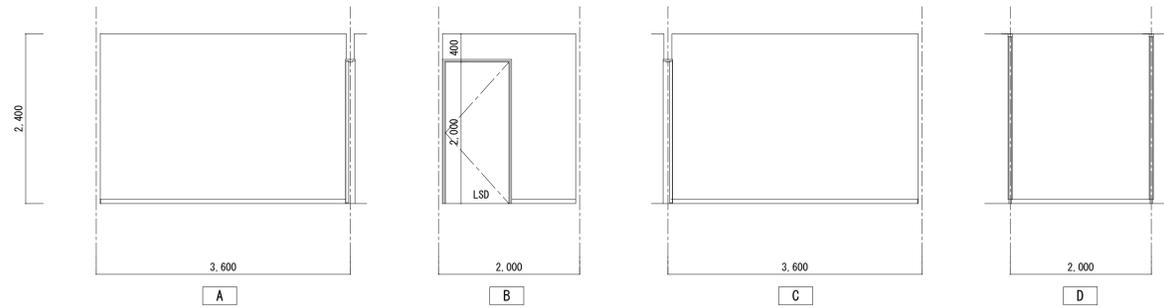


青山複合施設建設工事(建築主体工事)

№	伊賀市阿保地内	A1版1/50
A-26	展開図No4	A3版1/100
目的		概算
令和2年		
11月12日		

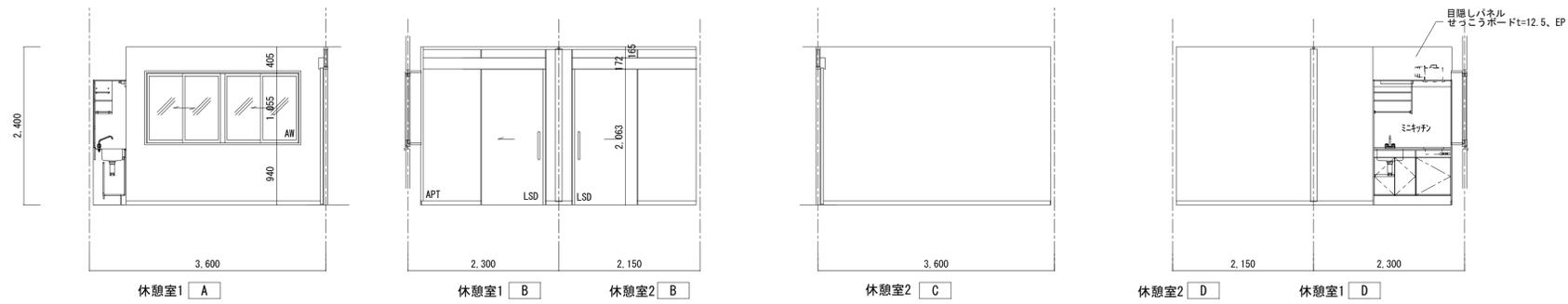
サーバ室展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット、OAフロア



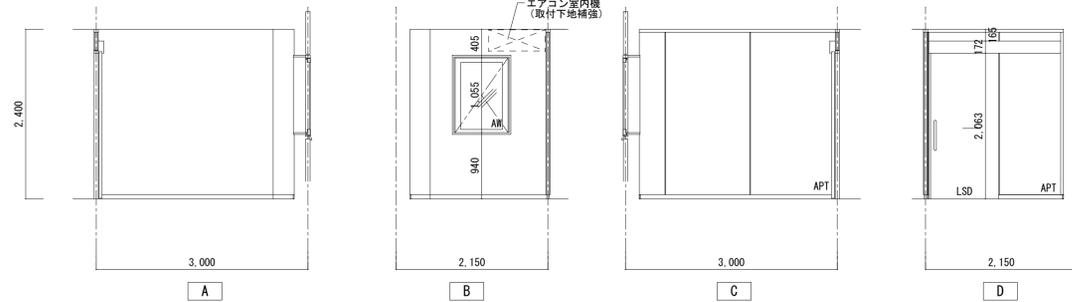
休憩室1、2展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



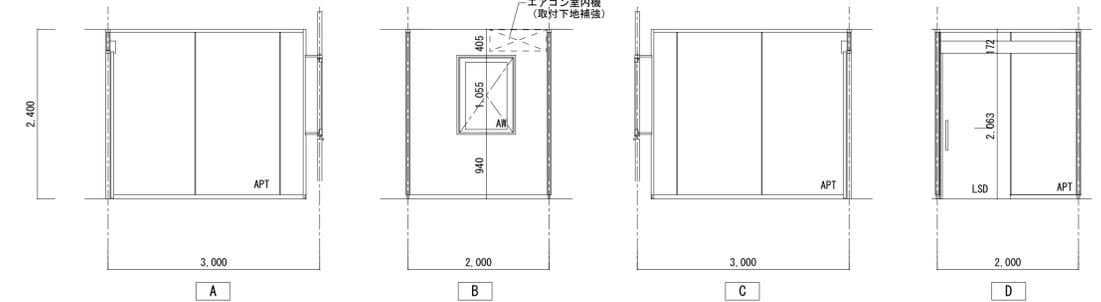
更衣室1展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



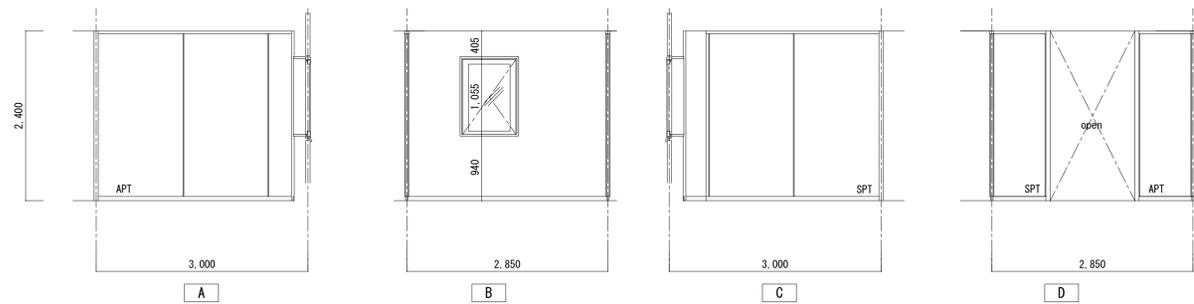
更衣室2展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



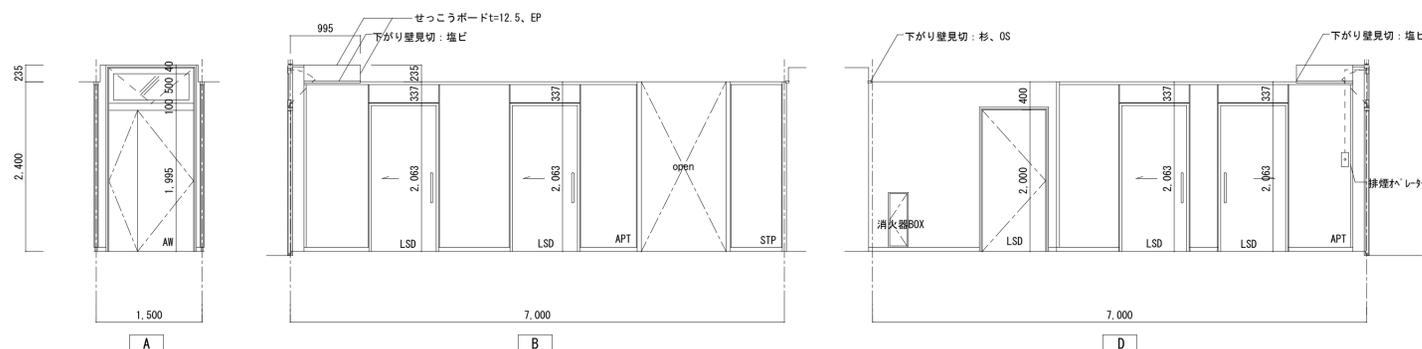
コピー室展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



職員通路展開図 S=1/50

仕上	(※図中特記以外)
天井	化粧せつこうボード貼りt=9.5
壁	せつこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0

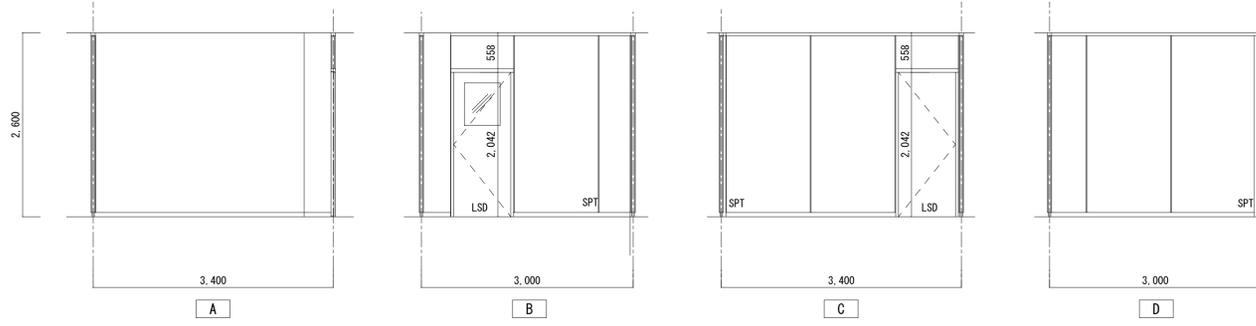


青山複合施設建設工事（建築主体工事）

№	伊賀市阿保地区	A1版1/50
A-27	展開図No5	A3版1/100
日付		m/m
設計		係員
11月12日		

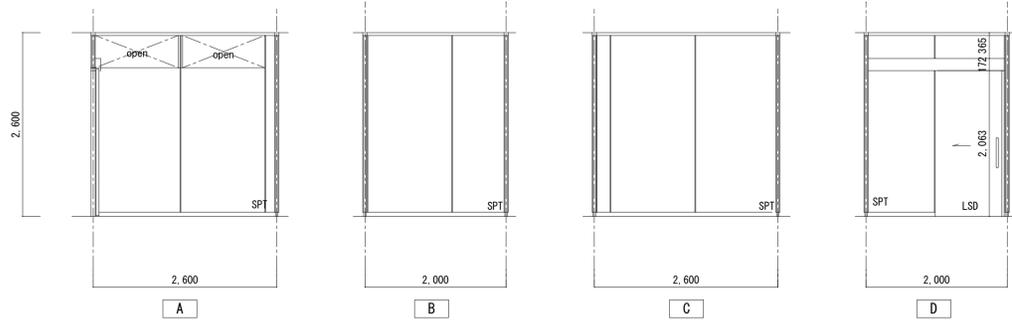
相談室展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せっこうボード貼りt=9.5
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット



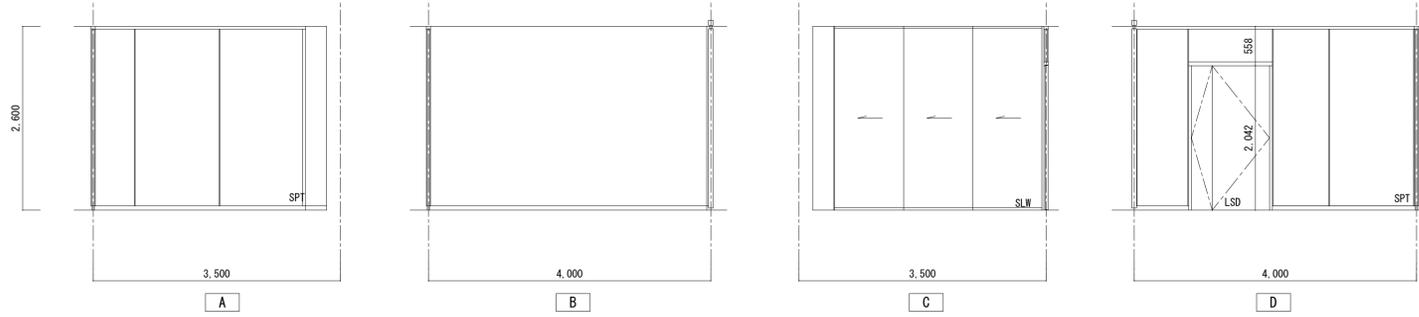
倉庫1展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	ハイパーティション
巾木	ハイパーティション
床	タイルカーペット



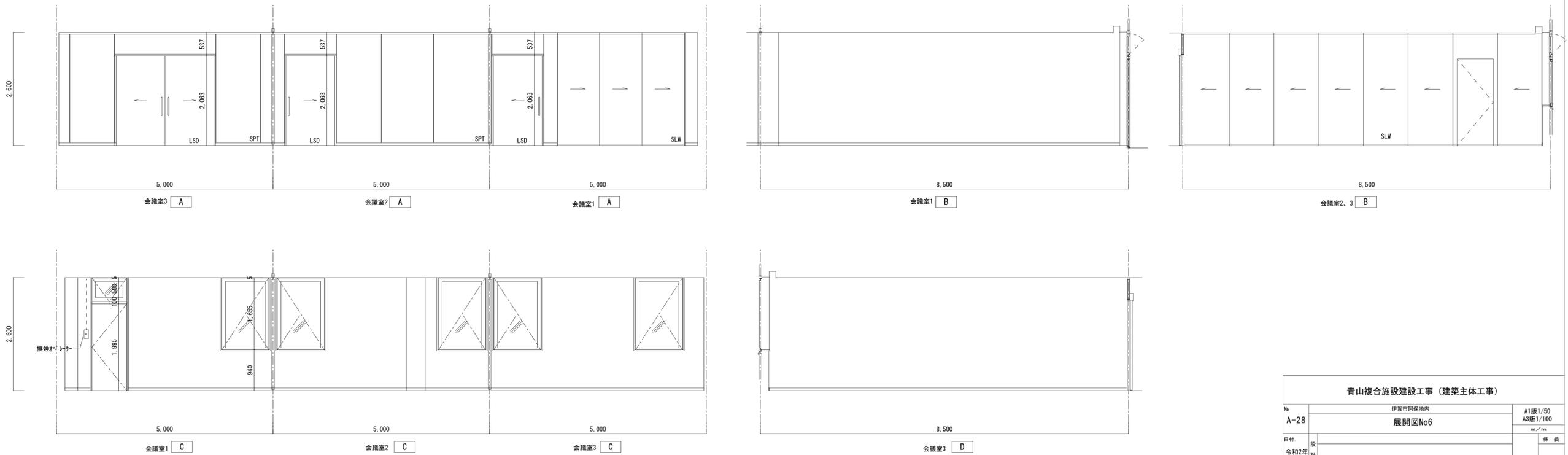
机椅子庫展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せっこうボード貼りt=9.5
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



会議室1、2、3展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット

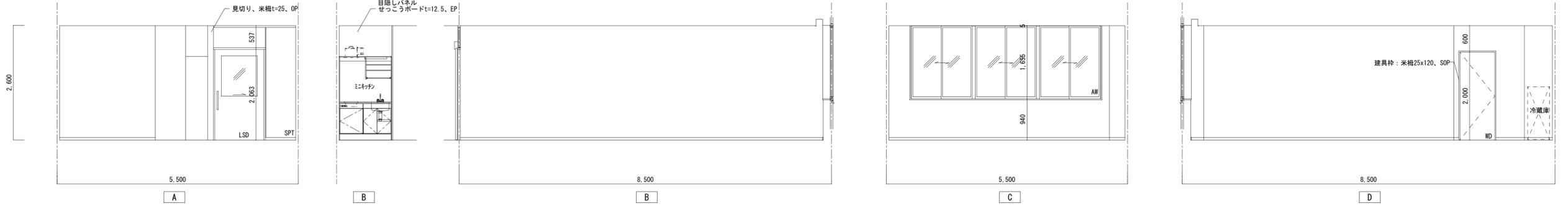


青山複合施設建設工事(建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地区	A1版1/50
	展開図No6	A3版1/100
日付	令和2年	概算
設計	11月12日	

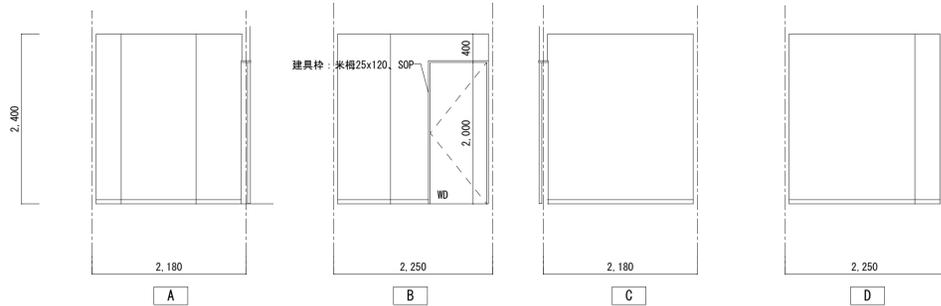
阿保地区市民センター展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット



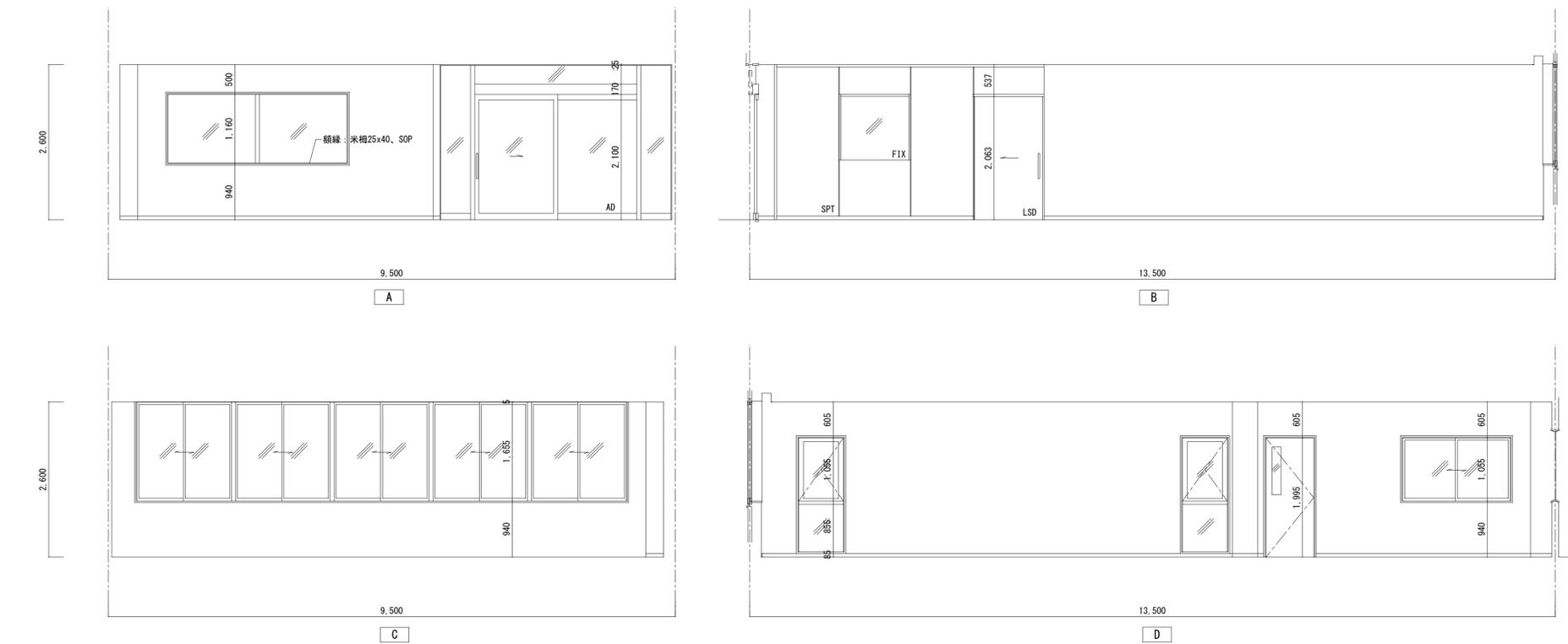
倉庫2展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	化粧せっこうボード貼りt=9.5
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	ビニル床シートt=2.0



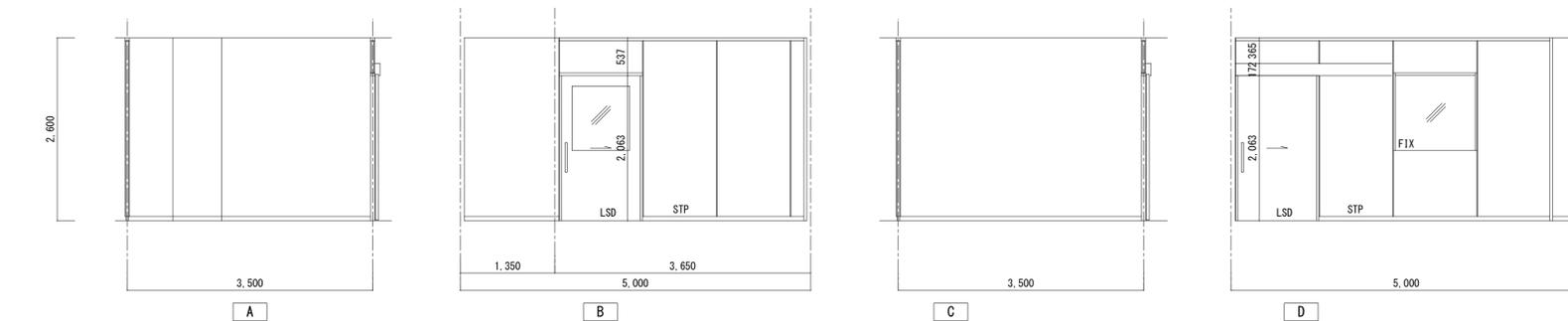
図書室展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	木製巾木、H60
床	タイルカーペット



事務室展開図 S=1/50

	仕上(※図中特記以外)
天井	ロックウール化粧吸音板貼りt=9
壁	せっこうボードt=12.5、EP
巾木	ビニル巾木、H60
床	タイルカーペット



青山複合施設建設工事(建築主体工事)

№	伊賀市阿保地区	A1版 1/50
A-29	展開図No7	A3版 1/100
日付	令和2年	棟 員
11月12日		

軽量鉄骨間仕切り

タッピンねじ又は溶接 ⑧800
スラブ又は梁下
上部ランナー
ボードを延長する場合
天井位上材
見切縁
スタッド
アンカー ⑧800
下部ランナー

間柱・ランナーの種類 特記なき限り下記に依る

間柱	ランナー	開口部補強材	スタッド高さ
50形	50X45X0.8	52X40X0.8	2.7以下
65形	65X45X0.8	67X40X0.8	3.7以下
90形	90X45X0.8	92X40X0.8	3.7~4.5M以下
100形	100X45X0.8	102X40X0.8	4.5~5M以下

スタッド
二重貼⑧450内外
一重貼⑧300内外

巾木 1/5

LGS: 90x45x0.8
メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5 下貼り
アルミジョイナー
巾木: ABS樹脂 H=60
AFノズ箱
ビニル巾木 H=60
床: ビニル床シート t=2
モルタル下地

WC壁: メラミン不燃化粧板 平目地 目透かし納め 1/5

アルミジョイナー
(焼き付け塗装仕上げ)
壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5 下貼り
木口化粧材
目透かし
壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5 下貼り

WC壁: メラミン不燃化粧板 出隅・入隅納め 1/5

壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5 下貼り
コーキング
壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5 下貼り

天井 廻縁 1/5

天井: 化粧PB t=9.5
(LGS下地)
廻縁: 杉55x45 WP
下地桎16x45⑧303
杉羽目板 t=12
WP塗り
PB t=12.5 EP
壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5 下貼り

ホール下がり天井 1/5

天井: ロックウール化粧吸音板 t=9
PB t=9.5 捨て貼り
(LGS下地)
杉25x50 WP
PB t=12.5 EP

職員通路下がり天井 1/5

天井: 化粧PB t=9.5
(LGS下地)
廻縁見切り

面台(手洗い、洋風便器) 1/5

壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5
面台: メラミンポストフォーム
コーキング
木下地140x45
LGS: 90x45x0.8
面台壁: メラミン不燃化粧板 t=3
コンパネ t=12

面台(小便器) 1/5

壁: メラミン不燃化粧板 t=3
PB t=12.5
面台: メラミンポストフォーム
コーキング
木下地140x45
LGS: 90x45x0.8
面台壁: メラミン不燃化粧板 t=3
コンパネ t=12x2重貼り

汚られ陶板 1/5

汚られ陶板 t=5
(4寸・0時・207PU同等)
モルタル下地
床: ビニル床シート t=2
モルタル下地

床見切り 1/5

SUS見切り ④40x20x2.0
モルタル充填
床: タイルカーペット
OAフロア
床: ビニル床シート t=2
土間コンクリート下地

WC通路床見切り 1/5

SUS目地棒5x12
床: ビニル床シート t=2
モルタル下地
床: コンクリート化粧上

玄関マット 1/5

ステンレスラインマット
一般歩行ノンスリップタイプ
防水剤入りモルタル
枠 ステンレス既製品
VP50φ (ステンレス目黒付)
最寄りの排水溝又は排水樹迄

壁: 塗装 クロス下地 出隅納め 1/5

垂鉛鉄板補強材
バテ処理
壁: プラスターボード t=12.5 EP

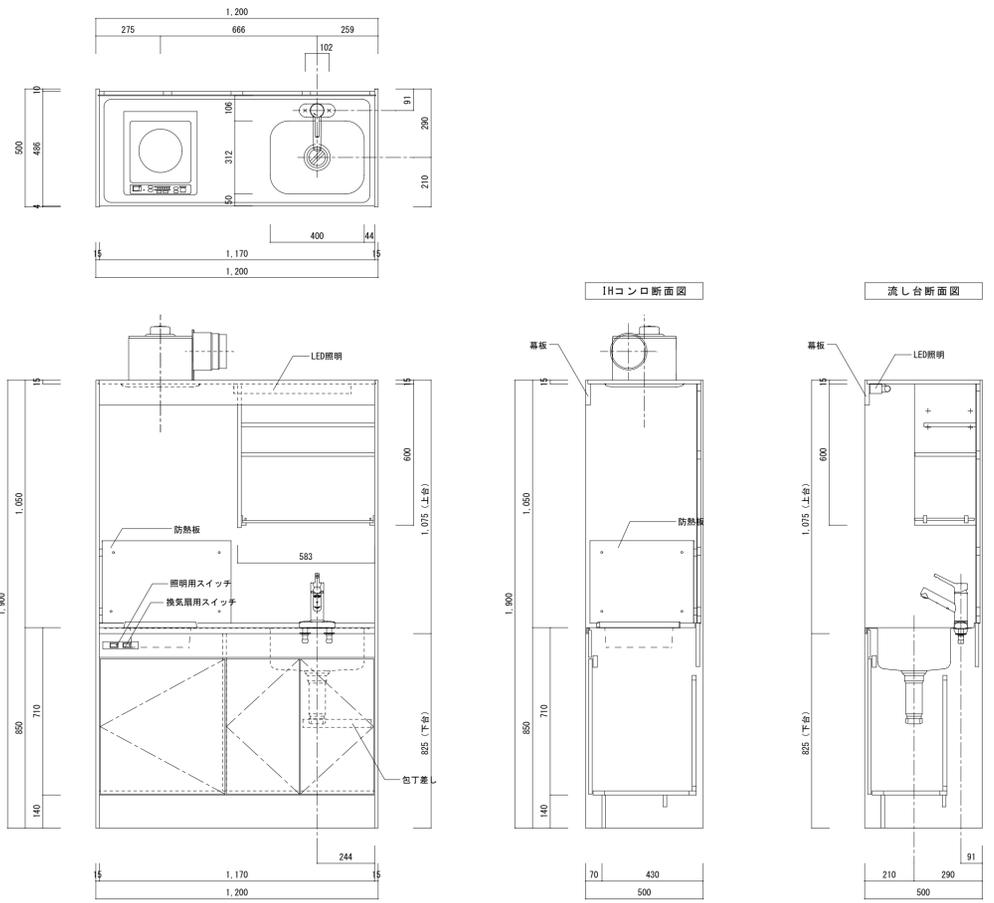
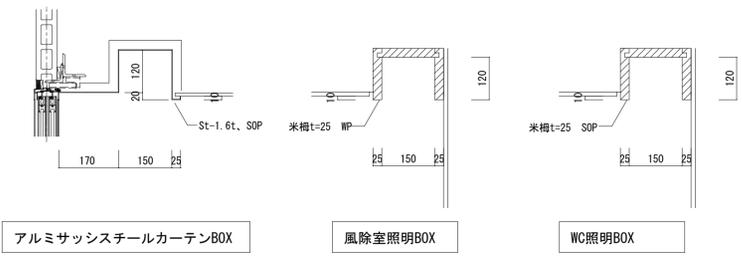
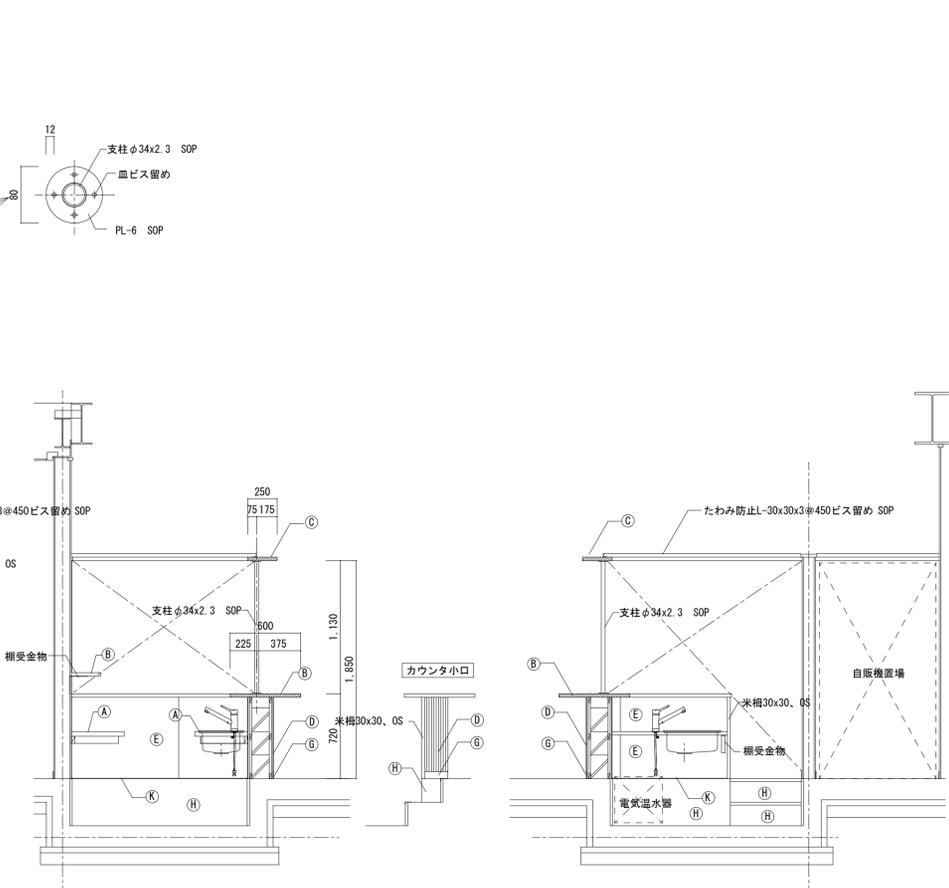
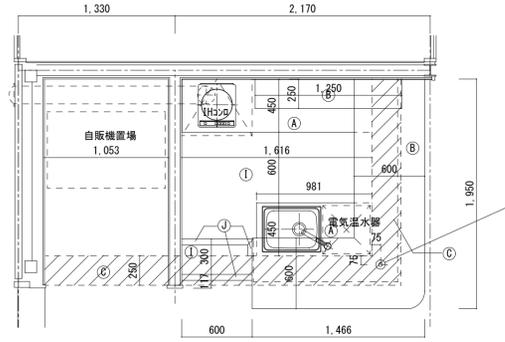
ピクチャーレール 1/10

風除室
天井先付けタイプKS-PCR40A-ST5-2を壁面付け
壁面先付けタイプKS-PCR40A-SWS-2
フックは、いずれも2個/m (KS-PCR-2最大荷重30kg)

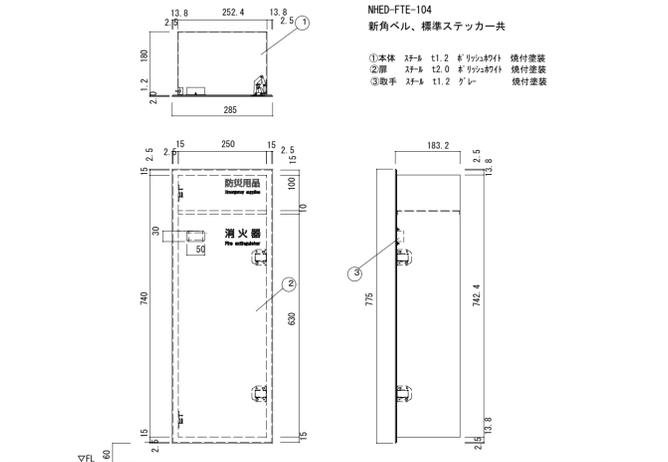
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

№	伊賀市阿保地内	A1版1/5、10 A3版1/10、20
図名	部分詳細図No1	m/m
日付	令和2年 11月12日	係員

- 給湯サービス仕様
- ① コンロ、シンク面台：タモ集成フリー板t=32
 - ② カウンター、棚：タモ集成フリー板t=30、OSウレタン塗装
 - ③ 照明板：タモ集成フリー板t=30、D=250、OSCL
 - ④ 壁：タンボア防汚チークt=4.6、下地PBt=12.5
 - ⑤ 壁：メラミン化粧合板t=3、下地コンパネt=12
 - ⑥ 壁：PB t=12.5 EP
 - ⑦ ステンレス巾木 H=60
 - ⑧ 巾木：モルタル塗り金コテ押さえt=20、EP
 - ⑨ 床：コンクリート化粧仕上
 - ⑩ ステンレスノンスリップ
 - ⑪ アルミ見切りジョイナー（焼付け塗装）
- 設備機器は以下同等品とする。
- ・IHヒーター 中外交易YME500-390S
 - ・シンク 中野工業YME500-390S
 - ・排水部品S-SB（直管接続付）
 - ・水栓 LIXIL-SFWL420SYX
 - ・IHヒーター パナソニックKZ-11C
 - ・シロッコファン 富士工業(株)XA1-3A-6016S1
 - ・給湯器(機械設備工事) LIXIL-EHPN-KB25ECV2
- (建築工事)
配管、配線は設備工事



- 仕様
- トップ: ステンレス (SUS430) ※LIXIL DMK12LKWG1E100、同等品とする。
 - シンク: ステンレス (SUS430)
 - キャビネット: (側板) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
(背板) 特殊樹脂コート化粧MDF アンティックホワイト
(底板) 特殊樹脂コート化粧合板 アンティックホワイト
(幕板) 低圧メラミン化粧パーティクルボード アンティックホワイト
 - 扉: 樹脂製 ホワイト
 - 取手: 排水トラップ、直管接続用フクロナット
 - 付属品: 色丁差し、排水円板
 - 上台: キャビネット (側板シンク側) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
(側板コンロ側) 内側: t3不燃化粧板
外側: 特殊樹脂コート化粧合板+ラワン合板 アンティックホワイト
(背板) t3不燃化粧板+ラワン合板+パーティクルボード
(天板) t3不燃化粧板+パーティクルボード
(幕板) 内側: t3不燃化粧板
外側: 低圧メラミン化粧パーティクルボード アンティックホワイト
(中間棚・棚板) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
(水切欄) 軟質緑材 ポリエチレンコーティング ホワイト
 - 照明器具: LED照明: 6.7W
 - 水栓金具: シングルレバー水栓 SF-WL438SY-JG
 - コンセント: IHヒーター用 (100V用) DMK-JB-E100V
 - ジョイントボックス: CH-11CJG
 - IH一口コンロ: 防熱板
 - 側板木口カバー: 塩ビ成型品 (コ型形状) L=900
 - サイドカバー: 塩ビ成型品 (T型形状) L=499
 - 換気扇: 取付穴: □275 VD-1824-SW (ダクト径φ150)
 - 飲料用電気温水器セット: SEHPNKB12ECV2A2

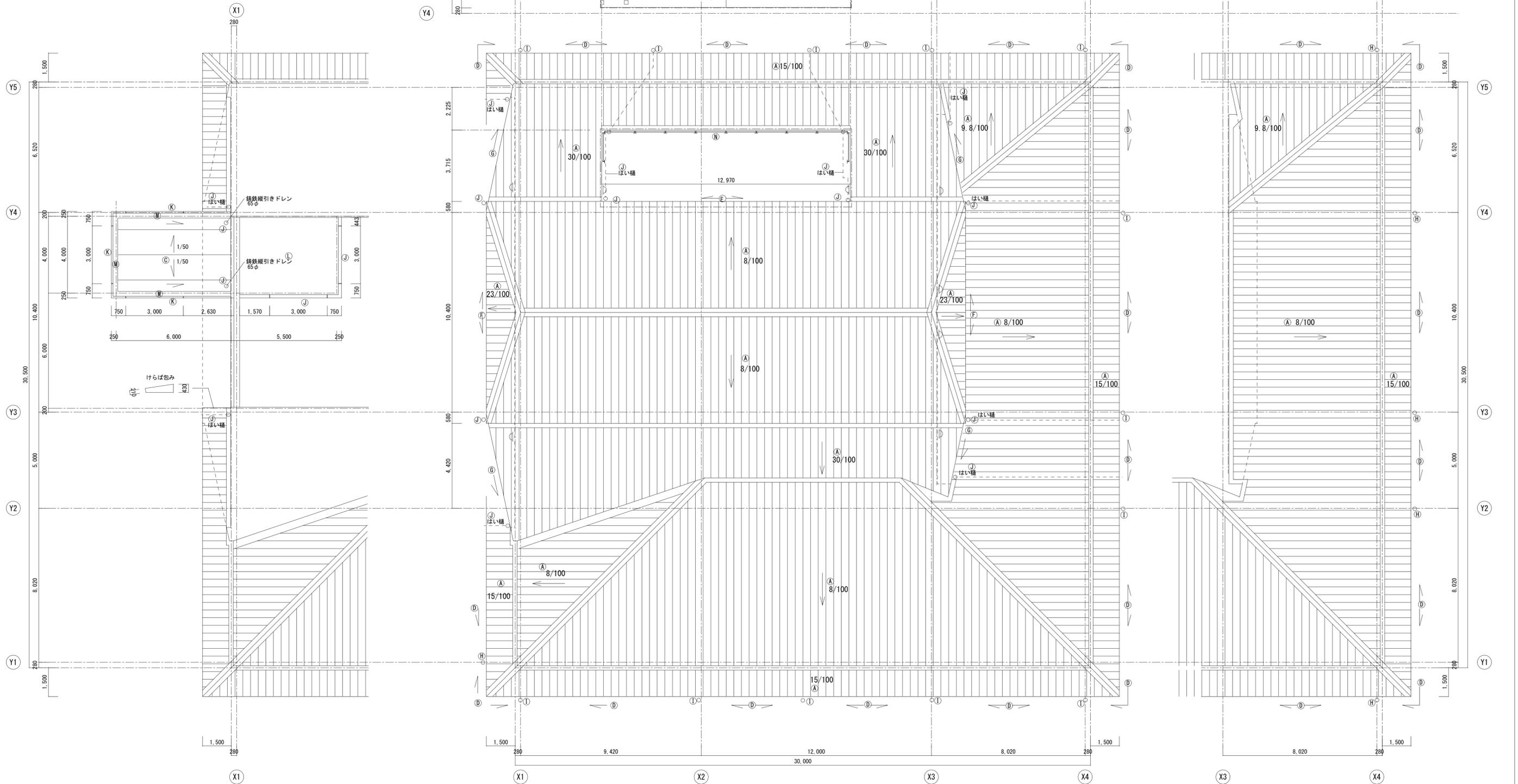


青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊東市阿保地内		A1版1/30、15
A-32	部分詳細図No3		A3版1/60、30
日付	図		係員
令和2年			
11月12日			

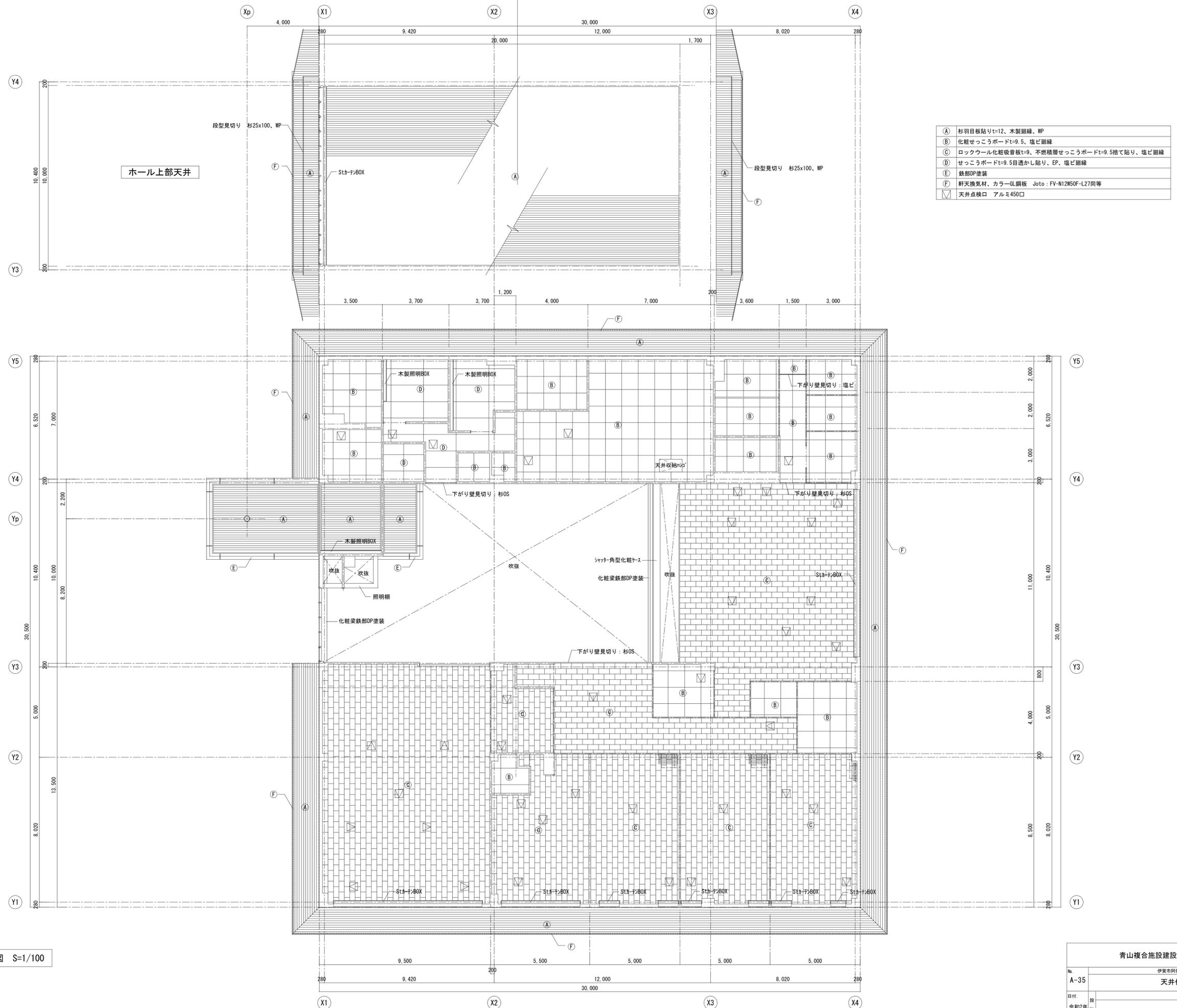
屋根伏図 S=1/100

(A)	立平葺 (H=25)@333 ガルバリウム鋼板t=0.4 (軸内部ホットメルト充填)
(B)	ケラシ系塗膜防水、トップコート
(C)	シート防水、硬質ポリウレタンフォームt=30、OLルーフ下地
(D)	軒種：前高165
(E)	軒種：前高130
(F)	軒種：折板120
(G)	けらば一体斜め種：カラーガルバリウム鋼板曲げ加工t=0.4
(H)	縦種：VP125カラー
(I)	縦種：VP100カラー
(J)	縦種：VP65カラー
(K)	幕板：鉄部DP塗装
(L)	構造用合板t=12貼り
(M)	笠木：カラーガルバリウム鋼板加工 t=0.4
(N)	目隠しフェンス
(O)	SUS小屋根換気孔、西邦工業 (株) SXU200MS同等、金網とも

■立平葺きは、下記メーカーの同等以上とする
 ・立平ロック25型 (株)セキノ興産大垣店
 ・ヨドローフフェスタ400 (株)淀川製鋼所
 ・三晃式立馳葺E-20 (三晃金属工業 (株))



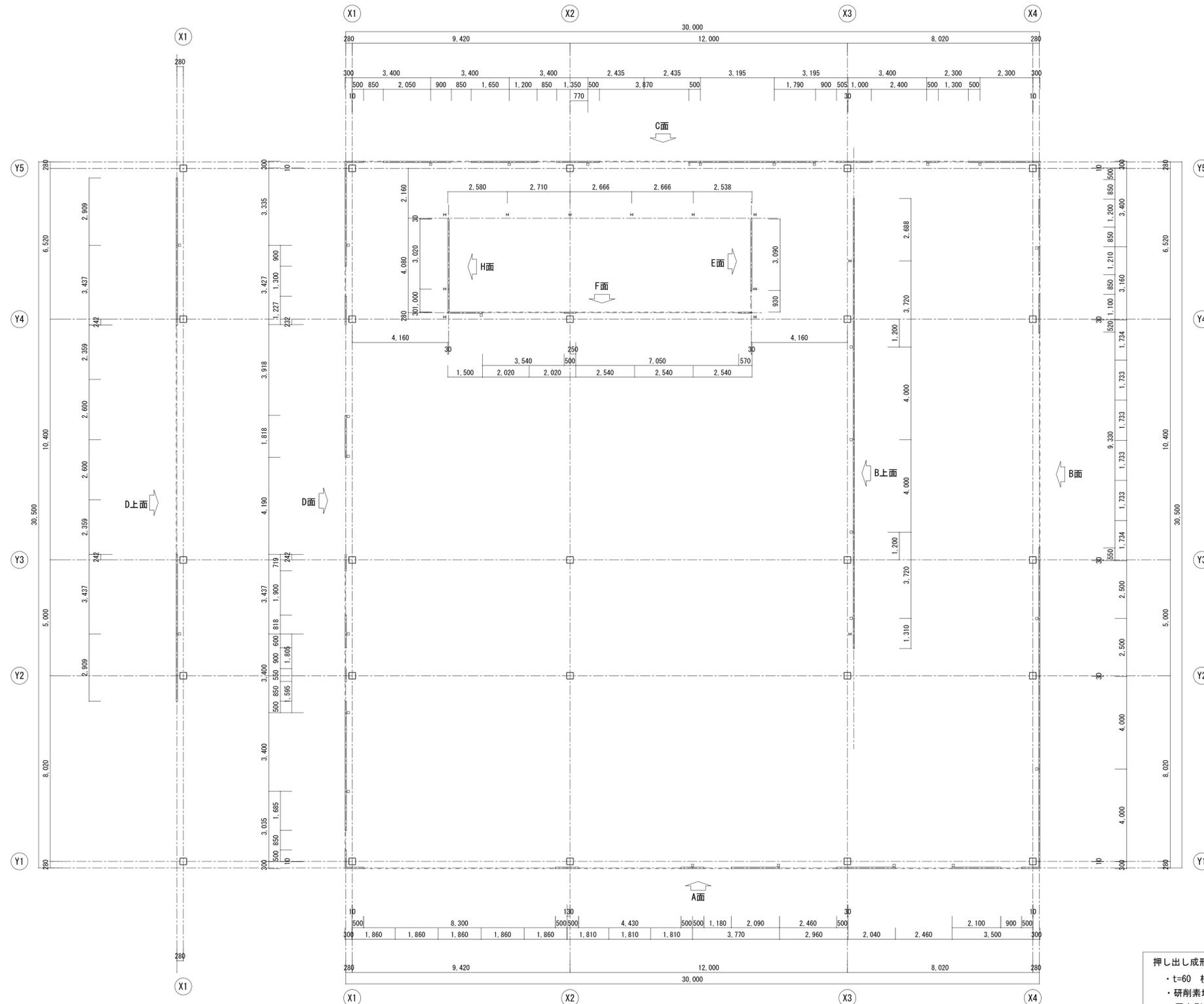
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)		
№	伊賀市阿保地内	A1版 1/100
A-33	屋根伏図	A3版 1/200
日付		棟 員
令和2年		
11月12日		



(A)	杉羽目板貼りt=12、木製廻縁、WP
(B)	化粧せっこうボードt=9.5、塩ビ廻縁
(C)	ロックウール化粧吸音板t=9、不燃積層せっこうボードt=9.5捨て貼り、塩ビ廻縁
(D)	せっこうボードt=9.5目透かし貼り、EP、塩ビ廻縁
(E)	鉄部DP塗装
(F)	軒天換気材、カラーGL鋼板 Joto: FV-N12W50F-L27同等
(▽)	天井点検口 アルミ450口

天井伏図 S=1/100

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100	
A-35	天井伏図	A3版1/200	
日付		m/m	係員
令和2年 11月12日			

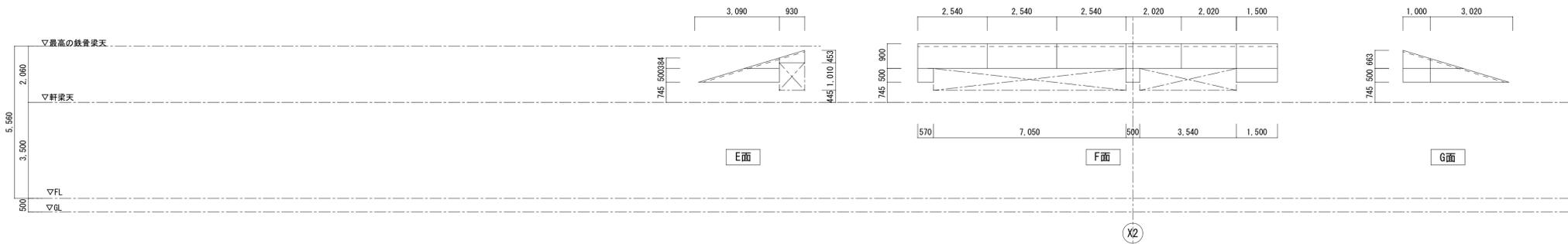
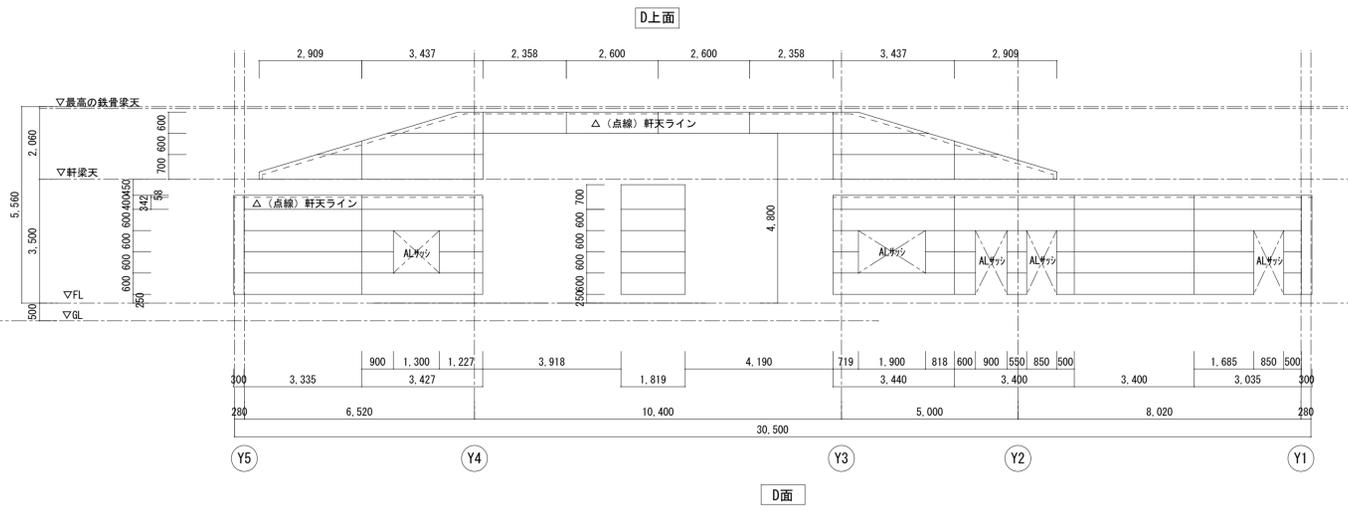
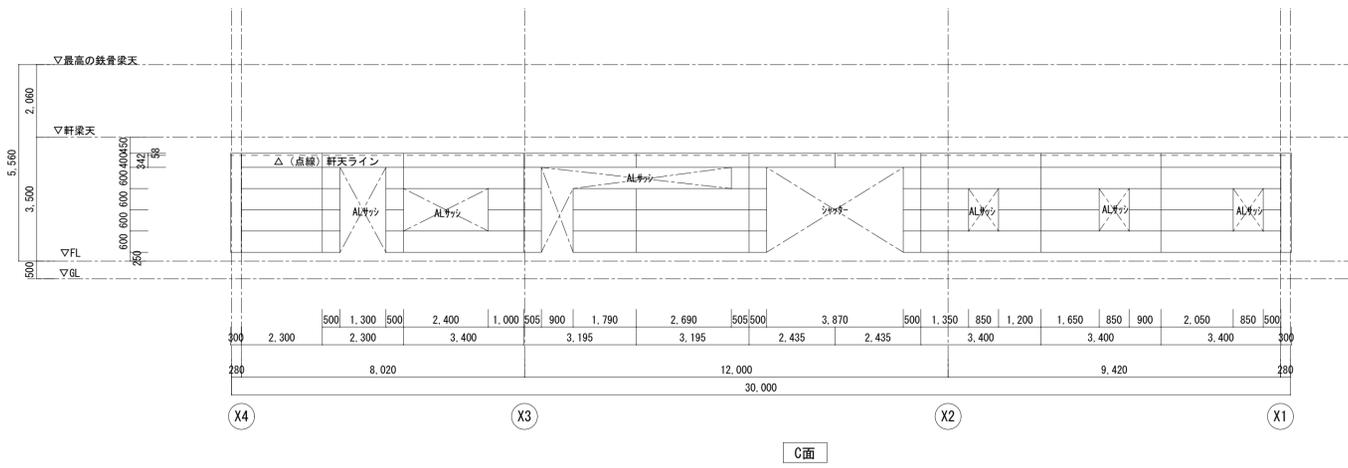
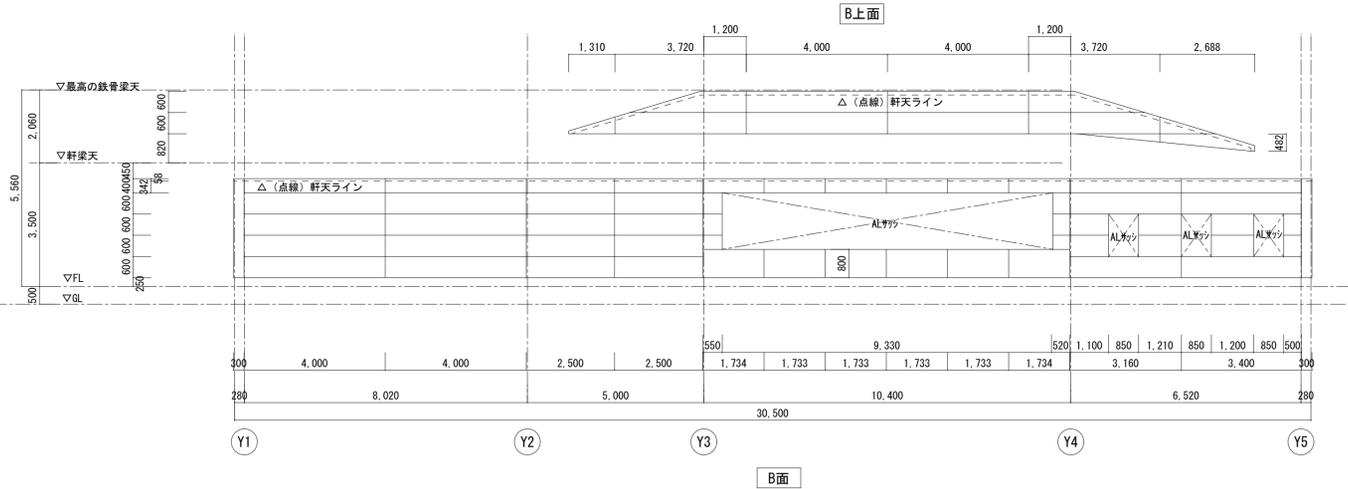
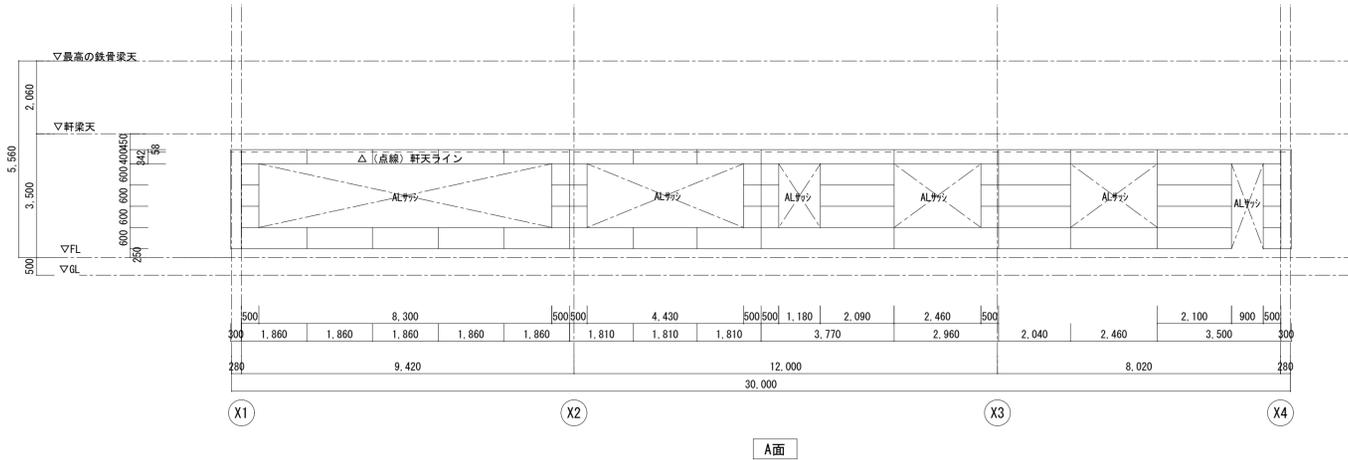


押し出し成形セメント板平面割付図 S=1/100

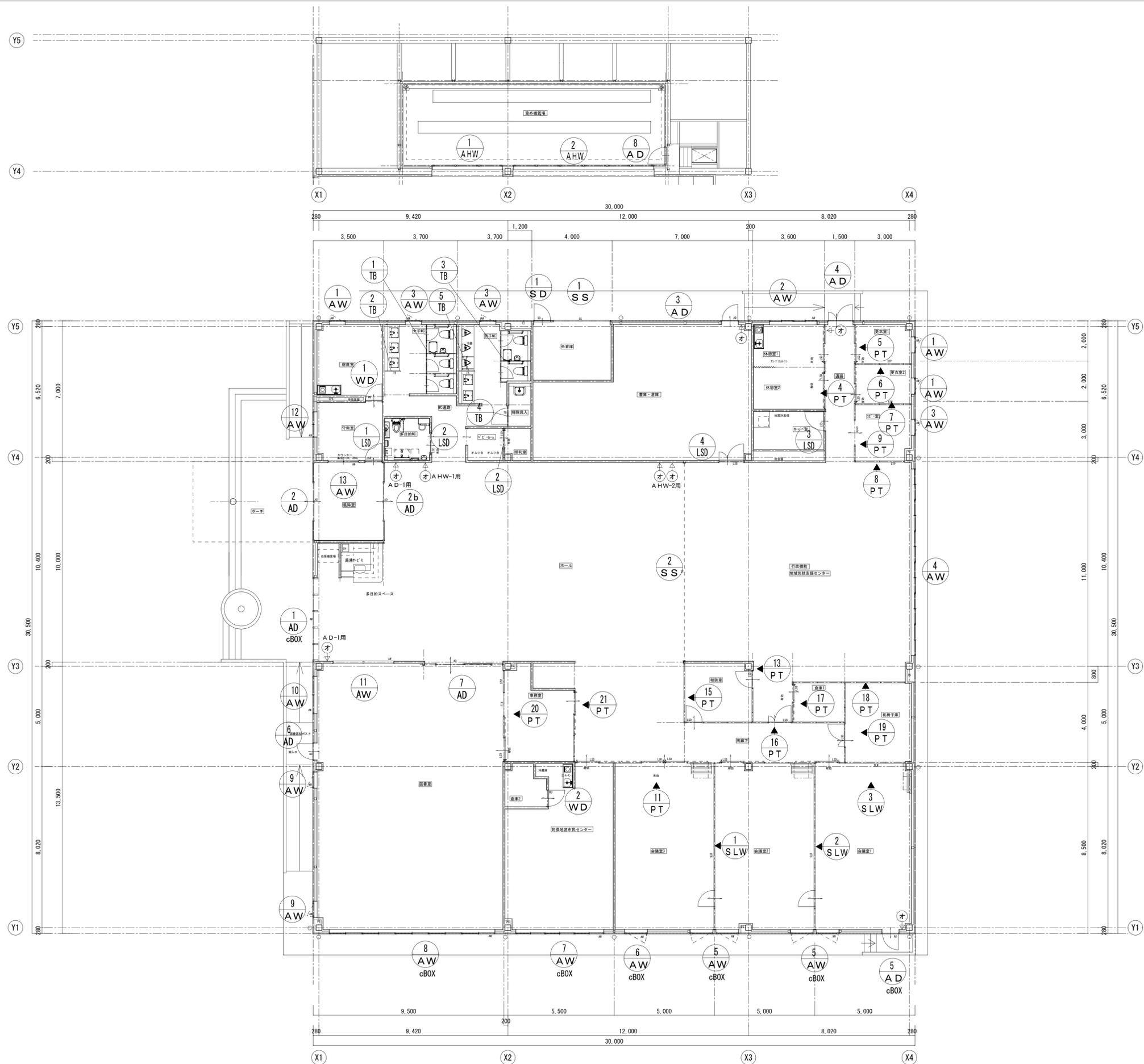
- 押し出し成形セメント板仕様
- ・t=60 横張工法（公共建設工事標準仕様書 外壁パネル工法B種）
 - ・研削素地吸水防止剤仕様
 - ・屋内側、硬質ウレタンフォーム（現場発泡） t = 30

※本割り付けは参考とし、施工図にて決定する。
 支持材や貫通等による割り付け調整を 必ず関係会社と協議すること。

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地内		A1版 1/100
	押し出し成形セメント板割付図No1		A3版 1/200
日付	設計		係員
令和2年	11月	12日	



青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区		A1版 1/100
	押し出し成形セメント板割付図No2		A3版 1/200
日付	設計		係員
令和2年			
11月12日			



建具平面図 S=1/100

↑
オ 印ヶ所は、排煙窓用オペレータ位置を示す。
cBOXは、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞcBOX一休形額縁とする。

- 1 PT 2 PT 3 PT 10 PT 12 PT 14 PT 欠番

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100	
A-38	建具平面図	A3版1/200	
日付		m/m	係員
令和2年 11月12日			

記号・数量	4 AW 6連引き違い窓 1	5 AW 2連縦すべり出し窓 2	6 AW 縦すべり出し窓 1	7 AW 3連引き違い窓 1	
※ 図					
場所・仕上	行政機能 (シルバー)	会議室1,2,3 (シルバー)	会議室3 (シルバー)	阿保地区市民センター (シルバー)	
硝子	F L-3+3 (合わせガラス)	F L-3+3 (合わせガラス)、 カムラッチハンドル、フリクションアーム、他 付属金物一式	F L-3+3 (合わせガラス)、 カムラッチハンドル、フリクションアーム、他 付属金物一式	F L-3+3 (合わせガラス)	
金物	クレセント (サブロック付)、他 付属金物一式	カムラッチハンドル、フリクションアーム、他 付属金物一式	カムラッチハンドル、フリクションアーム、他 付属金物一式	クレセント (サブロック付)、他 付属金物一式	
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	
備考	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞、ｽﾌﾟｰﾙｷﾞｯﾄﾞBOX	上げ下げローラー網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞、ｽﾌﾟｰﾙｷﾞｯﾄﾞBOX	上げ下げローラー網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞、ｽﾌﾟｰﾙｷﾞｯﾄﾞBOX	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞、ｽﾌﾟｰﾙｷﾞｯﾄﾞBOX	
記号・数量	8 AW 5連引き違い窓 1	9 AW 腰FIX付縦すべり出し窓 2	10 AW 引き違い窓 1	11 AW 2連縦め殺し窓 1	12 AW 引き違い窓 1
※ 図					
場所・仕上	図書室 (シルバー)	図書室 (シルバー)	図書室 (シルバー)	図書室 (シルバー)	守衛室 (シルバー)
硝子	F L-3+3 (合わせガラス)	F L-3+3 (合わせガラス) 腰FIX カムラッチハンドル、フリクションアーム、小開口ストッパー、他 付属金物一式	F L-3+3 (合わせガラス) クレセント (サブロック付) 他 付属金物一式	F L-5 付属金物一式	F L-3+3 (合わせガラス)
金物	クレセント (サブロック付)、他 付属金物一式	カムラッチハンドル、フリクションアーム、小開口ストッパー、他 付属金物一式	クレセント (サブロック付) 他 付属金物一式	付属金物一式	クレセント (サブロック付)、他 付属金物一式
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	70mm
備考	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞、ｽﾌﾟｰﾙｷﾞｯﾄﾞBOX	上げ下げローラー網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞	(屋内用サッシ) アルミ縞縞アングル(両面)	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞
記号・数量	13 AW 引き違いカウンター窓 1	1 AHW 3連内倒し排煙窓 1	2 AHW 6連内倒し排煙窓 1	8 AD 片開きアルミフラッシュ戸 1	
※ 図					
場所・仕上	守衛室 (シルバー)	ホール (シルバー)	ホール (シルバー)	屋上 室外機置場 (シルバー)	
硝子	F L-3+3 (合わせガラス)	F-4	F-4		
金物	クレセント (サブロック付)、 付属金物一式	排煙オペレーター装置、他 付属金物一式	排煙オペレーター装置、他 付属金物一式	レバーバンドル、SUS丁番、DC、シリンダー錠、他 付属金物一式	
見込	70mm	70mm	70mm	70mm	
備考	網戸付 アルミ縞縞アングル(両面)	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞	網戸付 アルミ2重水切り、ｽﾌﾟｰﾙ縞縞	アルミ2重水切り	
注記) 縞縞、カーテンBOX寸法については、詳細図参照のこととする。					
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)					
No. A-40		伊賀市阿保地区		A1版1/50 A3版1/100	
日付		令和2年		係員	
11月12日					

記号	数量	1 TB	トイレブース	1	2 TB	隔て板	1	3 TB	トイレブース	1	5 TB	隔て板	1	4 TB	トイレブース	1			
※	※																		
場所・仕上	女子WC 高圧メラミン樹脂化粧板 (BMDエンボス仕上げ)				男子WC 高圧メラミン樹脂化粧板 (BMDエンボス仕上げ)				掃除員入 高圧メラミン樹脂化粧板 (BMDエンボス仕上げ)										
硝子	---																		
金物	笠木・壁レール: アルマイトクリア仕上げ ロック: ステンレス製 グレドティヒンジ: ステンレス製 巾木: SUS H.L仕上げ				笠木・壁レール: アルマイトクリア仕上げ ロック: ステンレス製 グレドティヒンジ: ステンレス製 巾木: SUS H.L仕上げ				笠木・壁レール: アルマイトクリア仕上げ ロック: ステンレス製 グレドティヒンジ: ステンレス製 巾木: SUS H.L仕上げ										
見込	40mm																		
備考	コマニー (株) CB-A R同等品																		
記号	数量	1 LSD	軽量片開きスチールドア	1	2 LSD	LGS内蔵型半自動式2枚引込ハンガードア	2	3 LSD	軽量片開きスチールドア	1	4 LSD	軽量親子スチールドア	1	1 WD	木製片開きフラッシュ戸	1	2 WD	木製片開きフラッシュ戸	1
※	※																		
場所・仕上	守衛室 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装		多目的WC、授乳室 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装				サーバー室 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装		書庫、倉庫 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装		宿直室 ポリ化粧合板		倉庫 2 ポリ化粧合板						
硝子	---																		
金物	レバーハンドル、SUS丁番 他附属金物一式 SUS容措		スリ製ロック、振動ローラー、踏摺SUS t=1.5 他附属金物一式 SUS容措				レバーハンドル、SUS丁番 他附属金物一式 SUS容措		レバーハンドル、SUS丁番 他附属金物一式 SUS容措		レバーハンドル、SUS丁番、戸当り、DC他 付属金物一式 SUS容措		レバーハンドル、SUS丁番、戸当り、DC他 付属金物一式 SUS容措						
見込	40mm		36mm				36mm		36mm		36mm								
備考	コマニー (株) LSD同等品 ※各部位仕上別紙詳細参照		コマニー (株) HD-2KL2連型同等品 ※各部位仕上別紙詳細参照				コマニー (株) LSD同等品 ※各部位仕上別紙詳細参照		コマニー (株) LSD同等品 ※各部位仕上別紙詳細参照		SUS容措		SUS容措						
記号	数量	4 PT	アルミパーティション	1	5 PT	アルミパーティション	1	6 PT	アルミパーティション	1	7 PT	アルミパーティション	1	8 PT	スチールパーティション	1			
※	※																		
場所・仕上	職員通路 表面材: カラー鋼板t0.5mm 充填材: ベーバーコア		更衣室1、更衣室2 表面材: カラー鋼板t0.5mm 充填材: ベーバーコア				更衣室2 表面材: カラー鋼板t0.5mm 充填材: ベーバーコア		コピー室 表面材: カラー鋼板t0.5mm 充填材: ベーバーコア		行政機能 表面材: 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打ち材: 石膏ボードt2.5 充填材: グラスウール t2.5								
硝子	---																		
金物	スリ製ロック、振動ローラー、踏摺SUS t=1.5 他附属金物一式 SUS容措		スリ製ロック、振動ローラー、踏摺SUS t=1.5 他附属金物一式 SUS容措				笠木、巾木、床レール、壁レール等 附属金物一式		笠木、巾木、床レール、壁レール等 附属金物一式		笠木、巾木、床レール、壁レール等 附属金物一式								
見込	42mm		42mm				42mm		42mm		60mm								
備考	コマニー (株) SL同等品		コマニー (株) SL同等品				コマニー (株) SL同等品		コマニー (株) SL同等品		コマニー (株) EUP同等品								

1 PT 2 PT 3 PT 欠番

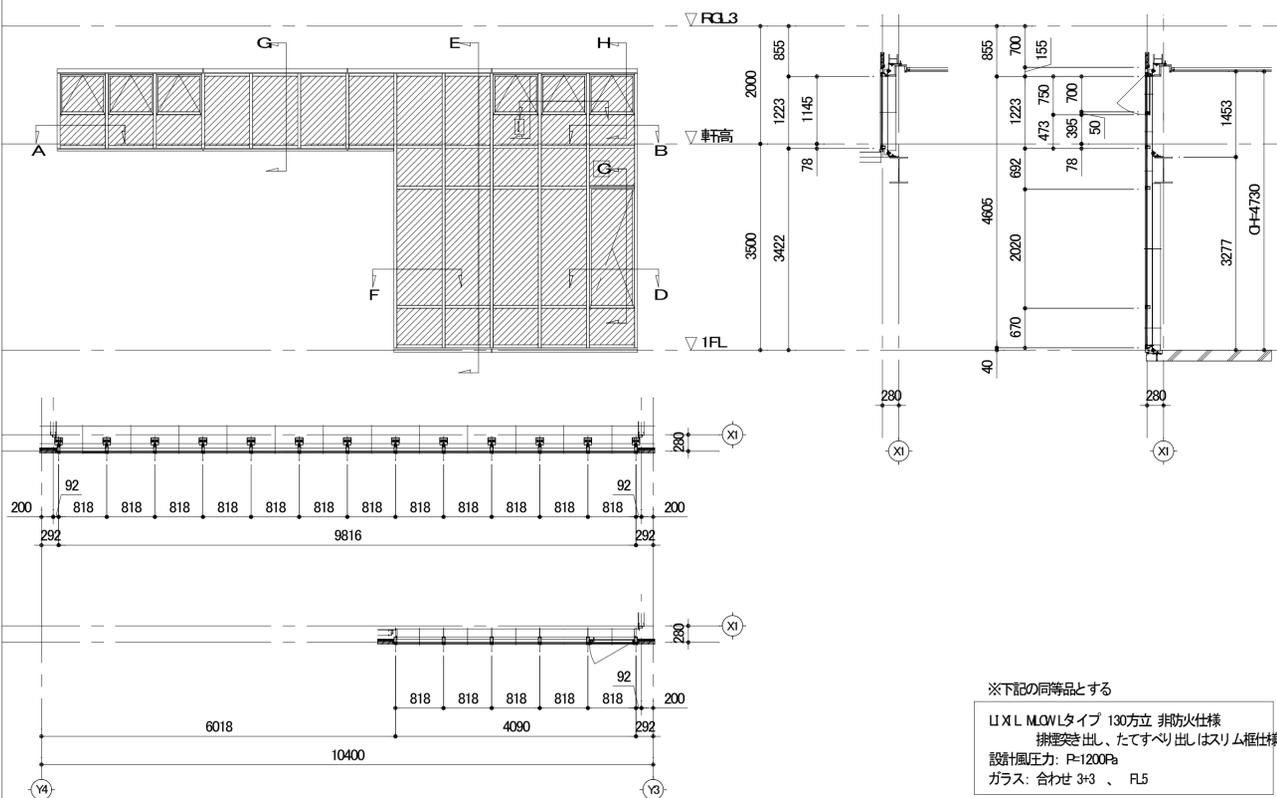
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	A-41	伊賀市阿保地区	A1版1/50 A3版1/100
日付	令和2年11月12日	建具表 3	m/m
設計	---	---	---
監理	---	---	---
施工	---	---	---
検査	---	---	---
竣工	---	---	---

<p>記号 数量</p> <p>9 PT</p> <p>1</p>	<p>11 PT</p> <p>1</p>	<p>13 PT</p> <p>1</p>	<p>15 PT</p> <p>1</p>		
<p>16 PT</p> <p>1</p>	<p>17 PT</p> <p>1</p>	<p>18 PT</p> <p>1</p>	<p>19 PT</p> <p>1</p>	<p>20 PT</p> <p>1</p>	
<p>21 PT</p> <p>1</p>	<p>1 SLW</p> <p>2 SLW</p> <p>2</p>	<p>3 SLW</p> <p>1</p>	<p>10 PT</p> <p>12 PT</p> <p>14 PT</p> <p>欠番</p>		
<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>
<p>場所 仕上</p> <p>コピー室</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>会議室 1、2、3</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>行政機能</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>相談室</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>南廊下</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>倉庫 1</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>
<p>硝子</p> <p>FL-5</p>	<p>硝子</p> <p>FL-5</p>	<p>硝子</p> <p>F-4</p>	<p>硝子</p> <p>F-4</p>	<p>硝子</p> <p>F-3</p>	<p>硝子</p> <p>F-3</p>
<p>金物</p> <p>笠木、巾木、床レール、壁レール等 附属金物一式</p>	<p>金物</p> <p>スリム製ロック、振動ローラー、踏摺 SUS t=1.5 他附属金物一式 SUS 巻摺</p>	<p>金物</p> <p>レバーハンドル、SUS T 番 他附属金物一式 SUS 巻摺</p>	<p>金物</p> <p>レバーハンドル、SUS T 番 他附属金物一式 SUS 巻摺</p>	<p>金物</p> <p>レバーハンドル、SUS T 番 他附属金物一式 SUS 巻摺</p>	<p>金物</p> <p>スリム製ロック、振動ローラー、踏摺 SUS t=1.5 他附属金物一式 SUS 巻摺</p>
<p>見込</p> <p>60mm</p>	<p>見込</p> <p>60mm</p>	<p>見込</p> <p>60mm</p>	<p>見込</p> <p>60mm</p>	<p>見込</p> <p>60mm</p>	<p>見込</p> <p>60mm</p>
<p>備考</p> <p>コマニー (株) EUP 同等品</p>	<p>備考</p> <p>コマニー (株) EUP付HD-3KB 同等品</p>	<p>備考</p> <p>コマニー (株) EUP同等品</p>	<p>備考</p> <p>コマニー (株) EUP同等品</p>	<p>備考</p> <p>コマニー (株) EUP同等品</p>	<p>備考</p> <p>コマニー (株) EUP付HD-3KB 同等品</p>
<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>	<p>※ 図</p>		
<p>場所 仕上</p> <p>事務室 (図書室)</p> <p>表面材：溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材：石膏ボードt2.5 充填材：グラスウール t 2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>会議室 1、2</p> <p>表面材 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 裏打材 石膏ボードt2.5</p>	<p>場所 仕上</p> <p>会議室 2</p> <p>表面材 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装 枠材 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t=1.6 裏打材 石膏ボードt19.5 充填材 グラスウール (32kg/m3) t40</p>	<p>青山複合施設建設工事 (建築主体工事)</p> <p>伊賀市阿保地区</p> <p>A1版1/50 A3版1/100</p> <p>図 4</p> <p>日付 令和2年11月12日</p> <p>係員</p>		

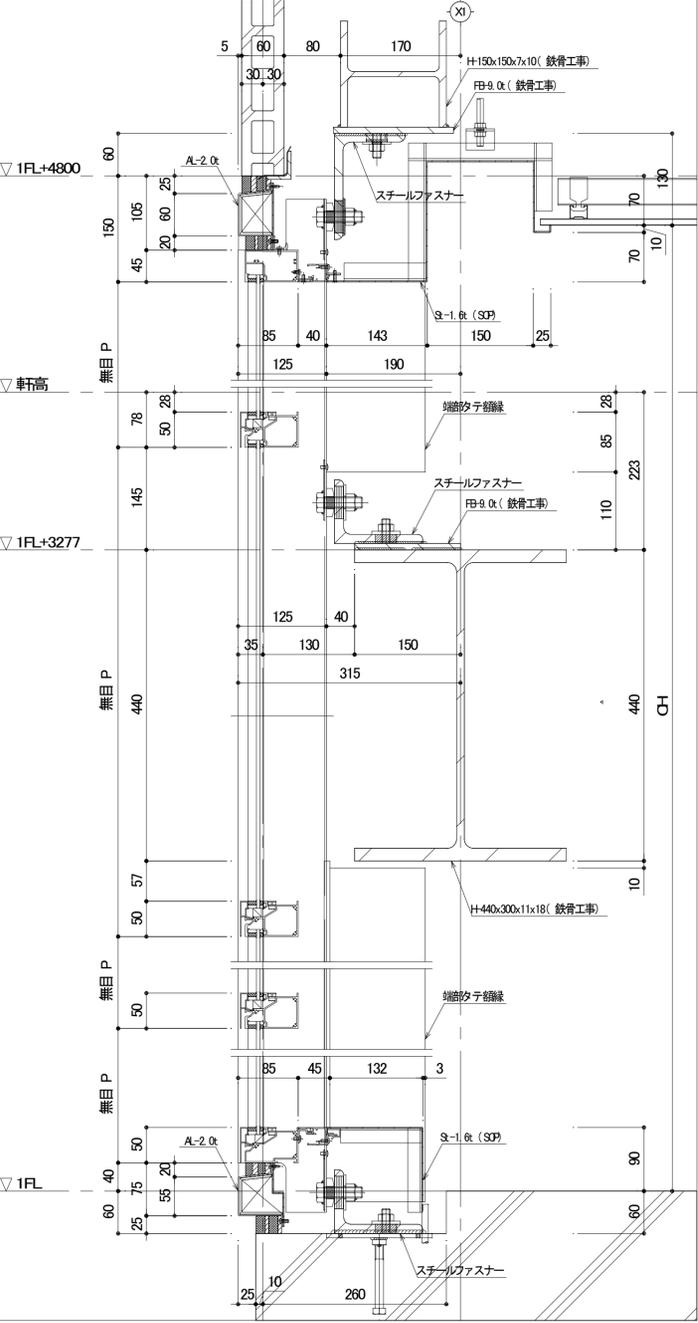
ACW 姿図 (外観図)

S=1/60



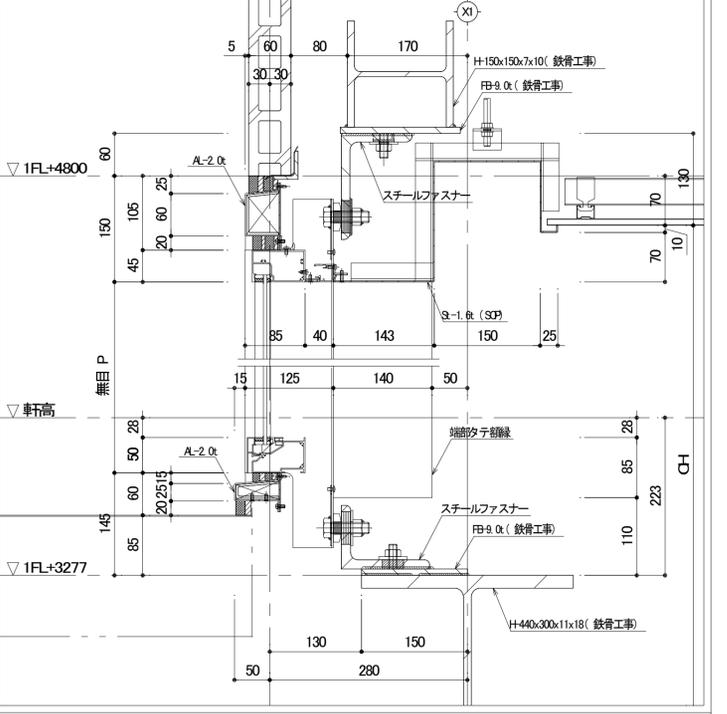
E部 断面詳細図

S=1/5



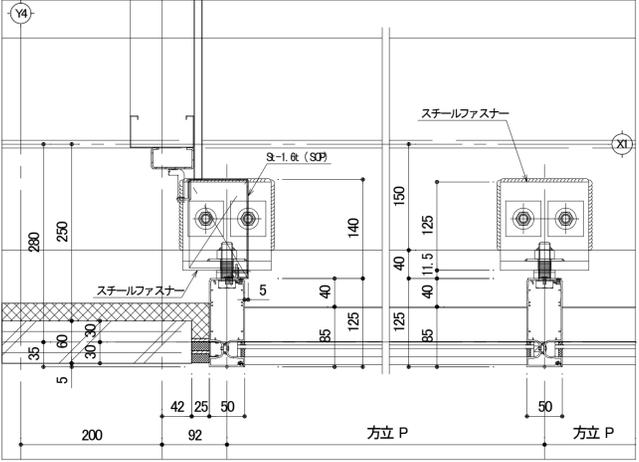
G部 断面詳細図

S=1/5



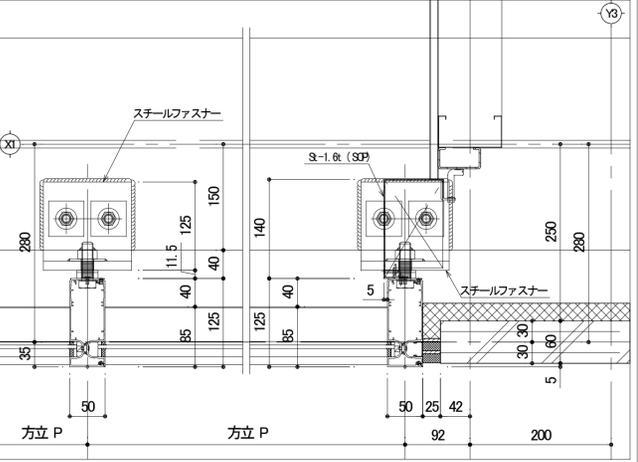
A部 断面詳細図

S=1/5



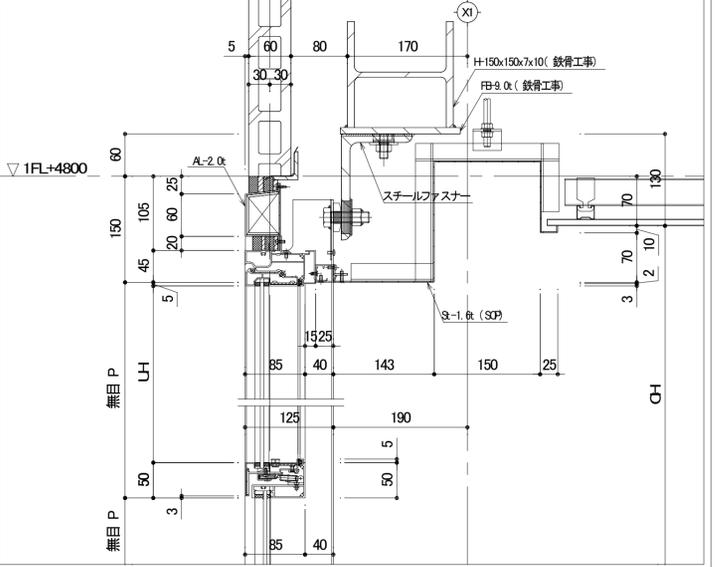
B部 断面詳細図

S=1/5



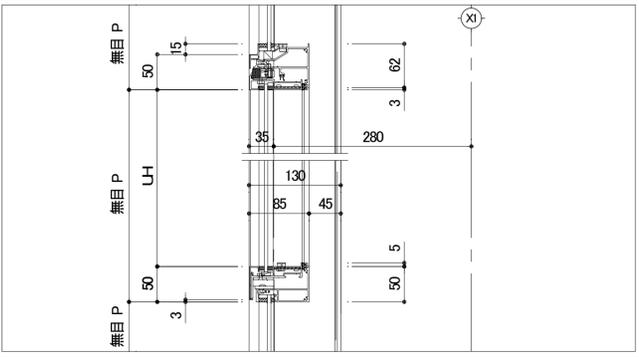
H部 断面詳細図

S=1/5



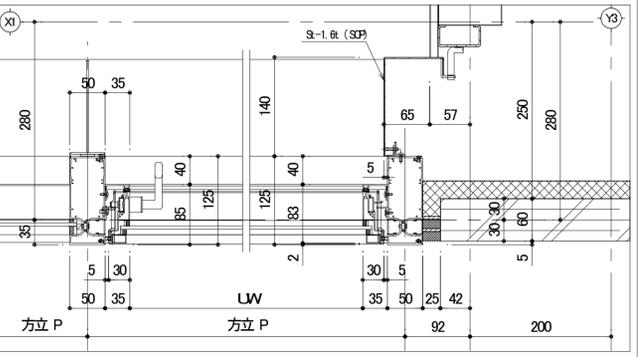
C部 断面詳細図

S=1/5



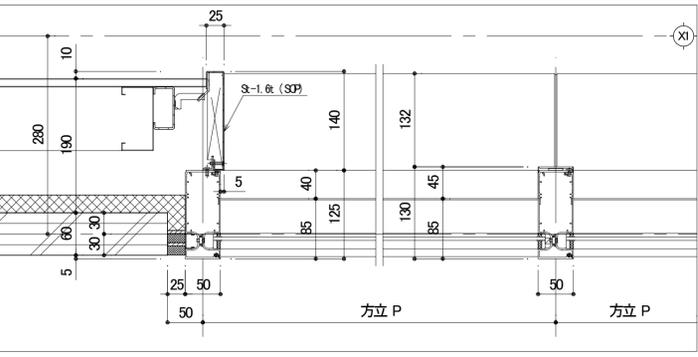
D部 断面詳細図

S=1/5



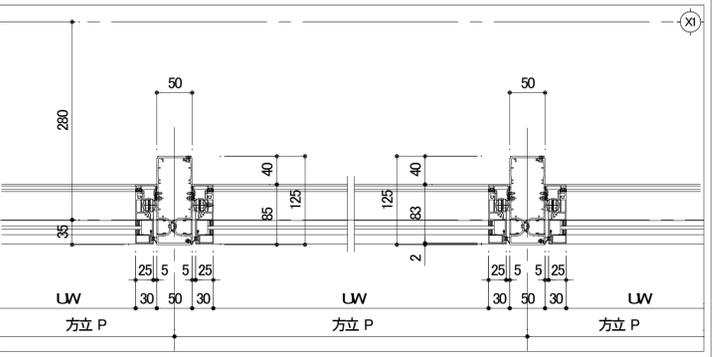
F部 断面詳細図

S=1/5



I部 断面詳細図

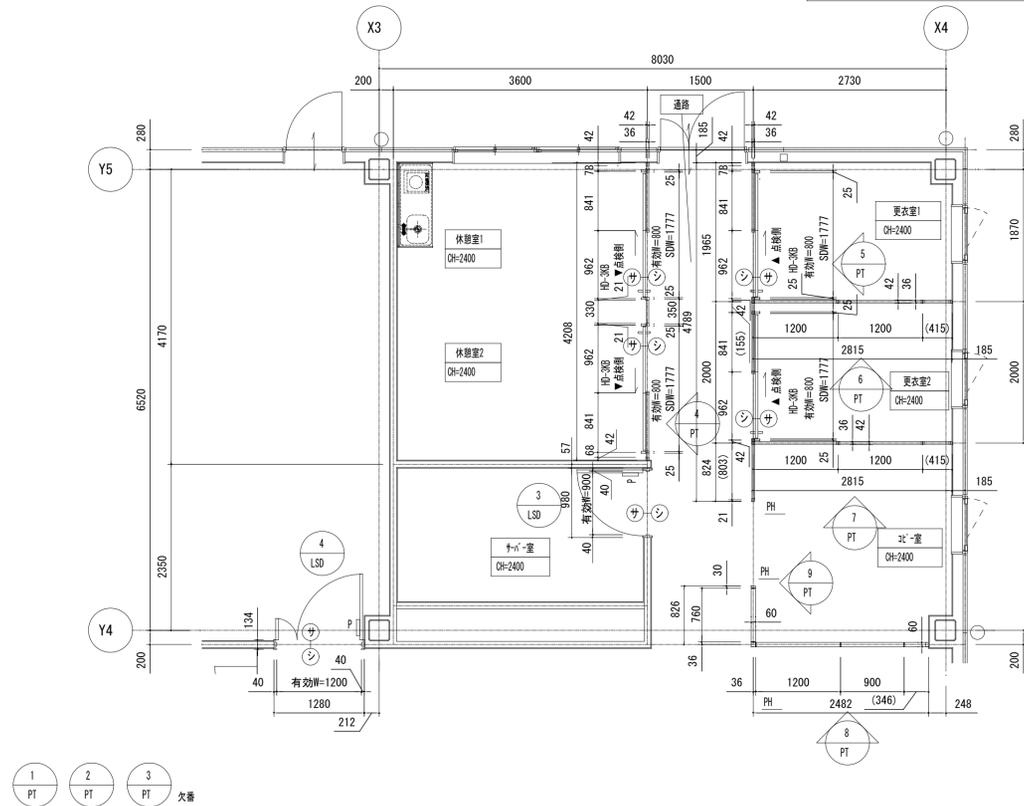
S=1/5



青山複合施設建設工事 (建築主体工事)		
No. A-43	伊賀市阿保地区 建具詳細図No1 (ACW)	A1版1/5, 60 A3版1/10, 120 m ² /m
日付 令和2年 11月12日	図 1	係員

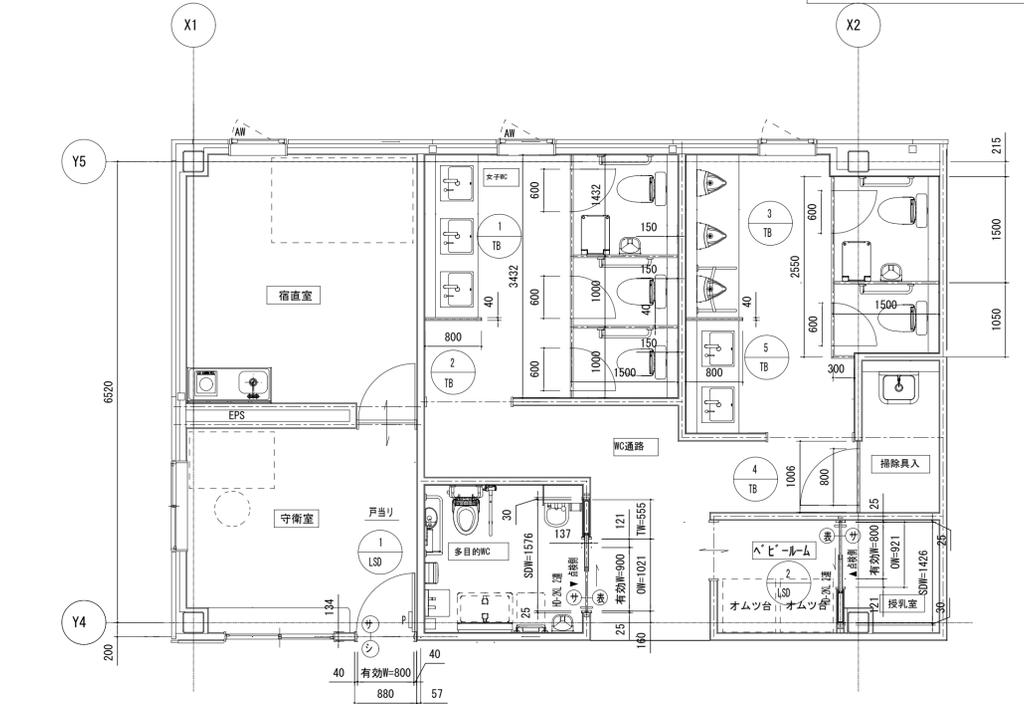
平面図(1)

S=1:50



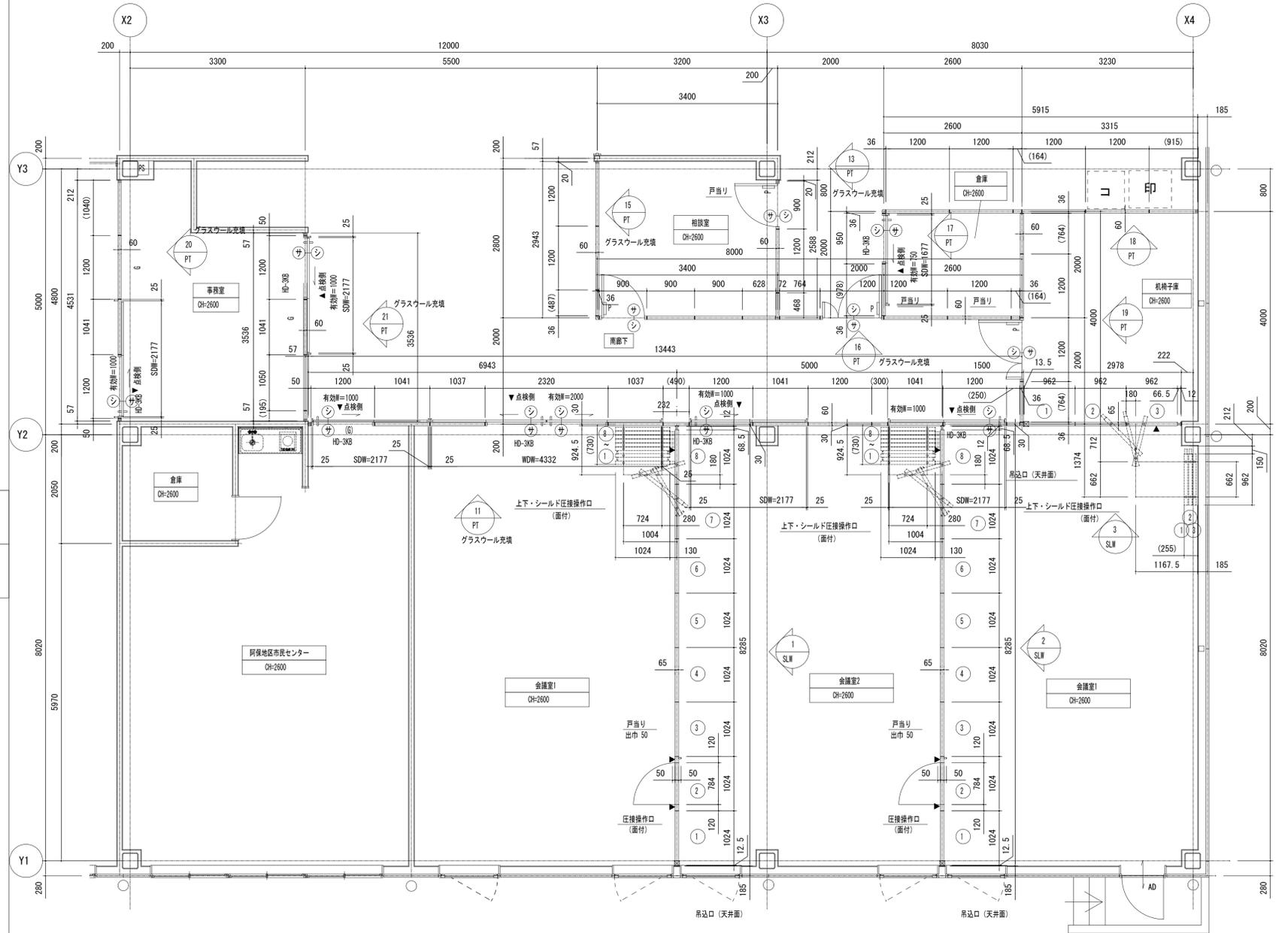
平面図(2)

S=1:50



平面図(3)

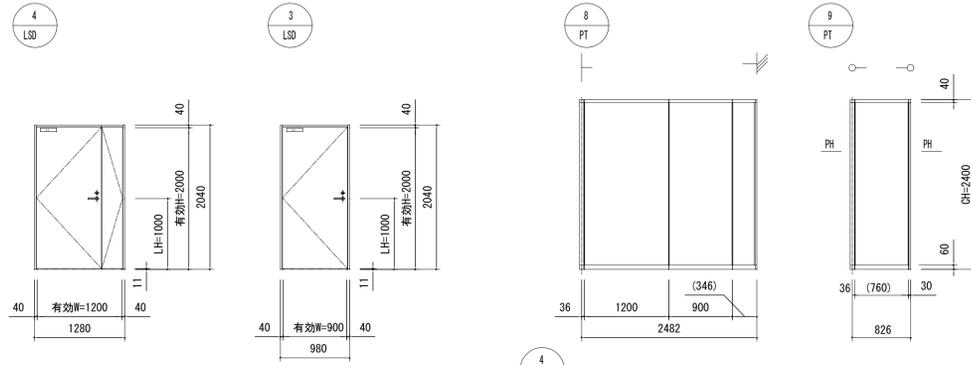
S=1:50



10 PT 12 PT 14 PT 欠番

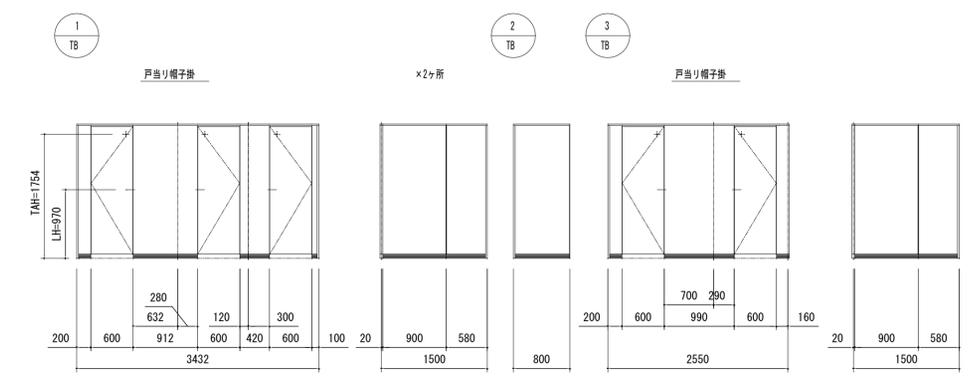
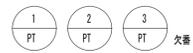
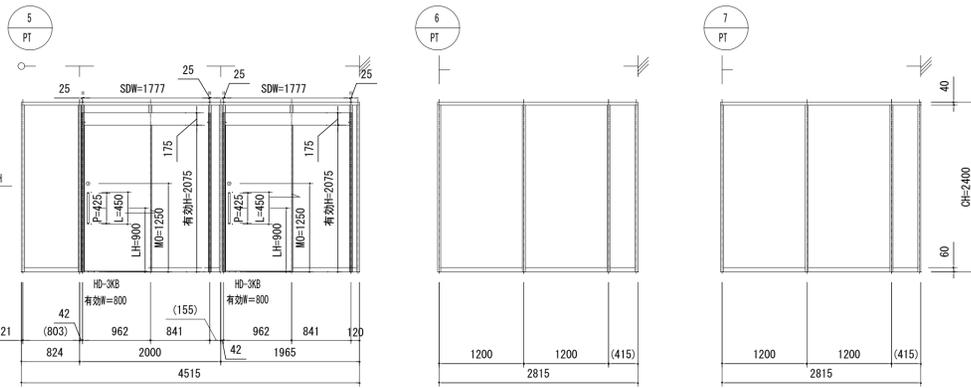
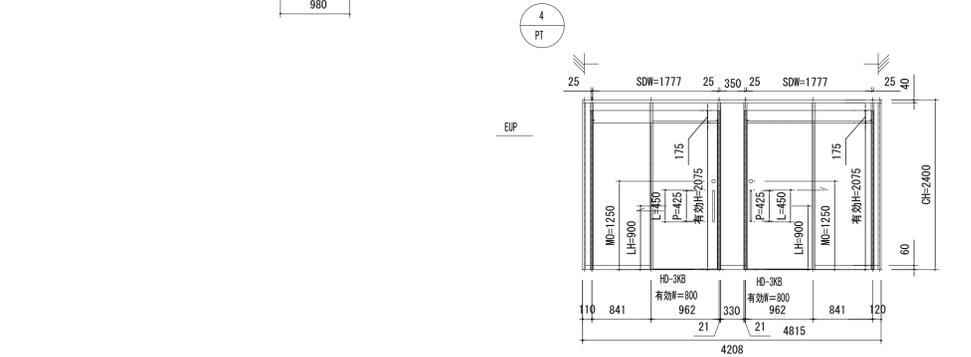
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100
A-44	建具詳細図No2 (LSD, PT, TB)	A3版1/200
日付		m/m
設計		係員
令和2年11月12日		



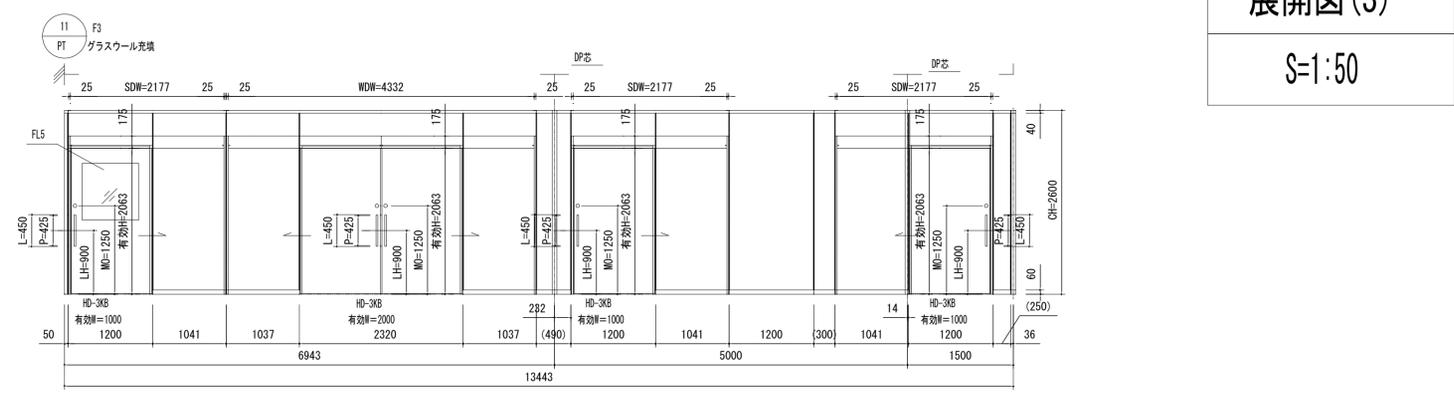
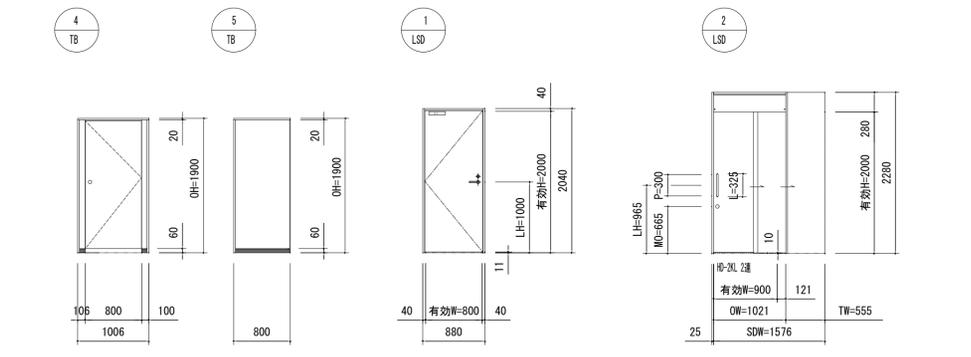
展開図(1)

S=1:50



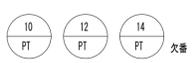
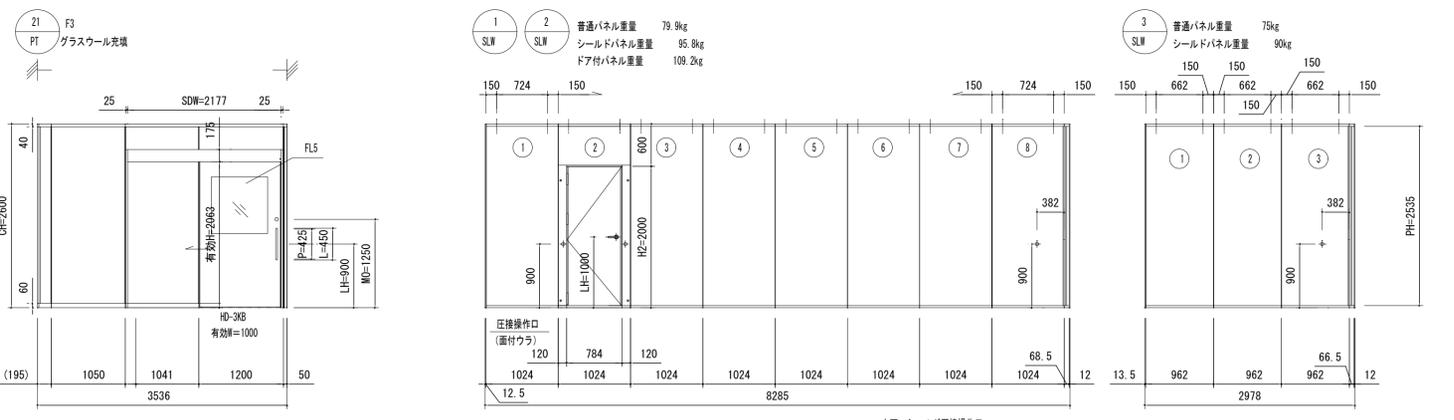
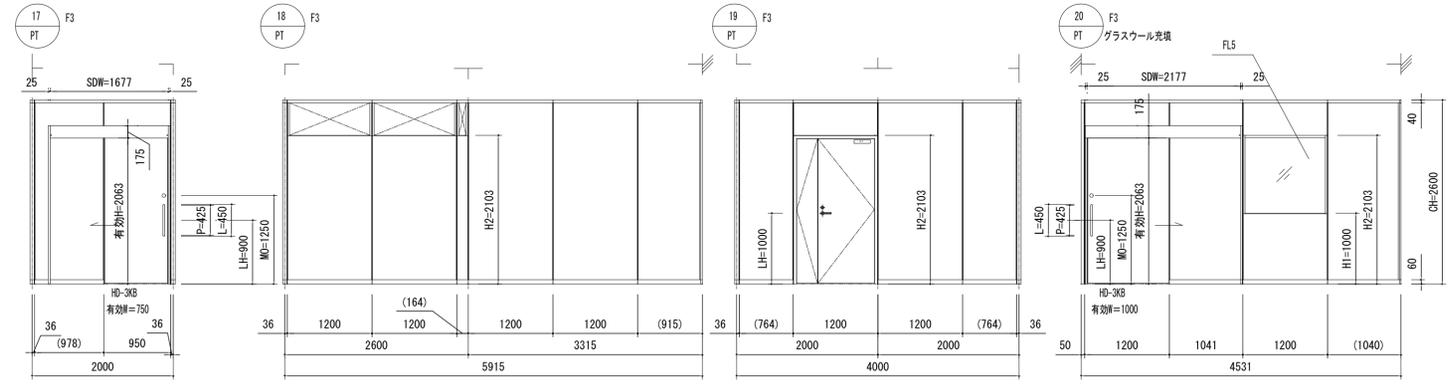
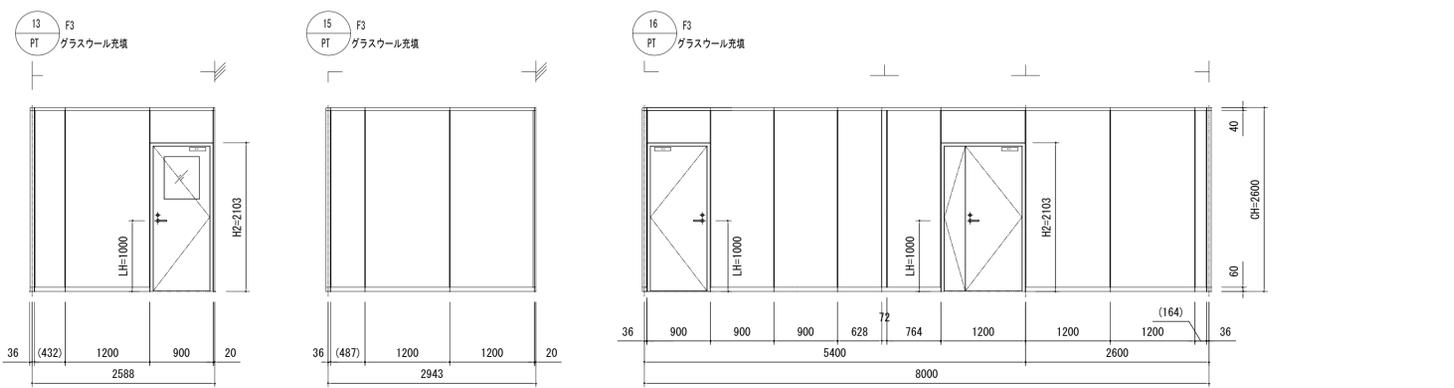
展開図(2)

S=1:50

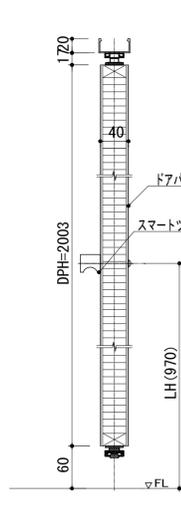
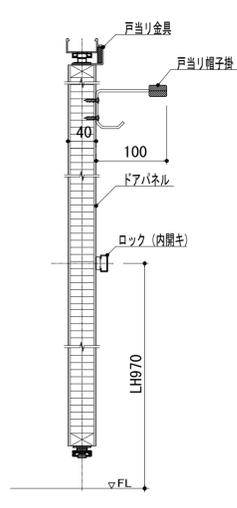
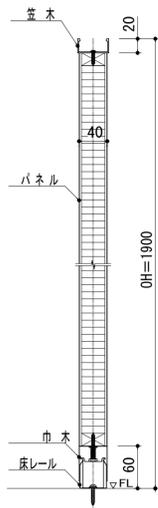
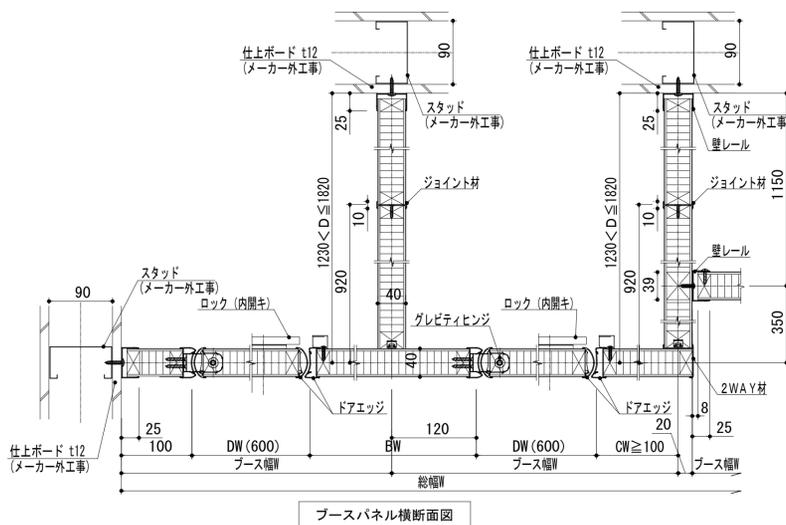
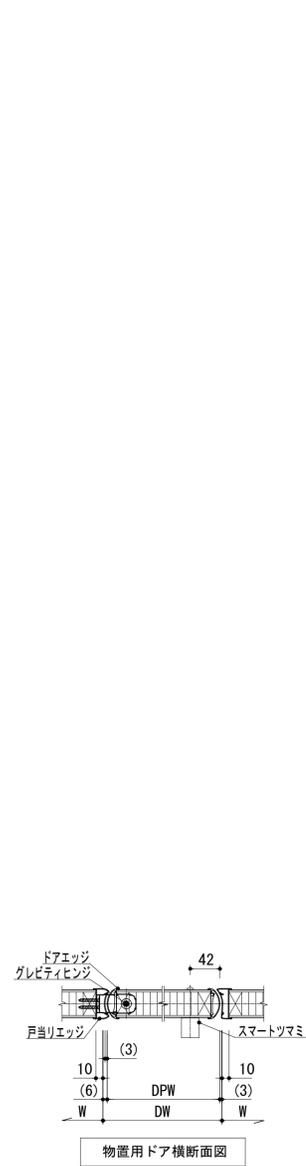


展開図(3)

S=1:50

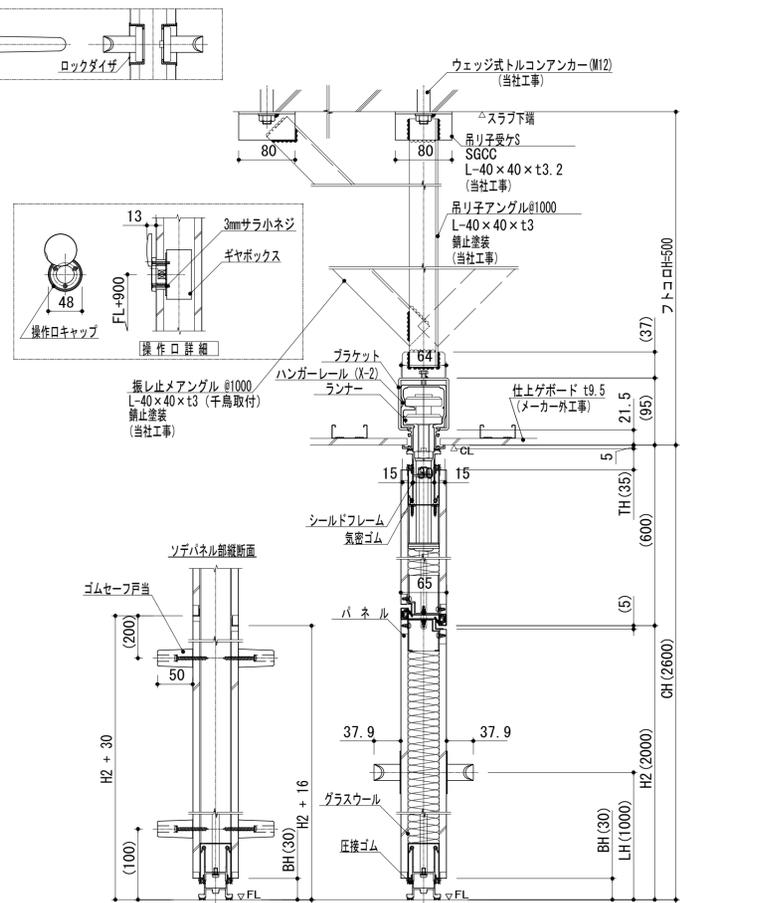
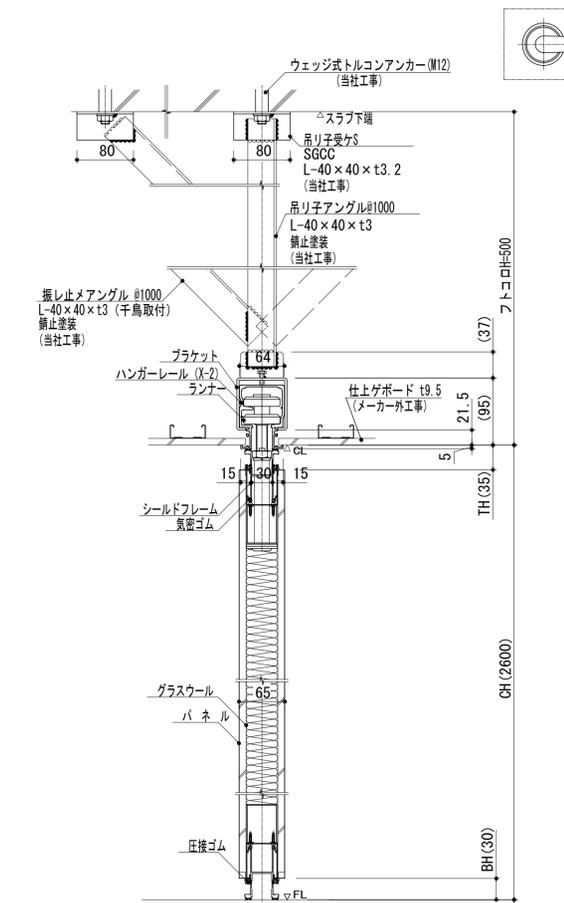
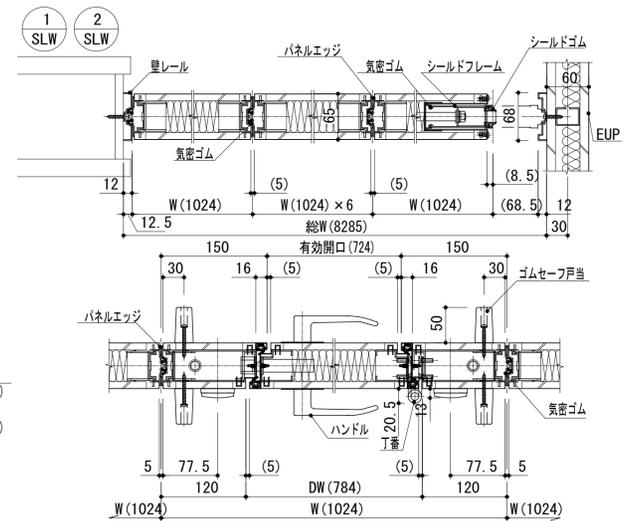
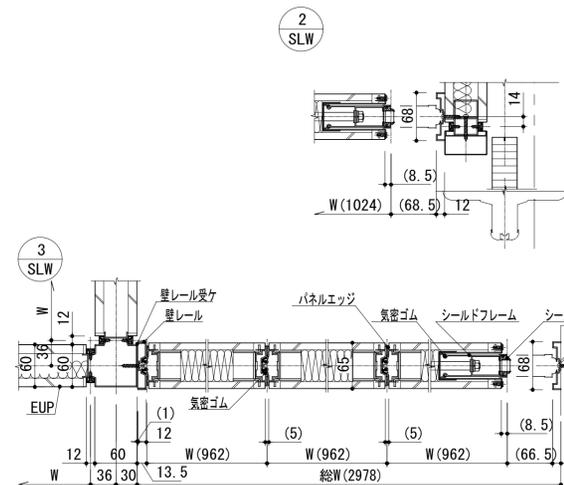


青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地区		A1版 1/100
A-45	建具詳細図No3 (LSD, PT, TB)		A3版 1/200
目付	設計		係員
令和2年			
11月12日			



トイレブース仕様一覧表 (CB-AR)

部品名	仕様
パネル・ドア	表面材: 高圧メラミン樹脂化粧板 (BMDエンボス仕上付)
枠材	木製
芯材	ペーパーコア
エッジ	アルミニウム押出成形材
エッジ (ビスレス)	アルマイトクリヤ仕上付
2WAY材・ジョイント材	アルミニウム押出成形材
底木・壁レール	アルマイトクリヤ仕上付
グレビティヒンジ	ステンレス製
ロック	ステンレス製
市販	SUS H1仕上付
特記	コマネー (株) CB-A/R同等品

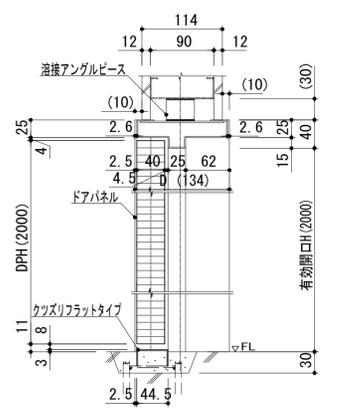
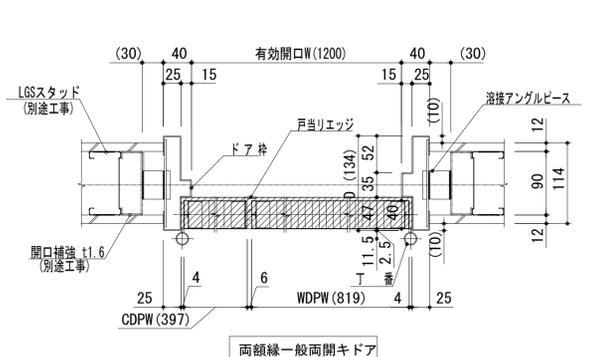
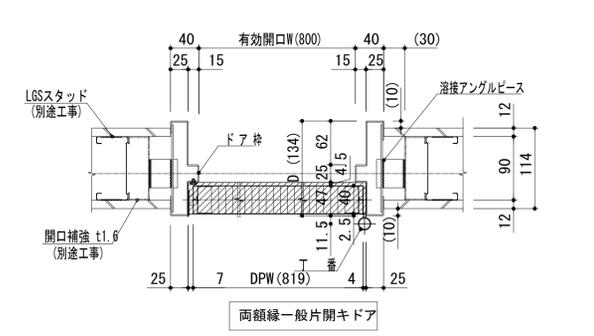
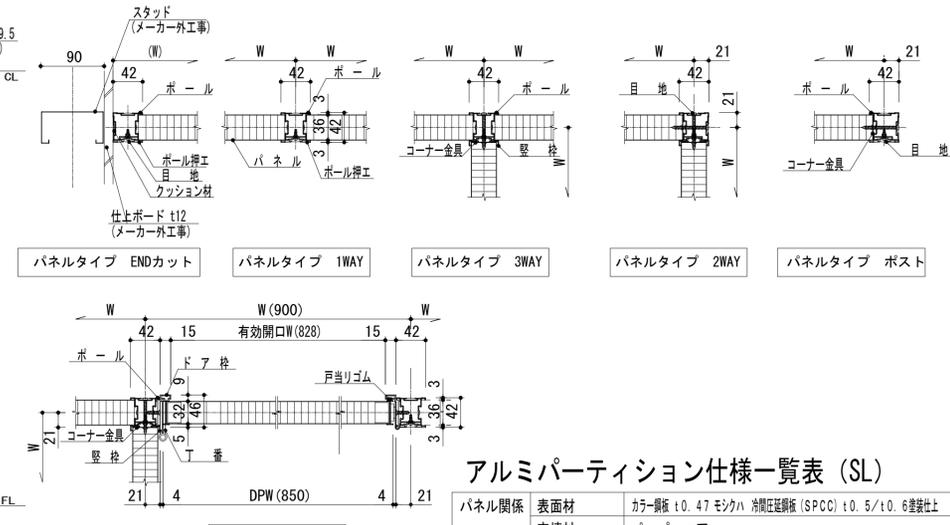
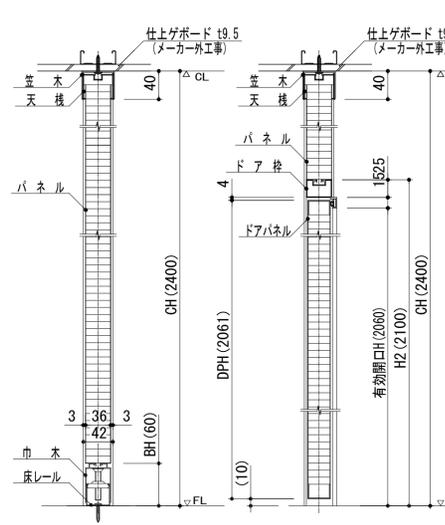


薄型高遮音移動間仕切・エッジレス仕様 (DP60S/厚さ65ミリ)

部品名	仕様
パネル	表面材: 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t=0.6mm焼付塗装
裏材	石こう板 t=9.5
枠材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t=1.6
充填材	グラスウール (32kg/m ³) t40
ドアパネル	表面材: 溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t=0.6mm焼付塗装
裏材	石こう板 t=9.5
枠材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t=1.0
充填材	グラスウール (32kg/m ³) t40
シールドフレーム、パネルエッジ	アルミニウム押出成形材 アルマイトクリヤ仕上
壁レール	合成ゴム (EPDM) 塩化ビニール (PVC)
気密ゴム	柱付樹脂部 (PP)
底レール	アルミニウム押出成形材 アルマイトクリヤ仕上
ランナー	ポリアセチレン樹脂 (ラジアルベアリング内蔵)
金物	天井・床シールド: ワンタッチ圧接設置 サイドシールド: 回転ハンドル取付圧接設置 ドア・ガラス: ステンレス製 ロック: レバーハンドル
遮音性能	パネル性能: 500Hz時 53.6dB減衰 (パネル単体) ドアパネル性能: 500Hz時 30.0dB減衰
特記	環境配慮仕様 (リサイクル対応) パネル現地組立方式 コマネー (株) DP-60S同等品

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地区	A1版1/100
A-46	建具詳細図No4 (LSD, PT, TB)	A3版1/200
日付		m/m
令和2年 11月12日		係員

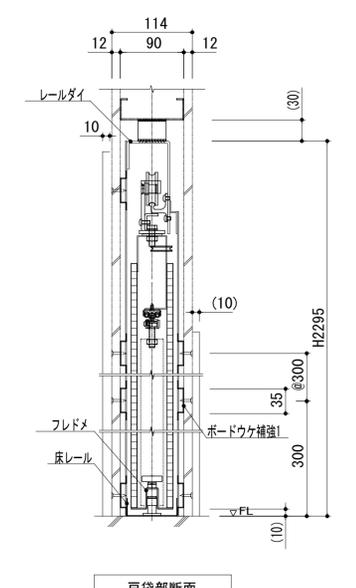
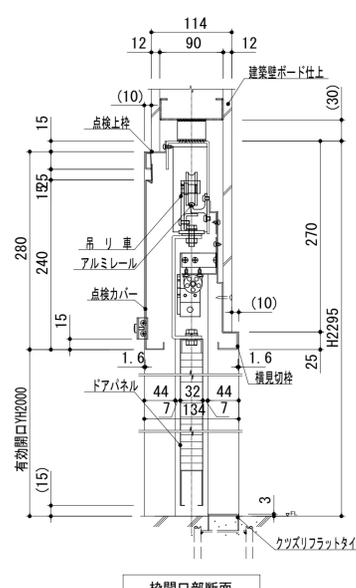
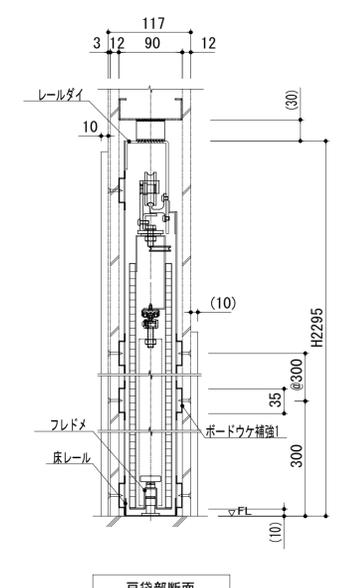
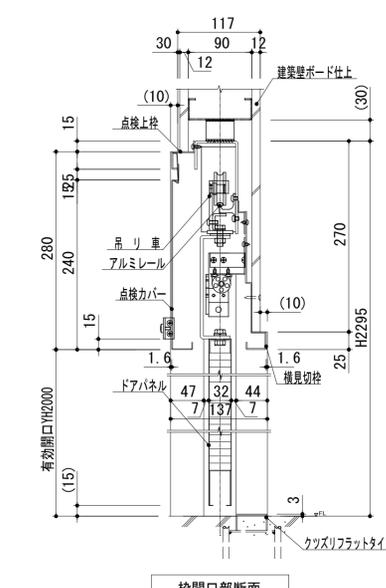
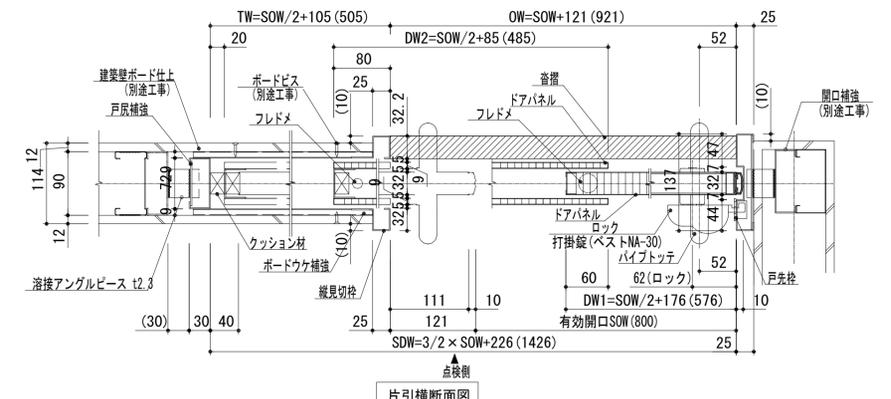
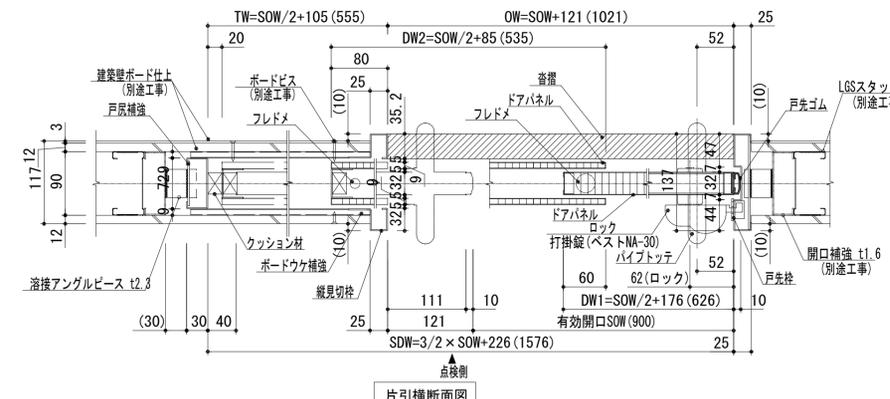


アルミパーティション仕様一覧表 (SL)

パネル関係	表面材	カラー鋼板 t0.47 モシクハ 冷間圧延鋼板 (SPCC) t0.5/t0.6 塗装仕上
	充填材	ペーパーコア
ドアパネル	表面材	カラー鋼板 t0.5 モシクハ 冷間圧延鋼板 (SPCC) t0.5/t0.6 塗装仕上
	充填材	ペーパーコア
部材関係	笠木(天井レール)	アルミニウム合金押出型材 (A6063S-T5) アルマイト仕上
	巾木・床レール	アルミニウム合金押出型材 (A6063S-T5) アルマイト仕上
	ポール・中間材	アルミニウム合金押出型材 (A6063S-T5) アルマイト仕上
	目地	軟質塩化ビニール
塗装	ポリエステル樹脂塗料 モシクハ メラミン樹脂塗料	
金物	ロック	ステンレス製
	丁番	スチール製
特記	コマニー (株) SL同等品	

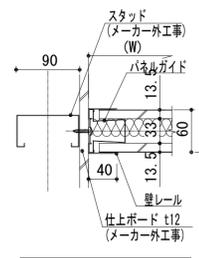
軽量スチールドア仕様一覧表 (LSD)

ドア枠	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t1.6mm焼付塗装
	補強	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGHC) t2.3mm焼付塗装
	分割方式	
ドアパネル	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装
	補強	溶融亜鉛めっき鋼板 t1.0
	芯材	ペーパーコア
	エッジレスタイプ	
巻棚	冷間圧延ステンレス鋼板 t1.5	
金物	ロック	レバーハンドル
	丁番	スチール製
備考	環境配慮型仕様	
特記	コマニー (株) LSD同等品	

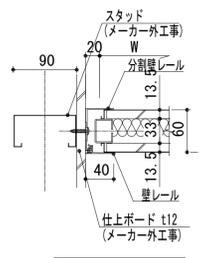


LGS内蔵型半自動式2連引戸仕様一覧表 (HD-2KL2連型) (躯体付壁収納タイプ)

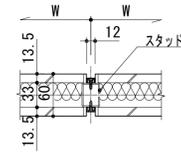
エント枠	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t1.6mm焼付塗装
ドアパネル	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t0.6mm焼付塗装
	枠材	溶融亜鉛めっき鋼板 t1.0/t1.6
	芯材	7Mn合金押出型材
	窓縁	7Mn合金押出型材
	戸当りゴム	塩化ビニール (グレー)
戸袋パネル	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC t=0.6
	芯材	ペーパーコア
点検パネル	溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC t=1.2	
レール	アルミニウム押出型材 アルマイトクリア仕上	
吊車	ポリウレタン樹脂 (57M77) 内蔵	
金物	ロック	スチール製
	振止ローラー	ウレタン樹脂 (ローラー式)
巻棚	冷間圧延ステンレス鋼板 t1.5	
備考	自閉制動装置内蔵	
特記	コマニー (株) HD-2KL 2連型同等品	



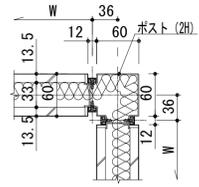
パネルタイプ ENDカット



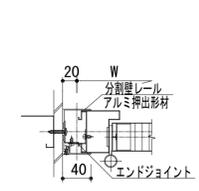
パネルタイプ END



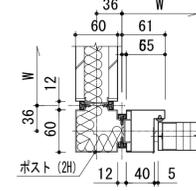
パネルタイプ 1WAY



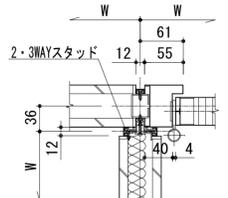
パネルタイプ 2WAY



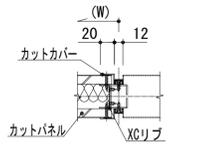
ドア END



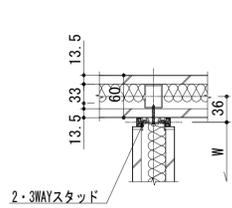
ドア 2WAY



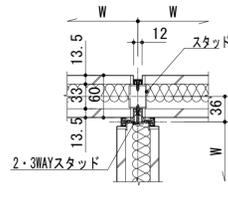
ドア 3WAY



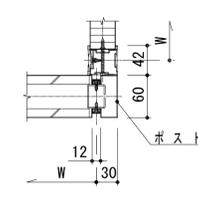
カットパネル納まり図



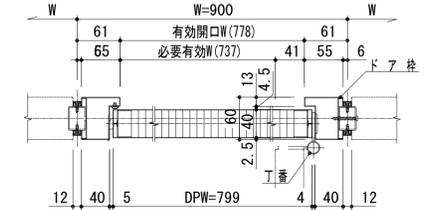
パネルタイプ 3WAY (フリー)



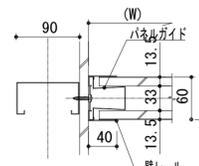
パネルタイプ 3WAY



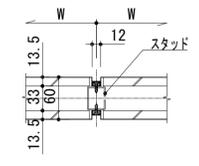
パネルタイプ 3WAY (フリー)



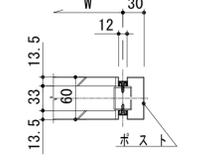
片開き横断面図



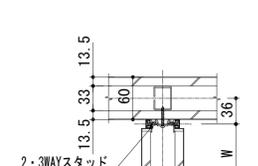
パネルタイプ ENDカット



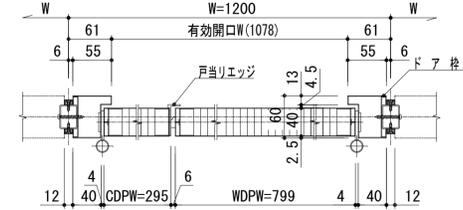
パネルタイプ 1WAY



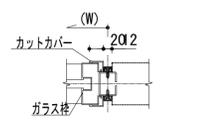
パネルタイプ POST



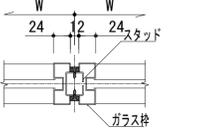
パネルタイプ 3WAY (フリー)



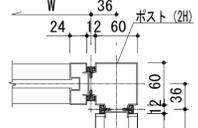
親子開き横断面図



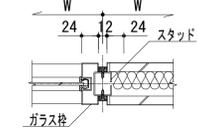
カットパネル納まり図



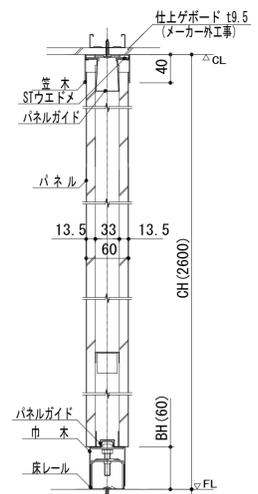
オープンタイプ 1WAY



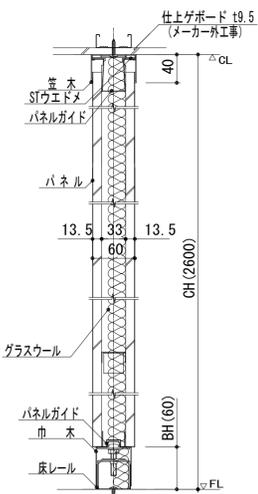
オープンタイプ 2WAY



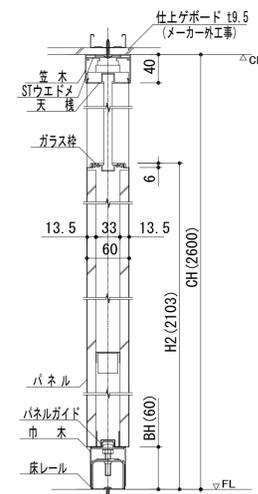
パネルガラスタイプ 1WAY



パネル縦断面図

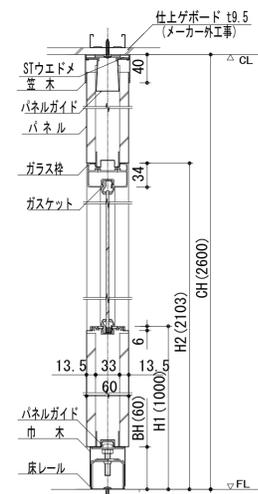


パネル縦断面図

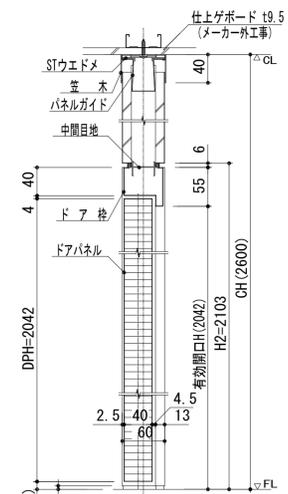


(メーカー外工事)

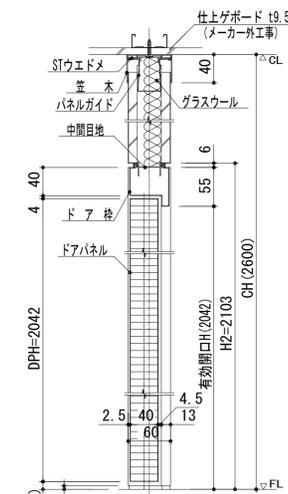
パネル縦断面図



パネル縦断面図



ドアパネル縦断面図



ドアパネル縦断面図

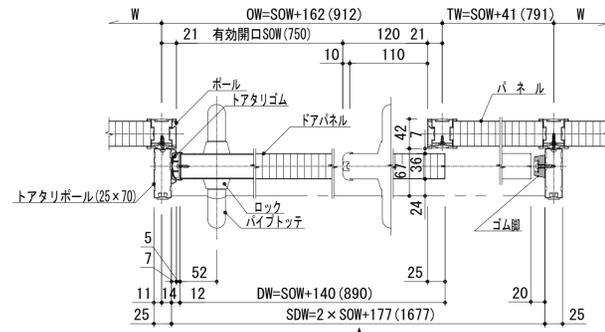
スチールパーティション仕様一覧表 (EUP)

パネル	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t 0.6mm焼付塗装
	裏打材	石こうボード t2.5
ドアパネル	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t 0.5/t 0.6 塗装仕上
	充填材	ベ-パ-37
ガラス部	ガラス枠	アルミニウム合金押出形材 (A6063S-T5) 塗装仕上
	ガラス押エ	ガスケット (PVC)
部材関係	笠木	外笠木: アルミニウム合金押出形材 焼付塗装
	巾木・床レール	冷間圧延鋼板 (SPCC) t 0.8 塗装仕上
金物	壁レール	アルミニウム合金押出形材 (A6063S-T5) 塗装仕上
	スタッド	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGHC) t 1.6
塗装	ロック	ステンレス製
	丁番	ステンレス製
遮音性能	メラミン樹脂焼付塗料 モシクハ ポリエステル樹脂焼付塗料	
特記	パネル性能: 500Hz時 35.0dB	
	コマニー (株) EUP同等品	

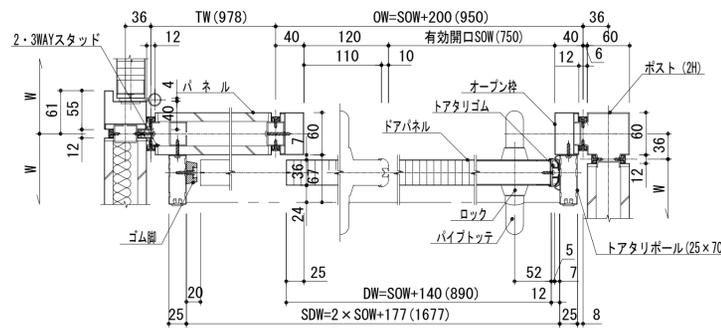
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)		
№	伊賀市阿保地区	A1版1/100
A-48	建具詳細図No6 (LSD, PT, TB)	A3版1/200
日付		欄外
令和2年		
11月12日		

SL付HD-3KB

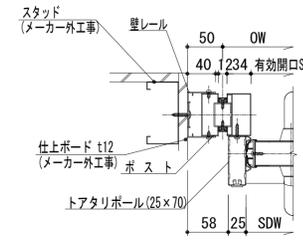
EUP付HD-3KB



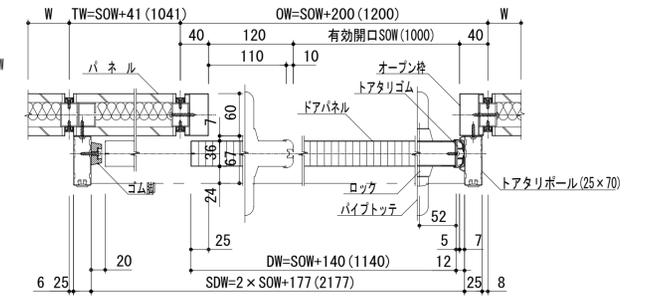
片引横断面図



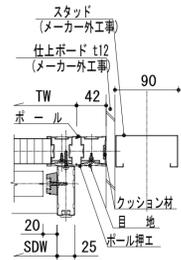
片引横断面図



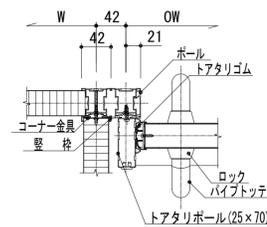
ドア END



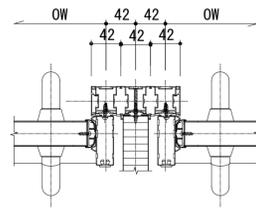
片引横断面図



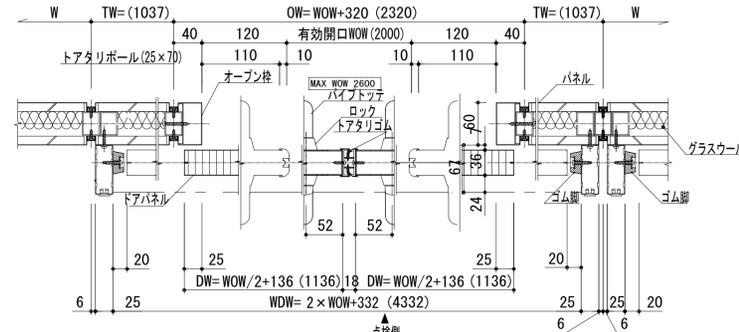
ドア END



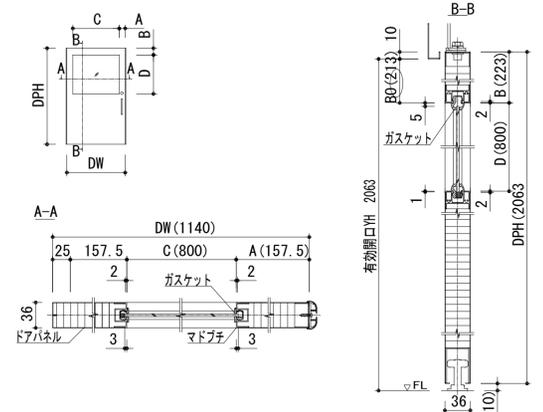
ドア 3WAY



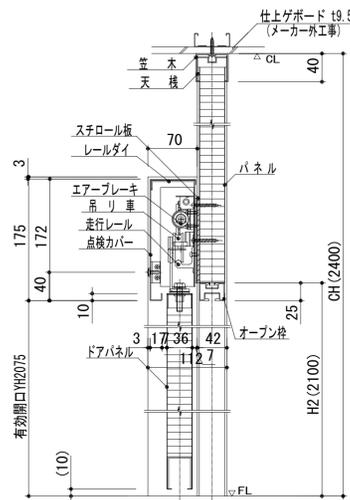
ドア 3WAY



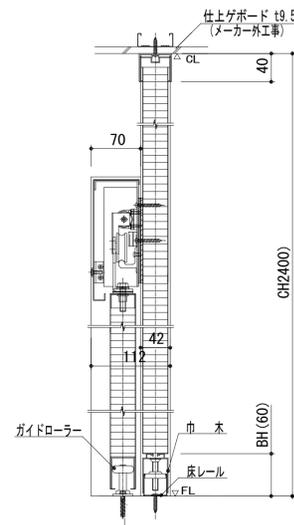
引分け断面図



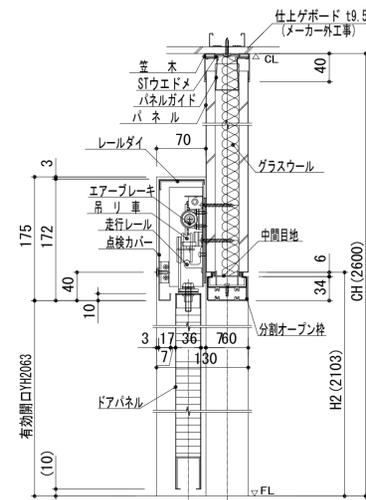
マド断面図



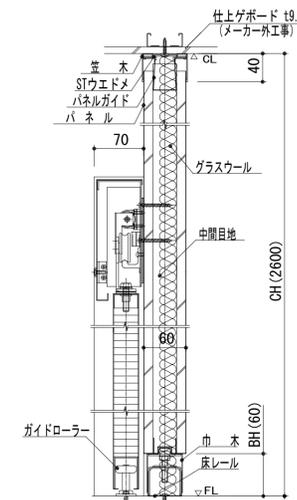
開口部断面



戸袋部断面



開口部断面

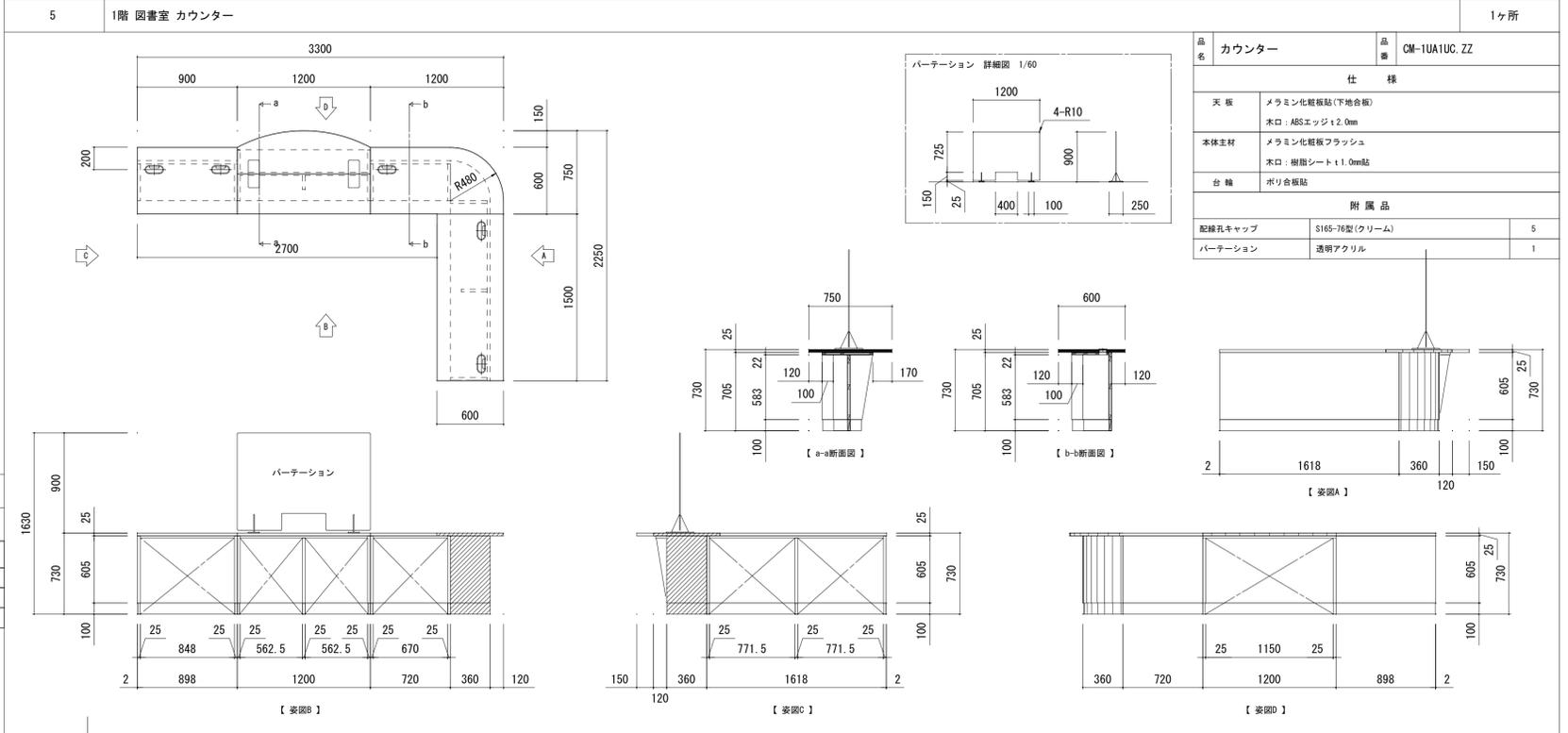
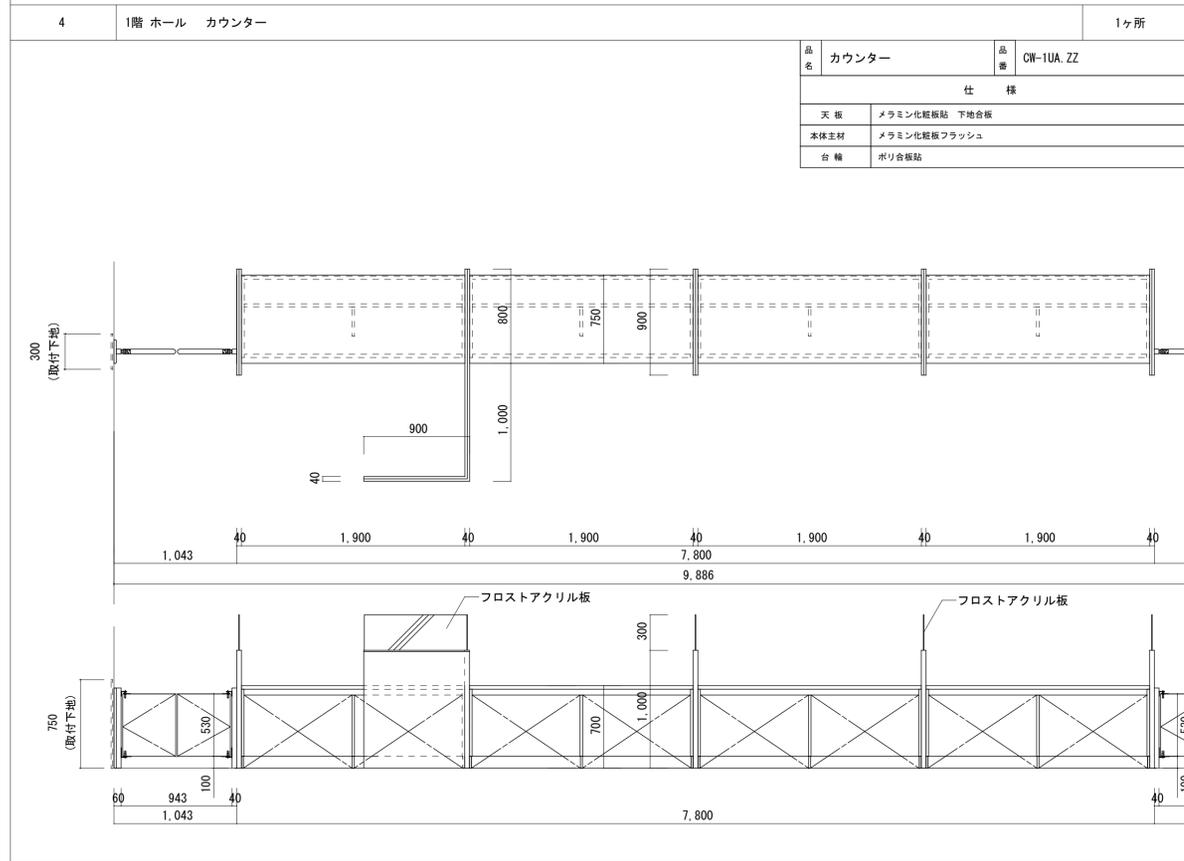
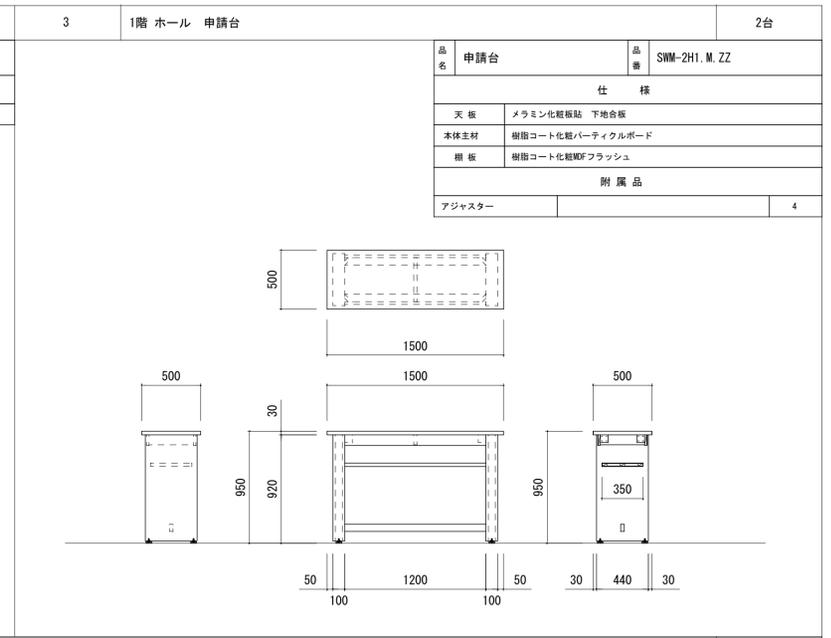
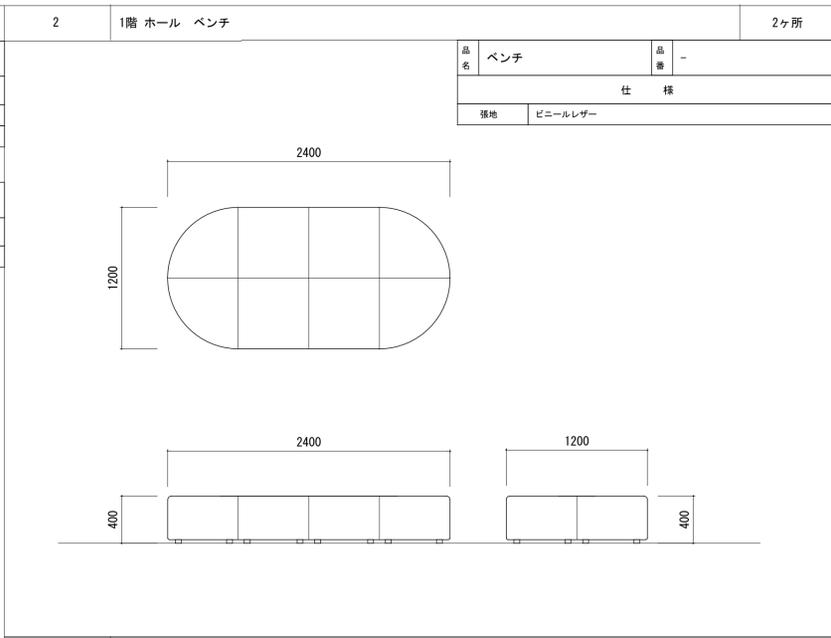
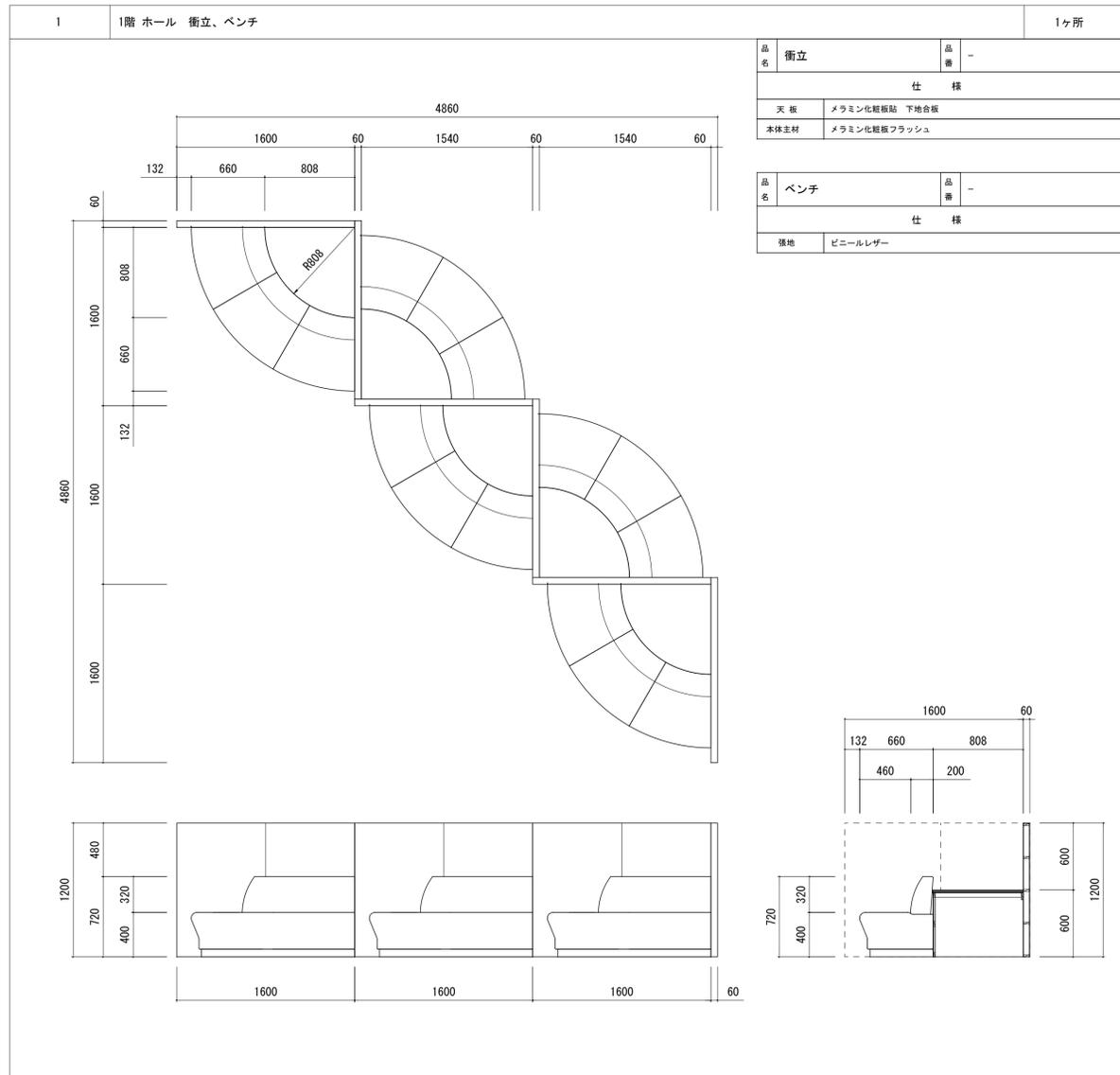


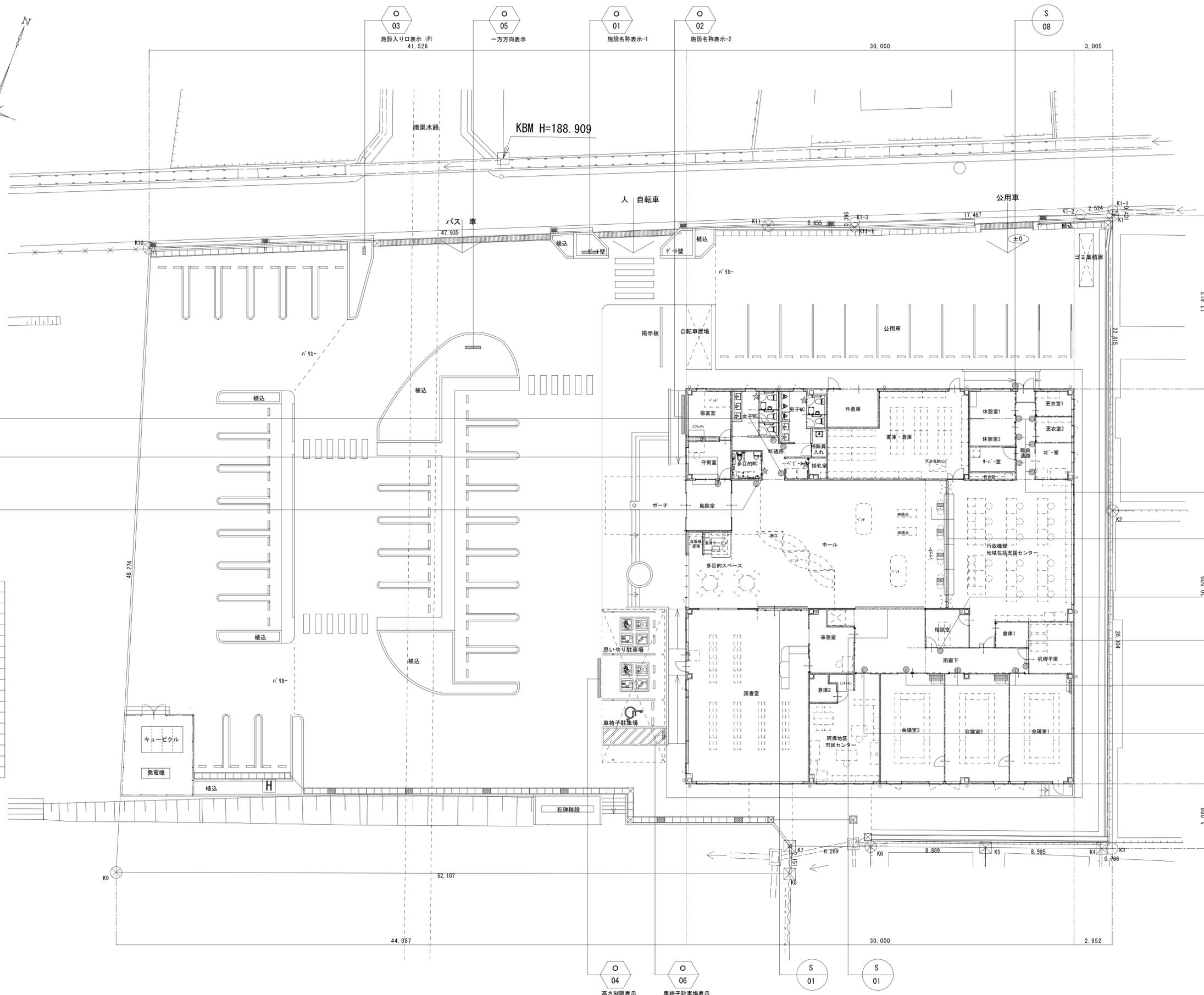
戸袋部断面

外付半自動式引戸仕様一覧表 (HD-3KB)

ドアパネル	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGCC) t 0.6mm焼付塗装 エココート鋼板 (SGCC) t 0.6mm
	枠材	溶融亜鉛めっき鋼板 t1.0/t1.6
	芯材	7Mニ合金押出型材
	戸当りゴム	塩化ビニール (グレー)
点検ハコ		溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC t=1.2
	レール	アルミニウム押出型材 アルマイトクリア仕上
	吊車	ポリアセチレン樹脂 (5J 7M アリソ) 内蔵
	振止メ	ウレタン樹脂 (ローラー式)
	自閉装置	ゼンマイ式
塗装	パネル	メラミン樹脂焼付塗料
	部材	ポリエステル樹脂焼付塗料 モシクハ メラミン樹脂焼付塗料
金物	ロック	スリッパ製
	振止ローラー	ウレタン樹脂 (ローラー式)
備考	自閉制動装置内蔵	フリーストップバー 煙感知器連動ストップバー対応
特記	コマンニー (株) HD-3KB同等品	

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100	A3版1/200
A-49	建具詳細図No7 (LSD, PT, TB)	m ² /m	
日付			係員
令和2年 11月12日			





番号	名称
O-01	施設名称表示-1
O-02	施設名称表示-2
O-03	施設入口表示 (P)
O-04	高さ制限表示
O-05	一方通行表示
O-06	車椅子駐車場表示
S-01	コーナー表示 (吊下)
S-02	室名表示 (壁付)
S-03	会議室表示 (扉/使用中)
S-04	トイレ表示-1 (触知)
S-05	トイレ表示-2 (壁付)
★ S-06	トイレ表示-3 (扉貼)
S-07	守衛室表示 (壁付)
S-08	職員通用口表示
S-09	カウンター表示

サイン配置図 S=1/150

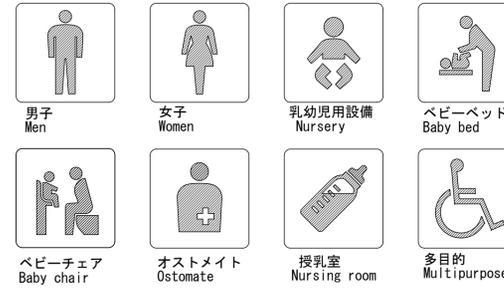
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/150	
A-51	サイン計画No1	A3版1/300	
日付	サイン配置図 (外部、内部)	m/m	係員
令和2年 11月12日			

■ サイン特記事項

1. 総記
本設計図書は、サインリスト（員数表）・キープラン・詳細図からなる。
キープラン・詳細図は、サイン分類記号により示す。
2. 表示面（文字・原稿）
表示デザインは、文字・ピクトグラム・フロア平面図などの諸要素を、下記の点を考慮して決定する。
A：視認性の良さ B：表示板としての美しさ（具体的には文字の大きさと、適切な余白の確保に留意する）
最小の文字高は10mmとする（ただし、フロア平面図内の最小の文字高は4mmとする）表示面により、長体を使用することも考えられる。
版下は、指定図及び現場監督員の指示に従って製作し拡大時における変形等は入念に修正し現場監督員の承諾を受ける。
3. 色彩
色彩・字体のほか表示内容は施主と協議し決定する。
サイン印刷に先立ち、原寸原稿によりバランスなどの確認及び現場立会いにより施主の確認を受けること。
4. 材料
主要な材料は、見本を提出して、現場監督員の承諾を受ける。
金物は、JIS規格のあるものはこれによるものとし、その種類、材質、仕上げ機構、その他の仕様は特記による。

5. 鋼材
鋼材はJIS規格品を使用する。
屋外部に使用される場合の防錆処理は現場監督員と協議して決定する。
6. 塗装
材料の商品名、塗装種別または特殊な仕上げなどは特記による。
塗装仕上り面は見本に比べてはなはだしい差異がないようにする。
7. 取付け
取付後の微調整が困難な場合は、仮付け後適切な尺具を用いて水平を出し、面揃えなどを行ったのち本付けする。
取付位置については、あらかじめ図面上（平面詳細図・展開図・天井伏図など）で関連工事との調整を行い、現場監督員の指示によるものとする。
サイン表示内容については、施設運営者、現場監督員との調整の上承認を得ること。
8. その他
官庁諸手続き等の必要時は請負者が行なう。
一次側電源工事は、電気設備工事とし、接続工事はサイン工事とする。
基礎工事は、建築工事とし、設置工事はサイン工事とする。

■ ピクトグラム JIS Z8210) : 交通エコロジー・モビリティ財団編 その他



番号	名称	合計	外構	内部	備考
O-01	施設名称表示-1	1	1		仮名称「青山地域複合施設」
O-02	施設名称表示-2	1	1		仮名称「青山地域複合施設」
O-03	施設入口表示 (P)	1	1		
O-04	高さ制限表示	1	1		
O-05	一方通行表示	1	1		
O-06	車椅子駐車場表示	1	1		
S-01	コーナー表示 (吊下)	3		3	
S-02	室名表示 (壁付)	9		9	
S-03	会議室表示 (扉/使用中)	3		3	
S-04	トイレ表示-1 (触知)	1		1	
S-05	トイレ表示-2 (壁付)	3		3	
S-06	トイレ表示-3 (扉貼)	4		4	
S-07	守衛室表示 (壁付)	1		1	
S-08	職員通用口表示	1		1	
S-09	カウンター表示	4		4	カウンター別途工事

■ サイン書体 (フォント)

● 和字 : UD新ゴ Pro-R

青山地域複合施設
図書館 会議室 相談室 守衛室 阿保地区市民センター
あいうえおかきくけこさしすせそ
アイウエオカキクケコサシスセソ

● 英数字 : DINOT-Regular

Aoyama area Complex facility
Meeting Room Consultation room library room
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789

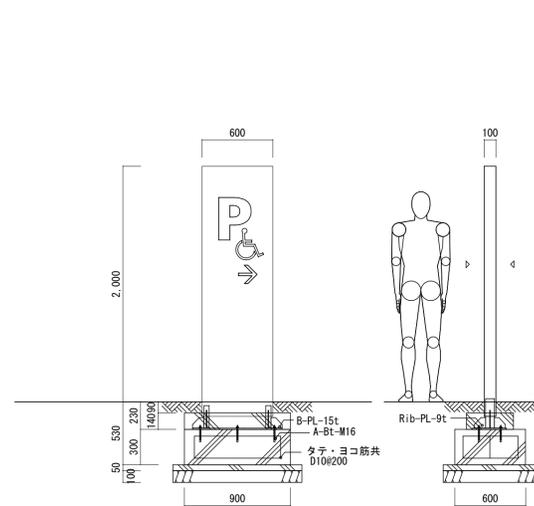
O-01	施設名称表示-1	縮尺	1/30 1/15	数量	1	O-02	施設名称表示-2	縮尺	1/150 1/20	数量	1	O-03	施設入口表示 (P)	縮尺	1/30	数量	1	O-04	高さ制限表示	縮尺	1/200 1/30	数量	1
------	----------	----	--------------	----	---	------	----------	----	---------------	----	---	------	------------	----	------	----	---	------	--------	----	---------------	----	---



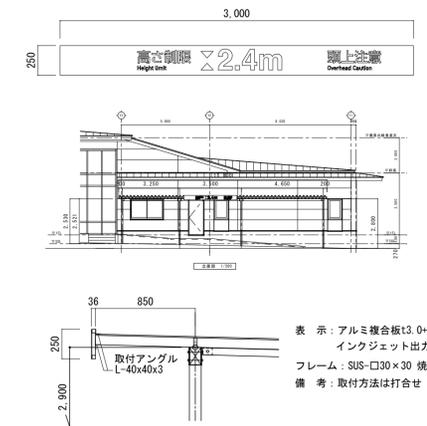
仕様
ステンレス18-0-PHL 仕上げ
スタットピン (SUS) + 接着固定
備考: 施設名称は仮名です



仕様
ステンレス丸文字-PHL 仕上げ
化粧B5 ハイブ
スタットピン (SUS) + 接着固定
備考: 施設名称は仮名です



表示: SUS加工、焼付塗装仕上
シート切文字加工貼



表示: アルミ複合板13.0+3.0
インクジェット出力シート貼り
フレーム: SUS-□30×30 焼付塗装仕上
備考: 取付方法は打合せ

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地区	A1図1/15, 20, 30, 150, 200
A-52	サイン計画図No2	A3図1/30, 40, 60, 300, 400
日付	特記仕様・書体・ピクトグラム・員数・サイン意匠図-1	m/m
設計		係員
令和2年 11月12日		

<p>○-05 一方通行表示 縮尺 1/30 数量 1</p> <p>表 示 : SUS加工、焼付塗装仕上 シート切文字加工貼</p>	<p>○-06 車椅子駐車場表示 縮尺 1/30 数量 1</p> <p>表 示 : SUS加工、焼付塗装仕上 シート切文字加工貼</p>	<p>S-01 コーナー表示 (吊下) 縮尺 1/100 1/50 数量 3</p> <p>仕 様 吊下: St パイプ φ27.2 焼付塗装仕上 下地枠: St□45×45 焼付塗装仕上 表示面: アルミ複合板t3.0 インクジェット出力シート貼り 文 字: 塩ビシート切文字貼り 備 考: コーナー名は仮名です 表示面のアルミ複合板は分割とする</p>
---	---	--

<p>S-02 室名表示-1 (壁付) 縮尺 1/30 数量 9</p> <p>仕 様 表 示 : アルミ複合板t3.0+ ステ板3.0 インクジェット出力シート巻込貼り 備 考 : 取付方法は要検討</p>	<p>S-03 会議室表示 (扉/使用中) 縮尺 1/30 数量 3</p> <p>仕 様 表 示 : アルミ複合板t3.0+ ステ板3.0 インクジェット出力シート巻込貼り 備 考 : ダイカンVOS-PL08</p>	<p>S-04 トイレ表示-1 (触知) 縮尺 1/30 数量 1</p> <p>仕 様 表示面: 透明アクリルt3.0 点字UV印刷 背面インクジェット出力シート貼り ステ板: t3.0 備 考 :</p>	<p>S-05 トイレ表示-2 (壁付) 縮尺 1/30 数量 3</p> <p>仕 様 表 示 : アルミ複合板t3.0+ ステ板3.0 インクジェット出力シート巻込貼り 備 考 :</p>	<p>S-06 トイレ表示-3 (扉付) 縮尺 1/30 数量 4</p> <p>仕 様 表 示 : アルミ複合板t3.0+ ステ板3.0 インクジェット出力シート巻込貼り 備 考 :</p>
--	--	--	--	--

<p>S-07 守衛室表示 (壁付) 縮尺 1/30 数量 1</p> <p>仕 様 表 示 : アルミ複合板t3.0+ ステ板3.0 インクジェット出力シート巻込貼り 備 考 :</p>	<p>S-08 職員通用口表示 縮尺 1/30 数量 1</p> <p>仕 様 表 示 : アルミ複合板t3.0+ ステ板3.0 インクジェット出力シート巻込貼り 備 考 :</p>	<p>S-09 カウンター表示 縮尺 1/50 数量 3</p> <p>仕 様 パーテション: 透明アクリルt5.0 固定金具: ST-FB 加工 焼付塗装 数字・文字: 塩ビシート切文字貼り 備 考: カウンター仕切位置要確認</p>
--	---	--

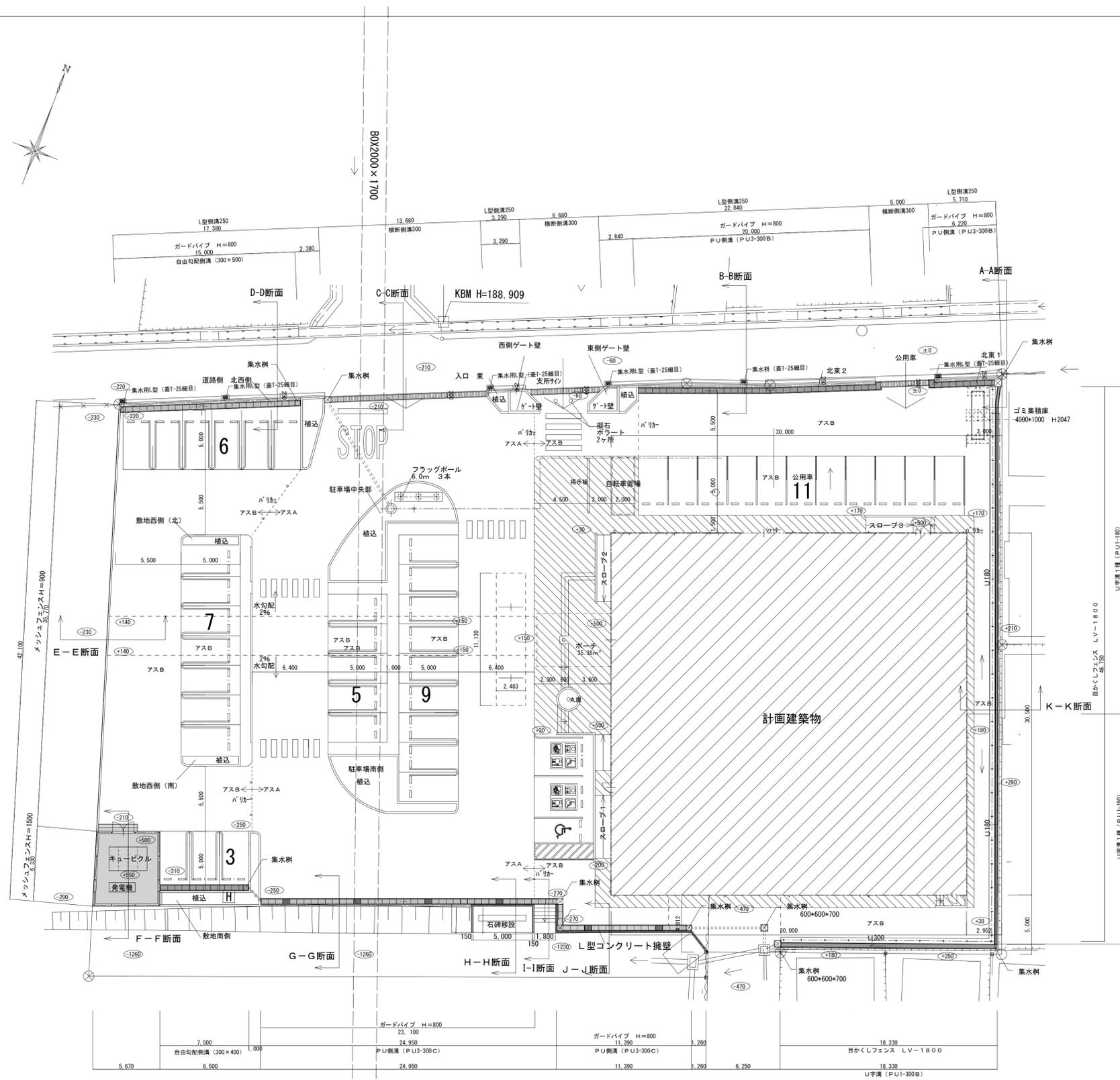
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	伊賀市阿保地区	A1版1/30, 50, 100	
A-53	サイン計画図No3 サイン意匠図-2	A3版1/60, 100, 200	
日付		m/m	係 員
版			
令和2年 11月12日			



番号	室名	スタイル	サイズ (WxH)	数量	備考
①	ホール	タテ型ブラインド (クロススト100mm巾)	5000 x 1300	2	ツーコード、取付高4800
②	ホール	タテ型ブラインド (クロススト100mm巾)	4200 x 3000	1	ツーコード、取付高3000
③	守衛室	ロールスクリーン	1200 x 1100	1	
④	図書室	ロールスクリーン (遮光生地)	1800 x 1100	1	
⑤	図書室	ロールスクリーン (遮光生地)	750 x 1100	2	
⑥	図書室	ヨコ型ブラインド (遮熱コート)	1640 x 1700	5	
⑦	阿保地区市民センター	ヨコ型ブラインド (遮熱コート)	1470 x 1700	3	
⑧	会議室3	ロールスクリーン (遮光生地)	1100 x 1700	2	
⑨	会議室2	ロールスクリーン (遮光生地)	1100 x 1700	2	
⑩	会議室1	ロールスクリーン (遮光生地)	1100 x 1700	1	
⑪	会議室1	ロールスクリーン (遮光生地)	800 x 2600	1	
⑫	行政機能	ロールスクリーン	1550 x 1500	6	
⑬	更衣室	ロールスクリーン	750 x 1100	2	
⑭	休憩室	ロールスクリーン	1150 x 1100	2	
⑮	宿直室	ロールスクリーン	750 x 1100	1	

平面図 S=1/100

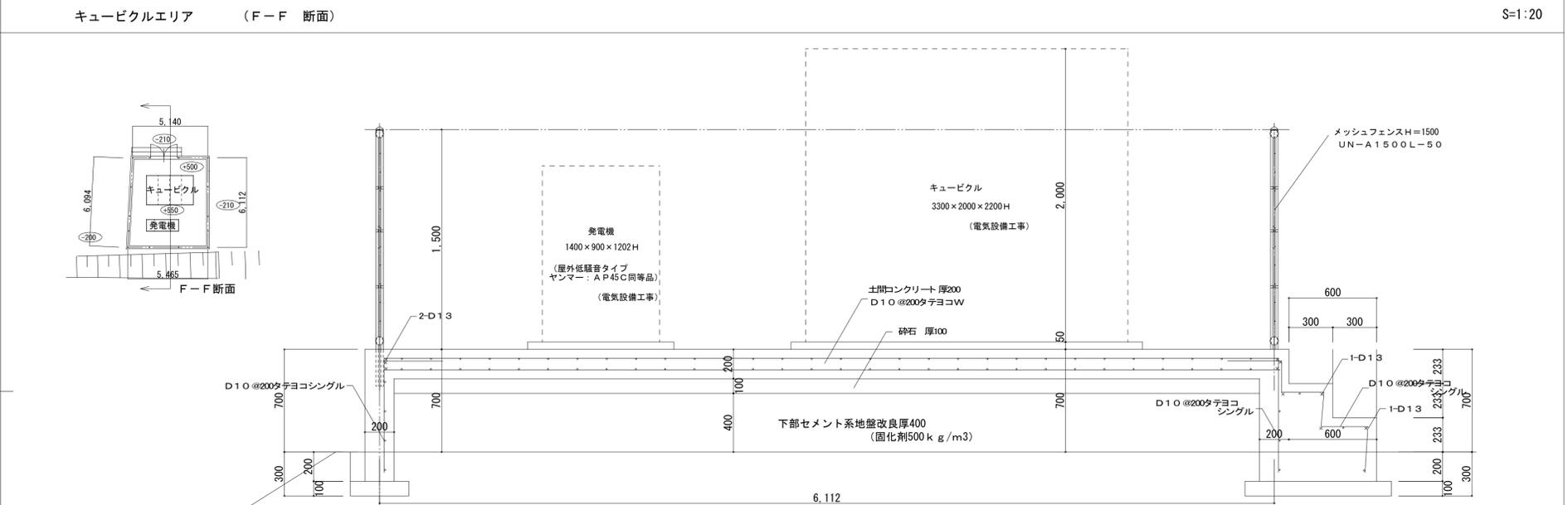
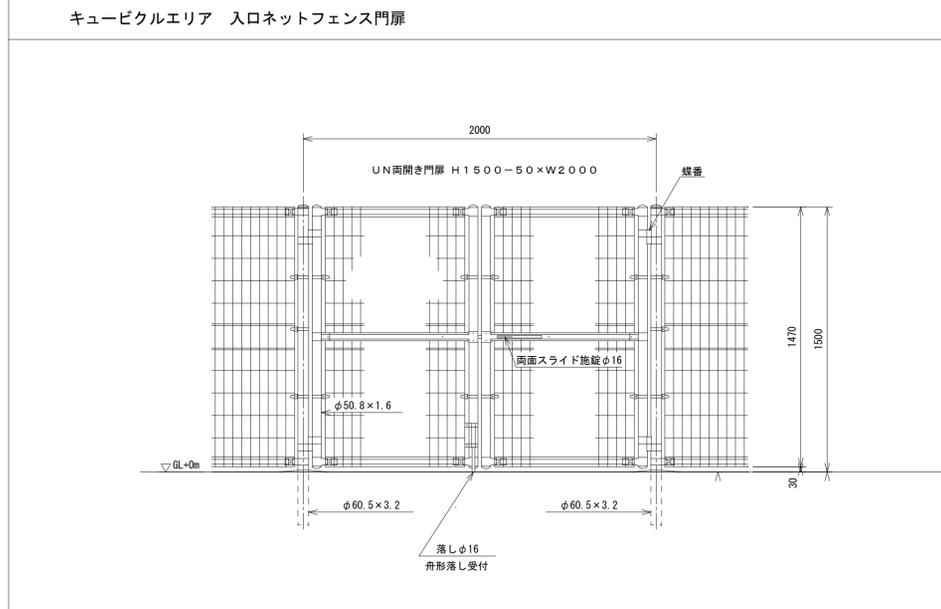
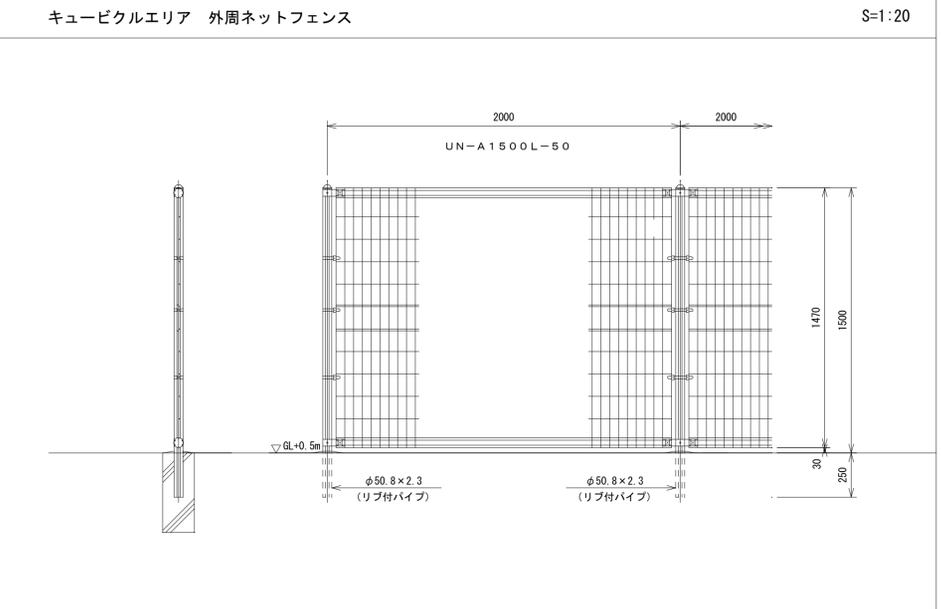
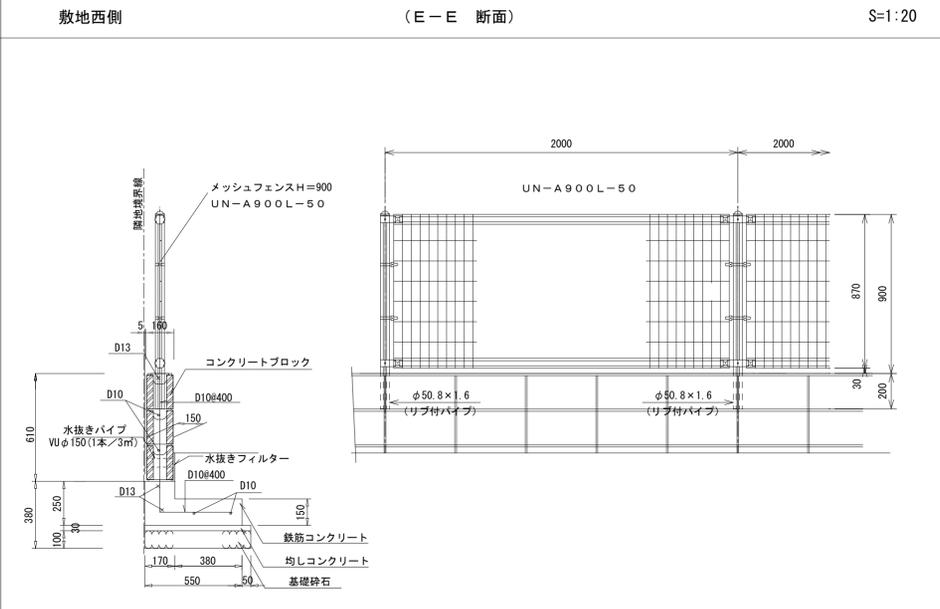
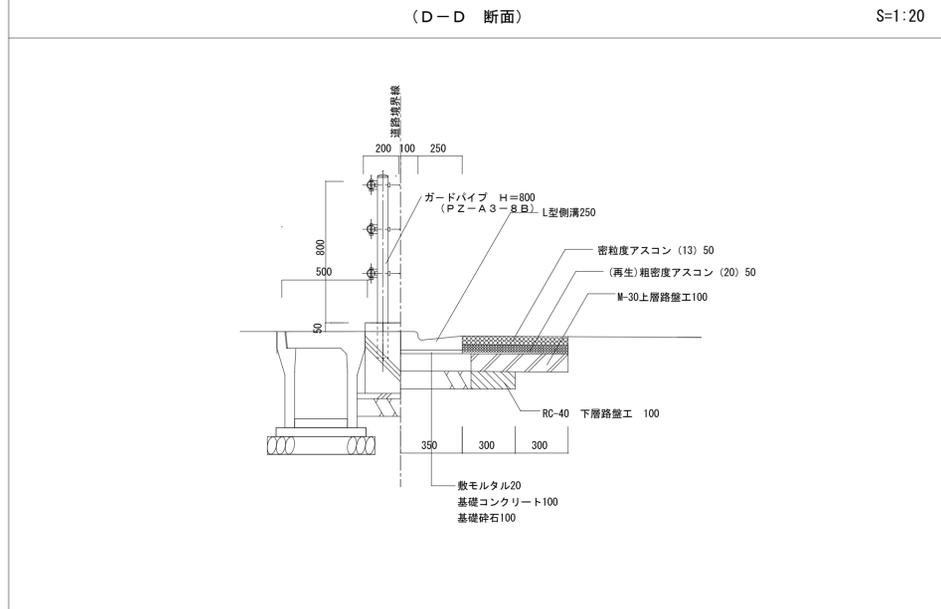
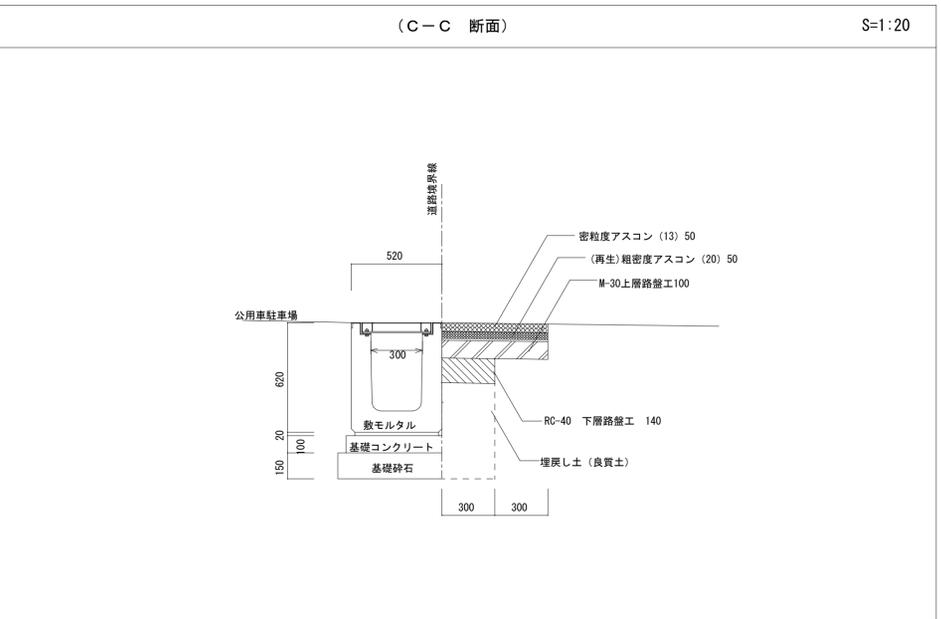
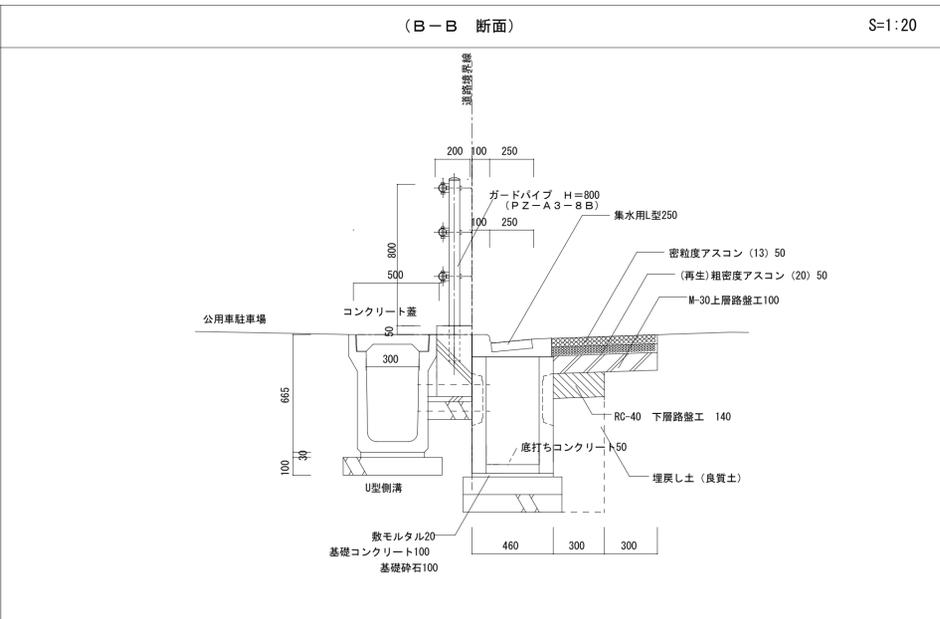
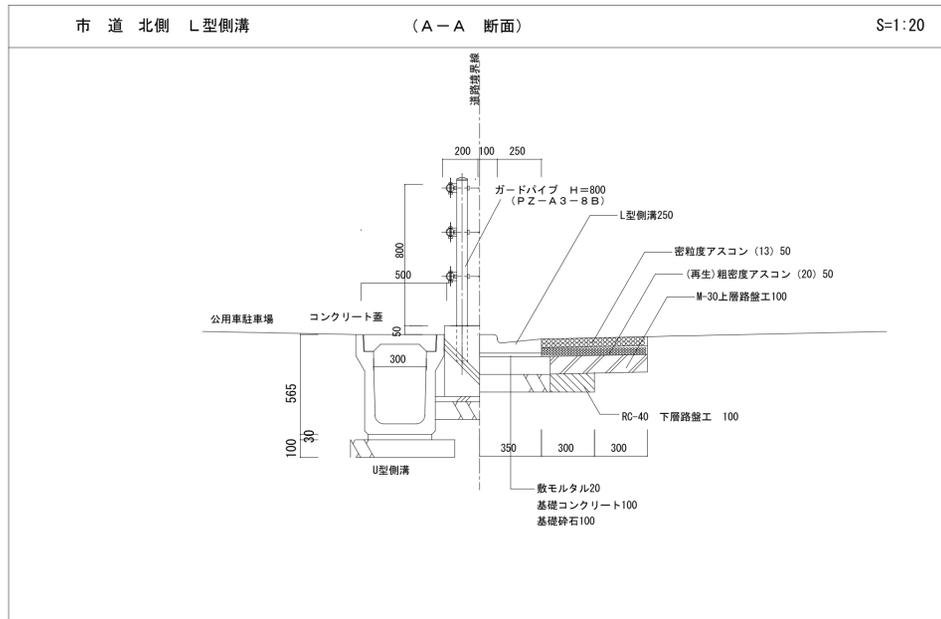
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/100	
A-54	カーテン・ブラインド計画図	A3版1/200	
日付		m/m	係員
令和2年 11月12日			



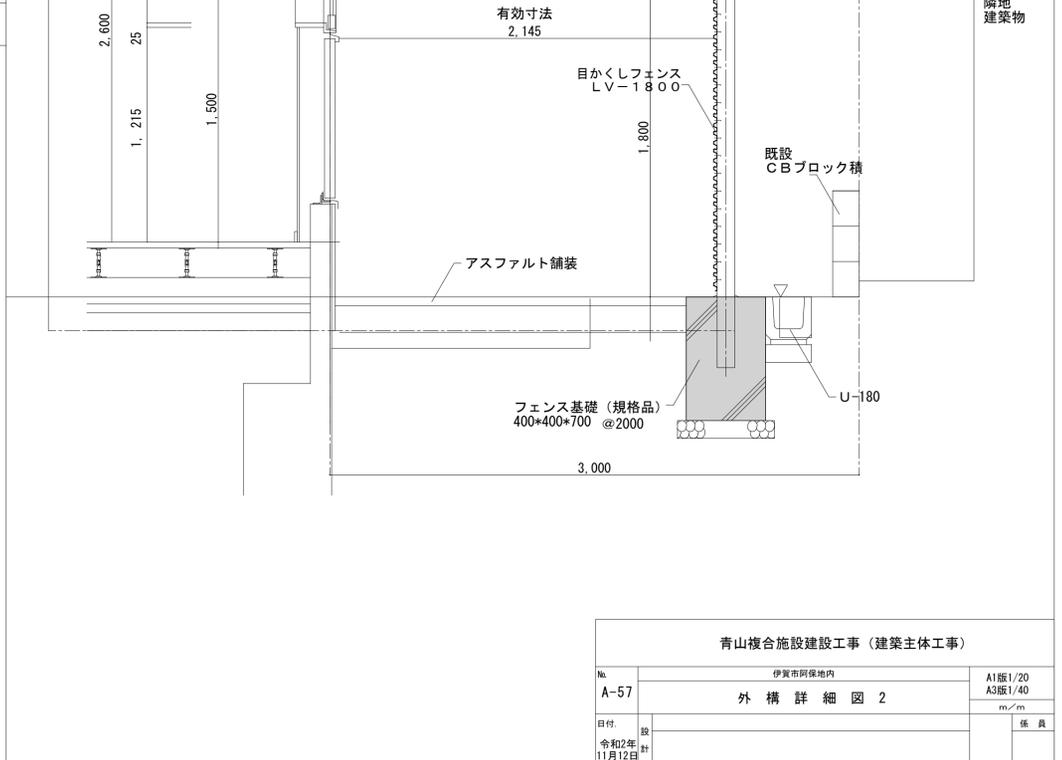
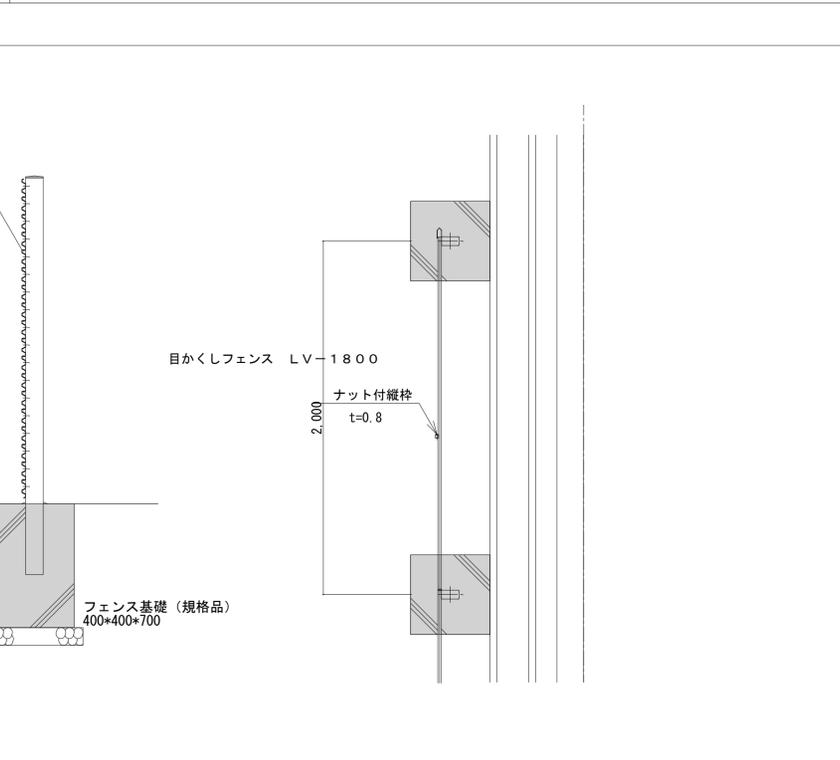
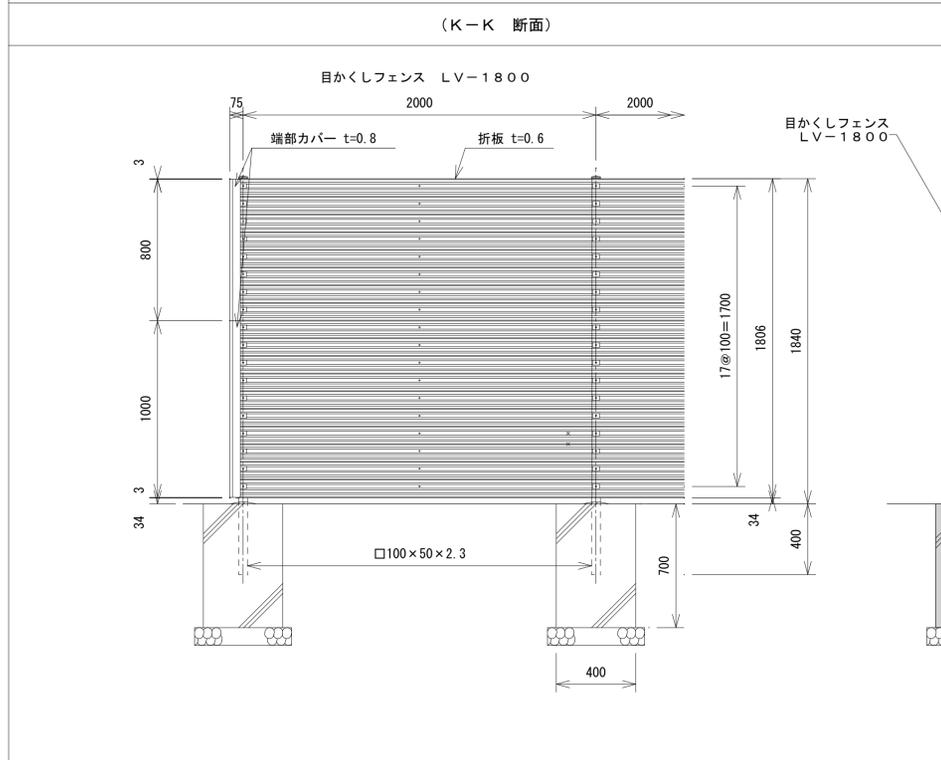
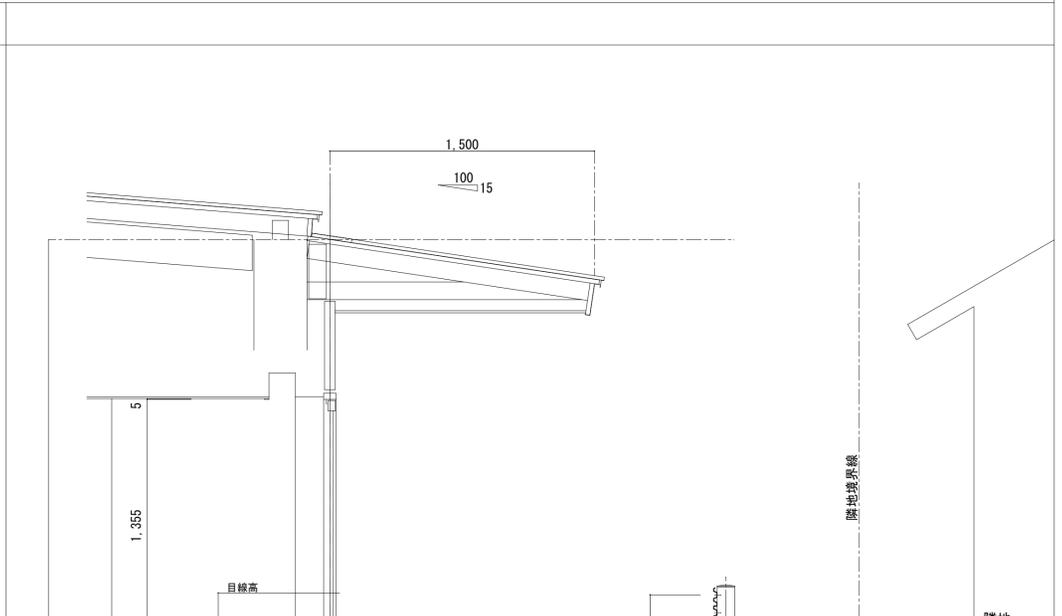
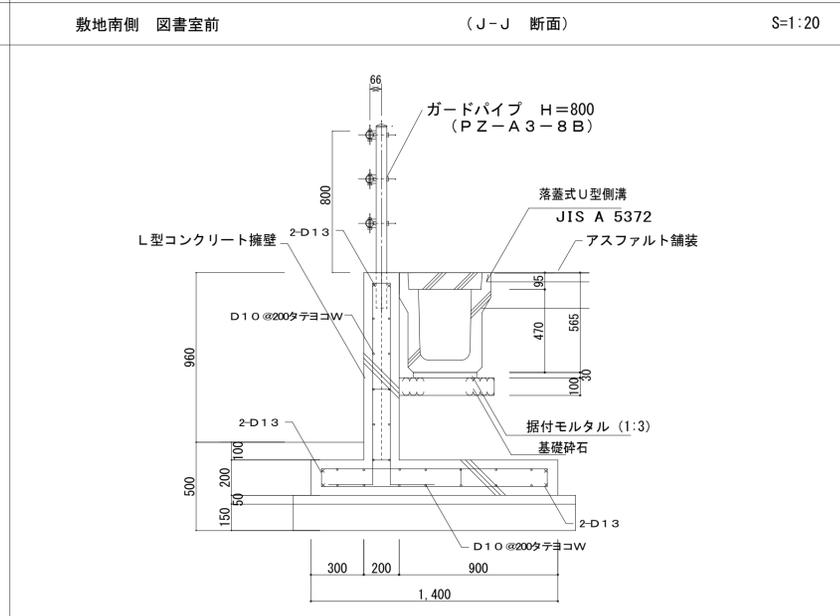
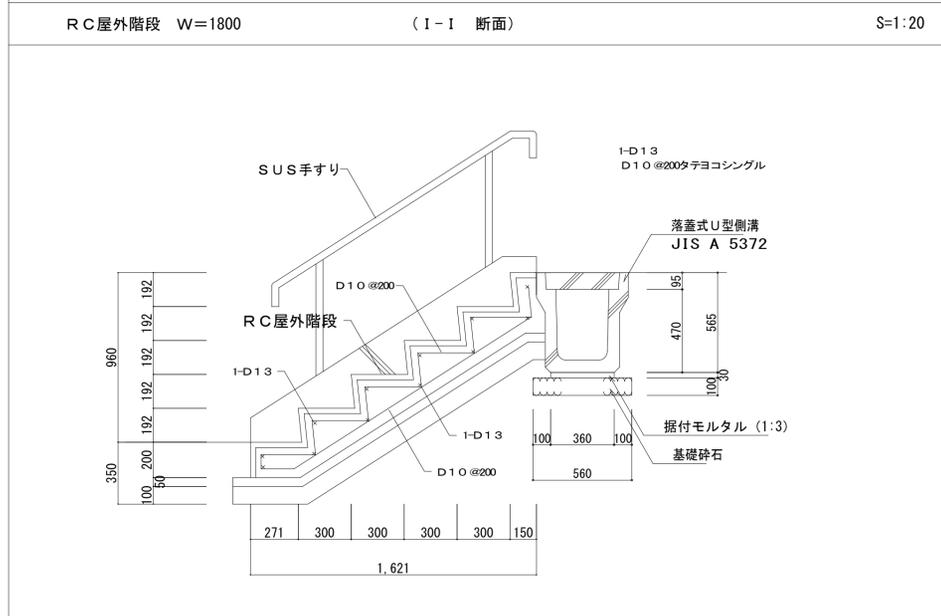
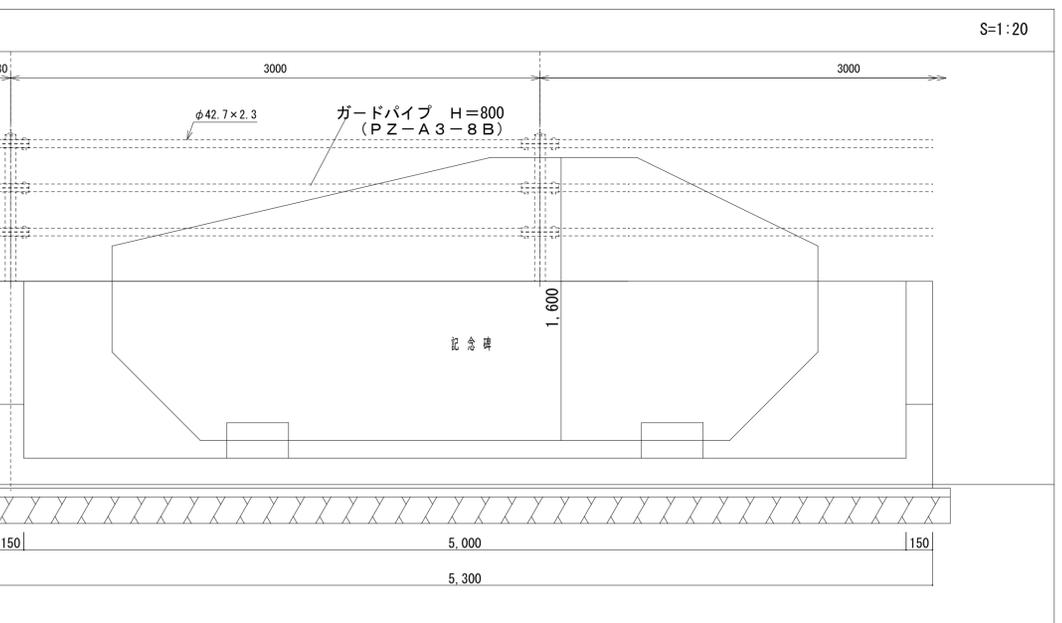
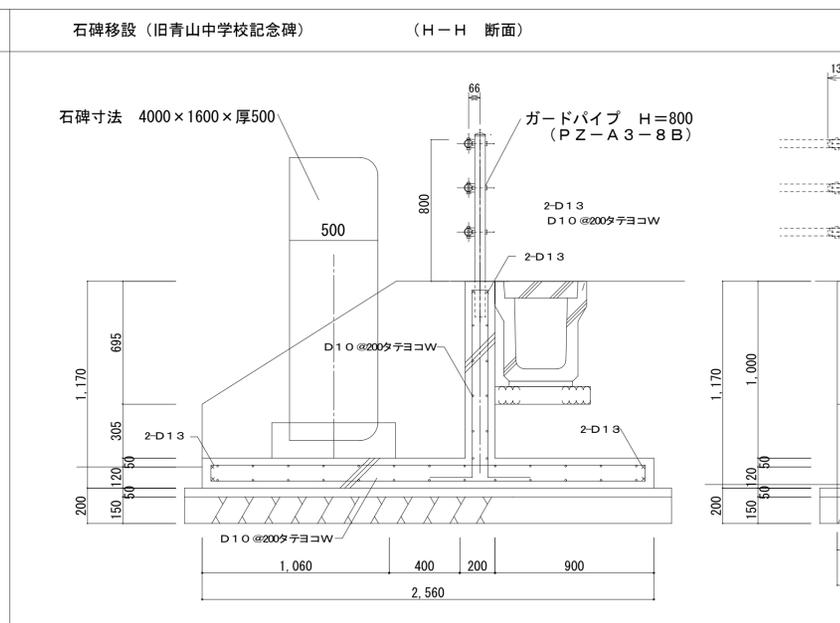
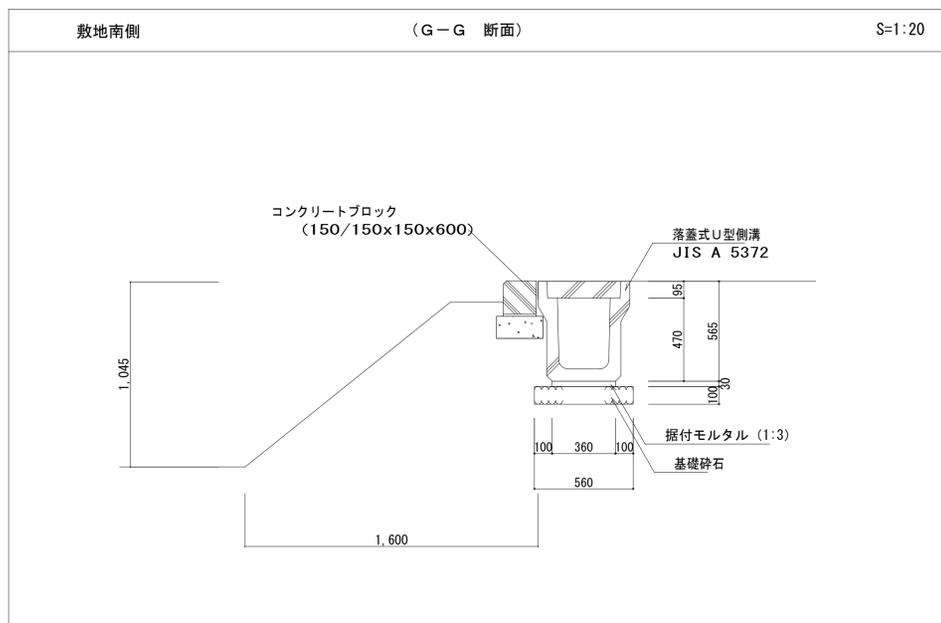
グラウンド

外構図 S=1/200

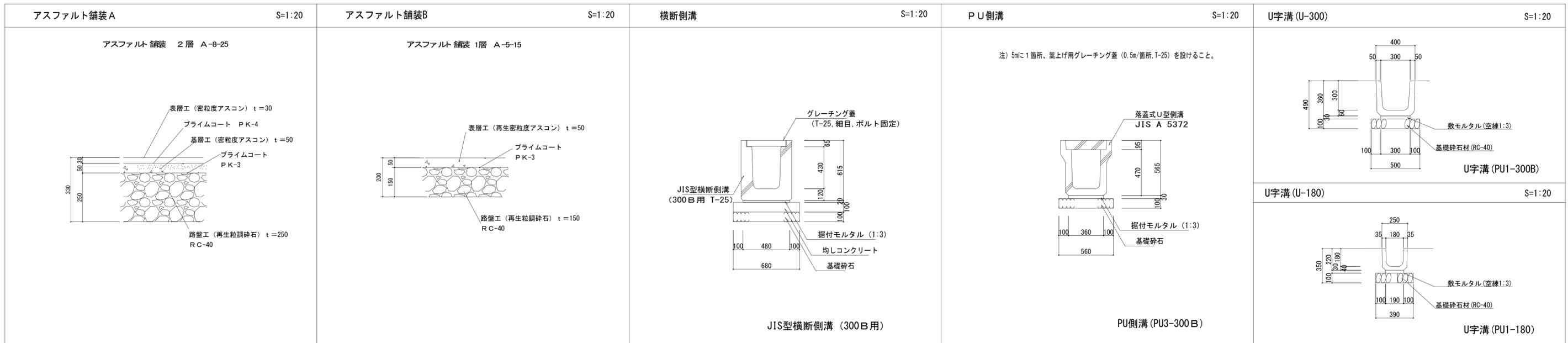
外構工事									
番号	場所		内容	数量 (参考)		備考			
1	市道	-1	北側 L型側溝	49.7	m				
2	敷地内	-2	北側 U字溝 U-300B	図示	m				
3		-3	上部 溝蓋一部集水樹蓋	図示	m				
4	敷地内	-4	南側 勾配側溝 U-300	図示	m				
5		-5	上部 溝蓋一部集水樹蓋	図示	m				
6	駐車場	バス路	アスファルト舗装 2層 A-8-25	662	m ²				
7		一般駐車場	アスファルト舗装 1層 A-5-15	630	m ²				
8		西歩道部	アスファルト舗装 1層 A-5-15	19.5	m ²				
9		中央歩道部	アスファルト舗装 1層 A-5-15	34.5	m ²				
		公用車エリア	アスファルト舗装 1層 A-5-15	350	m ²				
			ライン引き	148.5	m				
			ゼブラマーク	1.0	ヶ所				
			横断歩道	4.0	ヶ所				
			HDマーク 等	3.0	ヶ所				
			バリカー	9.0	本				
			北ゲート入口 擬石ポラート	2.0	ヶ所				
10	敷地内	建物南側、東側	アスファルト舗装 1層 A-5-15	158.0	m ²				
			南側	60.0	m ²				
			東側	158.0	m ²				
			施工面積			長さ			
11	植え込み	道路側 北東1	1)						
		道路側 北東2	2)						
		道路側 入口 東	3)	緑石、植栽、購入土	化粧CB2段積み	2.6	m ²	4.6	m
		道路側 北西側	4)	緑石、植栽、購入土	化粧CB2段積み	9.3	m ²	18.9	m
		敷地 西側	5)	緑石、植栽、購入土	緑石150×150×600	4.3	m ²	11.5	m
		敷地 南側	6)	緑石、植栽、購入土		15.9	m ²	12.9	m
		駐車場 南側	7)	緑石、植栽、購入土		42.3	m ²	30.9	m
		駐車場 中央部	8)	緑石、植栽、購入土		70.2	m ²	59.7	m
				フラッグポール 6.0m	3.0	本			アルミ製 (埋込タイプ)
				RC壁			長さ		RC壁
12	ゲート壁	西側 (支所サインヶ所)	1)	RC壁、化粧CB2段、植栽、土	支所サイン	3.2	m ²	3.6	m
		東側	2)	RC壁、化粧CB2段、植栽、土		3.6	m ²	3.6	m
									5.3 m
13	掲示板			アルミ製既成品 W3698 H=1800	1ヶ所				
14	石碑移設エリア			RC擁壁、石碑移設					
15	敷地南側			RC 屋外階段 W1800					
							施工面積		長さ
16	ポーチ (階段を含む)、犬走り			コンクリート洗い出し仕上げヶ所 (水一、階段段、スロープ平床、犬走り、掲示板前、自転車置場)	256.0	m ²			
			a	スロープ1 W=1.2 L=1.65	1.98	m ²	1.65	m	SUS手すり
			b	スロープ2 W=1.2 L=5.64	6.77	m ²	5.64	m	SUS手すり
			c	スロープ3 W=1.2 L=6.00	7.2	m ²	6.0	m	
			d	丸庭 Φ2000	3.14	m ²	6.28	m	
			e	会議室外階段	2.73	m ²	3.60	m	SUS手すり
				ガードパイプ H=800			80.4	m	
				既設撤去を伴う工事			撤去		新設
17	敷地東側	f	既設CB壁3段、8段 (14m) 撤去	目隠し壁新設 H=1800 東側 U字溝 U-180	40.0	m	48.2	m	
18	敷地南側	g	既設CB壁3段撤去、目隠し壁新設	H=1800	18.5	m	18.5	m	
19	敷地西側	h	メッシュフェンス新設	H=900		42.3	m		
20	敷地南西側	i	キュービクルエリア メッシュフェンス新設	H=1500		45.0	m		
21	敷地南中側	j	化粧CB 2段積み			24.0	m		
22		k	新設建築物 思いやり駐車場	11.800×4.850	1ヶ所				
23		l	新設建築物 自転車置場	5.000×2.000	1ヶ所				
24		m	新設建築物 ゴミ集積庫	4.000×1.000	1ヶ所				
25	駐車場 (撤去工事)		既設アスファルト舗装 撤去		1436	m ²			
			既設ネットフェンス 撤去	H=900	48	m ²			
			既設ネットフェンス 撤去	H=2000	69	m ²			
			南側 法面 植栽撤去		91.6	m ²			
26	駐車場		切土、盛土						



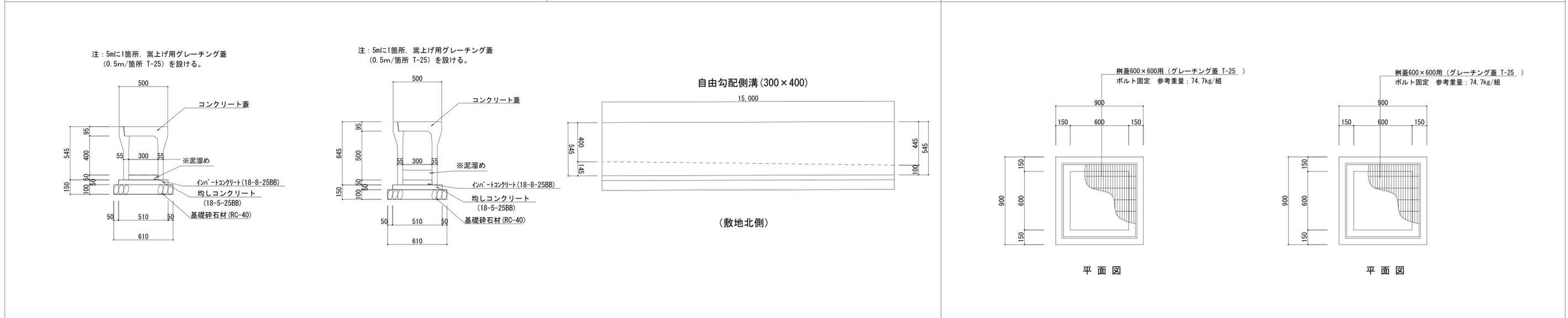
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地内	A1版1/20	
A-56	外構詳細図 1	A3版1/40	m/m
日付	令和2年 11月12日	設計	係員



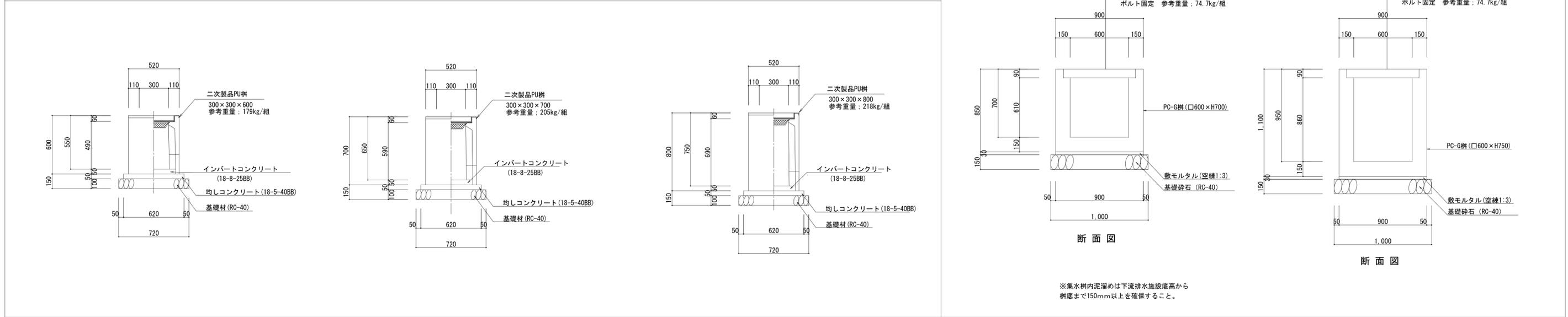
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地内	A1版1/20	
A-57	外構詳細図 2	A3版1/40	
日付	令和2年11月12日	図	係員

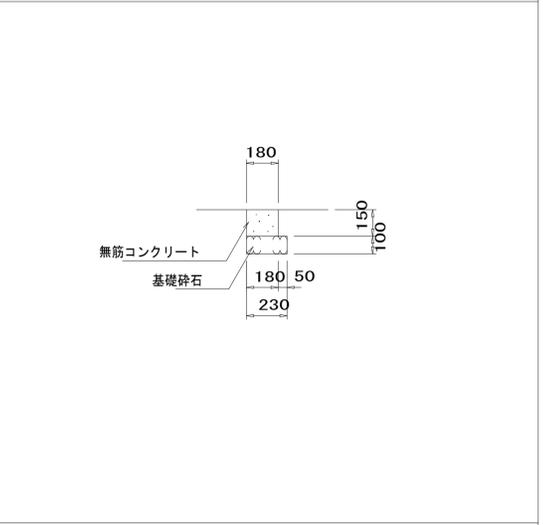
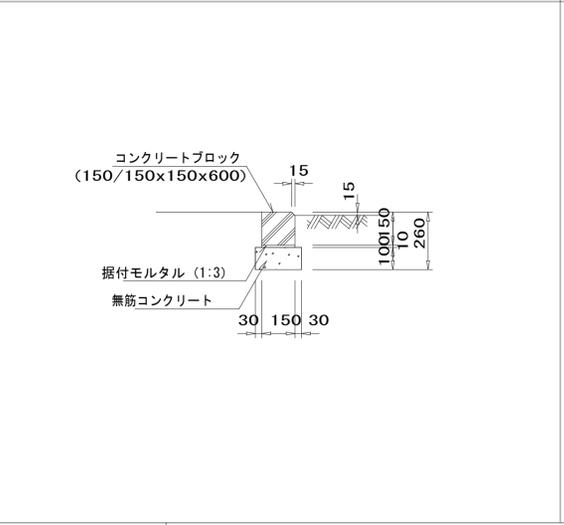
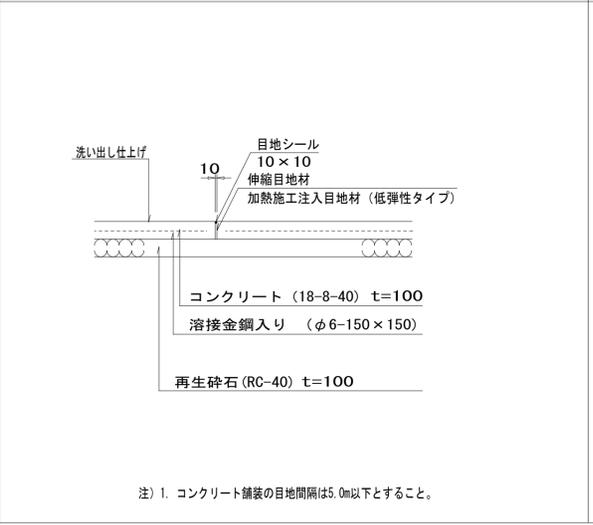
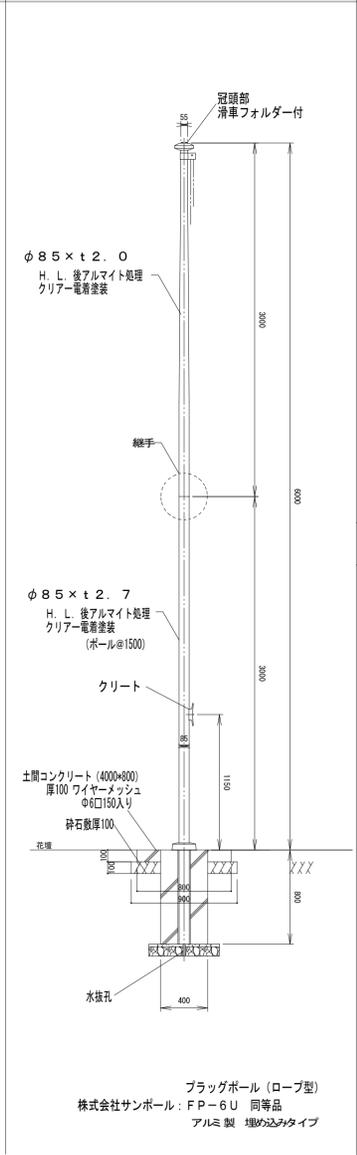
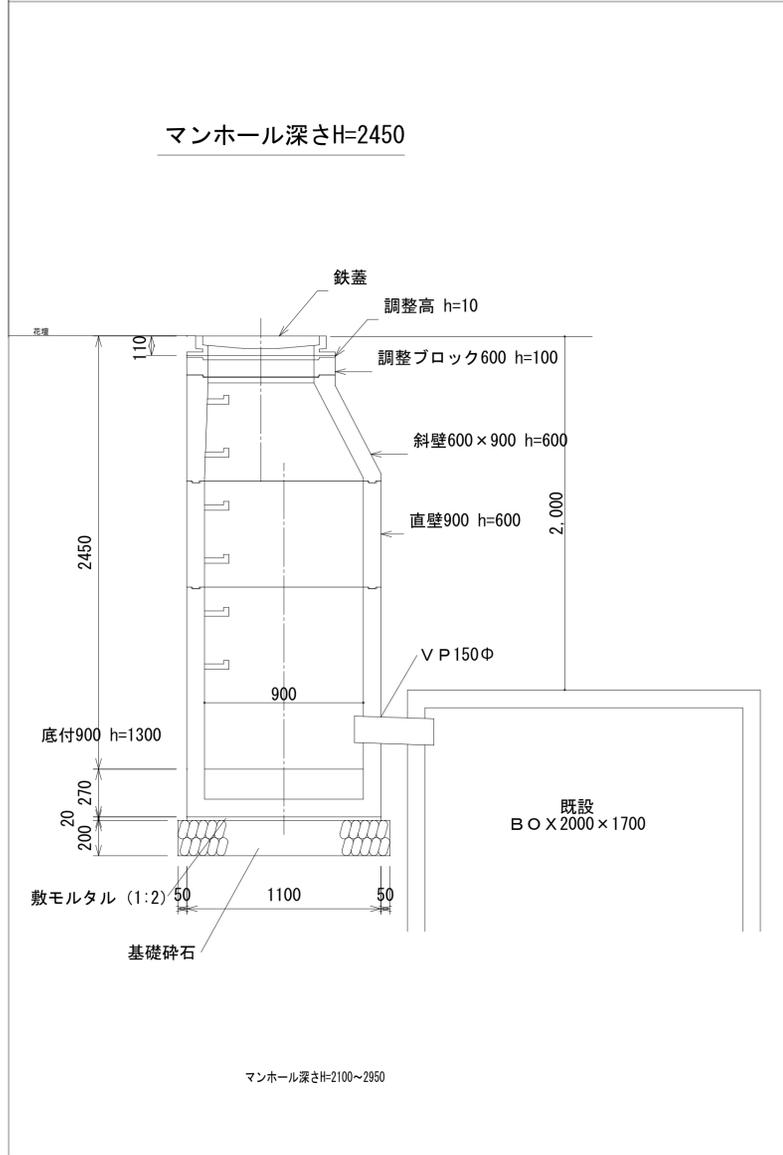


自由勾配側溝 (300×400)	自由勾配側溝 (300×500) S=1:20	(自由勾配側溝) 展開図	二次製品樹 (600×600×700)	二次製品樹 (600×600×950) S=1:20
------------------	-------------------------	--------------	---------------------	----------------------------

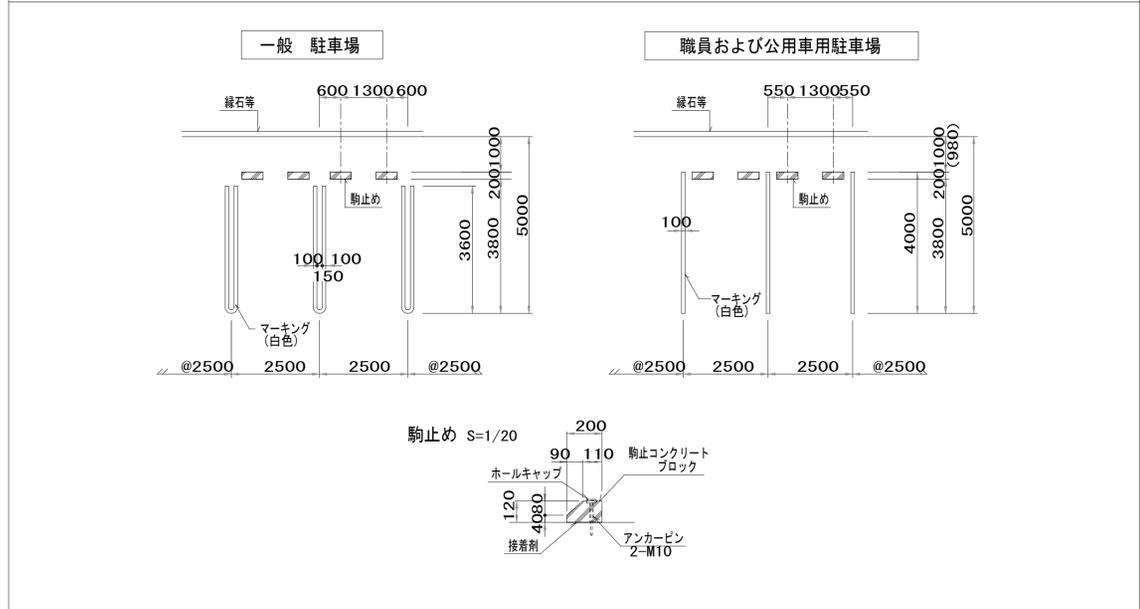


二次製品樹 300×300×550	二次製品樹 300×300×650	二次製品樹 300×300×750 S=1:20	二次製品樹 (600×600×700)	二次製品樹 (600×600×950)
-------------------	-------------------	--------------------------	---------------------	---------------------

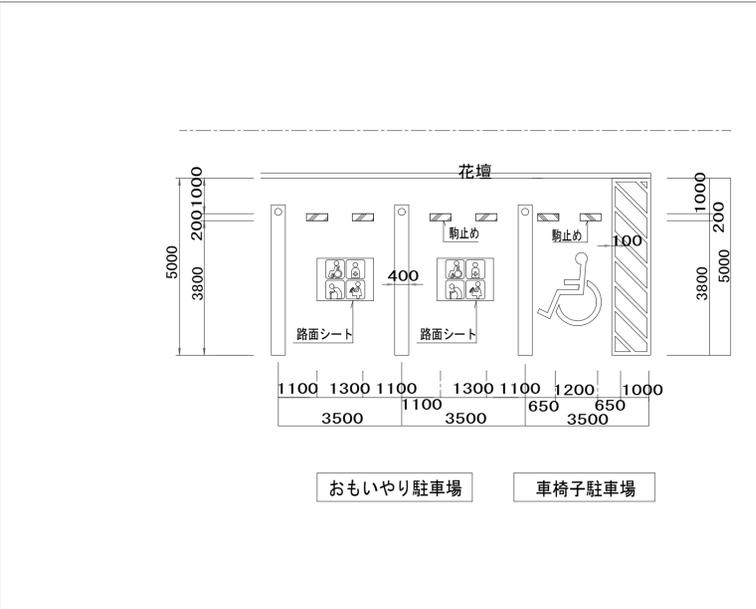




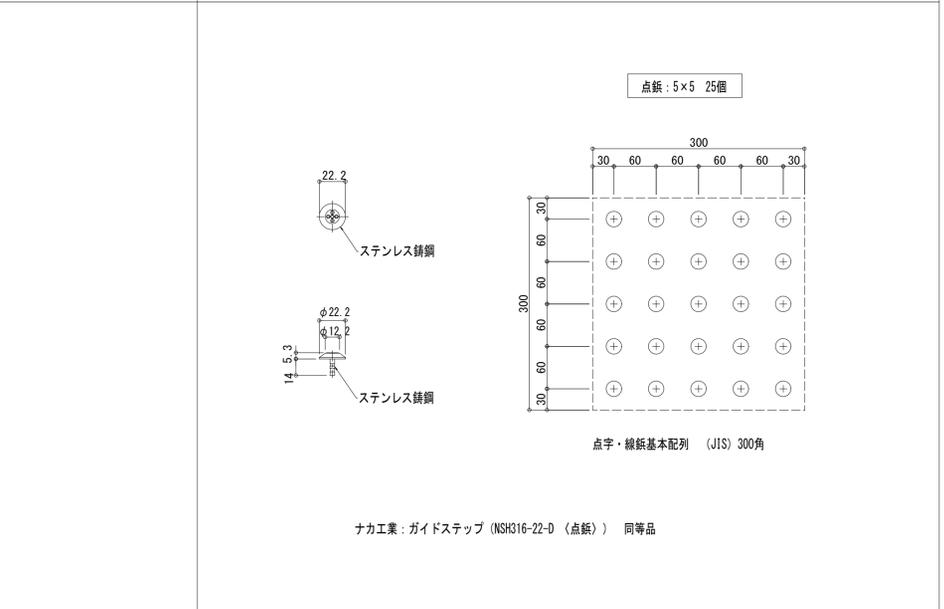
駐車樹 1 S=1:100

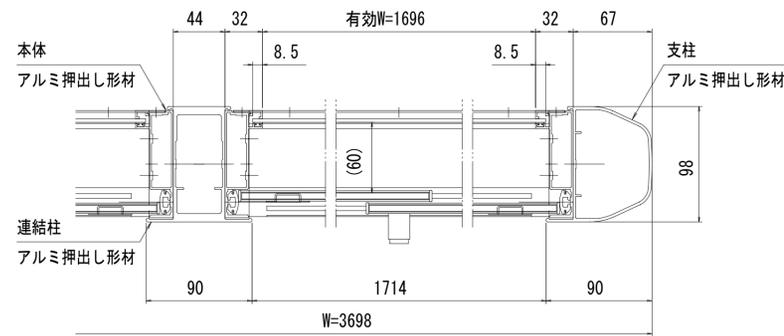
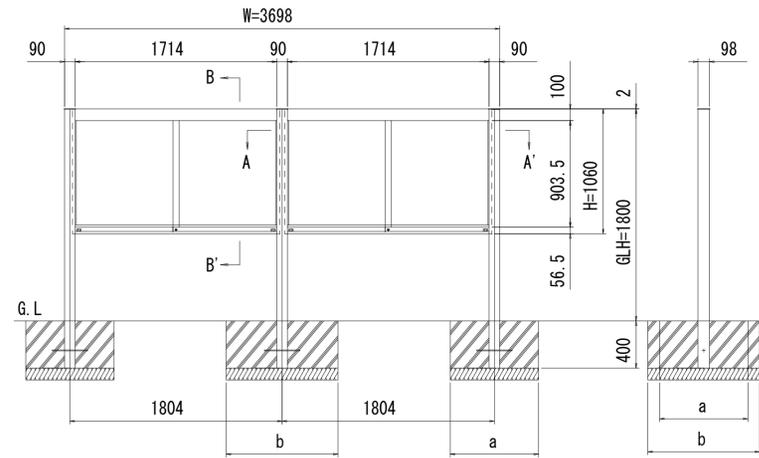


駐車樹 2 S=1:100

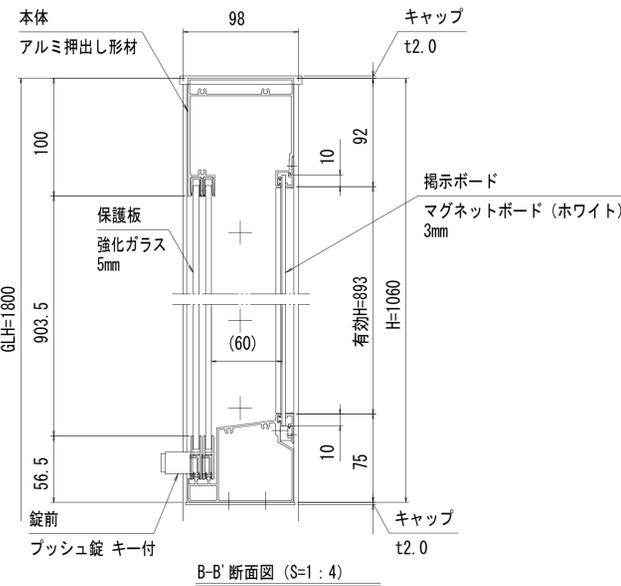


点字 300角 S=1:5



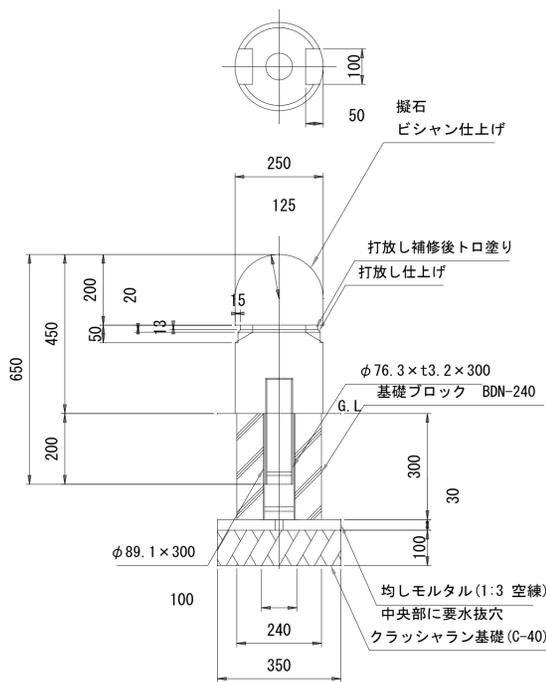


A-A' 断面図 (S=1:4)



B-B' 断面図 (S=1:4)

擬石ポラート (2ヶ所) S=1/10



帝金: TPN-006D同等品

基礎寸法 a, b

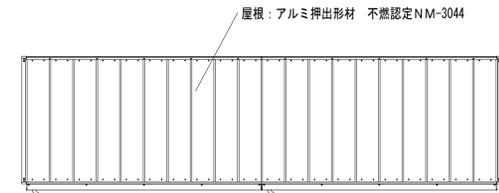
基準風速 Vo (m/s)	地耐力 (kN/m ²)			
	50		100	
	a	b	a	b
30	600	750	450	650
32	650	800	500	700
34	650	850	550	750
36	700	900	550	800
38	750	950	600	800

※有効W, 有効Hは掲示可能寸法を示す。

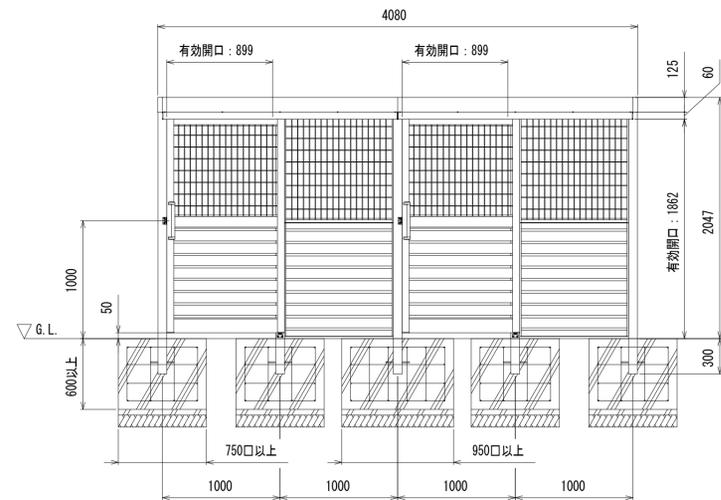
本体・支柱・連結柱: アルミ押出し形材 クリアー付
 重量: 88kg (単体45kg/台+連結43kg/台)
 色調: SLC (サンシルバー), BD (ダークブロンズ)
 掲示ボード: マグネットボード (ホワイト) 3mm (マグネット付)

照明: なし
 保護板: 強化ガラス 5mm
 錠前: プッシュ錠 キー付

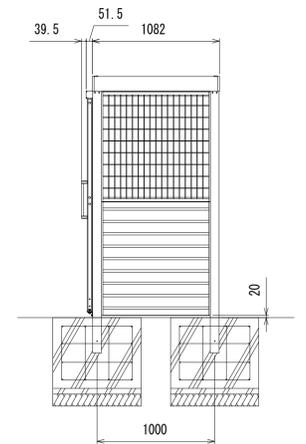
株式会社カシイ ポステージ 連結タイプ 同等品
 (PKA-H-1810-2WS_照明なし_強化_キー付)



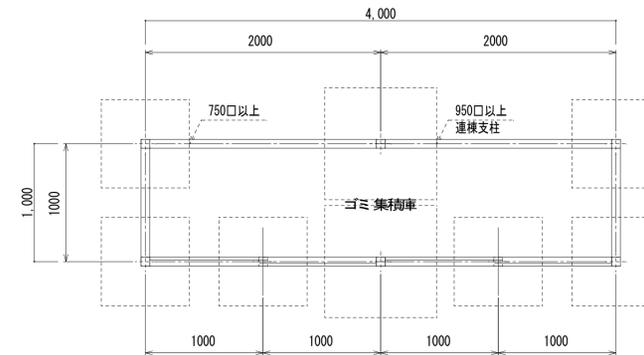
屋根伏図 S=1/30



立面図 (正面) S=1/30

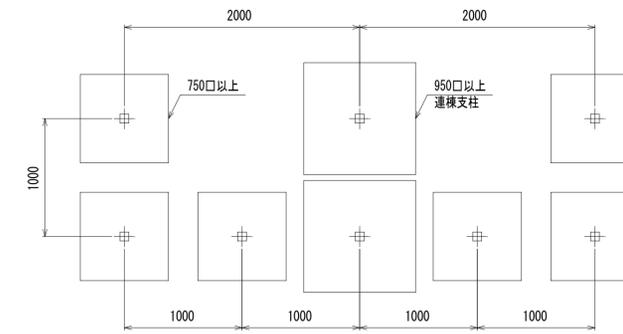


立面図 (側面) S=1/30



平面図 S=1/30

面積計算 4.0×1.0=4.00
 床面積 (建築面積) 4.0×1.0=4.00m²

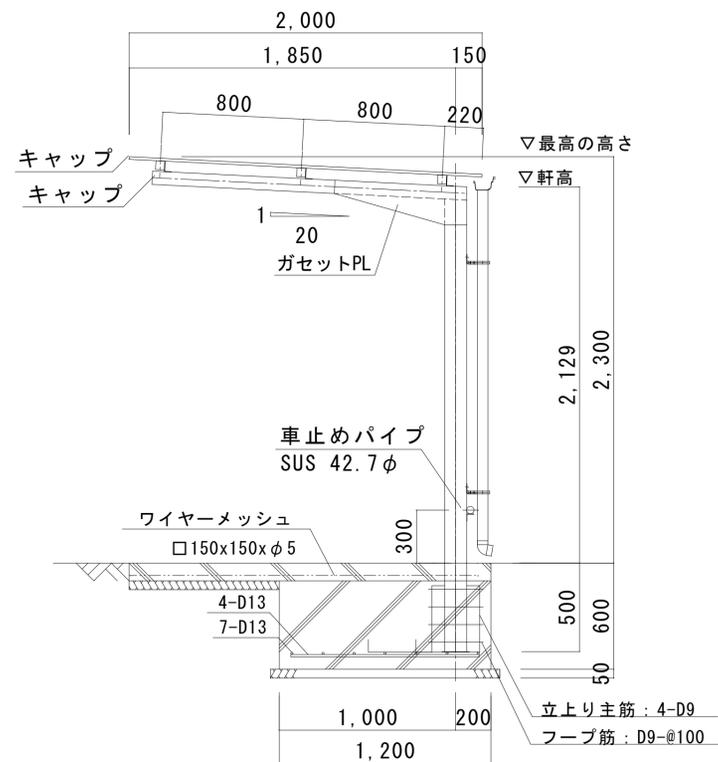


基礎伏図 S=1/30

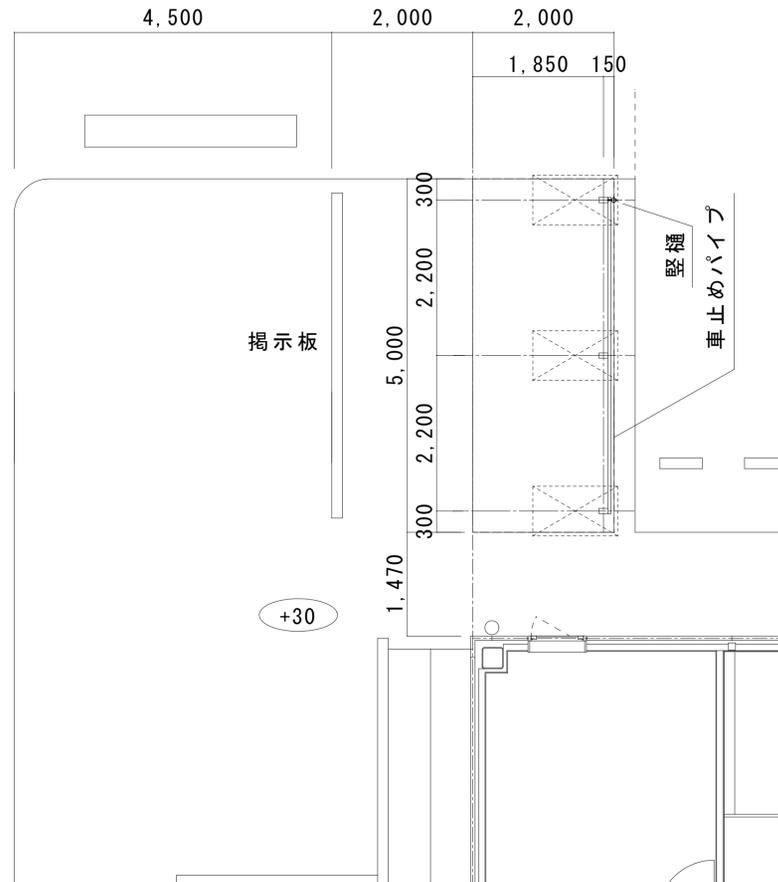
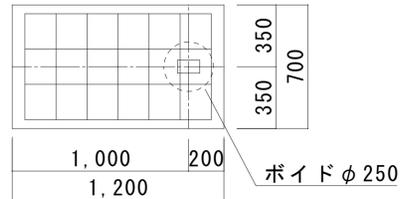
- 国土交通省告示第408号 (平成14年5月14日) 適合
 使用材質 JISH4100アルミ押出し形材を主要構成部材として設計・製造。
- 国土交通省告示第409号 (平成14年5月14日) 適合
 JIS (日本工業規格) に基づく材料を使用
 アルミニウム合金の種類 使用構成材 押出材 A6063-T5 基準強度110N/mm²
 A6005C-T5 基準強度175N/mm²
 使用箇所 支柱、前桁、後桁
- 国土交通省告示第410号 (平成14年5月14日) 適合
 (国土交通省告示第607号 改正部分 平成19年6月20日)

四国化成株式会社 ゴミストッカーAMR2型 (引き戸式) 連結タイプ 同等品
 (GAMR2T-U2010L) 南京錠2個付

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地内	A1版1/30	
A-61	外構詳細図 6	A3版1/60	
日付		係員	
令和2年11月12日			



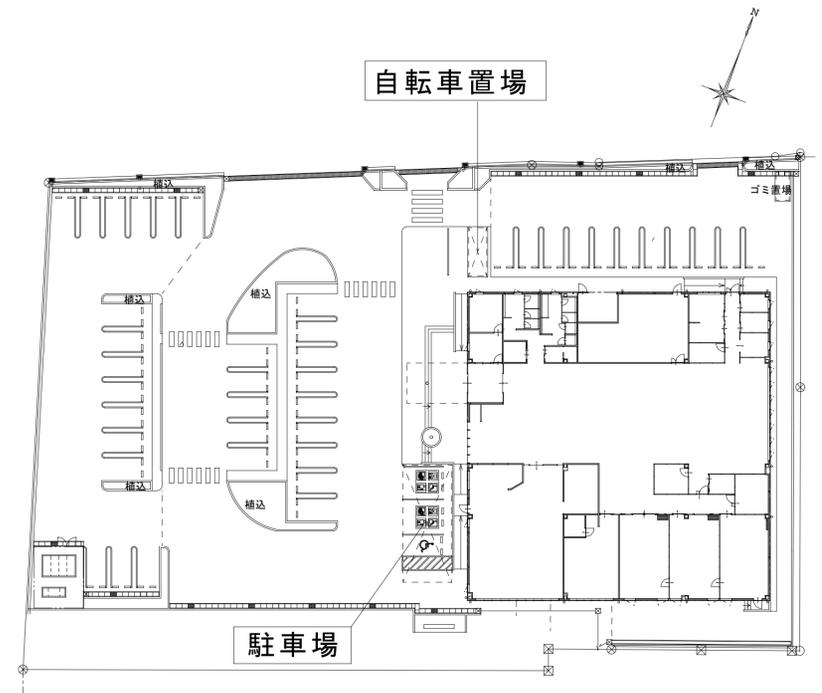
矩計詳細図 1/20



平面図 1/50

上屋

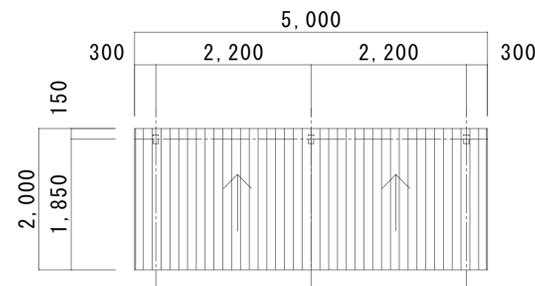
屋根型式	L=(長さ)	D=(出幅)	H=(高さ)
NCA-B-15	L= 5,000	D= 2,000	H= 2,300



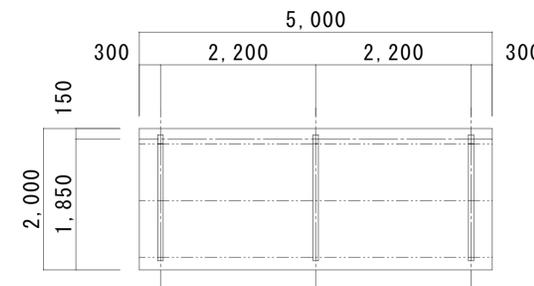
配置図

仕様 NCA-B-15 (株)ニチプレ同等以上

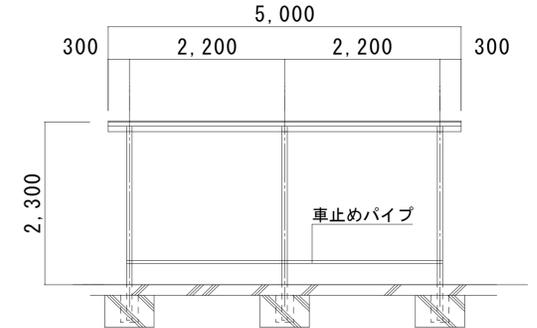
名称	寸法
柱梁間隔	平面図に依る
高さ	2,300
柱	□-125×75×2.3 (STKR400) λx=91.6 λy=135.6
梁	□-75×75×2.3 (STKR400)
母屋	□-50×50×1.6 (STKR400)
屋根	角波アルミ (告示1400号不燃材料)
車止めパイプ	SUS42.7φ
雨樋	軒樋:塩ビ製 縦樋:塩ビ製60φ
塗装	粉体焼付塗装
積雪荷重	800N/m ² (積雪量40cm)
地耐力	LF _e =30KN/m ² (長期)・SF _e =60KN/m ² (短期)
本体色	黒色
屋根色	黒色(表裏共)



屋根伏図 1/50

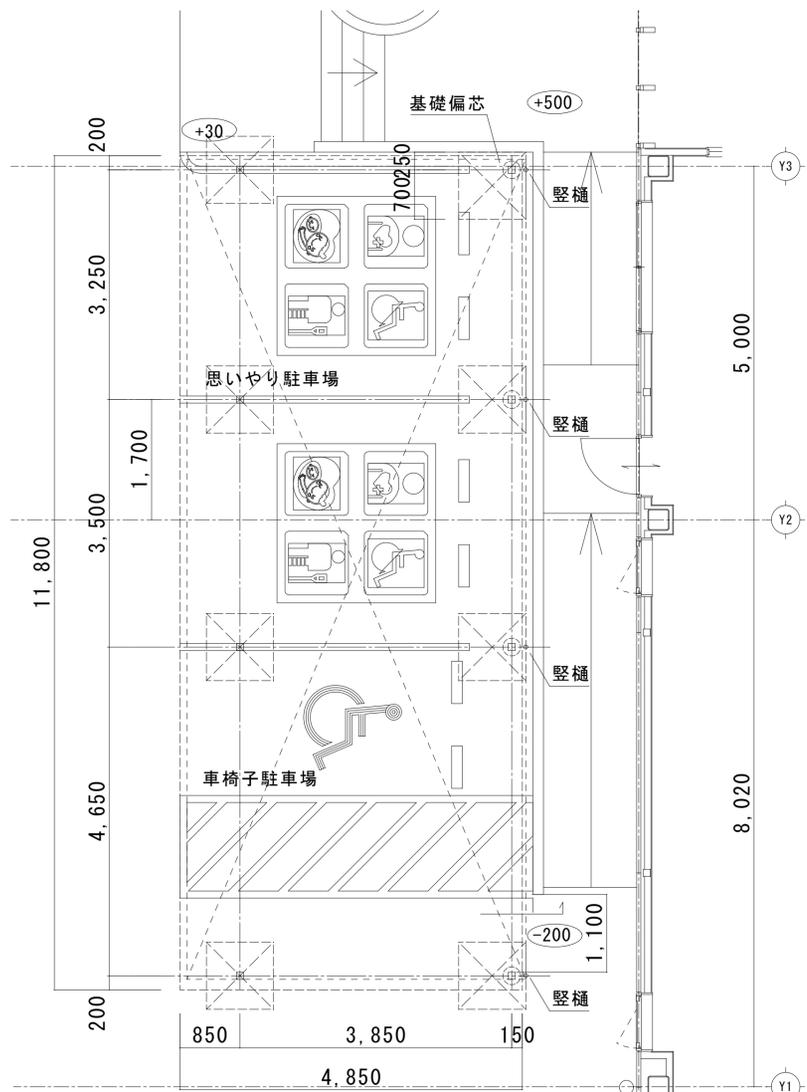


小屋伏図 1/50

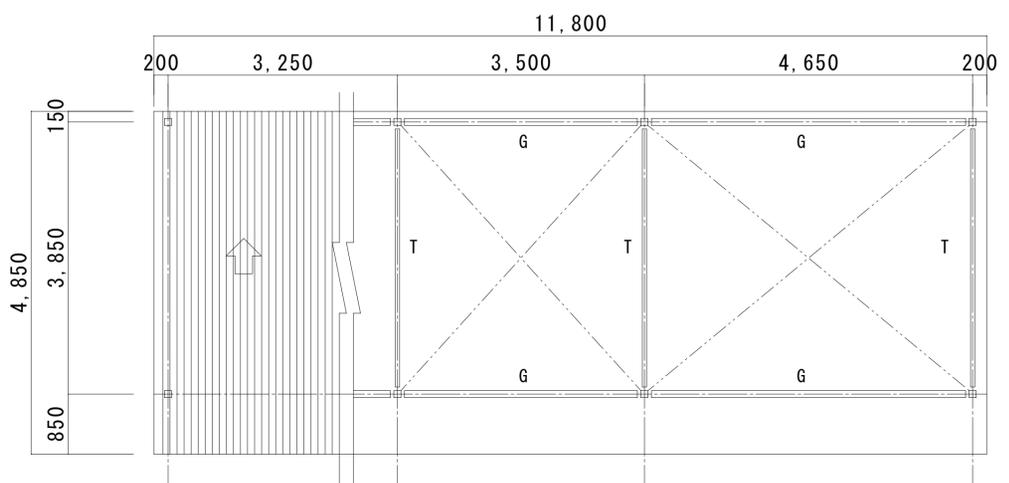


青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

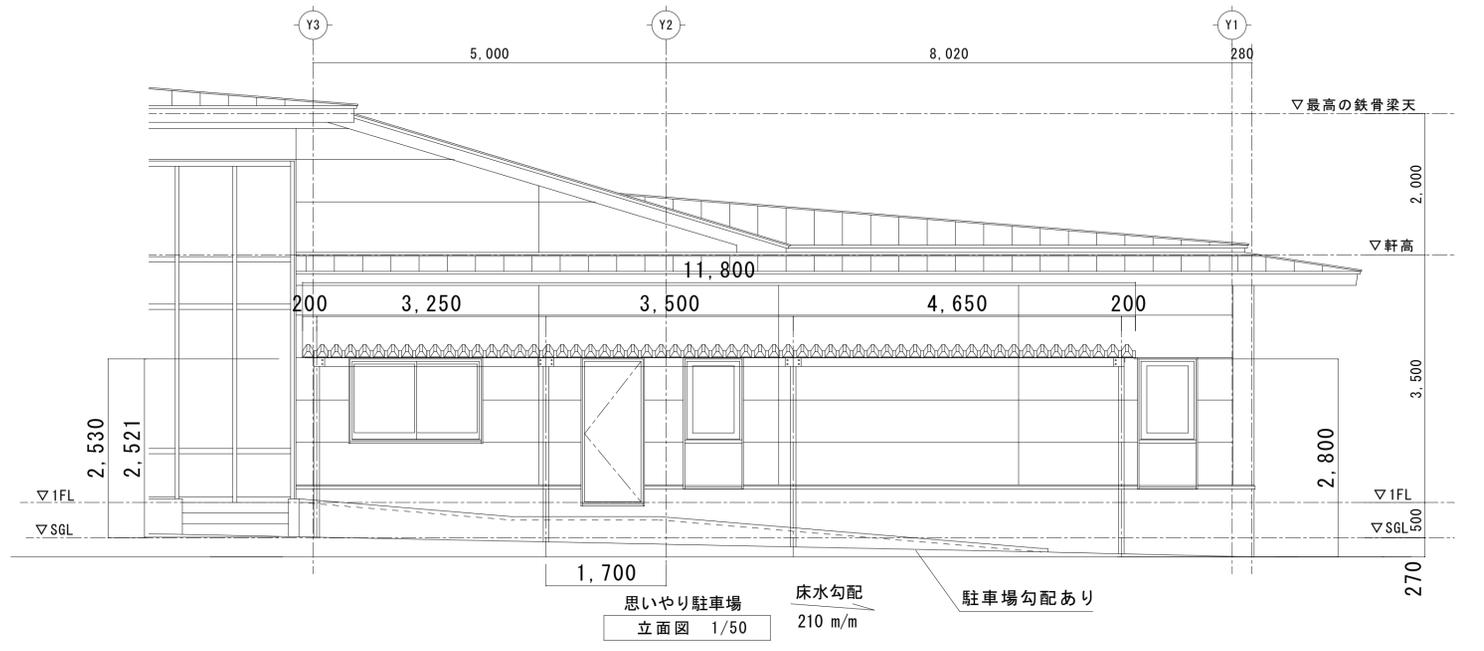
No.	伊賀市阿保地区	A1版1/50, 1/20 A3版1/100, 1/40
A-62	外構詳細図No7	m ² /m
日付		係員
令和2年 11月12日		



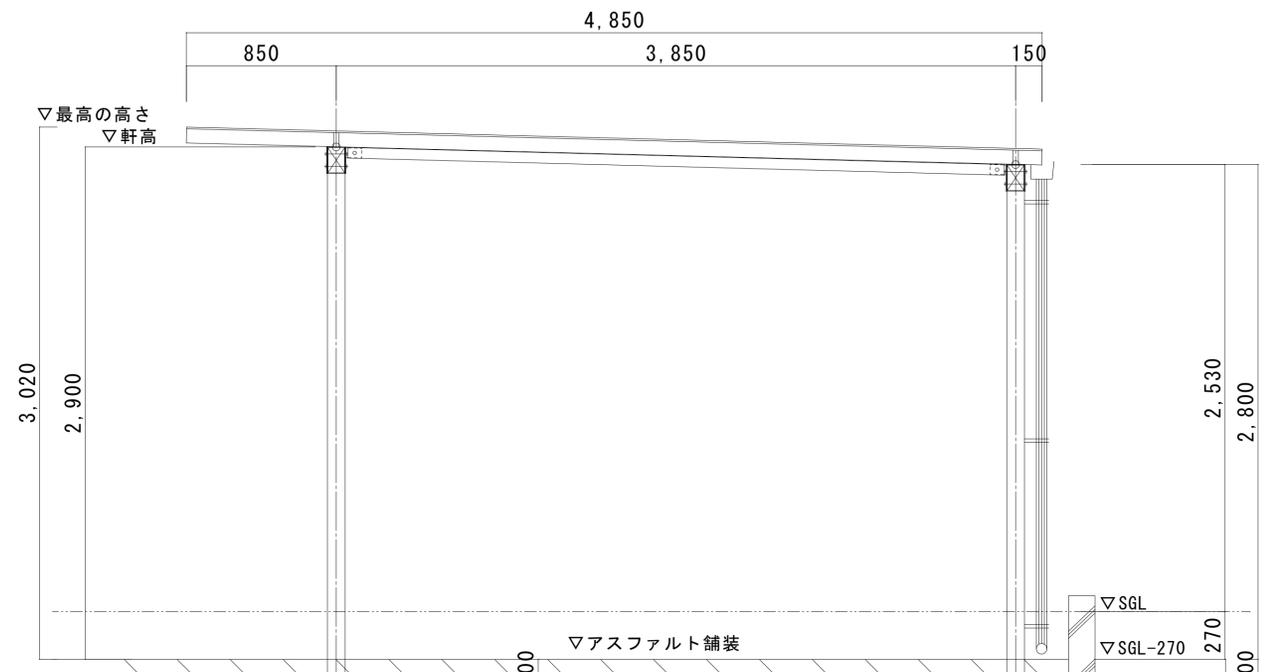
思いやり駐車場
平面図 1/50



思いやり駐車場
屋根・小屋伏図 1/50



思いやり駐車場
立面図 1/50



思いやり駐車場
矩計詳細図 1/20

思いやり駐車場
仕様 PGS-42 (株) ニチプレ同等以上

名称	寸法
柱梁間隔	平面図に依る
高さ	2,800(水下梁天)
柱	□-100×100×2.3 (STKR400) ¹⁾ X=λy=141.1
梁(G)	□-150×100×3.2 (STKR400)
梁(T)	□-60×60×1.6 (STKR400)
ガセットPL	t=4.5 ボルト:M12
小屋ブレース	1-M12(ターンバックル付)
屋根	ルーフデッキ t=0.5(88型) (不燃材料NM-8697)
雨樋	軒樋:前高さW130 塩ビ製 縦樋:塩ビ製60φ
塗装	ポリエステル粉体焼付塗装
本体色	黒
屋根色	黒

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地区内	A1版1/50, 1/20
A-63	外構詳細図No8	A2版1/100, 1/40
日付		m/m
設計		係員
令和2年 11月12日		



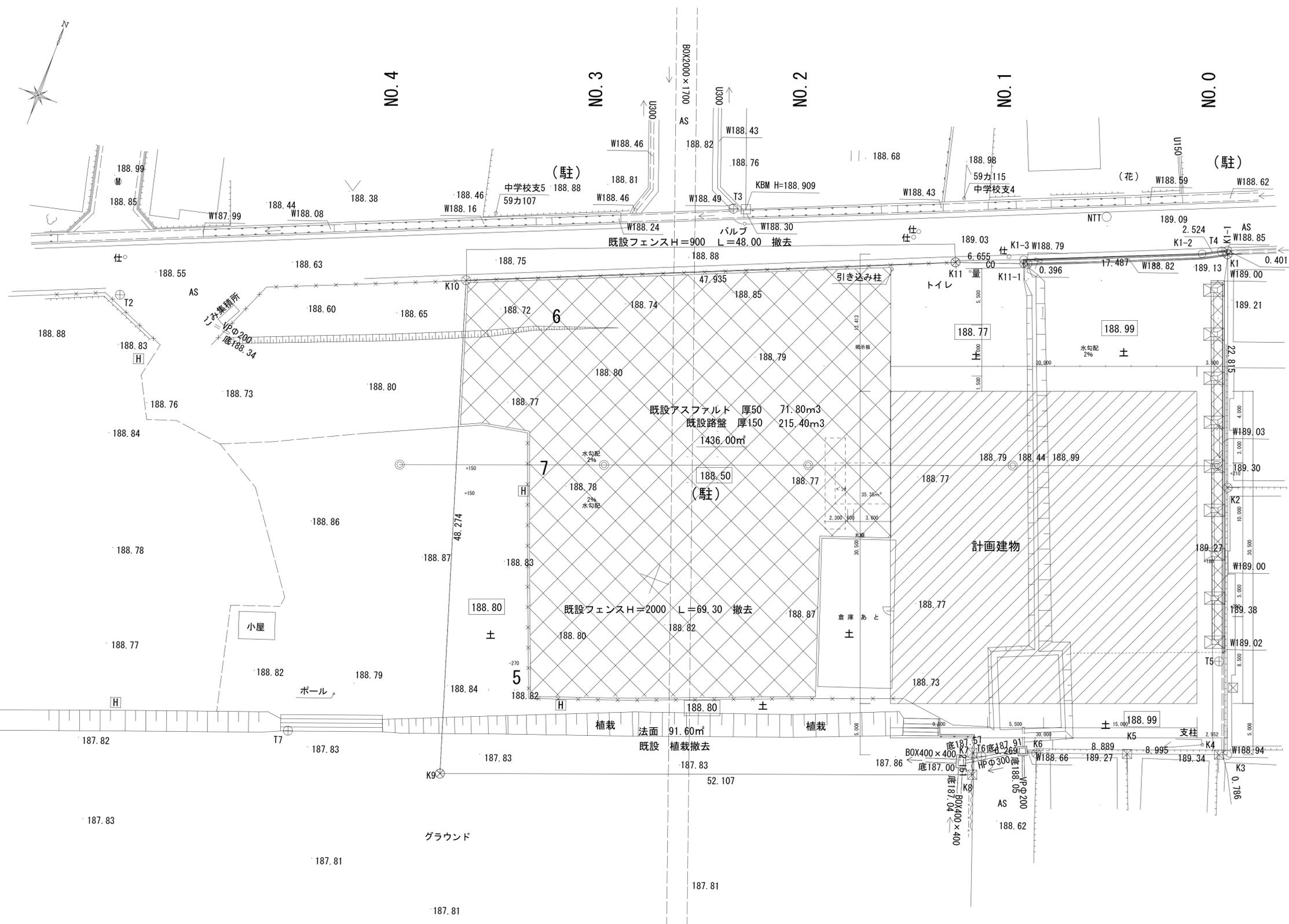
NO. 4

NO. 3

NO. 2

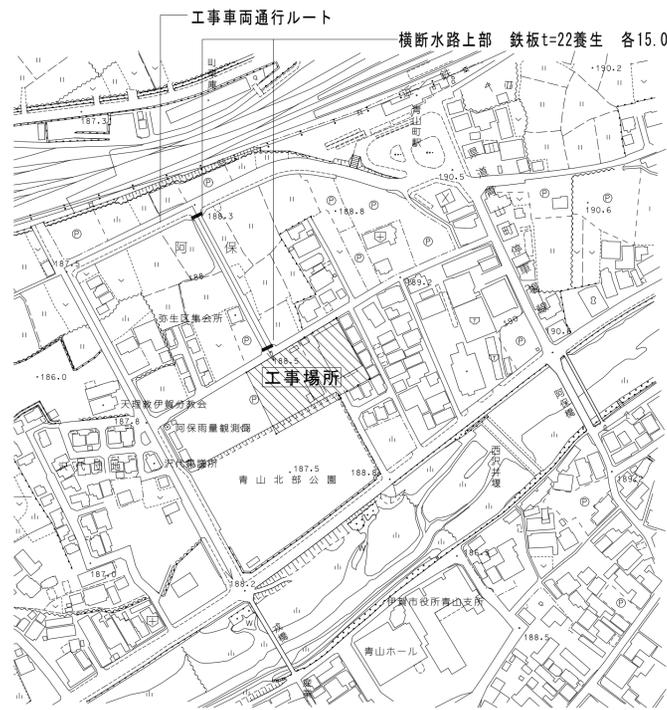
NO. 1

NO. 0

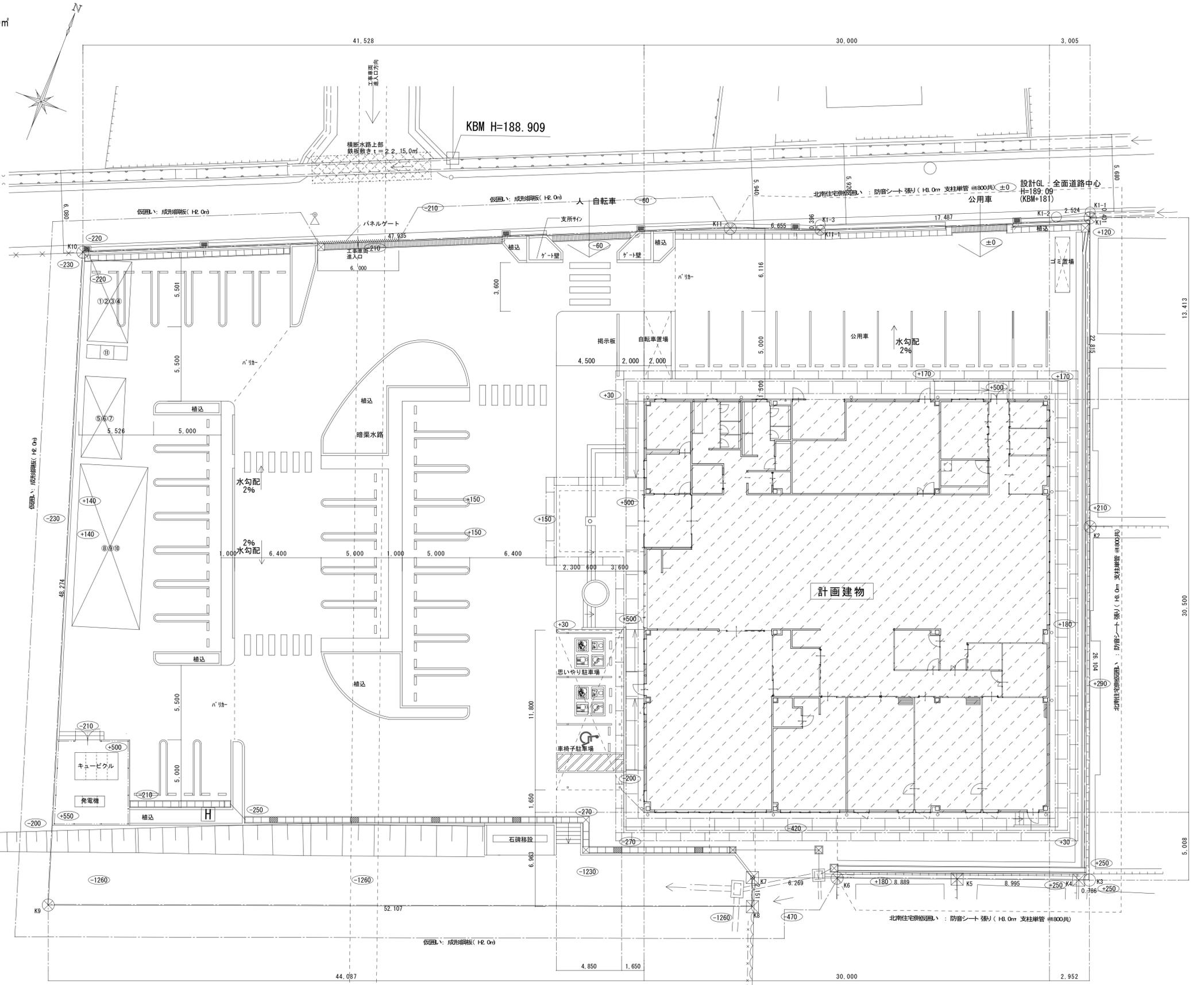


現況図 (撤去図) S=1/200

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)		
№	伊賀市阿保地区内	A1版1/200 A3版1/400
A-64	現況図 (撤去図)	m/m
日付	令和2年11月12日	係員



付近見取図 S=1/2500



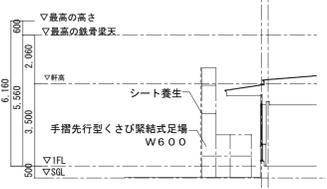
配置図 (仮設計画入り) S=1/150

- 凡例
- 工事建築物
 - H=2,000 仮囲い：成形鋼板 (H2.0m)
 - H=3,000 仮囲い：防音シート張り (H3.0m 支柱単管φ1800共)
 - 工事車両の動線を示す。
 - 交通整理員立位置を示す。
 - 鉄板敷き t=22 を示す。
 - パネルゲートW5400xH4500 柱付き
 - 外部足場 高さ緊結式足場W=600 防災養生シート張共

仮設事務所等内訳 (参考)

① 監督員詰所10㎡
② 建築：請負者詰所10㎡
③ 電気：請負者詰所5㎡
④ 機械：請負者詰所5㎡
⑤ 建築：材料倉庫10㎡
⑥ 電気：材料倉庫5㎡
⑦ 機械：材料倉庫5㎡
⑧ 建築：作業小屋40㎡
⑨ 電気：作業小屋10㎡
⑩ 機械：作業小屋10㎡
⑪ 便所：男女別くみ取り式 3式

※資材置場の場所は打合せにより決定する事とする。
 ※資材搬入時には周囲を確認しながら誘導を行う
 ※搬入経路は、道幅が狭く近隣に住宅が建ち並ぶ為、通過する際は地元車輦優先、及び遅徐行にて通過すること
 ※近隣住民の通行及び学童の登下校に支障のないように配慮すること。
 ※作業中の解体物、資材の搬入には十分な安全を確保すること



青山複合施設建設工事 (建築主体工事)

No.	伊賀市阿保地区	A1版1/150
A-65	仮設計画図	A3版1/300
日付		m/m
設計		係員
11月12日		

構造特記仕様書 2020年度版

§1 一般事項
選択項目は○印を適用し、◎印が無い場合は*印を適用する。
○印が複数ある場合は、共に適用する。

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の優先順位は下記による。
1)本特記仕様書
2)設計図
3)標準図
4)仕様書
5)日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6(最新版とする)
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。
1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は()・意匠図・構造図()による。
1-7 その他

§2 構造計算ルート

- 2-1 方向 構造計算ルート
X ルート1-2 ルート2 ルート3
Y ルート1-2 ルート2 ルート3
2-2 鉄筋の継手
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
* 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定(以下令73条の仕様規定)
日本建築学会 JASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
日本建築学会 RC規準2018
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができる。

§3 仮設工事、土工事

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 *根切り土の中の良土 *搬入良土
盛土 *根切り土の中の良土 *搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)
残土処分 *場内地均し *場外搬出処分(*自由 *指定場所)

§4 地業工事

Table with columns: 場所, 捨てコンクリート厚さ, A: 砕石, B: 割栗石, 厚さ. Includes rows for 基礎, 基礎梁, 土間スラブ, 土間コンクリート.

注 (1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
(2)端部aは100以上とする。

- 4-2 設計地耐力 長期 200 kN/m² 短期 400 kN/m² 終局 kN/m²
地耐力載荷試験 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) *行わない
4-3 地盤改良
無筋コンクリート地業 締固め工法 ソイルセメント杭
セメント系固化材攪拌 圧密排水工法
[載荷試験 一軸圧縮試験] 行う (箇所) *行わない
[六価クロム溶出試験] 行う *行わない

- 4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
1)杭種
PHC杭 A種 B種 C種
ST杭 A種 B種 C種
SC杭 t mm
PRC杭 I種 II種 III種 IV種
節杭 A種 B種 C種
2)工法
打撃工法 油圧ハンマー ディーゼルハンマー
埋込み工法 プレボーリングセメントミルク注入工法
プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)
杭周固定液 *あり なし
中掘拡大根固め工法(認定工法)
回転埋設根固め工法(認定工法)

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考. Includes rows for 3)杭径、設計耐力、本数表.

- 4)杭の構成は設計図による。
5)杭頭補強
かご筋 スタッド溶接 杭外周溶接
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭
1)工法
アースドリル工法 拡底アースドリル工法
リバース工法 オールケーシング工法 (ペント工法)
BH工法
2)杭径、設計耐力、本数表(拡底部は施工径を示す)
Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 管厚 mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 3)杭先端深さ GL- m 杭リストによる 杭伏図による
4)孔壁測定 (2方向)
*行う (全数 %) 行わない
5)使用材料
コンクリート Fc (普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種)
鉄筋 D 以下 SD295A D 以上 SD345
D 以上 SD390
鋼管(リブ付) SKK400 SKK490
4-6 杭打地業共通事項
1)[試験杭 試験掘] 行う (本) 行わない
2)載荷試験 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) *行わない
3)SL塗布 行う *行わない

§5 鉄筋工事

Table with columns: 種類, 径, 継手. Includes rows for SD295A, SD345, SD390, SD490, 溶接金網, 高強度せん断補強筋.

- 5-2 ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
抜取り検査
引張り試験 (JISZ3120)
1検査ロットにつき *3本 原則 柱・梁の径毎に3本
超音波探傷試験 (JISZ3062) 熱間押抜き試験
1検査ロットにつき 30箇所
不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内

- 5-3 溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)
JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)
5-4 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として
①一般 ②地反力を受ける
③上載荷重が大きい場合 とする。
梁の余長lの採用 大梁・小梁 *D (梁有効) 端部上下筋15d 中央上下筋20d
基礎梁 *min(D, L) 端部上下筋15d 中央上下筋20d
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

- 6-1 レディミキストコンクリート(JIS A5308-2019)
1)セメント
普通* 40タイプ* 40 JISR5210 高炉セメントB種
低熱* 40タイプ* 40 JISR5210
2)粗骨材
砂利 *砕石 *高炉スラグ骨材 人工軽量骨材 再生骨材
最大径(mm) *20 *25 *40
3)設計基準強度 (N/mm²) (使用区分は設計図の基礎伏図に示す)
普通コンクリート
Fc18 Fc21 Fc24 Fc27 Fc30 Fc Fe Fe
軽量コンクリート(*1種 *2種 気乾単位容積質量 *18.5)
LFC18 LFC21 LFC24 LFC27 LFC30 LFC

- 4)土間コンクリート Fc 21 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
5)捨てコンクリート Fc 18
6)防水押さえコンクリート Fc LFc (気乾単位容積質量 *18.5)
7)かさ上げコンクリート Fc 18 LFc (気乾単位容積質量 *18.5)
混和材 *AE減水剤 *高性能AE減水剤 *躯体防水材 *膨張材
注1.混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。

Table with columns: 箇所, 基礎, 基礎梁, 一般, 備考. Includes rows for スランプ, 水セメント比, 単位水量, 単位セメント量.

- 6-3 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
骨材 [塩分含有量 アルカリシ lika反応性] *行う *行わない
フレッシュコンクリート [スランプ 空気量] *行う *行わない
3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 *行う *行わない
4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験 *行う *行わない
5)マスキングのひび割れ照査(温度応力解析) *行う *行わない
6)単位水量測定 *行う *行わない
6-5 調査(補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級()は耐久設計基準強度Fd
短期(18) 標準(24) 長期(30) 超長期(36)
調査管理強度 Fm=Max(Fc, Fd)+S S=3~6
材齢28日の調査強度Fは下記の式を満足するものとする。
F≧Fm+1.73σ F≧0.85Fm+3σ
6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)
Table with columns: 基礎、梁、柱、壁, スラブ下, 梁下. Includes rows for コンクリートの場合, 圧縮試験による場合.

Table with columns: 劣化等級, 等級2, 等級3. Includes rows for コンクリートの場合, 圧縮試験による場合.

- 6-7 住宅性能表示
劣化等級 等級2 等級3
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さ
が変わる為、かぶりを訂正又は、設計図に明示する
6-8 Fc36を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書(JASS5等)による。

§7 鉄骨工事

Table with columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, 通し内, 大梁, プレース, 小梁, 其他. Includes rows for 一般構造用圧延鋼材, 建築構造用圧延鋼材, 一般構造用角形鋼管, 冷間成形角形鋼管, 熱間成形角形鋼管, 一般構造用炭素鋼管, 一般構造用軽量形鋼, 建築構造用圧延棒鋼.

Table with columns: 高力ボルトの種類, 使用箇所. Includes rows for トルシア形高力ボルト, JIS形高力ボルト, 熔融亜鉛メッキ高力ボルト, 超高力ボルト.

- 7-3 普通ボルト、アンカーボルト
1)材質 *SS400 (M以上) *ABR400 *ABR490 *ABM400 *ABM490(ABMはM24以上)
2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による) *使用する *使用しない

Table with columns: 径, 長さ(mm), 使用箇所. Includes rows for 16φ, 19φ, 22φ.

- 7-5 溶接材料
1)アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとす。

Table with columns: 継手, 柱, 梁. Includes rows for フランジ, ウェブ.

- 7-8 溶接手法及び管理
1)使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2)本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技能者技量検定付加試験を *行う *行わない
3)AW検定(工場・現場・代替タブ)の有資格者で、工事監理者の承諾を受けた者は技量検定付加試験を免除する。

- 7-9 デッキプレート(単位 mm)
1)床用 高さ * 板厚 *
2)合成スラブ用 高さ *50 板厚 *1.2
3)型枠用 高さ * 板厚 * 形版 タイプ
4)防錆処理 *プライマー *亜鉛メッキ *Z12 *Z27

- 7-10 塗装(工場塗 *2回 *1回、現場タッチアップ程度とする)
1)素地調整 *ケレン *プラスト
2)下塗り塗料

Table with columns: 通用, 塗料, 種別, 標準膜厚. Includes rows for 骨材, 鉛、クロムフリー錆止め, 水系さび止めペイント, 変性エポキシ樹脂プライマー, 有機ジンクリッチプライマー, 構造物用さび止めペイント.

- 3)溶融亜鉛メッキ *行う(目隠しフェンス、幕板) *行わない
4)常温亜鉛メッキ *行う *行わない
5)高耐食メッキ鋼板(t3.2mm以下) *用いる *用いない
7-11 溶接部の検査(受入検査) *行う *行わない
1)受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2)第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3)受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4)外観検査の合否判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付則6 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5)超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2018により、合否判定は7.2.1虚劣を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6)溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。
7)受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
a)工場溶接の場合
i.検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii.抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
iii.大きく30箇所のサンプル中の不適合個数が1個以下ときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30箇所のサンプルを抜取検査する。総計60箇所のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下ときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b)現場溶接の場合
i.全数検査とする。
ii.検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9)ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。

- 7-12 鉄骨製作工場 下記○印のグレード認定工場の内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと
国土交通省大臣認定(グレード)
S H M (R) J
§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

Table with columns: 種類, A種, B種, C種, 厚さ mm, 100, 120, 150, 190. Includes rows for 8-1 コンクリートブロック, 8-2 ALC パネル.

Table with columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考. Includes rows for 縦, 横.

Table with columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考. Includes rows for 縦, 横.

Table with columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考. Includes rows for 縦, 横.

Table with columns: PCa板厚さ mm, 現場打厚さ mm, 合計厚さ mm, 備考. Includes rows for 2)外壁 厚さ mm.

Table with columns: No, S-01, 伊賀市阿保地区, 構造特記仕様書, A1版 NS, A3版 NS, 日付, 令和2年11月12日, 係, 保真.

鉄骨工作標準図(1)

2020年度版

§ 1 一般事項

- 1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
- 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書 1-2-4、5に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
- 3) 製作精度等に関しては、JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。
- 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

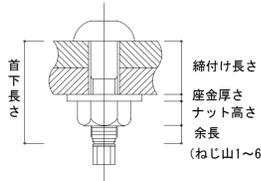
§ 2 共通事項

- | | | | |
|--------|-----------|--------------------|---------------|
| ○ AB | アンカーボルト | ○ BH | 組立て H形鋼 |
| ○ BPL | ベースプレート | ○ CHPL | チェッカープレート |
| ○ DFPL | ダイヤフラム | ○ FB | フラットバー |
| ○ FPL | フランジプレート | ○ GPL | ガセットプレート |
| ○ HTB | 高力ボルト | ○ RPL | リッププレート |
| ○ SPL | スプラインプレート | ○ TB | ターンバックル |
| ○ WPL | ウェブプレート | ○ W ₁₋₉ | 溶接記号 (§ 4 参照) |

§ 3 ボルト接合

ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



1. 特記以外はすべてS10T（トルシア形高力ボルト、上図）又はF10Tとする。
2. 本締めには使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4. 垂鉛メッキボルトの場合は、すべてF8Tとする。

呼び径	M 16 M 20 M 22 M 24			
	標準	P	最小	最大
ピッチ	40	50	55	60
はしあき	e	40	40(50)	40(55)
最小縁端距離	せん断線、手動ガス切断線	28	34	38
	圧延線、自動ガス切断線等	22	26	28

() 内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。

ゲージ	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
e ₂	50	65
35	45	60
40	45	60
55	25	45

A or B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₃	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

*B = 300は千鳥打ちとする。
**印の欄のg及び最大軸径の値は強度上支障がないとき
最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

§ 4 溶接接合



断続隅肉溶接の長さL
L ≥ 10Sかつ40以上

- 1) 板厚の異なる場合 (通しダイヤフラムは除く)
完全溶込み溶接 (突合せ溶接)
a ≤ 10
a > 10
クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。
- 2) エンドタブ
両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ ℓ は35以上かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。
エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5~10mmはなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立ては右図による。
隅肉溶接 s = 4~6mm
1パス長さは40~60mm程度とする。

- 3) 開先加工 (下図は参考とする。)

- a) スクラップ工法
スクラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γは35程度、γ₁は10以上とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
完全溶込み溶接部以外のスクラップはγ=25程度とする。

- b) ノンスクラップ工法
機械加工+ガス切りタイプ

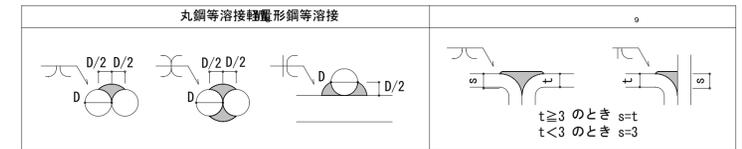
4) 開先形状 小文字は管理許容差 () は限界許容差を示す ※十分な品質管理を行う

記号	形状	適用板厚	寸法	
			アーク手溶接	ガスシールドアーク溶接
W ₂ MC-BL-1B GC-BL-1B		6~	G 9 +∞ (+∞) / -2 (-2)	7 +∞ (+∞) / -1 (-2)
			R 2 +1 (+2) / -2 (-2)	2 -2 (-2) / -2 (-2)
W ₃ MC-BL-2 GC-BL-2		6~	G 35 -2.5 (-5) / -5 (-5)	35 +∞ (+∞) / -2.5 (-5)
			R 2 +∞ (+∞) / -2 (-2)	2 -2 (-2) / -2 (-2)
W ₄ MC-BK-2 GC-BK-2		16~	G 0 -2.5 (-4) / -2 (-2)	0 +2 (+3) / -0 (-0)
			R 2 -2 (-2) / -2 (-2)	2 -2 (-2) / -2 (-2)
W ₅ MC-BI-1B GC-BI-1B		3~6	G T -2 (-3) / -2 (-3)	T -2 (-3) / -2 (-3)
			R 2 -2 (-2) / -2 (-2)	2 -2 (-2) / -2 (-2)

MC... はアーク手溶接 GC... はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

片面溶接両面溶接		W ₆
12 ≤ t ≤ 40	16 ≤ t ≤ 40	
t	12 16 19 22 25 28 32 36 40	D=(t-2)/2
D	10 11 12 13 13 14 15 15 16	t/4 ≤ S ≤ 10

4-4 フレア溶接

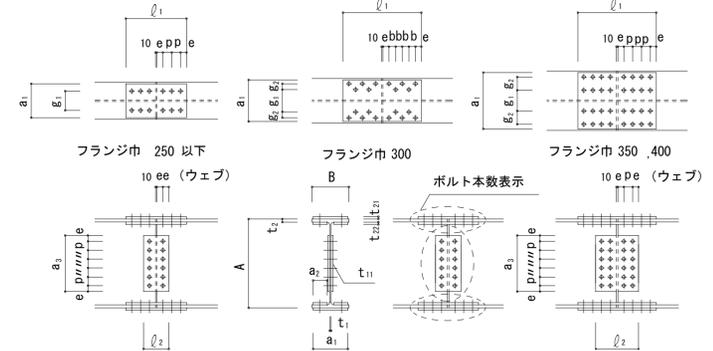


4-5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

§ 5 継手

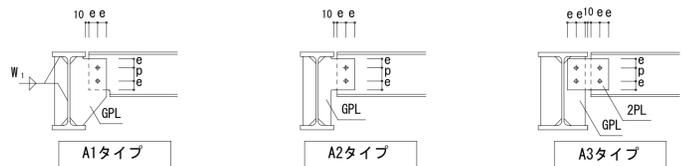
5-1 継手リスト



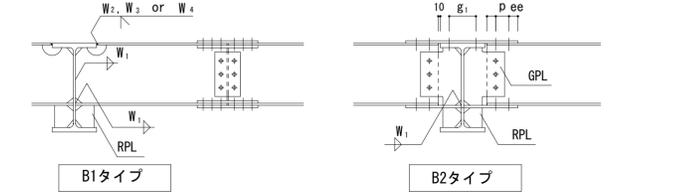
材種主	材	高力ボルト径	フランジ		ウェブ	
			外側添板	内側添板	添板	ピッチ
	H - A × B × t ₁ × t ₂		2PL- t ₂₁ × a ₁ × ℓ ₁	4PL- t ₂₂ × a ₂ × ℓ ₁₂	2PL- t ₁₁ × a ₂ × ℓ	
	BH - A × B × t ₁ × t ₂					
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x
	H - x x x	x	x	x	x	x

1. フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2. a₂は原則として梁成の2/3以上確保すること。

5-2 小梁仕口



ピン接合 Aタイプ



剛接合 Bタイプ

1. GPL, RPLは材種、版厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2. 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

2020年2月1日作成 (不許複製)

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地内		A1版 NS
S-04	鉄骨工作標準図 No1		A3版 NS
目付	設		編
令和2年	計		
11月12日			

Q L ルーフ屋根設計・施工標準 JFE 建材株式会社

Q L ルーフを屋根に用いた場合の設計・施工は、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、床商品カタログ、Q L デッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

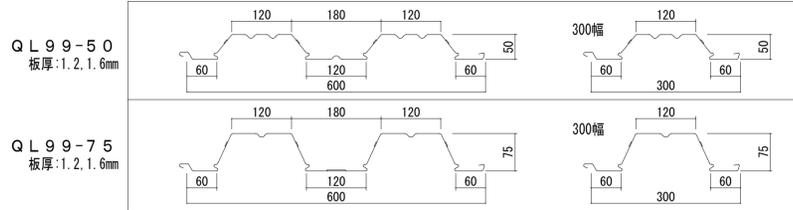
設 計

採用項目に [] を記して下さい。

1. 材料/デッキプレート

[ISO 9001 認証取得]

商品名	デッキプレート種類	表面処理	材質
Q L ルーフ	<input type="checkbox"/> QL99-50-12Y <input type="checkbox"/> QL99-50-16Y <input type="checkbox"/> QL99-75-12Y <input type="checkbox"/> QL99-75-16Y	亜鉛メッキ (G) <input type="checkbox"/> Z12 <input type="checkbox"/> Z27	JIS G 3352 SDP2G



2. 梁(母屋)との接合

<input type="checkbox"/> 焼抜き栓溶接 (φ18以上)	梁(母屋)板厚 (t) ≥ 6mm	下記の接合箇所の項によって決定する。
<input type="checkbox"/> 打込み鋸		
<input type="checkbox"/> ドリルねじ (φ6×L20以上)	梁(母屋)板厚 (t) < 6mm	
<input type="checkbox"/> その他		

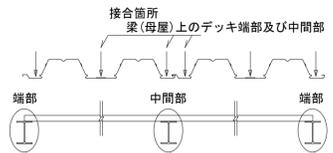
注1) 標準図において、「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ (JIS B 1124)」をドリルねじと略記する。
注2) 打込み鋸の場合、「梁(母屋)板厚」の最大値は32mm。

接合箇所

◎デッキ幅方向

接合部の作用する荷重に応じて接合箇所の個数を決定する。

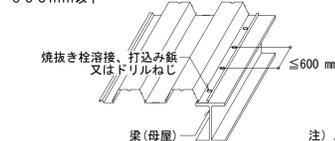
デッキ端部梁(母屋)上
 $N_s = W_s / 1.5 P_a$ かつ3ヶ所/デッキ1枚以上
 デッキ中間部梁(母屋)上
 $N_c = W_c / 1.5 P_a$ かつ3ヶ所/デッキ1枚以上
 P_a : 接合部1個当たりの長期許容引張り力 (N)
 W_s : デッキ端部梁(母屋)上部に作用する設計最大荷重 (N/m)
 W_c : デッキ中間部梁(母屋)上部に作用する設計最大荷重 (N/m)
 N_s : デッキ端部梁(母屋)上の接合箇所数 / 1m幅
 N_c : デッキ中間部梁(母屋)上の接合箇所数 / 1m幅



接合強度一覧

デッキ板厚	焼抜き栓溶接		打込み鋸		ドリルねじ
	端部	中間部	端部・中間部共	端部・中間部共	
1.2mm	1,170N/ヶ所	4,000N/ヶ所	3,100N/本		1,570N/本
1.6mm	1,560N/ヶ所	4,310N/ヶ所	3,500N/本		

◎デッキスパン方向



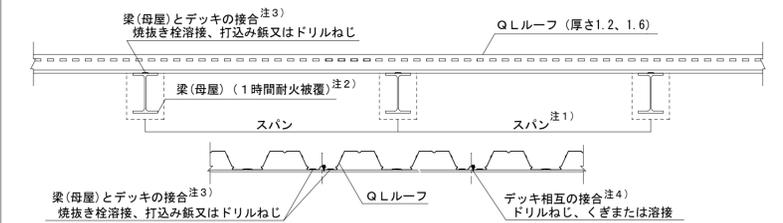
注) 上記方法でデッキと梁(母屋)を接合しても、水平ブレースは削除できません。水平ブレース(屋根面)は別途ご指示ください。

特 記

その他	デッキ敷込み時にデッキ嵌合が甘い場合は、適切な処理を施して下さい。(「4. デッキ相互の接合」参照).....
-----	---

3. 屋根システム耐火仕様

デッキ品名	敷設形式	支持スパン	認定番号	接合(デッキ相互)	接合(デッキと母屋)
QL99-50-12Y	単純支持	2,800mm 以下	□FP030RF-0327	<input type="checkbox"/> ドリルねじ <input type="checkbox"/> スポット溶接 <input type="checkbox"/> すみ肉溶接 <input type="checkbox"/> くぎ	<input type="checkbox"/> 焼抜き栓溶接 <input type="checkbox"/> 打込み鋸 <input type="checkbox"/> ドリルねじ
QL99-50-16Y	連続支持	3,400mm 以下	□FP030RF-0413		
QL99-75-12Y	単純支持	3,400mm 以下	□FP030RF-0328	<input type="checkbox"/> ドリルねじ <input type="checkbox"/> スポット溶接 <input type="checkbox"/> すみ肉溶接 <input type="checkbox"/> くぎ	<input type="checkbox"/> 焼抜き栓溶接 <input type="checkbox"/> 打込み鋸 <input type="checkbox"/> ドリルねじ
QL99-75-16Y	連続支持	4,550mm 以下	□FP030RF-0326		
QL99-50-12Y	単純支持	2,650mm 以下	□FP030RF-0064	<input type="checkbox"/> ドリルねじ <input type="checkbox"/> スポット溶接 <input type="checkbox"/> すみ肉溶接 <input type="checkbox"/> くぎ	<input type="checkbox"/> 焼抜き栓溶接 <input type="checkbox"/> 打込み鋸 <input type="checkbox"/> ドリルねじ
QL99-50-16Y	連続支持	3,350mm 以下			
QL99-50-16Y	単純支持	2,850mm 以下			
QL99-75-12Y	連続支持	3,550mm 以下			
QL99-75-12Y	単純支持	3,200mm 以下			
QL99-75-16Y	連続支持	3,900mm 以下			



注1) スパンとは梁(母屋)の中心間距離を言う。
 注2) 梁(母屋)の耐火被覆 梁(母屋)に1時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
 注3) 梁(母屋)とデッキ間の接合は、デッキプレート1枚毎に3ヶ所とする。詳細は「2. 梁(母屋)との接合」及び「施工」欄を参照。
 注4) デッキ相互の接合については下記の通りとする。

4. デッキ相互の接合

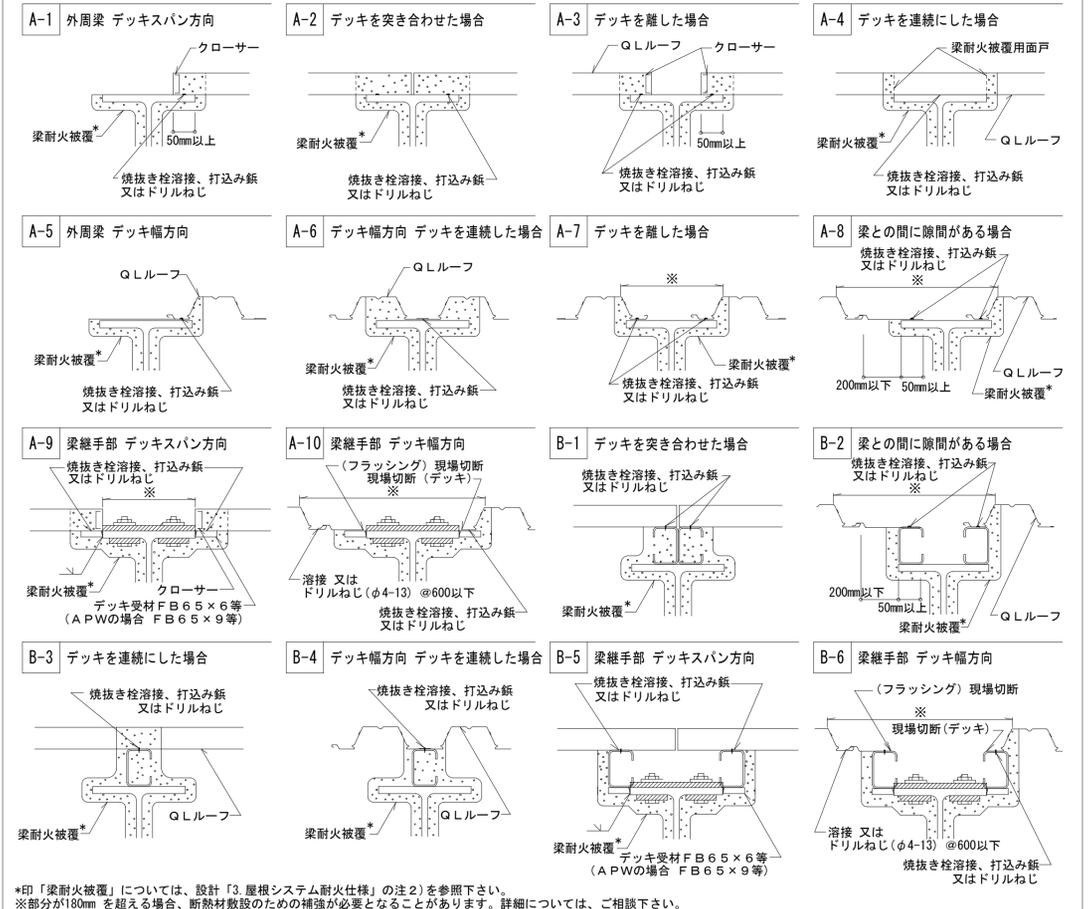
1. ドリルねじ	2. くぎ	接合間隔 ℓ
ドリルねじ (φ4×L13)	くぎ	
3. スポット溶接	4. すみ肉溶接	
スポット溶接 (溶接長さ15mm)	すみ肉溶接 (溶接長さ15mm)	

注) 認定番号FP030RF-0064に記すドリリングタッピンねじは、JIS改訂により「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ (JIS B 1124)」に変更になっています。

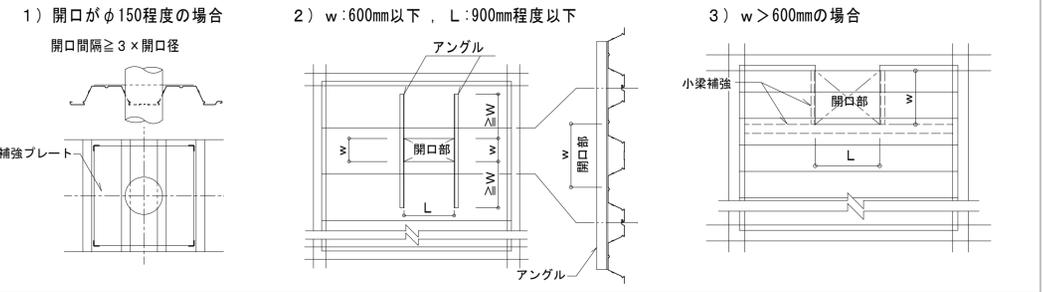
5. アクセサリー

フラッシング	クローサー	天井吊り
FS	NCS75S・NCS50S CS75・CS50	Q L インサート
デッキ割付の幅調整に用いる。定尺2.4m	デッキの小口ふさがいに用いる。定尺2.4m	付属のネジで固定する。吊り荷重・980N (100kg)

標準納まり



開口部補強案



施 工	施工順序	敷 込 み	デッキと梁(母屋)との接合		ドリルねじ	検 査												
	墨出し ↓ 敷込み仮止め溶接 ↓ デッキと梁(母屋)との接合 1) 焼抜き栓溶接 2) 打込み鋸 3) ドリルねじ ↓ デッキ相互の接合 1) ドリルねじ 2) くぎ 3) スポット溶接 4) すみ肉溶接 ↓ 検 査	1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) デッキプレートの清部が各梁(母屋)上に乗るように敷込む。(50mm以上) 3) デッキプレートの長さ方向の梁(母屋)上のかり幅は、50mm以上に敷込む。	焼抜き栓溶接 —アーク手溶接— (1) 溶接機: 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上 (2) 溶接棒: JIS Z 3211のE4316、E4916に定める低水素系被覆アーク溶接棒 棒径4mmφのもの (3) 標準溶接条件: 右表 <table border="1"> <tr> <td>梁フランジ板厚</td> <td>溶接電流</td> </tr> <tr> <td>6mm以上</td> <td>190~230A (標準210A)</td> </tr> </table> (4) 溶接工の資格: JIS Z 3801、JIS Z 3841における基本級の有資格者 (5) 手順・要領: 以下の1~4の順に行う。	梁フランジ板厚	溶接電流	6mm以上	190~230A (標準210A)	打込み鋸 (1) 使用工具: 鋸打機 (打込み鋸専用工具) (2) 鋸: ヒルティ鋸 (X-ENP-19 L15: JIS G 3502 ピアノ線相当) (3) 施工指導及び施工: 鋸メーカーが責任施工又は施工指導を行う。 (4) 作業資格: 鋸メーカーの作業資格認定制度に基づき施工技術を修得した作業員が施工する。 (5) 手順・要領: 以下の1~3の順に行う。	(1) 規格: JIS B 1124 (2) 寸法(mm): φ6以上×L20以上 梁(母屋)板厚が厚い場合は、デッキと梁(母屋)に下穴を開けた後に、ドリルねじを取り付ける。 注: 「デッキ相互の接合」に使用するドリルねじとは、ねじの寸法(φ4×L13)が異なる。	【焼抜き栓溶接】 □事前検査 適正な溶接を行うため1)または2)の方法で電流値をチェックする。 1) 検流計での計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認 —— 未使用の規定の溶接棒を用いてアーク長さを約3mmに保持し、10mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが45~53mmであること。 □溶接後の外観検査 1) 溶接箇所の確認 2) 焼き切れ、余盛り不足の有無 3) 標準余盛り径: 18mm以上 □不良部の補修 スラッグ除去後、梁にデッキを密着させて再溶接する。不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。	【打込み鋸】 □事前検査 梁(母屋)板厚に合った空砲と威力をセットする。空砲の種類及び選定についてはメーカーに確認する。 □接合後の外観検査 1) 検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。 <table border="1"> <tr> <td>ヒルティ鋸</td> <td>φD</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>ℓ</td> <td>8.2~9.8</td> </tr> </table> 2) 検査で不合格の場合は増打ちをする。ℓ: 鋸立上がり長さ □不良部の補修 打鋸に失敗した鋸の頭部がじゃまして、増し打ちができない場合は、グラインダーにてその鋸の頭部とワッシャーを取り除き、その隣でデッキスパン方向10mm以内に増し打ちする。	ヒルティ鋸	φD	D	15	d	4.5	ℓ
梁フランジ板厚	溶接電流																	
6mm以上	190~230A (標準210A)																	
ヒルティ鋸	φD																	
D	15																	
d	4.5																	
ℓ	8.2~9.8																	
			溶接時間の目安: 電流値210A (標準)の場合8秒程度	注1. 閑静な場所では発射音の対策に注意。 2. 詳細は鋸メーカーの施工要領にしたがって施工並びに検査を行う。	【その他】 (1) デッキ相互の嵌合状況 (2) 開口部の補強状況													

青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地区内	A1版 NS	
S-07	Q L ルーフ施工標準	A3版 NS	
目標		m/m	
令和2年11月12日			係 員

・本仕様書は別紙「NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編】」と合わせて使用すること。
 ・本仕様書に記載の無い事項は、「NDコアカタログ」の他、日本建築学会「建築工事標準書・同解説 JASS6鉄骨工事」(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」および関連規基準に従うこと。

1. NDコア仕様

部材記号		長さ(mm)	設計記号※1	数量(個)	斜め切断(勾配)
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350 □ND400		638	ND300-638	3	□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350 □ND400		1114	ND300-1114	1	□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350 □ND400		713	ND300-713	2	□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400					□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400					□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400					□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400					□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400					□斜め切断 ()度、寸

※1 設計記号は、部材記号+長さ(mm)で記入する。(例)ND300-600、ND200-550

(1) NDコアの形状寸法および重量

部材記号	外径B ^{※2} (mm)	公差	板厚t(mm)	単位質量(kg/m)	長さ範囲 ^{※3} (mm)	材質	断面形状 ^{※4,5}
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150~	SN490B	ND150~ND200
ND175	177		17.0	85.1			
ND200	202		22.0	124			
ND250	252		24.0	184			
ND300	302		29.0	265		SN490B-ND ^{※6}	ND250~ND400
ND350	352		33.8	360			
ND400	402		38.6	470			SN490B-ND ^{※6}

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするかもしくは梁ウェブを切り欠くなど適切に処置すること
 ※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136 (建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが、当該JISに示される

SN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

※7 NDコアの表面に錆が発生していることがあります。梁との溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

(2) 適用する柱およびはり材

a) 適用する柱材の材質および規格

- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
- ・一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400

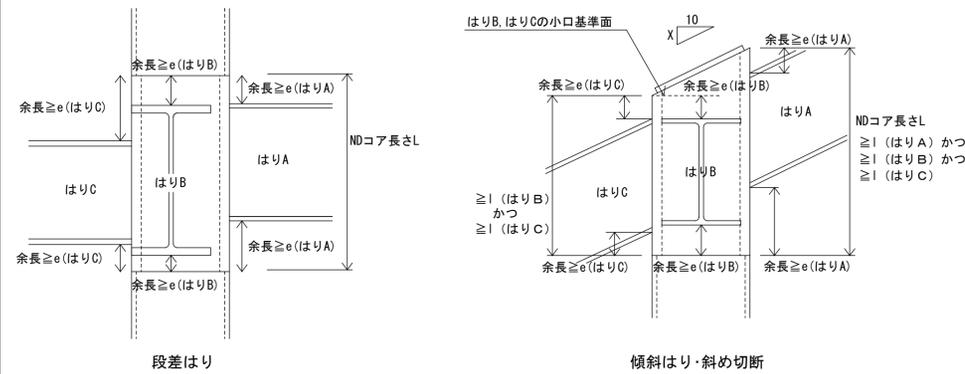
b) 適用するはり材の材質および規格: 下記規格のH形鋼

- ・建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400B, C
- ・一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400
- ・溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400A, B

2. NDコア仕様の決め方

(1) NDコア長さLの設定方法と注意点

- NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さl以上となるようにする。
 最小余長e、最小長さlは柱はりの組合せで決まっている寸法であり「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
- はりに傾斜がある場合には、はり取り付け部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
- 柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さlを確保する。
 小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。
- 柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配)以下とする。(斜め切断は一方向のみとし、部分切断は不可)



(2) 柱頭部仕様

- 柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
- 柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。
 (斜め切断は一方向のみとし、部分切断は不可)
- 柱頭部を斜め切断した場合は、はりの傾斜は切断角度以下とする。
- どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

補強プレート仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り	
	寸法(mm)	板厚(mm)	寸法(mm)	板厚(mm)
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12
ND400	360×360	≥16	360×PL	≥16

材質: SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

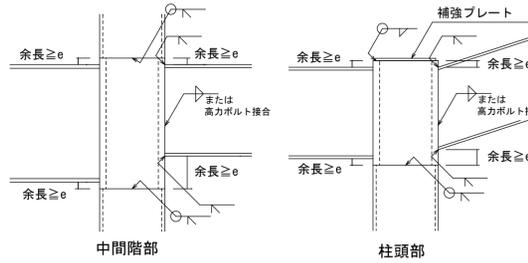
【NDコア長さLの採り方例】

段違い形式はり	柱頭部	傾斜はり	斜め切断

3. 鉄骨躯体の設計方法

- NDコアは柱・はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらかじめ接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
- NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイヤフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
- NDコアを用いた柱およびはりの鉄骨フレームについては、下記の規基準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。
 ・平成20年5月23日施行改正建築基準法
 ・平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号
 ・(一財)日本建築センター「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」
 ・同「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」

ルート1-1	通しダイヤフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイヤフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。 ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱・はり耐力比から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。 崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。



補強プレート取り付け仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り		隅肉溶接仕様 溶接サイズ(mm)
	寸法(mm)	板厚※(mm)	寸法(mm)	板厚※(mm)	
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12	≥12
ND400	360×360	≥16	360×PL	≥16	≥16

材質: SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

※ 角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

5. NDコア納まり例

(1) はり取り付け位置				(6) デッキプレート納まり			
隅柱・側柱	中柱	中柱(柱径=はり幅)	はり芯が斜めの場合	・通しダイヤフラムが無い場合、デッキ受けを取付けて対応する。 ・受け材の板厚は6mm以上とする。 ・デッキプレートの乗せ代は、デッキの規基準等に従う。			
(2) 一般部	(3) 段違い形式はり	(4) スロープ	(7) NDコアと屋根用かさ上げ材の納まり				
一般部	はり下端の段差	バルコニー部の段差	スロープ部	かさ上げ材切欠き	余長を大きく取る	補強プレートを厚くする場合	
(5) 柱頭部				(8) 補強プレートどぶ付けめっき用開口			
陸屋根	棟部	桁部	桁部(斜め切断)	※ 柱頭部の斜め切断の勾配は45°以下とすること ※ 開口位置・大きさについては、どぶ付けめっきメーカーと相談して決めることが望ましい。 ※ 開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。			

4. NDコア鉄骨製作要領

(1) 鉄骨製作方法

- NDコアと柱およびはりの接合は鉄骨製作者が行い、施工管理は鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
- 記載なき事項については、(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」による。

(2) 接合方法

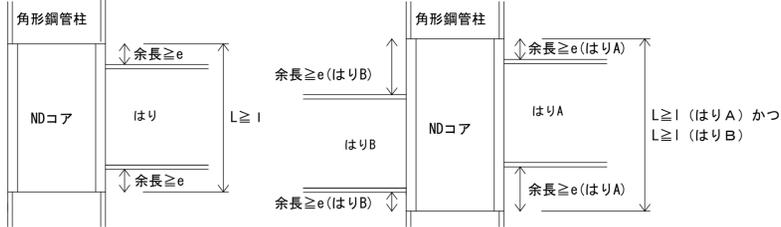
- NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
- NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
- NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
- NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上げる等適切に処置する。

(3) 柱頭部補強プレート取り付け方法

- 柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
- 全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
- 柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレートを準備する。

1. 表の見方

- 使用する柱(縦軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さ*l*と余長の必要最小寸法^{※1}*e*を確認する
- ※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。
- ・柱材: BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
- ・はり材: 400N級(SS400、SM400、SN400B-C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
- ・NDコア長さ*l*: NDコアの長さ
- ・最小長さ*l*: 柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
- ・余長*e*: NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
- ・最小余長*e*: 確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

部材記号	外径B ^{※2} (mm)	公差	板厚t (mm)	単位質量 (kg/m)	長さ範囲 ^{※3} (mm)	公差	材質	断面形状 ^{※4※5}
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150~	+3.0 -0	SN490B	
ND175	177		17.0	85.1				
ND200	202		22.0	124				
ND250	252		24.0	184				
ND300	302	+3.0 -0	29.0	265	150~	+3.0 -0	SN490B-ND ^{※6}	ND150~ND200
ND350	352		33.8	360				
ND400	402		38.6	470				
ND400	402		38.6	470				

- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
- ※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
- ※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくは梁ウェブを切り欠くなど適切に処置すること。
- ※5 NDコアの角部に突起が生じて梁と干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
- ※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

- ・組合せ表の最小長さ*l*、最小余長*e*は、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
- ・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
- ・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。梁との溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

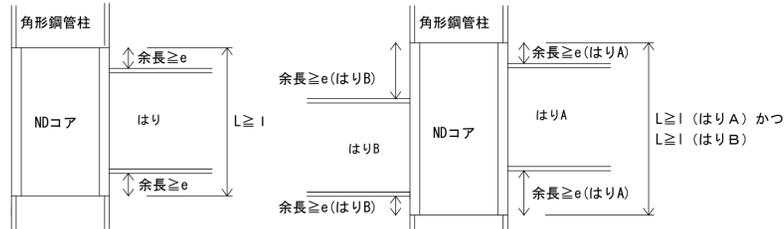
4-2. ND250~ND350

柱	NDコア 径(材質) 板厚	ND250												ND300					ND350											
		□250 (BCR295)				□250 (STKR400)				□300 (BCR295)				□300 (STKR400)					□350 (BCR295)				□350 (STKR400)							
		6	9	12	16	19	6	9	12	16	6	9	12	16	19	6	9	12	16	19	9	12	16	19	22	9	12	16	19	22
はり細幅系列	H-100×50×5×7	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	H-100×50
	H-125×60×6×8	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	H-125×60
	H-150×75×5×7	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	H-150×75
	H-175×90×5×8	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	H-175×90
	H-198×99×4.5×7	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	H-198×99
	H-200×100×5.5×8	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	H-200×100
	H-248×124×5×8	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	H-248×124
	H-250×125×6×9	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	H-250×125
	H-298×149×5.5×8	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	H-298×149
	H-300×150×6.5×9	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	H-300×150
	H-346×174×6×9	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	H-346×174
	H-350×175×7×11	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	H-350×175
	H-396×199×7×11	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	H-396×199
	H-400×200×8×13	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	H-400×200
	H-446×199×8×12	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	H-446×199
H-450×200×9×14	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	H-450×200	
H-496×199×9×14	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	H-496×199	
H-500×200×10×16	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	H-500×200	
H-596×199×10×15	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	H-596×199	
H-600×200×11×17	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	H-600×200	
H-606×201×12×10	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	H-606×201	

1. 表の見方

使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法eを確認する。記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

- 柱材: BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
はり材: 400N級(SS400, SM400, SN400B-C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
NDコア長さL: NDコアの長さ
最小長さl: 柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
余長e: NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
最小余長e: 確保する余長の最小値



4. NDコア最小長さlと余長e
4-1. ND150~ND200

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。
※表中のNG範囲は適用不可。斜線部分は個別に検討が必要なので問い合わせ下さい。

Table with columns for ND Core (ND150, ND175, ND200) and rows for beam types (はり中幅系列, はり広幅系列). It lists various beam sizes and their corresponding minimum lengths (l) and overlap lengths (e) for different ND core materials (BCR295, STKR400).

2. NDコアの形状および寸法

Table detailing ND core specifications: 外径B (mm), 公差, 板厚t (mm), 単位質量 (kg/m), 長さ範囲 (mm), 材質 (SN490B, SN490B-ND, SN490B-ND), 断面形状 (ND150~ND200, ND250~ND400).

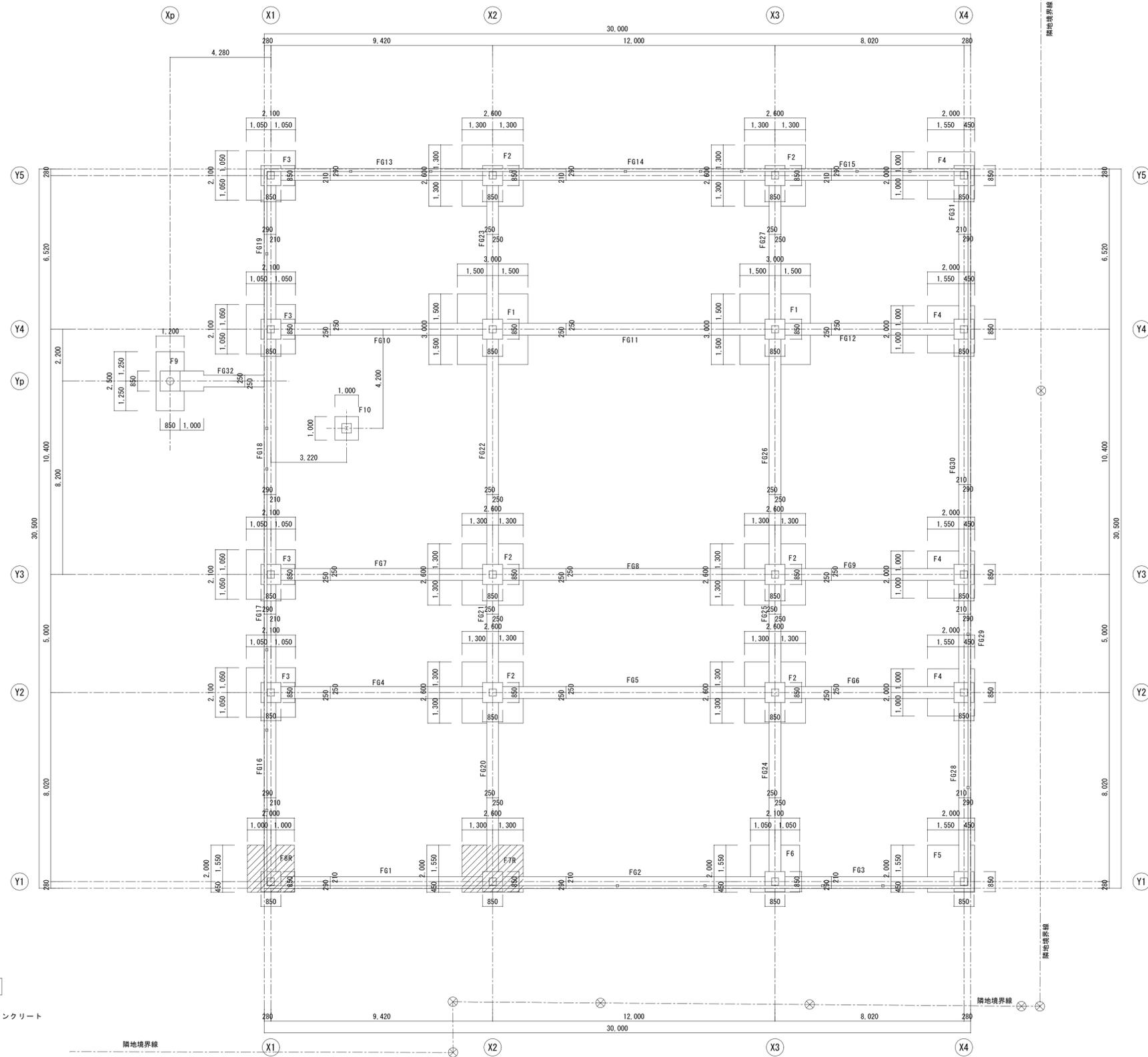
- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくは梁ウェブを切り欠くなど適切に処置すること。
※5 NDコアの角部に突起が生じて梁と干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質、10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

- 組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
NDコアの表面に錆が発生していることがあります。梁との溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4-2. ND250~ND350

Table with columns for ND Core (ND250, ND300, ND350) and rows for beam types (はり中幅系列, はり広幅系列). It lists various beam sizes and their corresponding minimum lengths (l) and overlap lengths (e) for different ND core materials (BCR295, STKR400).



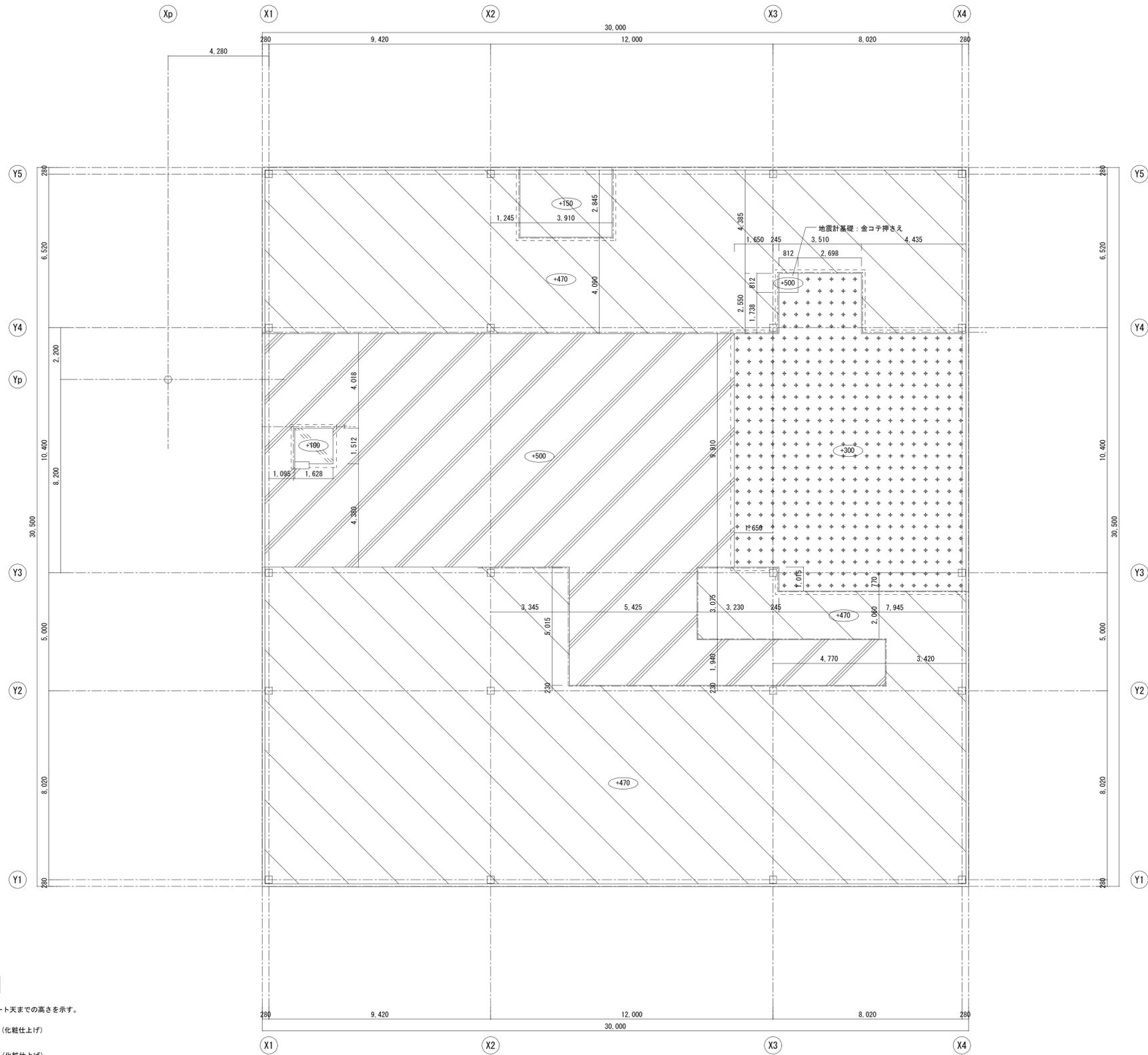
基礎伏図 S=1/100



※基礎記号のRはラップルコンクリート

使用材料	
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
基礎コンクリート	Fe=24N/mm ² S=18
土間コンクリート	Fe=21N/mm ² S=18
巾木コンクリート	Fe=21N/mm ² S=18
デッキ上コンクリート	Fe=21N/mm ² S=18
ラップルコンクリート	Fe=12N/mm ² 以上 S=15
鉄骨	BCR295 (角型鋼管柱) SS400 (梁、H型鋼間柱) SN490C (ダイヤフラム、ベースプレート) SS400 (垂木、胴縁、開口補強材) SS400 (屋根ブレース、壁ブレース)
ボルト	HTB S10T
アンカーボルト	ABR400 (M33) SS400 (M20、M12)

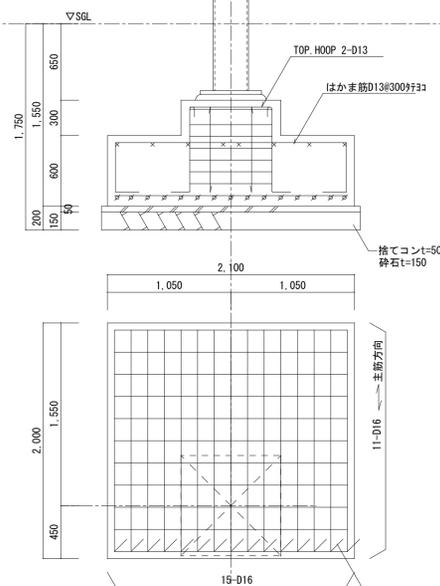
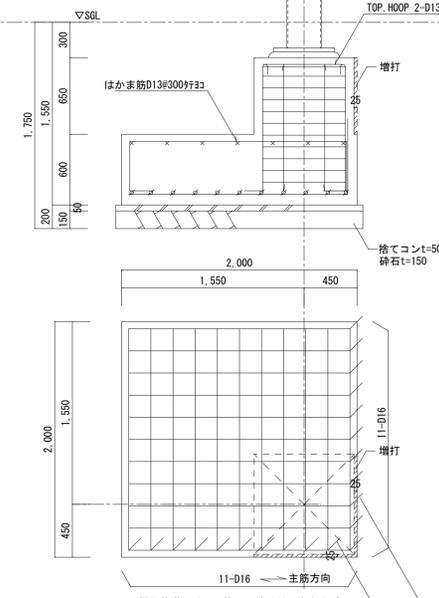
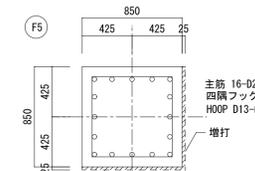
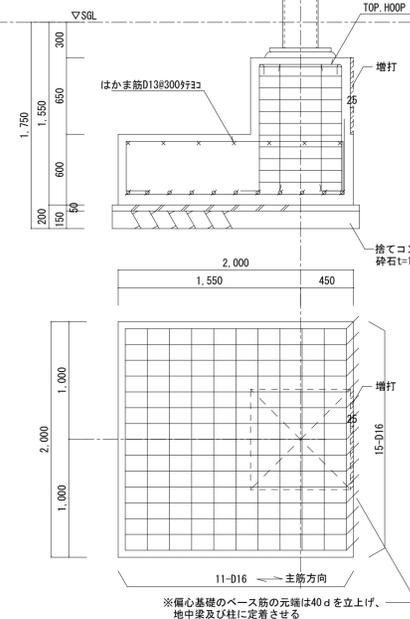
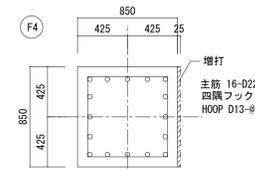
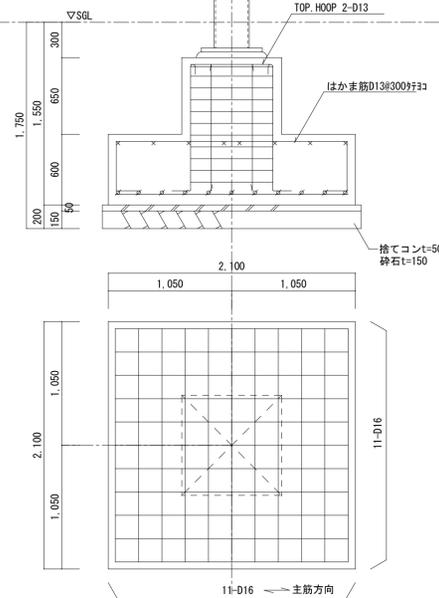
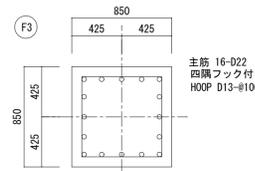
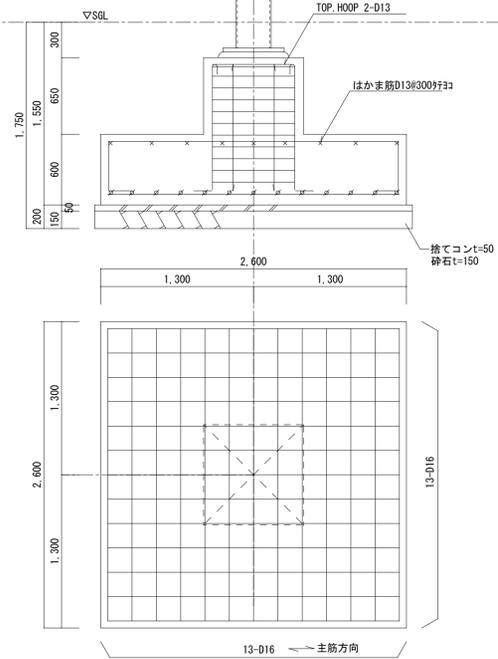
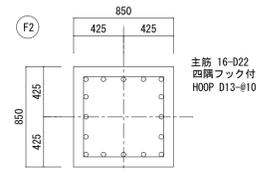
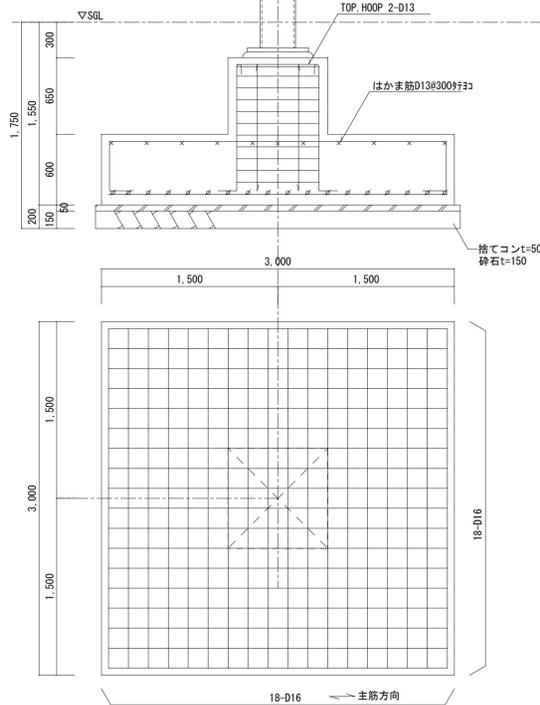
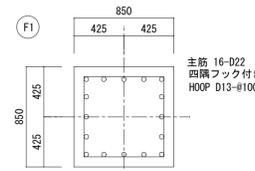
青山複合施設建設工事 (建築主体工事)			
№	伊賀市阿保地内	A1版 1/100	
S-12	基礎伏図	A3版 1/200	
日付			係員
令和2年			
11月12日			



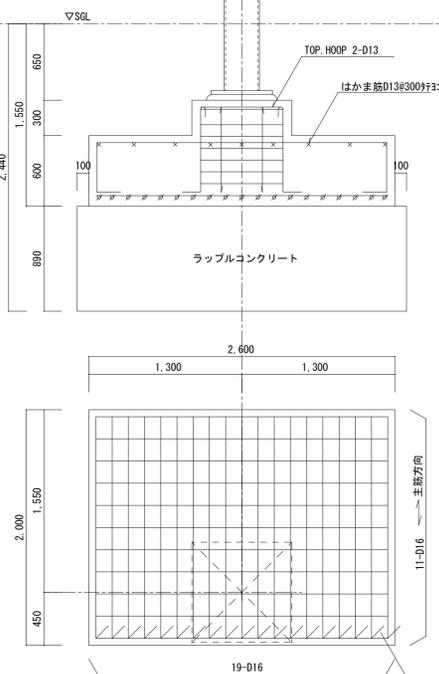
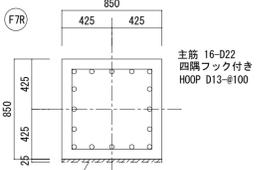
土間伏図 S=1/100

- は、SGL~土間コンクリート天までの高さを示す。
- 土間コンクリートt=180 (化粧仕上げ)
- 土間コンクリートt=180 (化粧仕上げ)
- 土間コンクリートt=150 (モルタル塗り仕上げ)
- 土間コンクリートt=150 (OAフロア、床木ごと)

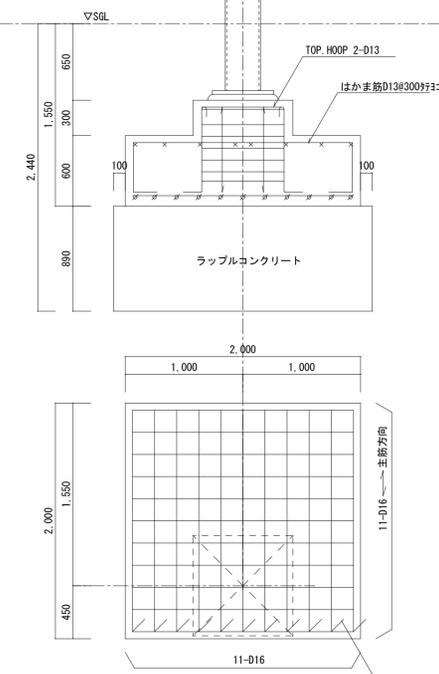
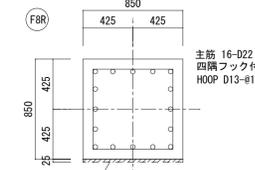
青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地内		A1版 1/100
	土間伏図		A3版 1/200
日付:	設計		係員
令和2年			
11月12日			



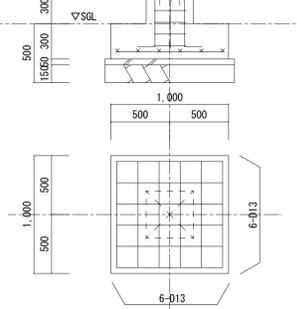
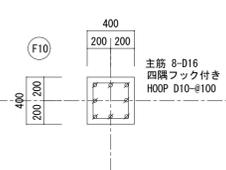
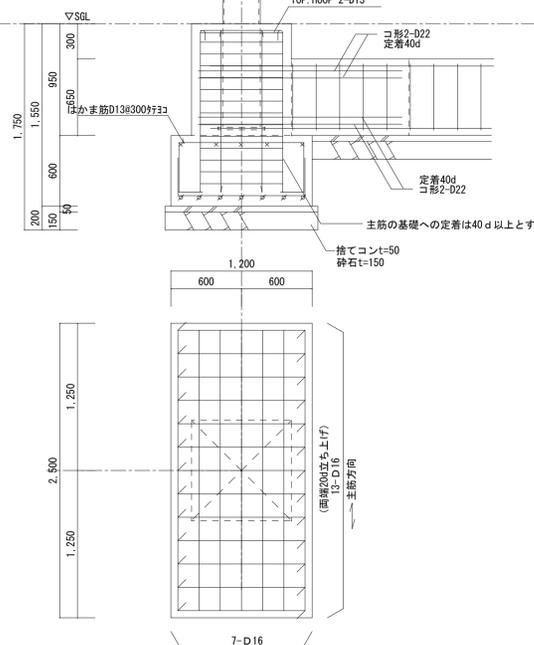
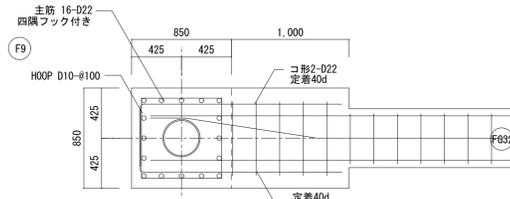
※偏心基礎のベース筋の元端は40dを立上げ、地中梁及び柱に定着させる



※偏心基礎のベース筋の元端は40dを立上げ、地中梁及び柱に定着させる



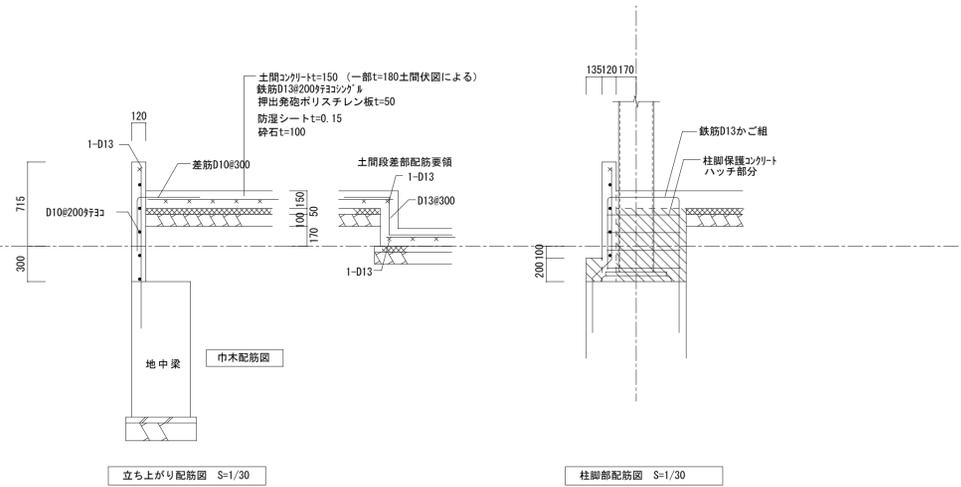
※偏心基礎のベース筋の元端は40dを立上げ、地中梁及び柱に定着させる



地中梁詳細図 S=1/30

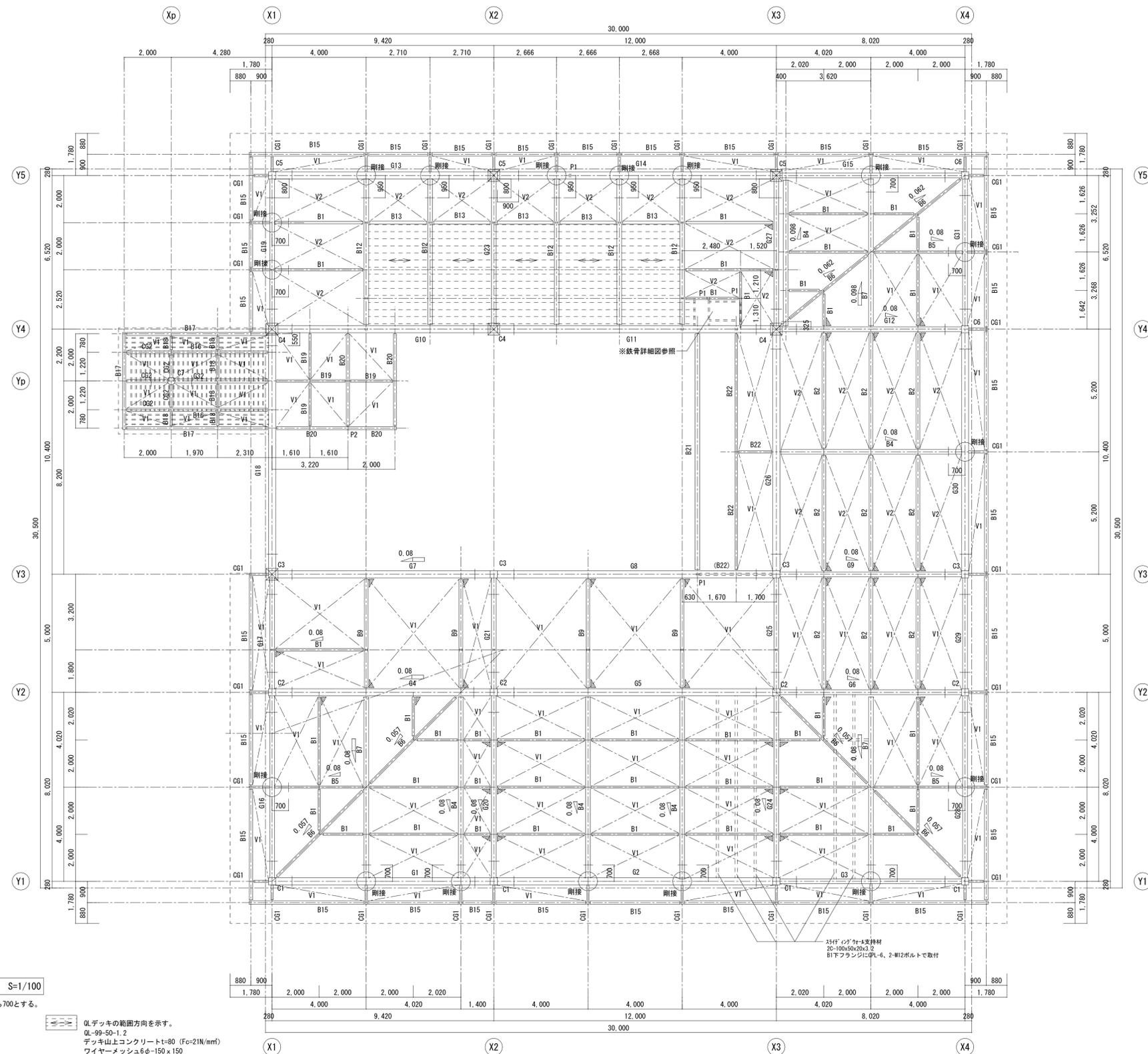
記号	F61, F62, F620	F63	F64, F610	F65, F67, F68	F66, F69, F618, F619, F621, F622, F623, F625, F626, F627, F630, F631	F611	F612, F613, F615	F614	F616	F617, F628, F629	F624	F632
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▽SGL	[Diagram showing ground level and column top levels for various foundation types]											
F.G	[Diagram showing foundation cross-sections with dimensions like 650, 800, 150, 500, 300, 1.150]											
b x D	500 x 800	500 x 800	500 x 1150	500 x 1150	500 x 1150	500 x 1150	500 x 1150	500 x 1150	500 x 800	500 x 1150	500 x 800	500 x 650
上端筋	6/2-D25	5-D25	6-D25	6-D25	4-D25	6-D25	5-D25	5-D25	4-D25	3-D25	6-D25	3-D25
下端筋	4-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
スタラップ	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200	2-D13-#200
腹筋	2-D10	2-D10	2/2-D10	2/2-D10	2/2-D10	2/2-D10	2/2-D10	2/2-D10	2-D10	2/2-D10	2-D10	2-D10

※巾止め筋は、D10#1000とする。



立ち上がり配筋図 S=1/30

柱脚部配筋図 S=1/30

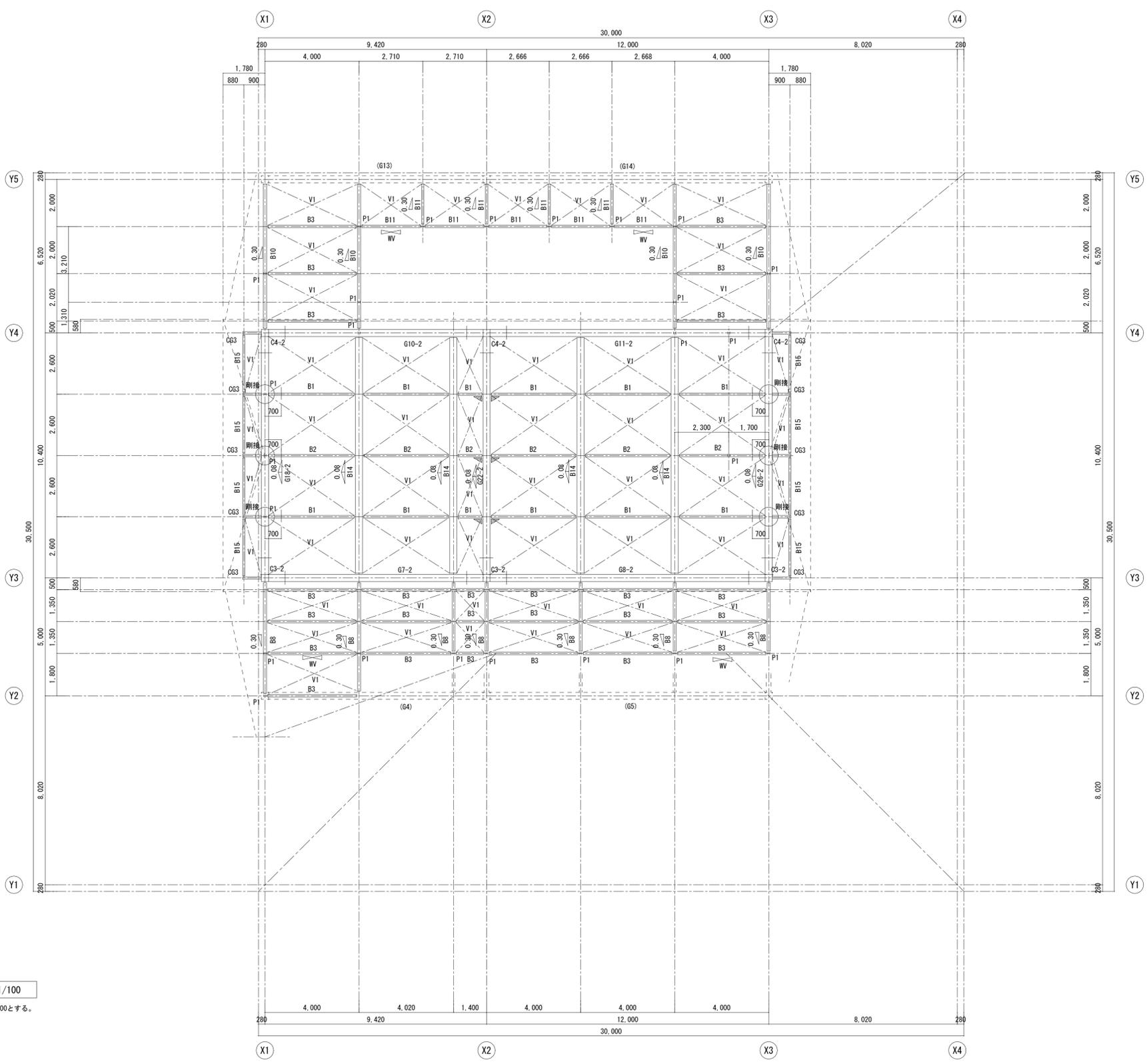


RG1、RG2レベル 梁伏図 S=1/100

梁ジョイントは、特記以外柱面から700とする。

- 0.08 片流れ梁を示す。
- 0.08 山折れ梁を示す。
- 0.08 中間折れ部材を示す。
- ※数値は勾配
- ※特記無き梁は水平。
- 剛接
- 剛接合を示す
- △ 大梁方柱補剛材を示す
- 柱梁接合部NOコアを示す
- 剛接
- 剛接合を示す
- 大梁方柱補剛材を示す
- 柱梁接合部NOコアを示す
- QLデッキの範囲方向を示す。
QL-99-50-1.2
デッキ山上コンクリートt=80 (Fc=21N/mm)
ワイヤーメッシュφ-150×150
- QLルーフの範囲方向を示す。
QL-99-50-1.2

記号	部材	鋼材種別	備考
C1, C2, C3, C3-2, C4-2, C5	□-300×300×12	BCR295	
C4, C5	□-300×300×16	BCR295	
C7	○-318.5×10.3	STK400	※柱部分のみ溶融亜鉛メッキとする。 天井内部の柱梁種番部、梁? ?は、メッキしない。
P1	H-100×100×6×8	SS400	
P2	H-125×125×6.5×9	SS400	
G1, G2, G4, G5, G7, G7-2, G8, G8-2, G10, G10-2, G11-2, G13, G18, G18-2, G22-2, G26, G26-2, G30	H-440×300×11×18	SS400	
G3, G6, G9, G12, G15, G16, G17, G19, G20, G21, G23, G24, G25, G27, G28, G29, G31	H-450×200×9×14	SS400	
G11, G14	H-588×300×12×20	SS400	
G32	H-244×175×7×11	SS400	X1通り側: HTB2-M20, GPL-9
B1	H-200×100×5.5×8	SS400	大梁側方柱L-65×65×6、HTB2-M16、GPL-9、 小梁側HTB2-M16、GPL-9
B2, B9	H-194×150×6×9	SS400	大梁側方柱L-65×65×6、HTB2-M16、GPL-9、 小梁側HTB2-M16、GPL-9
B15	H-150×150×7×10	SS400	HTB2-M16, GPL-9
B4, B7, B12	H-400×200×8×13	SS400	HTB5-M20, GPL-9
B3, B5, B6, B8, B10, B13, B19, B24	H-200×100×5.5×8	SS400	HTB2-M16, GPL-9
B11, B22	H-148×100×6×9	SS400	HTB2-M16, GPL-9
B14	H-440×300×11×18	SS400	HTB5-M20, GPL-12
B16, B17, B20	H-250×125×6×9	SS400	HTB2-M20, GPL-9
B18	H-100×100×6×8	SS400	HTB2-M16, GPL-9
B21	H-500×200×10×16	SS400	HTB5-M20, GPL-12
WB1	□-100×100×6	STKR400	HTB2-M16, GPL-6
WB2	H-150×150×7×10	SS400	HTB2-M16, GPL-9、弱軸使い
CG1	H-148×100×6×9	SS400	
CG2	H-250×125×6×9	SS400	
CG3	H-148×100×6×9	SS400	
垂木	C-100×50×20×2.3	SSC400	#606 野地板ジョイント部は2C
水平ブレース V1	M18	SS400	フルブレース同等、ターンバックル付き
水平ブレース V2	M22	SS400	フルブレース同等、ターンバックル付き
壁ブレース WV	M18	SS400	フルブレース同等、ターンバックル付き



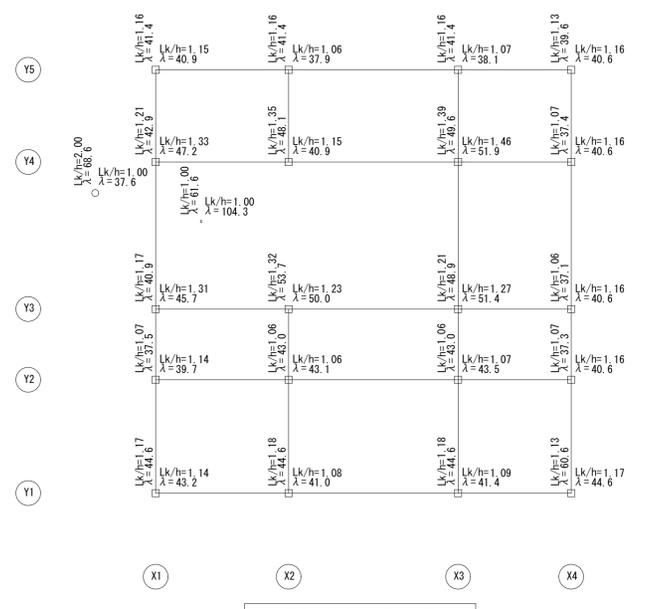
※伏図は見上げである。
RG3レベル 梁伏図 S=1/100

梁ジョイントは、特記以外柱面から700とする。

- 0.08 片流れ梁を示す。
- 0.08 山折れ梁を示す。
- 0.08 中間折れ梁を示す。
- ※数値は勾配
- ※特記無き梁は水平。

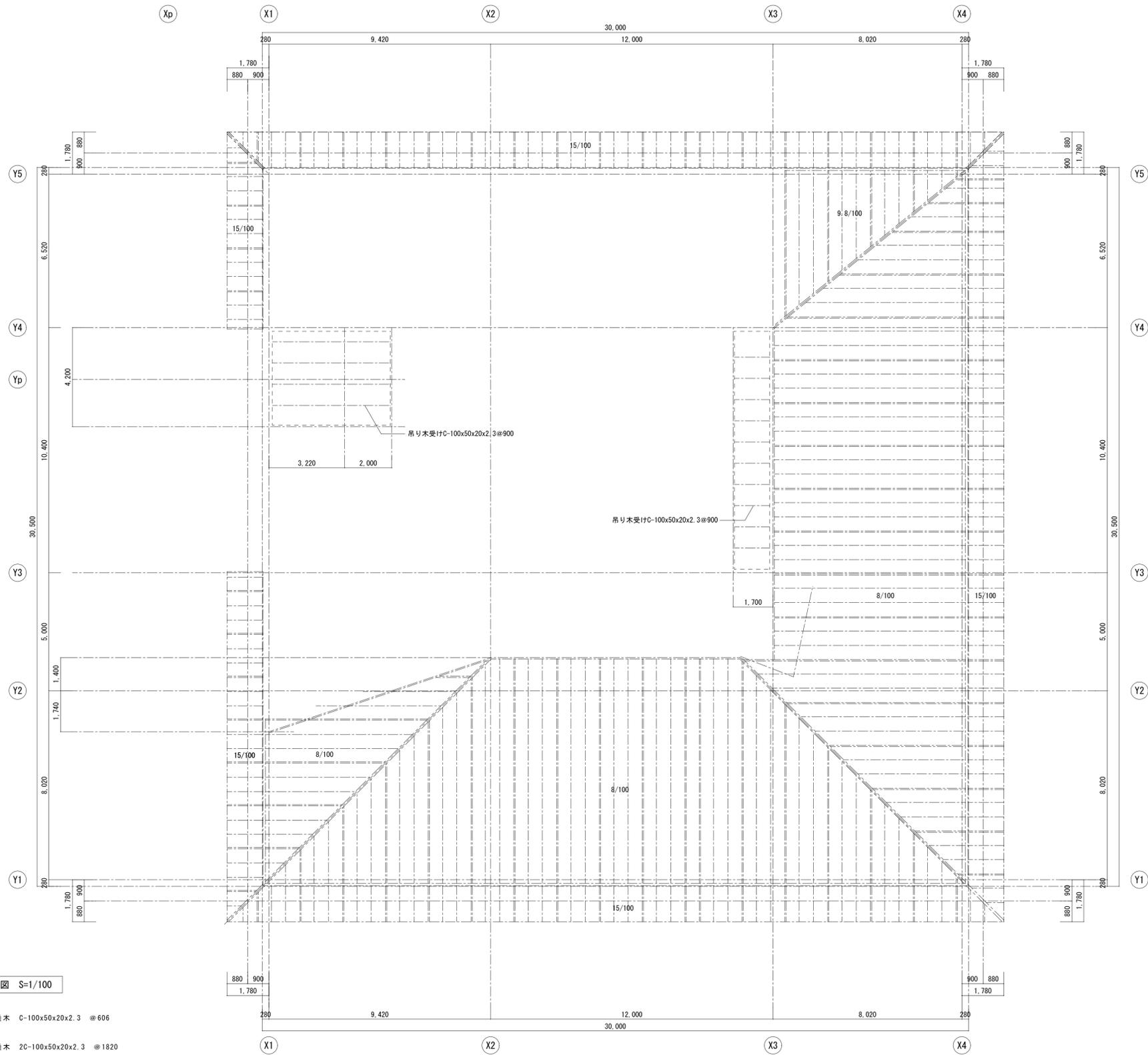
- 剛接 剛接合を示す
- 大梁方柱横補剛材を示す

- 壁面ブレース



座屈長さ係数、細長比の図

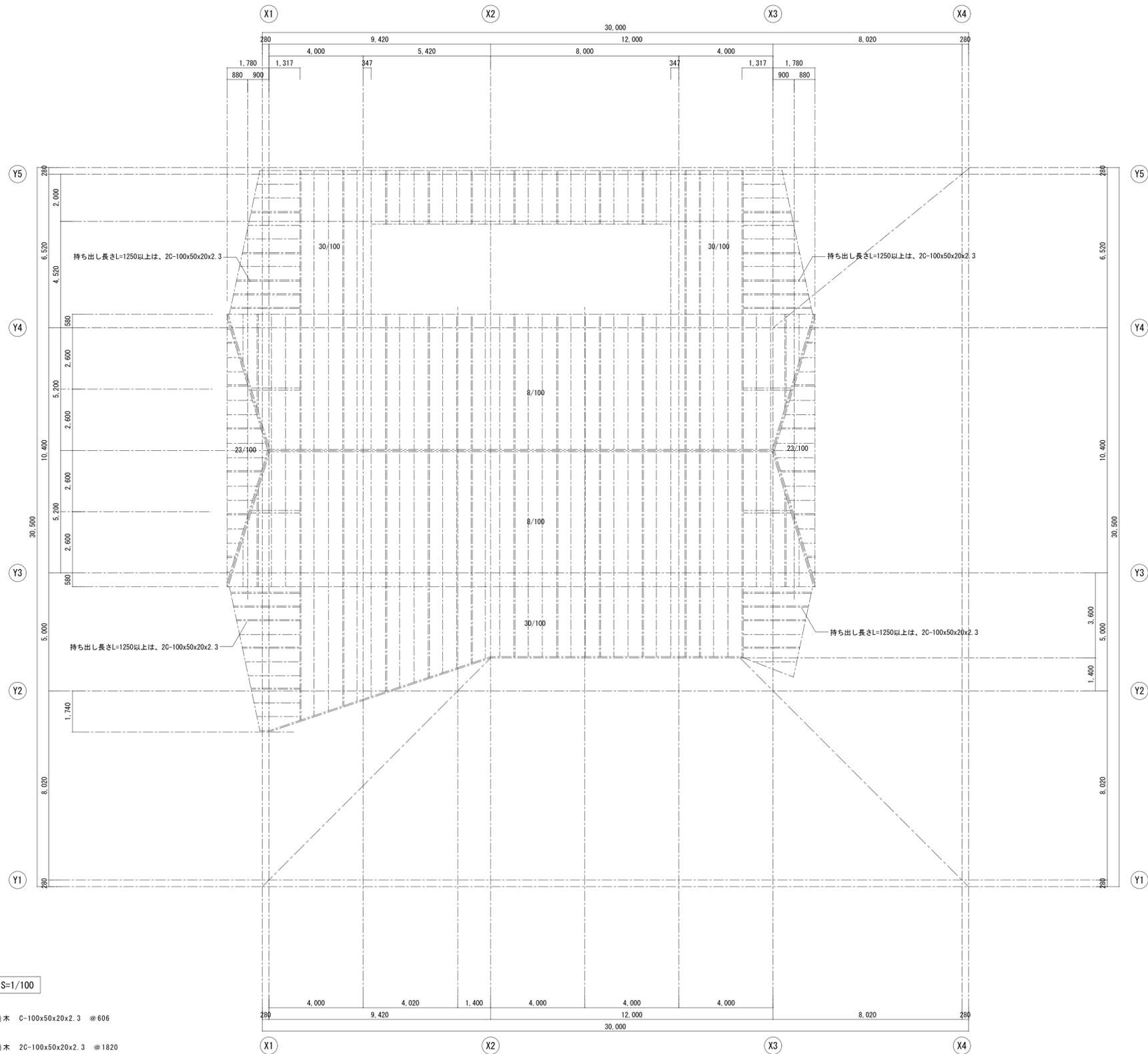
青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
№	伊賀市阿保地区内	A1版1/100	
S-17	RG3レベル 梁伏図	A3版1/200	
日付	設計	検査	係員
令和2年 11月12日			



※伏図は見下げである。
RG1, RG2レベル 垂木伏図 S=1/100

- 垂木 C-100x50x20x2.3 @ 606
- 垂木 2C-100x50x20x2.3 @ 1820

青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地内		A1版 1/100
	RG1, RG2レベル 垂木伏図		A3版 1/200
目付	股		係員
令和2年 11月12日	計		



※伏図は見下げである。

RG3レベル 垂木伏図 S=1/100

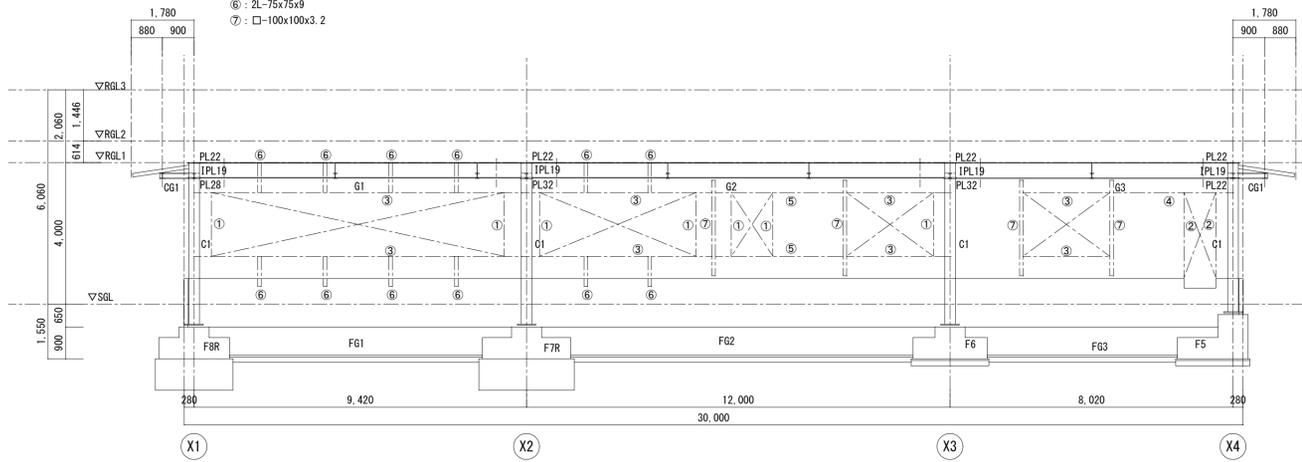
----- 垂木 C-100x50x20x2.3 @ 606

==== 垂木 20-100x50x20x2.3 @ 1820

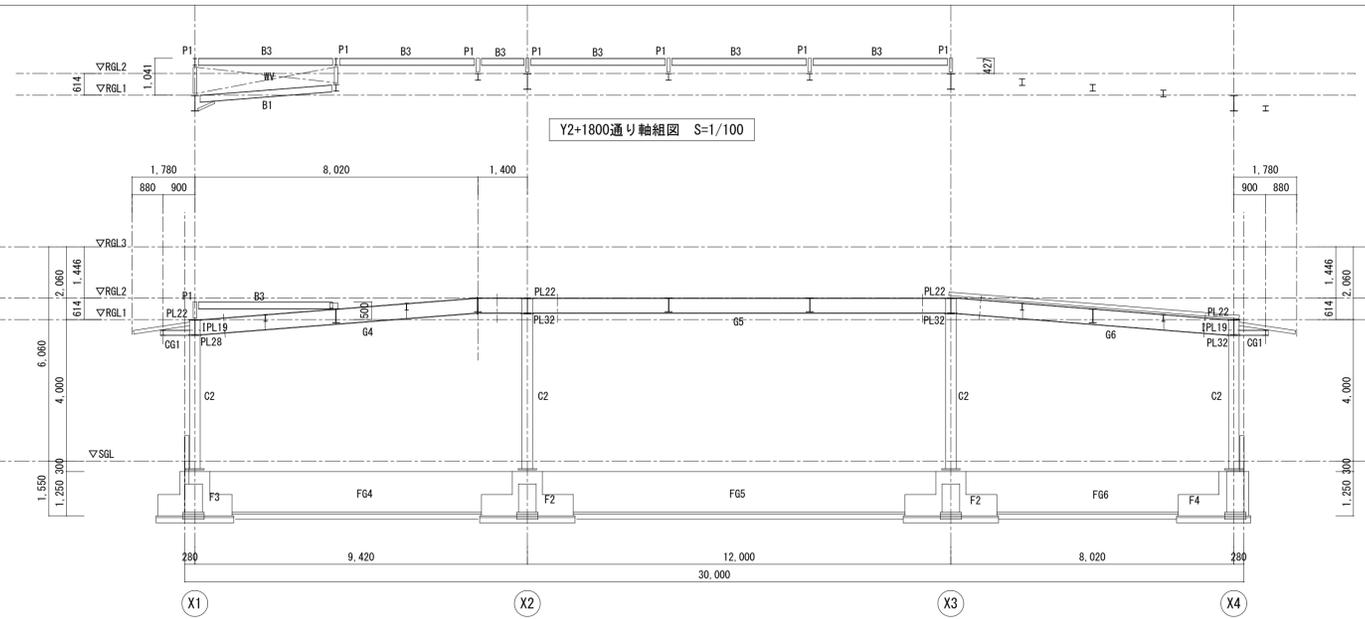
青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
No.	伊賀市阿保地内		A1版 1/100
	RG3レベル 垂木伏図		A3版 1/200
日付	設計		係員
令和2年			
11月12日			

外壁押し出し成形セメント板閉口補強材、壁支持材

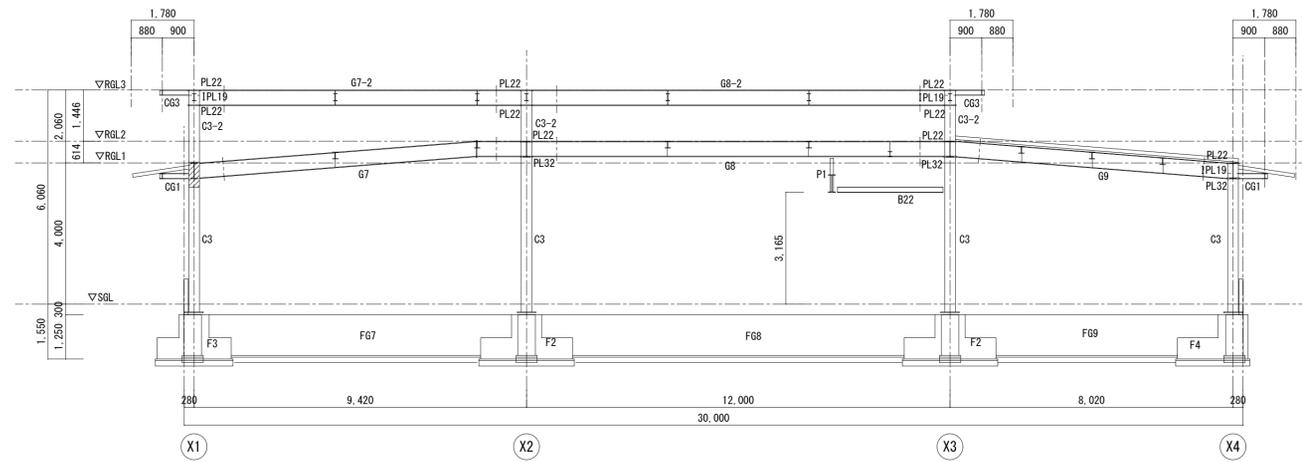
- ① : L-50x50x6
- ② : L-65x65x6
- ③ : L-75x75x6
- ④ : L-75x75x9
- ⑤ : L-90x90x7
- ⑥ : 2L-75x75x9
- ⑦ : □-100x100x3.2



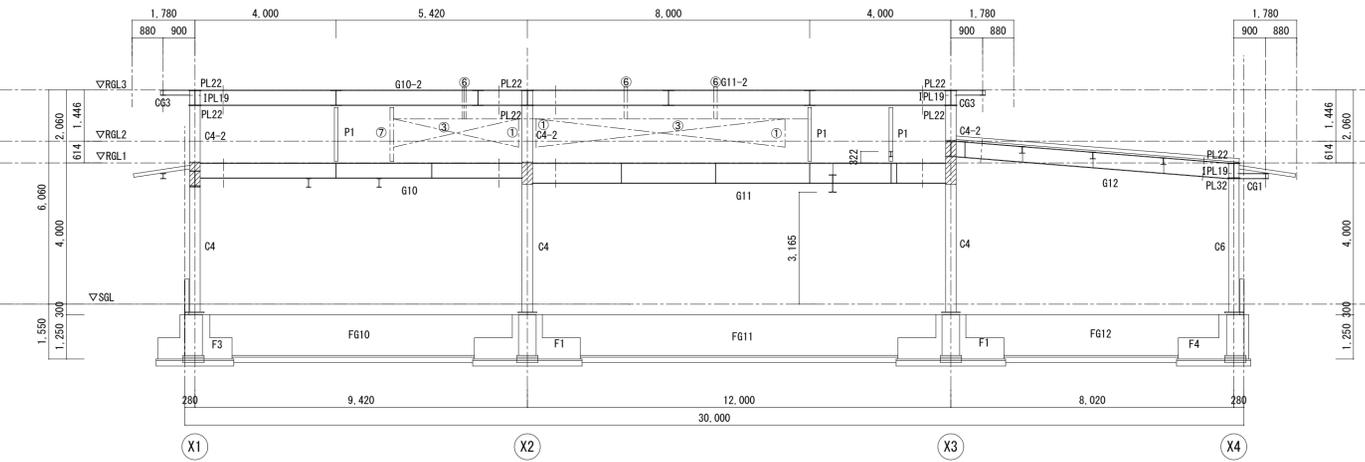
Y1通り軸組図 S=1/100



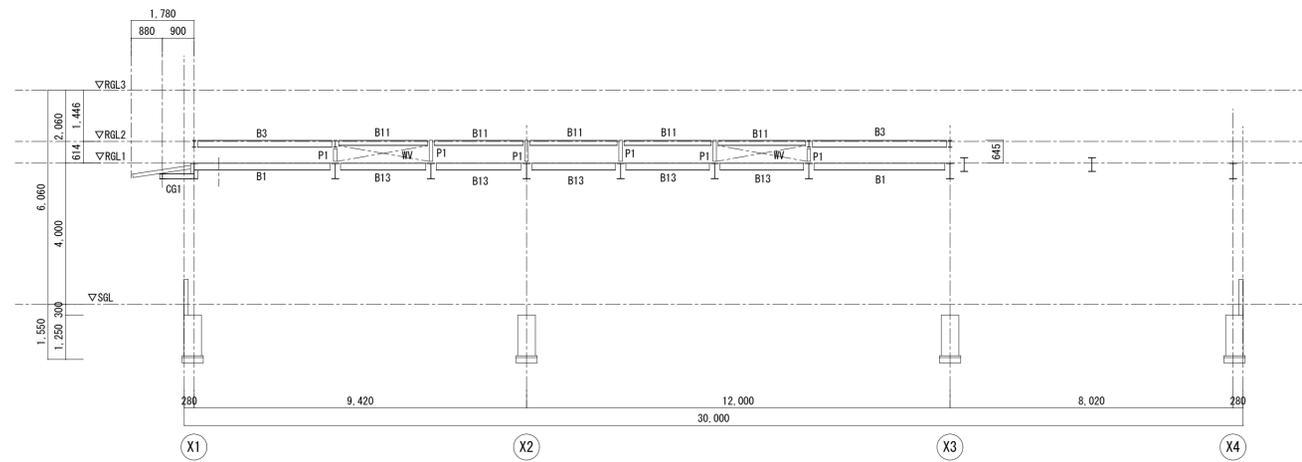
Y2+1800通り軸組図 S=1/100



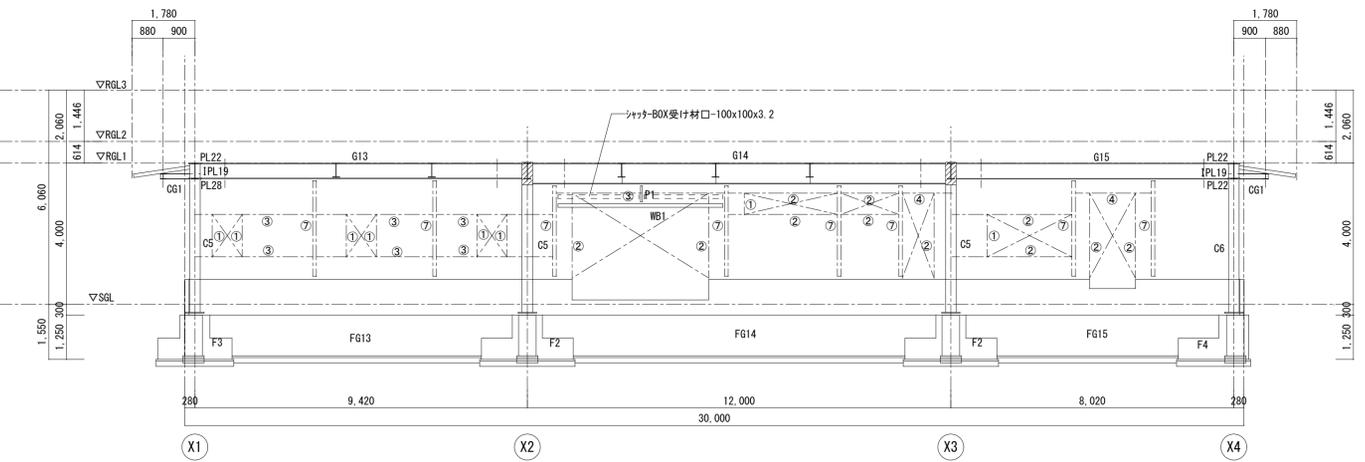
Y3通り軸組図 S=1/100



Y4通り軸組図 S=1/100



Y4+4520通り軸組図 S=1/100



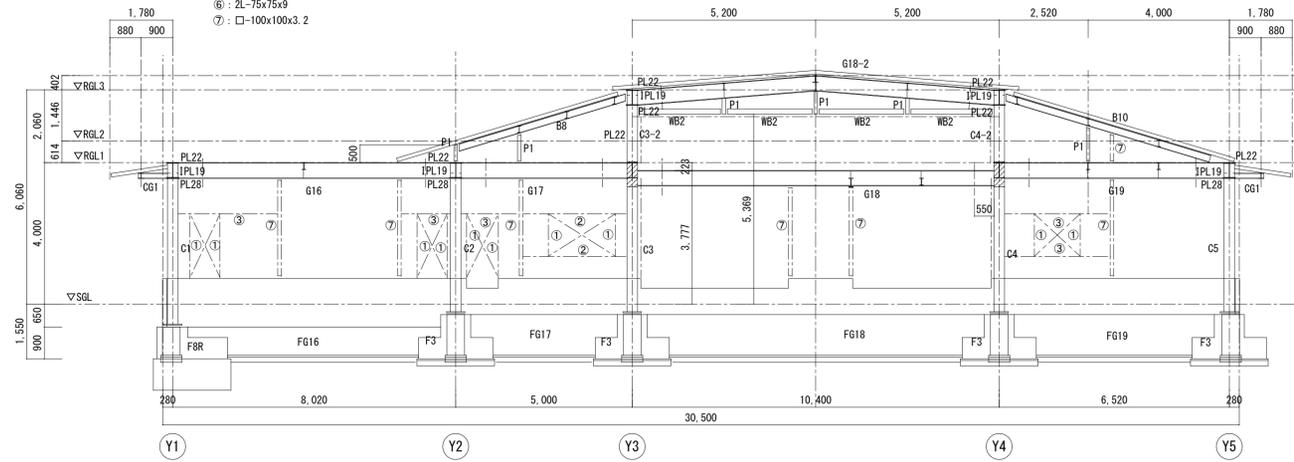
Y5通り軸組図 S=1/100

- ・梁ジョイントは、特記以外柱面から700とする。
- ・柱梁接合部のPL表記は、ダイヤフラム厚である。
- ・IPLは内ダイヤを示す。
- はNDコアを示す。

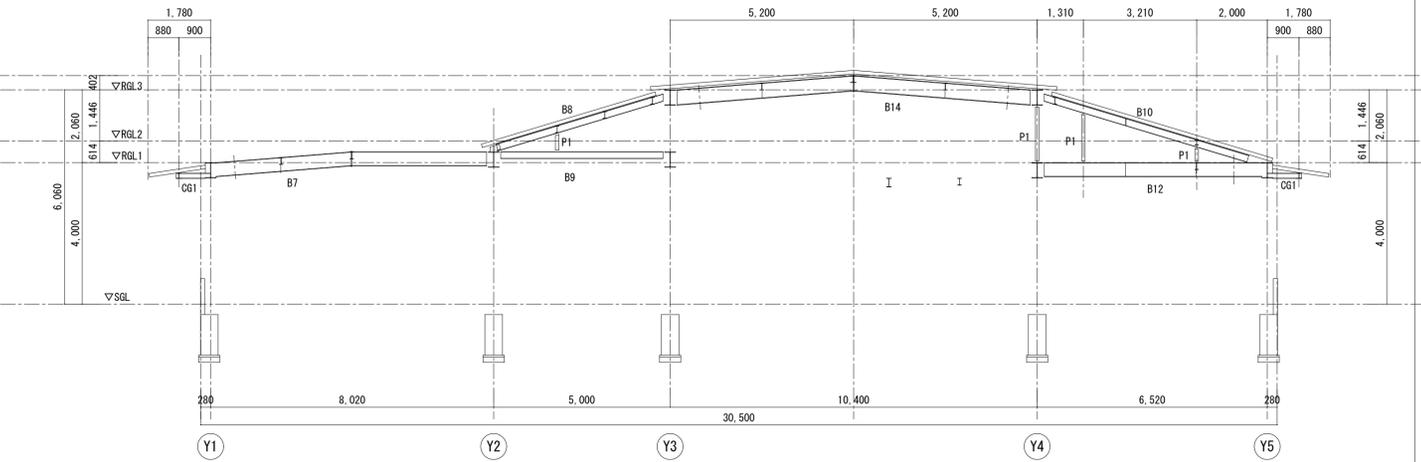
No. S-20		伊賀市阿保地内		A1版1/100
		軸組図 No1		A3版1/200
目的	設計	令和2年	11月12日	係員

外壁押し出し成形セメント板開口補強材、壁支持材

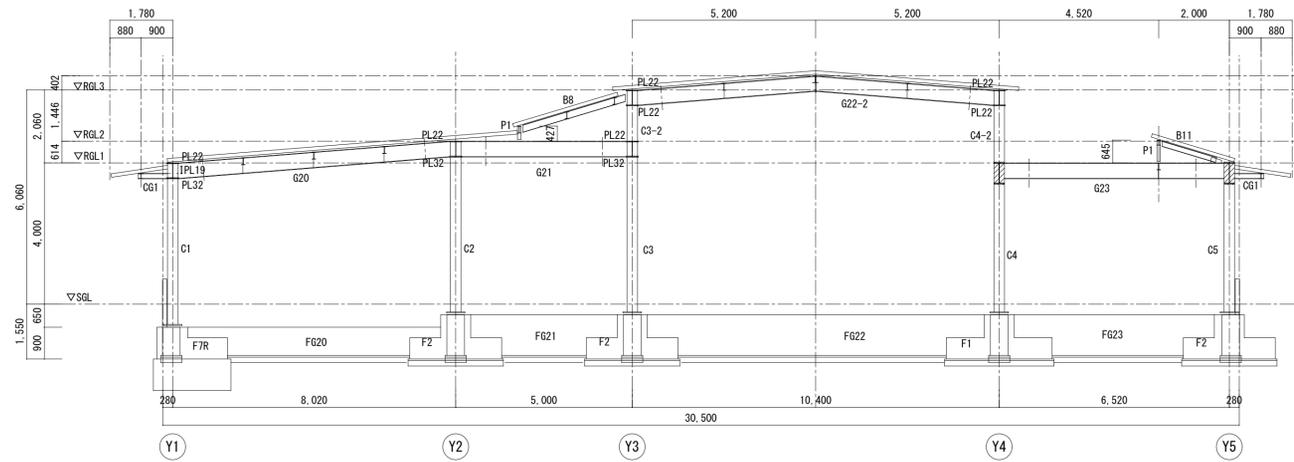
- ① : L-50x50x6
- ② : L-65x65x6
- ③ : L-75x75x6
- ④ : L-75x75x9
- ⑤ : L-90x90x7
- ⑥ : 2L-75x75x9
- ⑦ : □-100x100x3.2



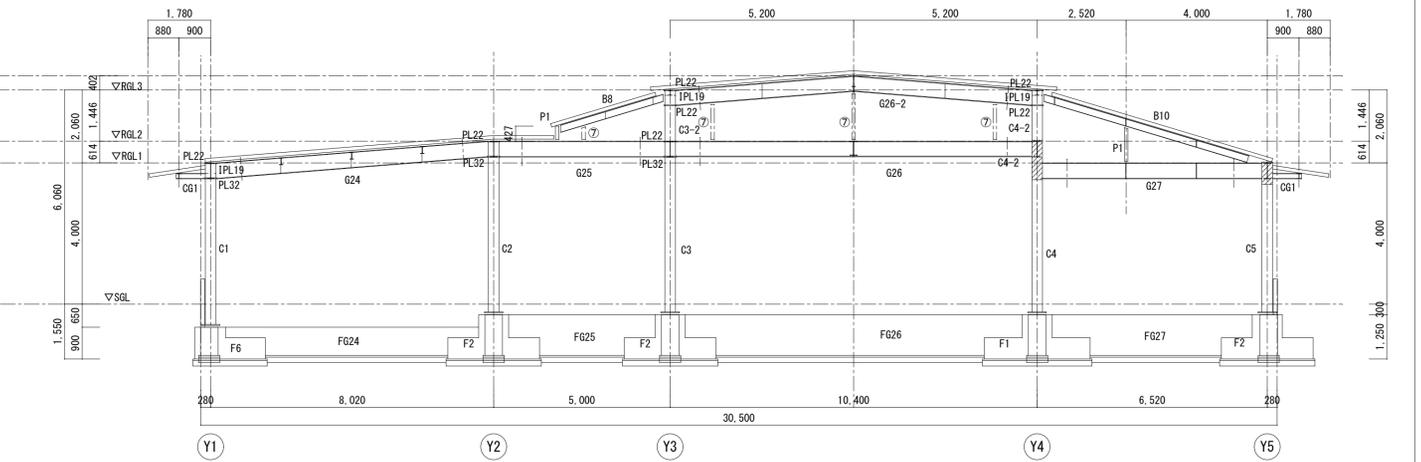
X1通り軸組図 S=1/100



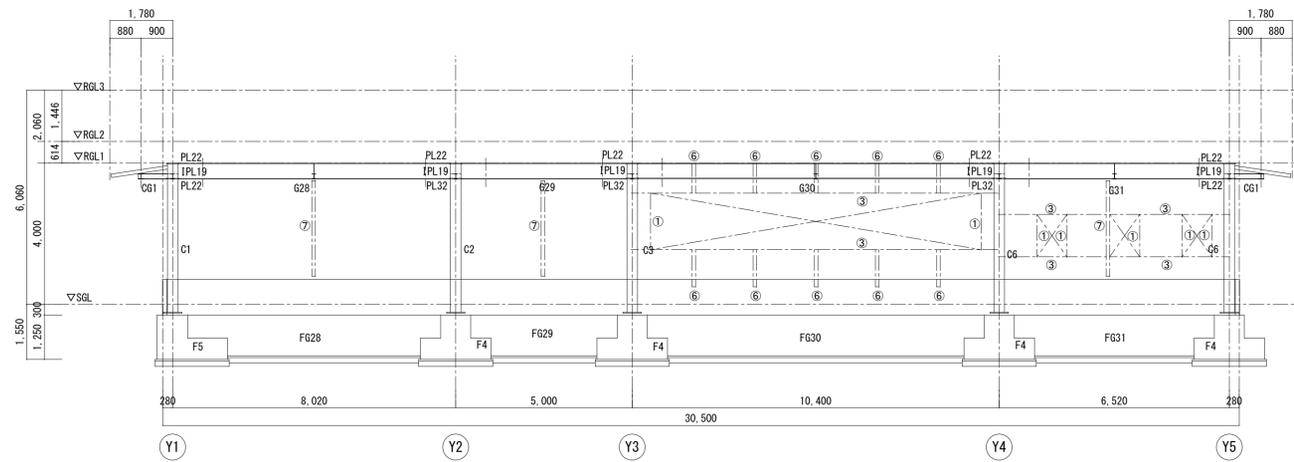
X1+4000通り軸組図 S=1/100



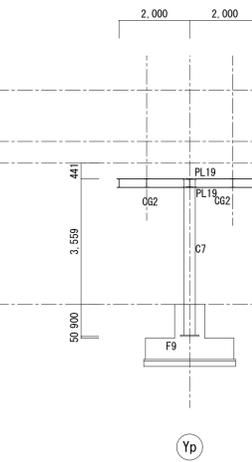
X2通り軸組図 S=1/100



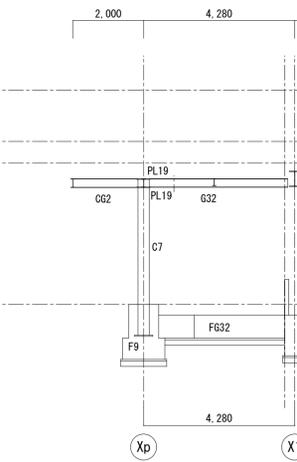
X3通り軸組図 S=1/100



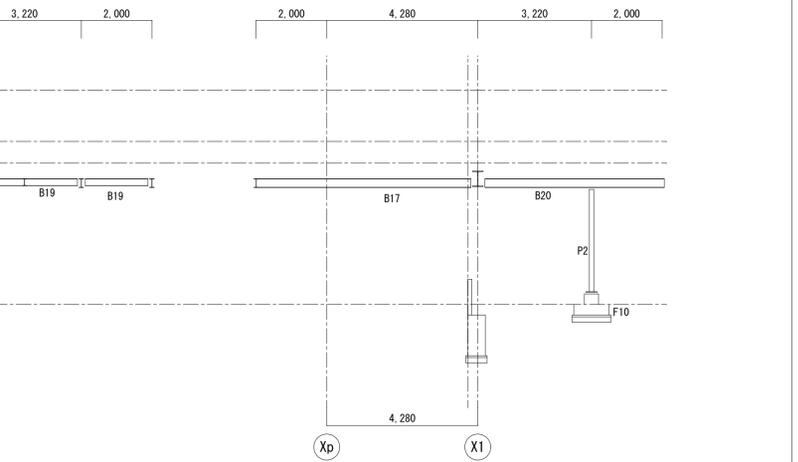
X4通り軸組図 S=1/100



Xp通り軸組図 S=1/100



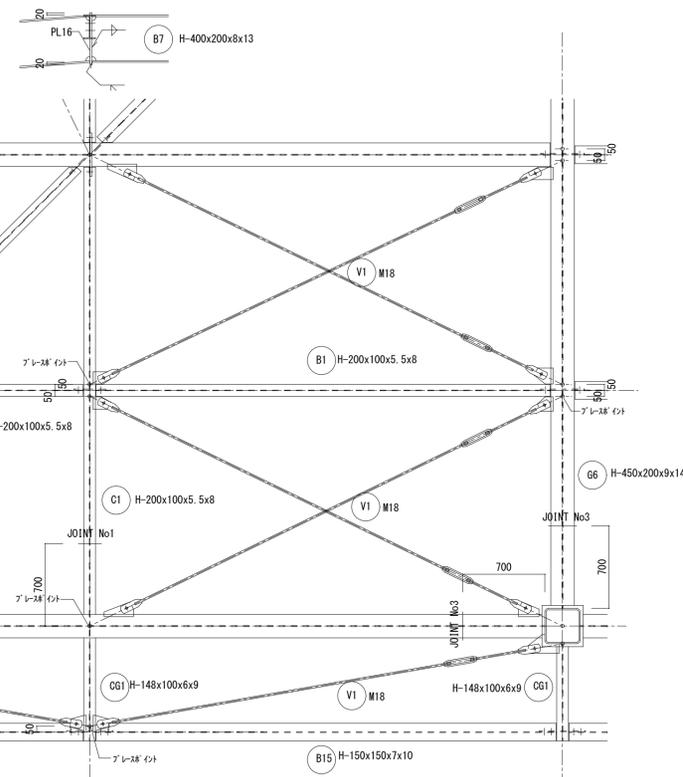
Yp通り軸組図 S=1/100



Yp-2000通り軸組図 S=1/100

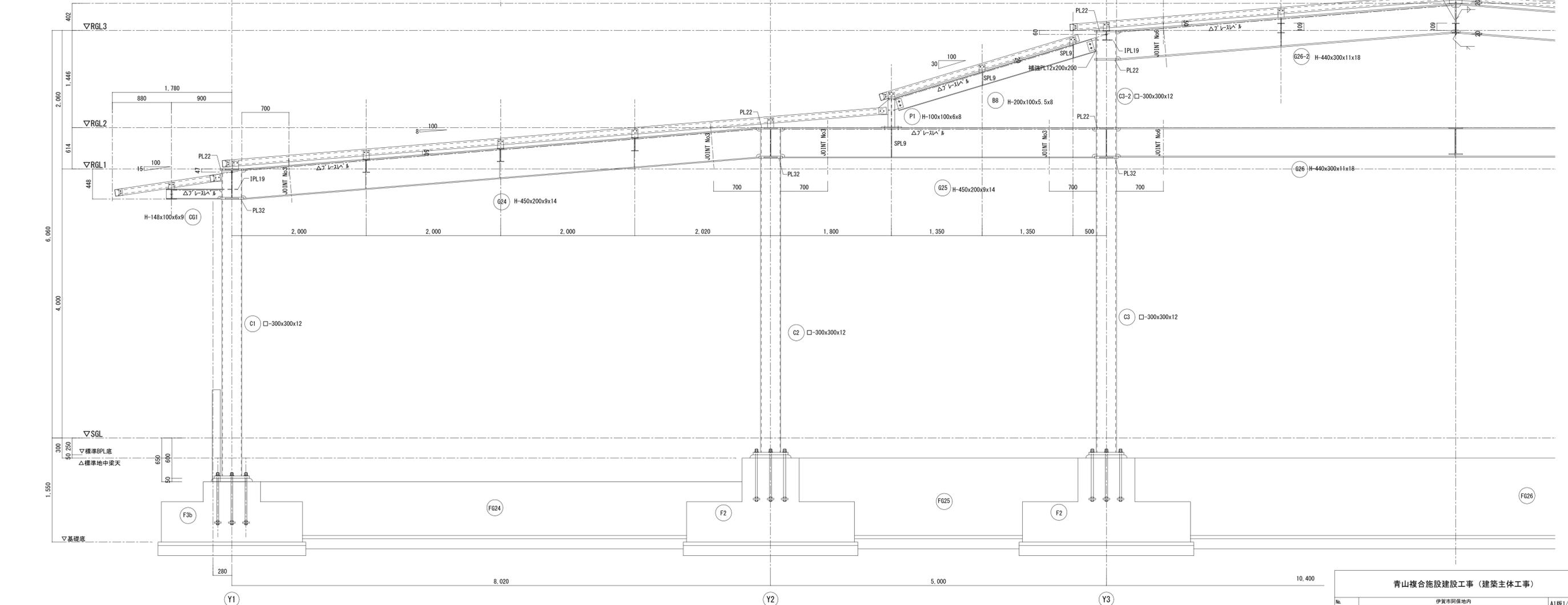
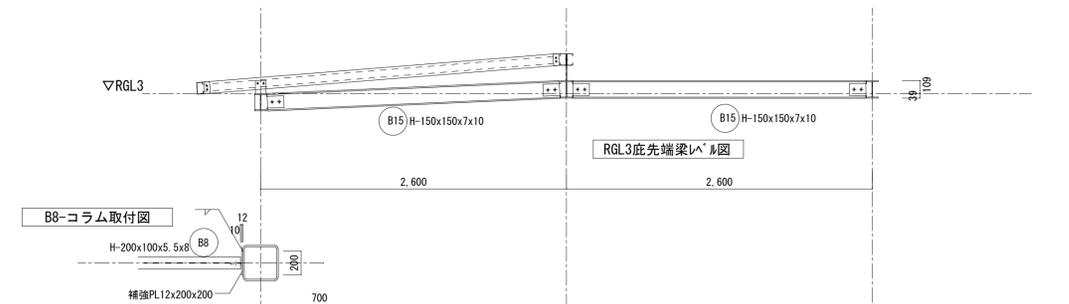
・梁ジョイントは、特記以外柱面から700とする。
 ・柱梁接合部のPL表記は、ダイヤフラム厚である。
 IPLは内ダイヤを示す。
 はNOコアを示す。

青山複合施設建設工事（建築主体工事）	
№	伊賀市阿保地内 軸組図 No2
尺寸	A1版1/100 A3版1/200 m/m
日付	11月12日
設計	係員
校核	係員



令第129条の2の4の事項 ※設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。

- 建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 - 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、架結すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。
 - 煙突の屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
- 建築物の部分を貫通して配管する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
- 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
- 管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

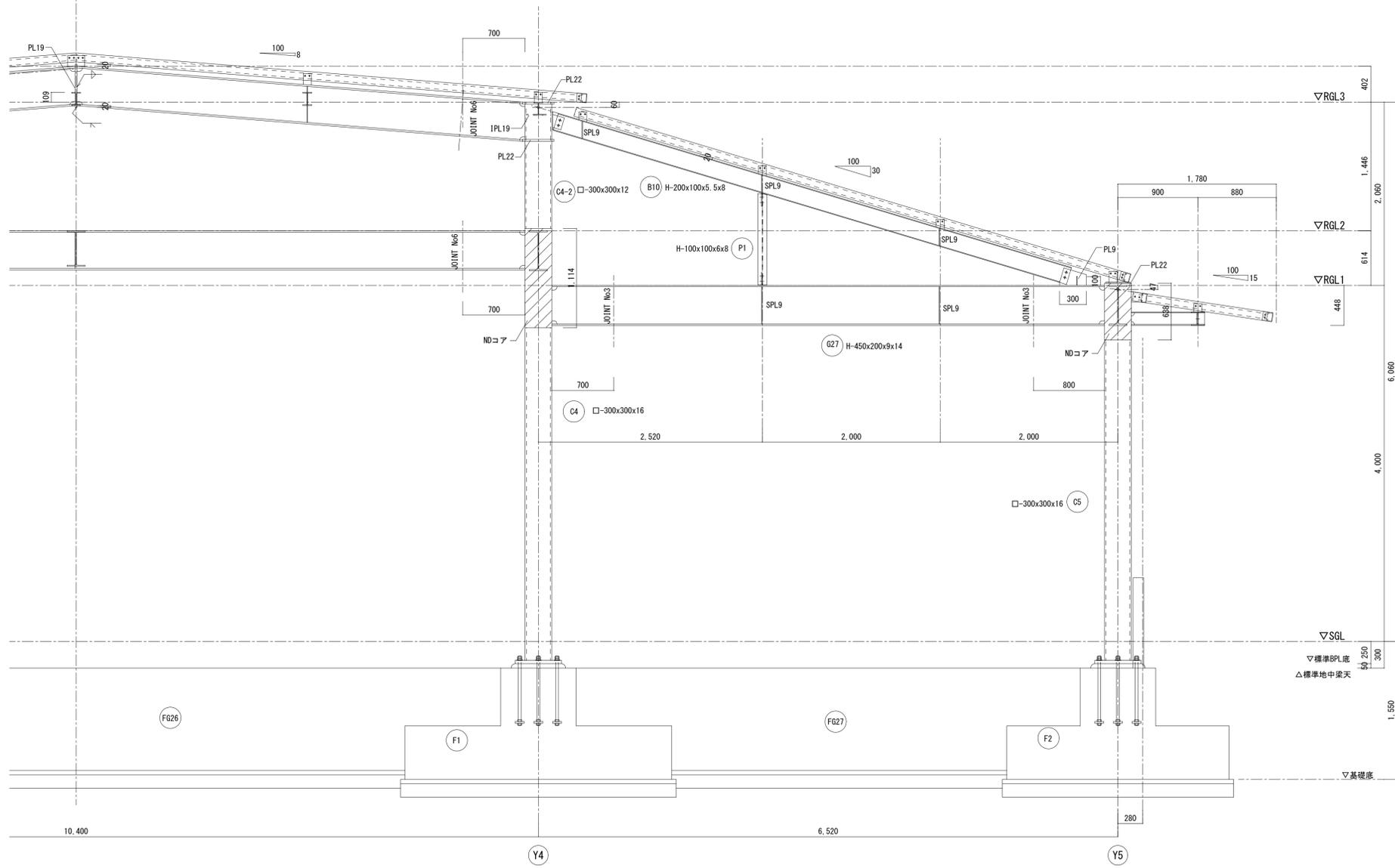


X3通り鉄骨構造詳細図 S=1/30

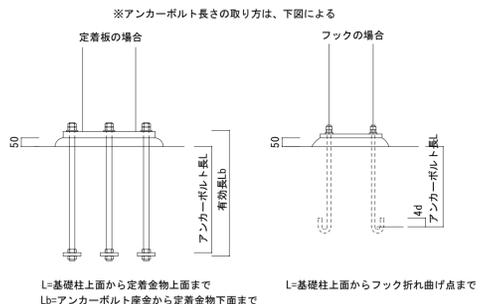
青山複合施設建設工事（建築主体工事）			
№	伊賀市阿原地区	A1版1/30、1/20	
S-22	鉄骨構造詳細図No1	A3版1/60、1/40	
日付	令和2年		編 者
	11月12日		

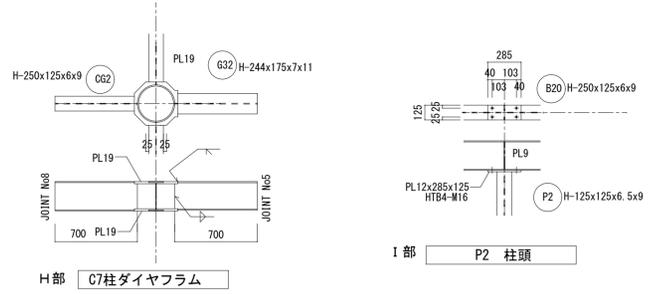
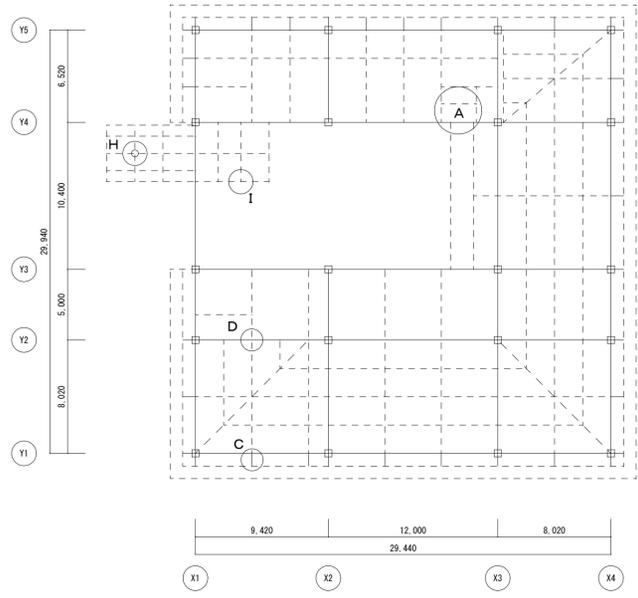
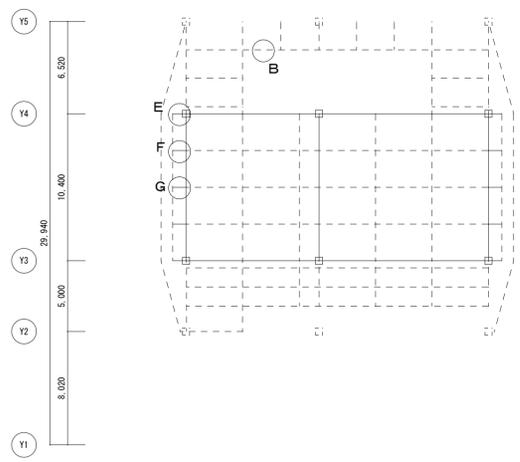
JOINT No.1	H-200x100x5.5x8	S=1/20	JOINT No.2	H-400x200x8x13	S=1/20	JOINT No.3	H-450x200x9x14	S=1/20	JOINT No.4	H-194x150x6x9	S=1/20	JOINT No.5	H-244x175x7x11	S=1/20																																																																																																																					
<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>50</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>100</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>4</td> <td>16</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>140</td> <td>170</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	16	16	50	2	16	100	290	ウェブ	4	16	45	2	6	140	170	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>60</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>200</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>8</td> <td>20</td> <td>55</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>260</td> <td>170</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	24	20	60	2	9	200	410	ウェブ	8	20	55	2	9	260	170	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>70</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>200</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>55</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>320</td> <td>170</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	24	20	70	2	12	200	410	ウェブ	10	20	55	2	9	320	170	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>50</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>150</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>4</td> <td>16</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>140</td> <td>230</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	16	16	50	2	9	150	290	ウェブ	4	16	45	2	6	140	230
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	16	16	50	2	16	100	290																																																																																																																												
ウェブ	4	16	45	2	6	140	170																																																																																																																												
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	24	20	60	2	9	200	410																																																																																																																												
ウェブ	8	20	55	2	9	260	170																																																																																																																												
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	24	20	70	2	12	200	410																																																																																																																												
ウェブ	10	20	55	2	9	320	170																																																																																																																												
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	16	16	50	2	9	150	290																																																																																																																												
ウェブ	4	16	45	2	6	140	230																																																																																																																												
JOINT No.6			JOINT No.7			JOINT No.8			ブレース			小梁																																																																																																																							
H-440x300x11x18			H-588x300x12x20			H-250x125x6x9			M18			M22																																																																																																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>32</td> <td>22</td> <td>75</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>300</td> <td>440</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>10</td> <td>22</td> <td>65</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>320</td> <td>170</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	32	22	75	2	12	300	440	ウェブ	10	22	65	2	9	320	170	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>32</td> <td>22</td> <td>85</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>300</td> <td>440</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>65</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>440</td> <td>170</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	32	22	85	2	12	300	440	ウェブ	14	22	65	2	9	440	170	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>125</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>170</td> <td>290</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	24	16	45	2	12	125	410	ウェブ	8	16	45	2	6	170	290	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">高力ボルト</th> <th colspan="4">添板</th> </tr> <tr> <th>数量 (本)</th> <th>径 (mm)</th> <th>首下長 (mm)</th> <th>数量 (枚)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>フランジ</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>50</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>150</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>ウェブ</td> <td>4</td> <td>16</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>140</td> <td>230</td> </tr> </table>			高力ボルト			添板				数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	フランジ	16	16	50	2	9	150	290	ウェブ	4	16	45	2	6	140	230
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	32	22	75	2	12	300	440																																																																																																																												
ウェブ	10	22	65	2	9	320	170																																																																																																																												
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	32	22	85	2	12	300	440																																																																																																																												
ウェブ	14	22	65	2	9	440	170																																																																																																																												
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	24	16	45	2	12	125	410																																																																																																																												
ウェブ	8	16	45	2	6	170	290																																																																																																																												
高力ボルト			添板																																																																																																																																
数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																													
フランジ	16	16	50	2	9	150	290																																																																																																																												
ウェブ	4	16	45	2	6	140	230																																																																																																																												

柱脚詳細図 S=1/20	C1, C2, C3, C6: □-300x300x12
※7カギは二重ナットとする。	
B. PL-36x520x520 (SN490C)	
A. BOLT 8-M33 L=600 有効長713 (ABR400)	
定着板19x100x100	
柱脚詳細図 S=1/20	
C4, C5: □-300x300x16	
※7カギは二重ナットとする。	
B. PL-36x520x520 (SN490C)	
A. BOLT 8-M33 L=600 有効長713 (ABR400)	
定着板19x100x100	
柱脚詳細図 S=1/20	
C7: ○-318.5x10.3	
※7カギは二重ナットとする。	
B. PL-22x400x400 (SS400)	
A. BOLT 4-M20 L=450 フック付き (SS400)	
柱脚詳細図 S=1/20	
P2: H-125x125x6.5x9	
※7カギは二重ナットとする。	
B. PL-22x325x175 (SS400)	
A. BOLT 2-M20 L=450 フック付き (SS400)	

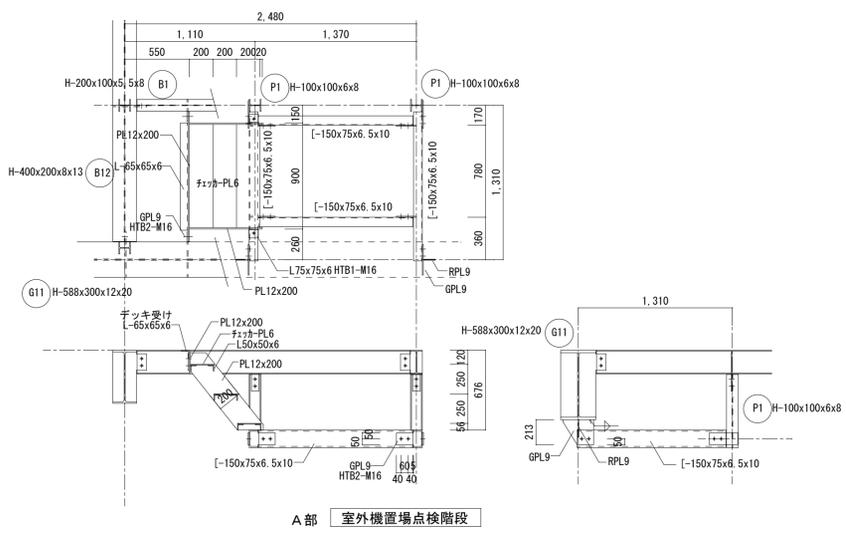


H-200x100x5.5x8	B1小梁側 B3, B5, B6, B8, B10 B13, B19, B24	B1大梁側 HTB2-M16
H-194x150x6x9	B2, B9小梁側	B2, B9大梁側 HTB2-M16
H-150x150x7x10	B15	B4, B7, B12
H-148x100x6x9	B11, B22	B14
H-250x125x6x9	B16, B17, B20	B18
H-500x200x10x16	B21	

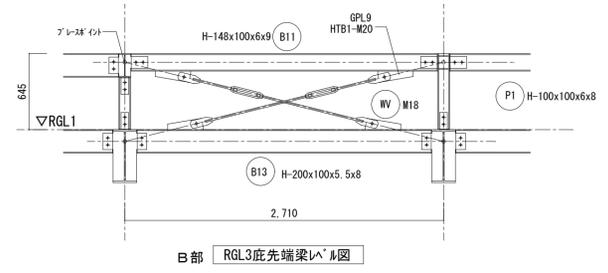




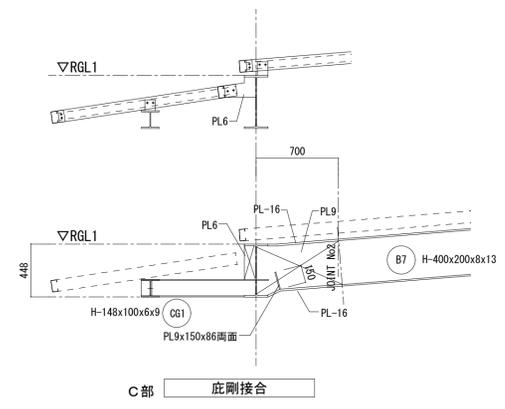
I部 P2柱頭



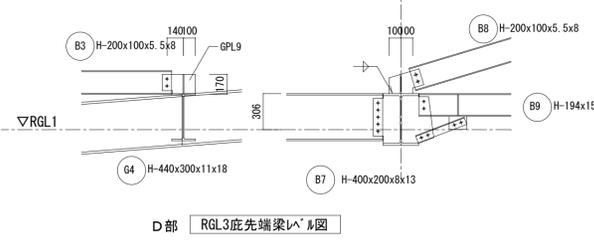
A部 室外機置場点検階段



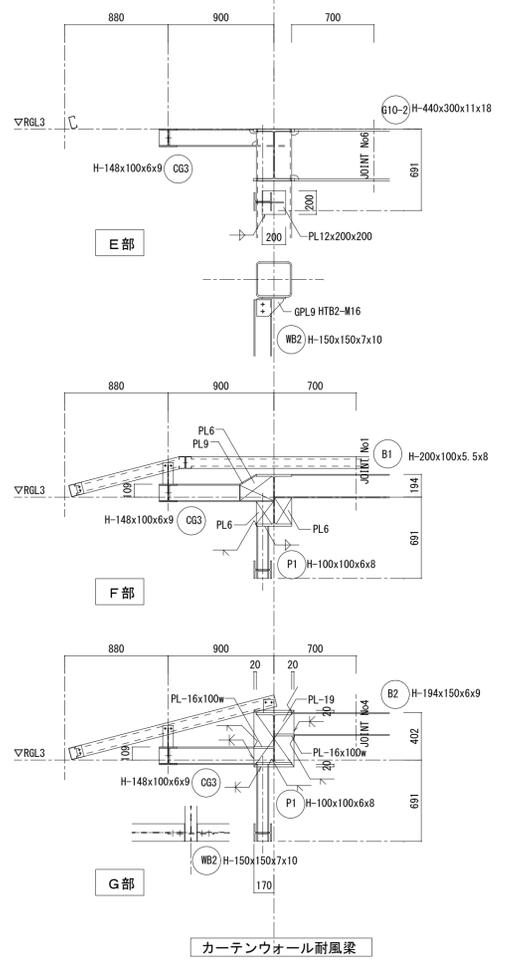
B部 RGL3庇先端梁



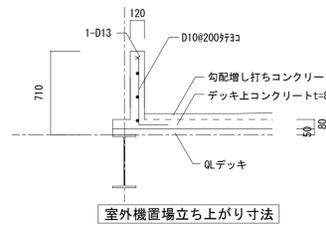
C部 庇剛接合



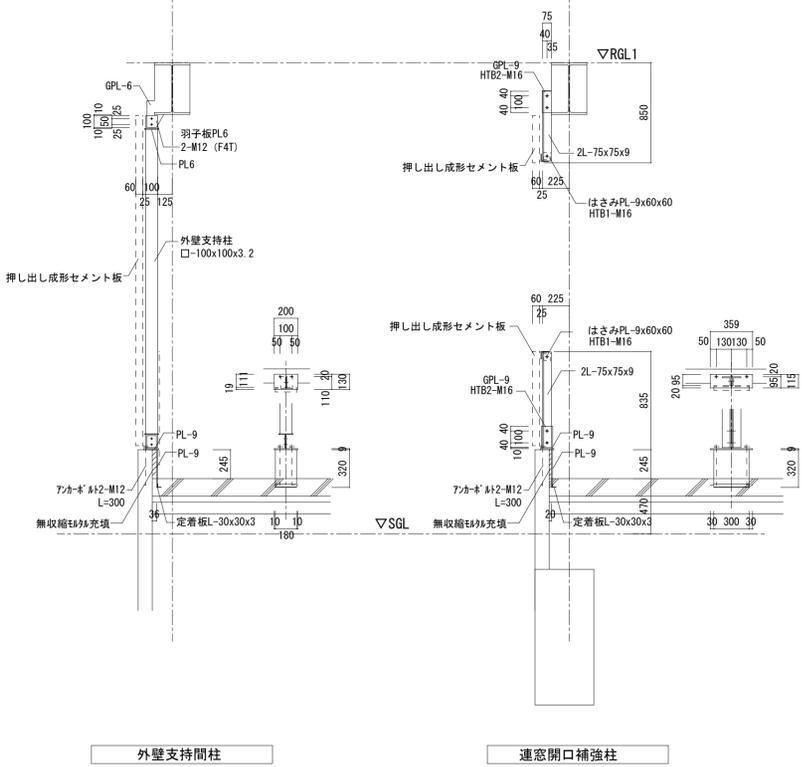
D部 RGL3庇先端梁



E部
F部
G部
カーテンウォール耐風梁



室外機置場立ち上がり寸法



外壁支持間柱

連窓開口補強柱

運木取付図	C-100x50x20x2.3	S=1/20	関係要領	S=1/20
<p>※桁が150mm以上のスコには、 転び止めを設置する。</p>		<p>スカラップのR35mmとする。</p>		